FOMA® F1100

ISSUE DATE: '08.3

NAME:

PHONE NUMBER:

MAIL ADDRESS:

取扱説明書

NTT DoCoMo

ドコモ　W-CDMA・無線LAN方式

このたびは、「FOMA F1100」をお買い上げいただきまして、まことにありがとうございます。

ご利用の前に、あるいはご利用中に、この取扱説明書およびその他のオプション機器に添付の個別取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。取扱説明書に不明な点がございましたら、裏面のお問い合わせ先にご連絡ください。

FOMA F1100は、お客様の有能なパートナーです。大切にお取り扱いの上、末長くご愛用ください。

FOMA端末のご使用にあたって

- FOMA端末は無線を利用しているため、トンネル・地下・建物の中などで電波の届かない所、屋外でも電波の弱い所およびFOMAサービスエリア外ではご使用になれません。また、高層ビル・マンションなどの高層階で見晴らしのよい所であってもご使用になれない場合があります。なお、電波が強くアンテナアイコンが3本表示されている状態で、移動せずに使用している場合でも通話が切れることがありますので、ご了承ください。
- 公共の場所、人の多い所や静かな所などでは、まわりの方の迷惑にならないようにご使用ください。
- FOMA端末は電波を利用している関係上、第三者により通話を傍受されるケースもないとはいえません。しかし、W-CDMA・無線LAN方式では秘話機能をすべての通話について自動的にサポートしますので、第三者が受信機で傍受したとしても、ただの雑音としか聞き取れません。
- FOMA端末は、音声をデジタル信号に変換して無線による通信を行っていることから、電波状態の悪い所へ移動するなど、送信されてきたデジタル信号を正確に復元できない場合には、実際の音声と異なって聞こえる場合があります。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容（連絡先、予定表、仕事、伝言メモ、音声メモ、ボイスメモなど）は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。FOMA端末の故障や修理、機種変更やその他の取り扱いなどによって、万が一、登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 大切なデータはmicroSDメモリーカードに保存することをおすすめします。また、パソコンをお持ちの場合は、付属のCD-ROMに収録されているActiveSyncなどを利用してOutlookの連絡先やメール、予定表などの情報をパソコンに転送・保管できます。
- お客様はSSLをご自身の判断と責任においてご利用することを承諾するものとします。
  お客様によるSSLのご利用にあたり、ドコモおよび別掲の認証会社はお客様に対しSSLの安全性などに関し何ら保証を行うものではなく、万が一何らかの損害が発生したとしても一切責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。
  認証会社：日本ベリサイン株式会社、サイバートラスト株式会社、グローバルサイン株式会社、RSAセキュリティ株式会社、セコムトラストシステムズ株式会社
- このFOMA端末は、FOMAプラスエリアおよびFOMAハイスピードエリアに対応しております。
- このFOMA端末は、ドコモの提供するFOMAネットワーク以外ではご使用になれません。
  The FOMA terminal can be used only via the FOMA network provided by DoCoMo.

はじめてFOMA端末をお使いになる方へ

本FOMA端末が「はじめてのFOMA端末」という方は、まず、本書を以下の順序でお読みください。FOMA端末をお使いいただくための準備と基本的な操作を、ひととおりご理解いただくことができます。

1. 「安全上のご注意」を確認しましょう→P8
2. 電池パックをセットし、充電しましょう→P37
3. 電源を入れ、自分の電話番号を確認しましょう→P41、46
4. 本体のキーなどの役割を確認しましょう→P24
5. 画面に表示されるマーク（アイコン）の意味を確認しましょう→P27
6. メニューの操作方法を確認しましょう→P30
7. 電話のかけかた／受けかたを確認しましょう→P48、55

本書についての最新情報は、ドコモのホームページよりダウンロードできます。

- 「取扱説明書（PDFファイル）」ダウンロード

http://www.nttdocomo.co.jp/support/trouble/manual/download/index.html

※ URLおよび掲載内容については、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

知りたい機能をすぐに探すことができるように、本書は次の検索方法を用意しています。

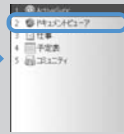
- この『FOMA F1100取扱説明書』の本文中においては、「FOMA F1100」を「FOMA端末」と表記させていただいております。あらかじめご了承ください。
- 本書の中ではmicroSDメモリーカードを使用した機能の説明をしていますが、その機能のご利用にあたっては、別途microSDメモリーカードが必要です。
  microSDメモリーカードについて→P35
- 本書に掲載されている画面およびイラストはイメージです。実際の製品とは異なる場合があります。
- 本書は主にお買い上げ時の設定をもとに説明しています。設定を変更していると、FOMA端末の表示や動作が本書の記載と異なる場合があります。
- 本書内の「認証操作」という表記は、端末暗証番号（パスワード）を入力する操作、または指紋認証を行う操作を表しています。
  端末暗証番号（パスワード）→P72　指紋認証→P76
- 本書の内容を一部、または全部を無断転載することは、禁止されています。
- 本書の内容に関しては、将来予告なしに変更することがあります。

本書の見かた／引きかた

「ドキュメントビューア」を例に記載ページを探す方法を説明します。

メニュー一覧 から探すとき

FOMA端末の画面に表示される言葉から探すことができます。



メニュー		参照先
ActiveSync		152
ドキュメントビューア		124
仕事		129
予定表		126
コミュニティ	プレゼンス	172
	メッセンジャー	172

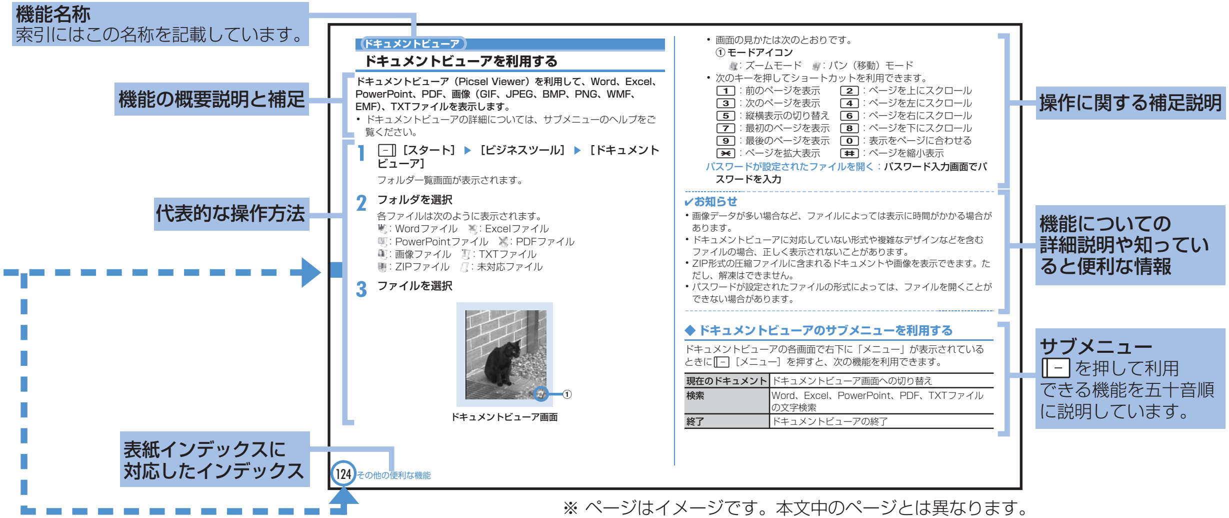
表紙インデックス から探すとき

表紙→章扉→機能の説明ページという順でインデックスを頼りに探すことができます。章扉には詳しい目次も掲載されています。

目次／注意事項
ご使用前の確認
電話／連絡先
音／画面／照明設定
あんしん設定
カメラとマルチメディア
メール
ブラウザ
その他の便利な機能
端末管理

その他の便利な機能

Windows Live／Messengerを利用する……Windows Live／Messenger 122
ドキュメントビューアを利用する……ドキュメントビューア 124
スケジュールを管理する……予定表 126
ToDo リストを管理する……仕事 129
バーコードリーダーを利用する……バーコードリーダー 130
ボイスメモを使う……ボイスメモ 132
電卓として使う……電卓 132
ゲームで遊ぶ……ゲーム 133
スイッチ付イヤホンマイクの使いかた……スイッチ付イヤホンマイク 133
自動的に電源を入れる／切る……自動電源オン設定／自動電源オフ設定 134
指定時刻にアラームを鳴らす……アラーム 135
スピードダイヤルに登録する……スピードダイヤルの追加 135
ワンタッチキーに登録する……ワンタッチキー設定 136
遠隔起動時の通知方法を設定する……遠隔起動設定 138



※ ページはイメージです。本文中のページとは異なります。

キーと操作手順の表記について

本書で使用しているキーのイラストは「各部の名称と機能」に記載しています。→P24
また、本書では操作手順を次のように表記しています。

表記の例	意　味
[PWR]（2秒以上）	[PWR]を2秒以上押し続ける
[−]［スタート］▶［設定］▶［時計とアラーム］▶［日付／時刻］▶ 各項目を設定 ▶ [−]［完了］	ホームスクリーンで[−]を押した後、［設定］→［時計とアラーム］→［日付／時刻］を順に選択し、各項目の設定を終了させた後、[−]を押す

目　次

FOMA F1100の主な機能

FOMAは、第三世代移動通信システム（IMT-2000）の世界標準規格の1つとして認定されたW-CDMA方式をベースとしたドコモのサービス名称です。

F1100の主な特徴

Windows Mobile 6 Standard＋FOMA

Windows Mobile 6 Standardを搭載し、スマートフォンとしての充実した機能を活用できるだけでなく、FOMA端末ならではの使いやすく便利な機能を兼ね備えています。

スライドデザインとワンタッチキー

小さな携帯電話サイズとスライドデザインを採用したことにより、ビジネス端末でありながら、手軽に電話やメール送受信操作ができます。端末を閉じていても使える4つのワンタッチキーには、3つのモードに4つずつ12個の連絡先や機能の呼び出しを登録することができます。→P27、51、136

※ ご使用の環境によっては、あらかじめワンタッチキーに機能が割り当てられている場合があります。詳しくはネットワーク管理者にお問い合わせください。

高速通信対応

FOMAハイスピードエリア対応で、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速通信を行うことができます。

無線LAN機能

IEEE802.11a（最大54Mbps）、IEEE802.11b（最大11Mbps）、IEEE802.11g（最大54Mbps）の無線LAN規格に準拠しており、大容量の送受信を必要とするビジネスの場で役立ちます。会社、ご自宅、公衆無線LANエリアで、無線LANを利用して快適なデータ通信が可能です。→P166

ドコモ公衆無線LANサービス※1をご利用いただければ、空港、駅、ホテル、カフェなどで無線による高速大容量インターネットアクセスが可能です。ご利用にあたっての注意事項およびご利用方法の詳細などについては、ドコモのホームページをご覧ください。
システム環境が整備されている企業内などでは、オフィス内のWLAN電話※2としても利用できます。また、在席や離席、通話中などの状態を通知するプレゼンス機能※2にも対応しています。→P170、172

※1 お申し込みが必要な有料サービスです。
※2 WLAN電話機能やプレゼンス機能を利用するためには、各機能に対応したサーバが用意されているシステム環境が必要です。詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

フルブラウザと多彩なメール

パソコン向けに作成されたホームページを閲覧できるInternet Explorer Mobileを搭載しています。→P117
また、FOMA端末どうしでやりとりできるSMSに加え、mopera／mopera Uや一般のプロバイダのメールアカウント、オフィスで利用しているメールアカウントなどを複数登録できます。外出先でも、オフィス環境とのシームレスなメール送受信が行えます。→P99

※ moperaおよびmopera U、一般のプロバイダのメールアカウントを利用するためには、それぞれ別途契約が必要です。

Windows Live／Messenger

Windows LiveとMessengerを搭載し、電子メールやスペース、チャットなど、Microsoftが提供する様々なオンラインサービスを利用できます。→P122

※ ご利用の際にはWindows Live IDが必要となります。あらかじめパソコンなどからWindows Live IDを取得してください。

その他の多彩な機能

データシンクロ機能

付属のCD-ROMに収録されているActiveSyncなどを使って、USBケーブルや赤外線通信、Bluetooth®通信経由で接続したパソコンと、メールや連絡先、予定表などのOutlookデータと同期を取ることができます。→P148

ドキュメントビューア

FOMA端末やmicroSDメモリーカードに保存したPDFデータ、Word、Excel、PowerPointファイルなどのパソコン文書を表示することができます。→P124

赤外線通信とBluetooth機能

Bluetooth対応機器とワイヤレス接続し、データ通信やハンズフリーで通話することができます。また、赤外線通信機能が搭載された他のFOMA端末やパソコン、Bluetooth対応機器やBluetooth機能が搭載されたパソコンとのデータの送受信もできます。→P153

プログラムによる拡張

Windows Mobile 6 Standard対応の各種プログラムをインストールして、F1100の機能を拡張することもできます。→P142

クイックガイド

取扱説明書が手元にない外出先でも、本FOMA端末のブラウザを使って閲覧できるクイックガイドを用意しました。クイックガイドには、メニュー構成と概要説明、代表機能の操作説明のほか、取扱説明書（本書）の「故障かな？と思ったら」と「こんな表示が出たら」をそのまま収録しています。
クイックガイドを閲覧するには、[－]［スタート］▶［生活ツール］▶［クイックガイド］を選択します。

あんしん設定

指紋認証

FOMA端末を閉じたまま指紋センサーに指をスライドさせるだけで認証を行うことができるので、ダイヤルキーによる端末暗証番号（パスワード）の入力操作を省略できます。→P76

各種セキュリティ機能

大切な個人情報を守ったり、第三者によるFOMA端末の使用を防いだりするさまざまなセキュリティ機能を備えています。目的に応じて使い分けてください。
- デバイスロック→P75
- 遠隔ダイヤルロック→P79
- ガードフォルダ→P81
- 暗号化→P83

豊富なネットワークサービス

- 留守番電話サービス（有料）→P184
- キャッチホン（有料）→P185
- 転送でんわサービス（無料）→P185
- 迷惑電話ストップサービス（無料）→P187
- デュアルネットワークサービス（有料）→P188

※ 迷惑電話ストップサービス以外は、お申し込みが必要なサービスです。

F1100のご利用にあたっての注意事項
- 本FOMA端末はｉモード機能（ｉモードメール、ｉモードのサイト（番組）への接続、ｉアプリなど）には対応しておりません。
- 本FOMA端末では、定額制料金サービス「パケ・ホーダイ」はご利用いただけません。大量のパケット通信を行う場合には、「Biz・ホーダイ」のご契約をおすすめします。

安全上のご注意（必ずお守りください）

- ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。また、お読みになった後は、大切に保管してください。
- ここに示した注意事項は、お使いになる人や、他の人への危害、財産への損害を未然に防ぐための内容を記載していますので、必ずお守りください。

■ 次の表示の区分は、表示内容を守らず、誤った使用をした場合に生じる危害や損害の程度を説明しています。

⚠危険	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される」内容です。
⚠警告	この表示は、取り扱いを誤った場合、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
⚠注意	この表示は、取り扱いを誤った場合、「傷害を負う可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される」内容です。

■ 次の絵表示の区分は、お守りいただく内容を説明しています。

禁止	禁止（してはいけないこと）を示します。
分解禁止	分解してはいけないことを示す記号です。
濡れ手禁止	濡れた手で扱ってはいけないことを示す記号です。
水濡れ禁止	水がかかる所で使用したり、水に濡らしたりしてはいけないことを示す記号です。
指示	指示に基づく行為に対する強制（必ず実行していただくこと）を示します。
電源プラグを抜く	電源プラグをコンセントから抜いていただくことを示す記号です。

■「安全上のご注意」は次の6項目に分けて説明しています。

◆FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードの取り扱いについて（共通）

⚠危険

禁止

火のそば、直射日光の当たる場所、炎天下の車内などの高温の場所で使用、保管、放置しないでください。

機器の変形、故障や、電池パックの漏液、発熱、破裂、発火、性能や寿命の低下の原因となります。また、ケースの一部が熱くなり、やけどの原因となることがあります。

分解禁止

分解、改造をしないでください。また、ハンダ付けしないでください。

火災、けが、感電などの事故または故障の原因となります。また、電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

水濡れ禁止

濡らさないでください。

水やペットの尿などの液体が入ると、発熱、感電、火災、故障、けがなどの原因となります。使用場所、取り扱いにご注意ください。

指示

FOMA端末に使用する電池パックおよびアダプタ（充電器含む）は、ドコモグループ各社が指定したものを使用してください。

指定品以外のものを使用した場合は、FOMA端末および電池パックやその他の機器を漏液、発熱、破裂、発火、故障させる原因となります。

電池パック　F10
卓上ホルダ　F23
FOMA ACアダプタ　01／02
FOMA DCアダプタ　01／02
FOMA 乾電池アダプタ　01
FOMA 充電機能付USB接続ケーブル　01／02
FOMA補助充電アダプタ　01
FOMA海外兼用ACアダプタ　01

※ その他互換性のある商品についてはドコモショップなど窓口までお問い合わせください。

⚠警告

禁止

電子レンジなどの加熱調理機器や高圧容器に、電池パック、FOMA端末やアダプタ（充電器含む）、FOMAカードを入れないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させたり、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）の発熱、発煙、発火や回路部品を破壊させる原因となります。

禁止

強い衝撃を与えたり、投げ付けたりしないでください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

禁止

充電端子や外部接続端子に導電性異物（金属片、鉛筆の芯など）が触れないようにしてください。また、内部に入れないようにしてください。

ショートによる火災や故障の原因となります。

指示

ガソリンスタンドなど引火性ガスが発生する場所に立ち入る場合は必ず事前に携帯電話の電源をお切りください。

また充電もしないでください。ガスに引火する恐れがあります。

指示

使用中、充電中、保管時に、異臭、発熱、変色、変形など、いままでと異なるときは、直ちに次の作業を行ってください。

1. 電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜く。
2. FOMA端末の電源を切る。
3. 電池パックをFOMA端末から取り外す。

そのまま使用すると発熱、破裂、発火または電池パックの漏液の原因となります。

⚠注意

ぐらついた台の上や傾いた場所など、不安定な場所には置かないでください。（禁止）
落下して、けがや故障の原因となります。

湿気やほこりの多い場所や高温になる場所には、保管しないでください。（禁止）
故障の原因となります。

子供が使用する場合は、保護者が取り扱いの内容を教えてください。また、使用中においても、指示どおりに使用しているかをご注意ください。（指示）
けがなどの原因となります。

乳幼児の手の届かない場所に保管してください。（指示）
誤って飲み込んだり、けがなどの原因となったりします。

FOMA端末をアダプタ（充電器含む）に接続した状態で長時間連続使用される場合には特にご注意ください。（指示）
温度の高い部分に直接長時間触れるとお客様の体質や体調によっては肌に赤みやかゆみ、かぶれなどが生じたり、低温やけどの原因となる恐れがあります。

◆FOMA端末の取り扱いについて

⚠警告

赤外線ポートを目に向けて送信しないでください。（禁止）
目に影響を与える可能性があります。また、他の赤外線装置に向けて送信すると誤動作するなどの影響を与える場合があります。

ライトの発光部を人の目に近づけて点灯発光させないでください。（禁止）
視力障害の原因となります。また、目がくらんだり驚いたりしてけがなどの事故の原因となります。

エアバッグの近くのダッシュボードなど、エアバッグの展開による影響が予想される場所にFOMA端末を置かないでください。（禁止）
エアバッグが展開した場合、FOMA端末が本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

医用電気機器などを装着している場合は、胸ポケットや内ポケットへの装着はおやめください。（禁止）
FOMA端末を医用電気機器などの近くで使用すると、医用電気機器などの故障の原因となる恐れがあります。

FOMA端末内のFOMAカードやmicroSDメモリーカード挿入口に水などの液体や金属片、燃えやすいものなどの異物を入れないでください。（禁止）
火災、感電、故障の原因となります。

自動車などの運転者に向けてライトを点灯しないでください。（禁止）
運転の妨げとなり、事故の原因となります。

指示

航空機内や病院など、使用を禁止された区域では、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器や医用電気機器に影響を与える場合があります。

また、自動的に電源が入る機能を設定している場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

医療機関内における使用については各医療機関の指示に従ってください。また、航空機内での使用などの禁止行為をした場合、法令により罰せられることがあります。

指示

スピーカーホン機能を動作させて通話する際は、必ずFOMA端末を耳から離してください。また、イヤホンマイクをFOMA端末に装着し、ゲームや音楽再生をする場合は、適度なボリュームに調節してください。

音量が大きすぎると難聴の原因となります。

また、周囲の音が聞こえにくいと、事故の原因となります。

指示

心臓の弱い方は、着信バイブレータ（振動）や着信音量の設定に注意してください。

心臓に影響を与える可能性があります。

指示

屋外で使用中に、雷が鳴り出したら、すぐに電源を切って安全な場所に移動してください。

落雷、感電の原因となります。

指示

高精度な制御や微弱な信号を取り扱う電子機器の近くでは、FOMA端末の電源を切ってください。

電子機器が誤動作するなどの影響を与える場合があります。

※ ご注意いただきたい電子機器の例
補聴器、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器、火災報知器、自動ドア、その他の自動制御機器など。
植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器、その他の医用電気機器をご使用される方は、当該の各医用電気機器メーカもしくは販売業者に電波による影響についてご確認ください。

指示

万が一、ディスプレイ部やカメラのレンズを破損した際には、割れたガラスや露出したFOMA端末の内部にご注意ください。

ディスプレイ部やカメラのレンズの表面には、プラスチックパネルを使用しガラスが飛散りにくい構造となっておりますが、誤って割れた破損部や露出部に触れますと、けがの原因となります。

注意

禁止

ストラップなどを持ってFOMA端末を振り回さないでください。

本人や他の人などに当たり、けがなどの事故や故障および破損の原因となります。

禁止

磁気カードなどをFOMA端末に近づけないでください。

キャッシュカード、クレジットカード、テレホンカード、フロッピーディスクなどの磁気データが消えてしまうことがあります。

禁止

FOMA端末に磁気を帯びたものを近づけないでください。

強い磁気を近づけると誤作動を引き起こす可能性があります。

禁止

誤ってディスプレイを破損し、液晶が漏れた場合には、液体を口にしたり、吸い込んだり、皮膚につけたりしないでください。

液晶が目や口に入った場合には、すぐにきれいな水で洗い流し、直ちに医師の診断を受けてください。また、皮膚や衣類に付着した場合は、すぐにアルコールなどで拭き取り、石鹸で水洗いしてください。

失明や皮膚に傷害を起こす原因となります。

禁止

着信音が鳴っているときや、FOMA端末でメロディを再生しているときなどは、スピーカーに耳を近づけないでください。

難聴になる可能性があります。

指示

自動車内で使用した場合、車種によっては、まれに車載電子機器に影響を与える場合があります。

安全走行を損なう恐れがありますので、その場合は使用しないでください。

指示

お客様の体質や体調によっては、かゆみ、かぶれ、湿疹などが生じることがあります。異状が生じた場合は、直ちに使用をやめ、医師の診療を受けてください。

下記の箇所に金属を使用しています。

使用箇所	材　質	表面処理
マルチカーソルキー	アルミニウム	アルマイト処理
指紋センサー	ステンレス	三価クロムメッキ
充電端子 通信端子	銅	金メッキ

指示

FOMA端末を閉じる際は、指や手のひら、ストラップなどを挟まないようご注意ください。

けがなどの事故や破損の原因となります。

◆ 電池パックの取り扱いについて

■ **電池パックのラベルに記載されている表示により、電池の種類をご確認ください。**

表　示	電池の種類
Li-ion	リチウムイオン電池

⚠危険

禁止

端子に針金などの金属類を接触させないでください。また、金属製ネックレスなどと一緒に持ち運んだり、保管したりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

電池パックをFOMA端末に取り付けるときに、うまく取り付けできない場合は、無理に取り付けないでください。また、電池パックの向きを確かめてから取り付けてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

火の中に投下しないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

禁止

釘を刺したり、ハンマーで叩いたり、踏みつけたりしないでください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が目の中に入ったときは、こすらず、すぐにきれいな水で洗った後、直ちに医師の診療を受けてください。

失明の原因となります。

⚠警告

禁止

落下による変形や傷など外部からの衝撃により電池パックに異常が見られた場合は、直ちに使用をやめてください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

指示

所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電をやめてください。

電池パックを漏液、発熱、破裂、発火させる原因となります。

指示

電池パックが漏液したり、異臭がするときは、直ちに使用をやめて火気から遠ざけてください。

漏液した液体に引火し、発火、破裂の原因となります。

指示

ペットが電池パックに噛みつかないようご注意ください。

電池パックの漏液、発熱、破裂、発火や機器の故障、火災の原因となります。

注意

禁止

一般のゴミと一緒に捨てないでください。

発火、環境破壊の原因となります。不要となった電池パックは、端子にテープなどを貼り、絶縁してからドコモショップなど窓口にお持ちいただくか、回収を行っている市町村の指示に従ってください。

禁止

濡れた電池パックを充電しないでください。

電池パックを発熱、発火、破裂させる原因となります。

指示

電池パック内部の液体が皮膚や衣服に付着した場合は、直ちに使用をやめてきれいな水で十分に洗い流してください。

皮膚に傷害を起こす原因となります。

◆オプション品（ACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダ、車内ホルダ）の取り扱いについて

警告

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードが傷んだら使用しないでください。

感電、発熱、火災の原因となります。

禁止

ACアダプタや卓上ホルダは、風呂場などの湿気の多い場所では使用しないでください。

感電の原因となります。

禁止

DCアダプタはマイナスアース車専用です。プラスアース車には使用しないでください。

火災の原因となります。

禁止

雷が鳴り出したら、FOMA端末、アダプタ（充電器含む）には触れないでください。

落雷、感電の原因となります。

禁止

コンセントやシガーライタソケットにつながれた状態で充電端子をショートさせないでください。また、充電端子に手や指など、身体の一部を触れさせないでください。

火災、故障、感電、傷害の原因となります。

禁止

充電中は、充電器および卓上ホルダを安定した場所に置いてください。また、充電器および卓上ホルダを布や布団でおおったり、包んだりしないでください。

FOMA端末が外れたり、熱がこもり、火災、故障の原因となります。

禁止

アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードの上に重いものをのせたりしないでください。

感電、火災の原因となります。

濡れ手禁止

濡れた手でアダプタ（充電器含む）のコード、コンセントに触れないでください。

感電の原因となります。

指示

指定の電源、電圧で使用してください。
誤った電圧で使用すると火災や故障の原因となります。海外で使用する場合は、海外で利用可能なACアダプタを使用してください。
ACアダプタ：AC100V
DCアダプタ：DC12V・24V（マイナスアース車専用）
海外で利用可能なACアダプタ：AC100V～240V（家庭用交流コンセントのみに接続すること）

指示

DCアダプタのヒューズが万が一切れた場合は、必ず指定のヒューズを使用してください。
指定外のヒューズを使用すると、火災、故障の原因となります。指定ヒューズに関しては、個別の取扱説明書でご確認ください。

指示

電源プラグについたほこりは、拭き取ってください。
火災の原因となります。

指示

ACアダプタをコンセントに差し込むときは、金属製ストラップなどの金属類を触れさせないように注意し、確実に差し込んでください。
感電、ショート、火災の原因となります。

指示

アダプタ（充電器含む）をコンセントやシガーライタソケットから抜く場合は、アダプタ（充電器含む）のコードや電源コードを無理に引っ張らず、電源プラグを持って抜いてください。
コードを引っ張るとコードが傷つき、感電、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

長時間使用しない場合は、電源プラグをコンセントから抜いてください。
感電、火災、故障の原因となります。

電源プラグを抜く

万が一、水などの液体が入った場合は、直ちにコンセントやシガーライタソケットから電源プラグを抜いてください。
感電、発煙、火災の原因となります。

電源プラグを抜く

お手入れの際は、電源プラグをコンセントやシガーライタソケットから抜いて行ってください。
感電の原因となります。

◆FOMAカードの取り扱いについて

注意

指示

FOMAカード（IC部分）を取り外す際は切断面にご注意ください。
手や指を傷つける可能性があります。

◆医用電気機器近くでの取り扱いについて

■ 本記載の内容は「医用電気機器への電波の影響を防止するための携帯電話端末等の使用に関する指針」（電波環境協議会）に準ずる。

警告

指示

医療機関の屋内では次のことを守って使用してください。
- 手術室、集中治療室（ICU）、冠状動脈疾患監視病室（CCU）にはFOMA端末を持ち込まないでください。
- 病棟内では、FOMA端末の電源を切ってください。
- ロビーなどであっても付近に医用電気機器がある場合は、FOMA端末の電源を切ってください。

- 医療機関が個々に使用禁止、持ち込み禁止などの場所を定めている場合は、その医療機関の指示に従ってください。
- 自動的に電源が入る機能が設定されている場合は、設定を解除してから電源を切ってください。

指示

満員電車の中など混雑した場所では、付近に植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着している方がいる可能性がありますので、FOMA端末の電源を切るようにしてください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着されている場合は、装着部からFOMA端末は22cm以上離して携行および使用してください。

電波により植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器の作動に影響を与える場合があります。

指示

自宅療養などにより医療機関の外で、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器以外の医用電気機器を使用される場合には、電波による影響について個別に医用電気機器メーカなどにご確認ください。

電波により医用電気機器の作動に影響を与える場合があります。

取り扱い上の注意について

◆共通のお願い

- 水をかけないでください。
  - FOMA端末、電池パック、アダプタ（充電器含む）、FOMAカードは防水仕様にはなっておりません。風呂場など、湿気の多い所でのご使用や、雨などがかかることはおやめください。また身に付けている場合、汗による湿気により内部が腐食し、故障の原因となります。
    調査の結果、これらの水濡れによる故障と判明した場合、保証対象外となり修理できないことがありますので、あらかじめご了承願います。なお、保証対象外ですので修理を実施できる場合でも有料修理となります。
- お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。
  - FOMA端末のディスプレイは、カラー液晶画面を見やすくするため、特殊コーティングを施してある場合があります。お手入れの際に、乾いた布などで強く擦ると、ディスプレイに傷がつく場合があります。取り扱いには十分ご注意いただき、お手入れは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。また、ディスプレイに水滴や汚れなどが付着したまま放置すると、シミになったり、コーティングがはがれたりすることがあります。
  - アルコール、シンナー、ベンジン、洗剤などで拭くと、印刷が消えたり、色があせたりすることがあります。
- 端子は時々乾いた綿棒で清掃してください。
  - 端子が汚れていると接触が悪くなり、電源が切れることがあります。また、充電不十分の原因となりますので、汚れたときは、端子を乾いた布、綿棒などで拭いてください。
- エアコンの吹き出し口の近くに置かないでください。
  - 急激な温度の変化により結露し、内部が腐食し故障の原因となります。
- FOMA端末や電池パックなどに無理な力がかからないように使用してください。
  - 多くのものが詰まった荷物の中に入れたり、衣類のポケットに入れて座ったりするとディスプレイ、内部基板、電池パックなどの破損、故障の原因となります。また、外部接続機器を外部接続端子やイヤホンマイク端子に差した状態の場合、コネクタ破損、故障の原因となります。
- FOMA端末、アダプタ（充電器含む）、卓上ホルダに添付されている個別の取扱説明書をよくお読みください。
- ディスプレイは金属などで擦ったり引っかいたりしないでください。
  - 傷つくことがあり、故障、破損の原因となります。

◆FOMA端末についてのお願い

- 極端な高温、低温は避けてください。
  - 温度は5℃～35℃、湿度は45%～85%の範囲でご使用ください。
- 一般の電話機やテレビ、ラジオなどをお使いになっている近くで使用すると、影響を与える場合がありますので、なるべく離れた場所でご使用ください。
- お客様ご自身でFOMA端末に登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 外部接続端子やイヤホンマイク端子に外部接続機器を接続する際に斜めに差したり、差した状態で引っ張ったりしないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- ストラップなどを挟んだまま、FOMA端末を閉じないでください。
  - 故障、破損の原因となります。
- 使用中、充電中、FOMA端末は温かくなりますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- カメラを直射日光の当たる場所に放置しないでください。
  - 素子の退色・焼付きを起こす場合があります。
- 通常はイヤホンマイク端子カバー、外部接続端子キャップ、microSDメモリーカードスロット挿入口キャップをはめた状態でご使用ください。
  - ほこり、水などが入り故障の原因となります。

- リアカバーを外したまま使用しないでください。
  - 電池パックが外れたり、故障、破損の原因となったりします。
- FOMA端末のディスプレイ部分の背面に、ラベルやシールを貼らないでください。
  - FOMA端末を開閉する際にラベルやシールが引っかかり、故障、破損の原因となります。
- 指紋センサーに強い衝撃を与えたり、表面に傷をつけたりしないでください。
  - 指紋センサーの故障の原因となるだけでなく、認証操作ができなくなる場合があります。
- 指紋センサーは乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で清掃してください。
  - 指紋センサーが汚れていたり表面に水分が付着していたりすると、指紋の読み取りができなくなり、認証性能が低下したり、指が触れていない状態でも認証中として誤動作したりすることがあります。
- microSDメモリーカードの使用中は、microSDメモリーカードを取り外したり、FOMA端末の電源を切ったりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。

◆電池パックについてのお願い

- 電池パックは消耗品です。
  - 使用状態などによって異なりますが、十分に充電しても使用時間が極端に短くなったときは電池パックの交換時期です。指定の新しい電池パックをお買い求めください。
- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 初めてお使いのときや、長時間ご使用にならなかったときは、ご使用前に必ず充電してください。
- 電池パックの使用時間は、使用環境や電池パックの劣化度により異なります。
- 電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。
- 電池パックは、電池残量なしの状態で保管、放置をしないでください。
  - 電池パックの性能や寿命を低下させる原因となります。

◆アダプタ（充電器含む）についてのお願い

- 充電は、適正な周囲温度（5℃～35℃）の場所で行ってください。
- 次のような場所では、充電しないでください。
  - 湿気、ほこり、振動の多い場所
  - 一般の電話機やテレビ・ラジオなどの近く
- 充電中、アダプタ（充電器含む）が温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- DCアダプタを使用して充電する場合は、自動車のエンジンを切ったまま使用しないでください。
  - 自動車のバッテリーを消耗させる原因となります。
- 抜け防止機構のあるコンセントをご使用の場合、そのコンセントの取扱説明書に従ってください。
- 強い衝撃を与えないでください。また、充電端子を変形させないでください。
  - 故障の原因となります。

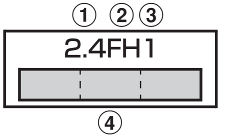
◆FOMAカードについてのお願い

- FOMAカードの取り付け／取り外しには、必要以上に力を入れないようにしてください。
- 使用中、FOMAカードが温かくなることがありますが、異常ではありません。そのままご使用ください。
- 他のICカードリーダー／ライターなどにFOMAカードを挿入して使用した結果として故障した場合は、お客様の責任となりますので、ご注意ください。
- IC部分はいつもきれいな状態でご使用ください。
- お手入れは、乾いた柔らかい布（めがね拭きなど）で拭いてください。

- お客様ご自身でFOMAカードに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いします。
  - 万が一登録された情報内容が消失してしまうことがあっても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- 環境保全のため、不要になったFOMAカードはドコモショップなどの窓口にお持ちください。
- 極端な高温や低温は避けてください。
- ICを傷つけたり、不用意に触れたり、ショートさせたりしないでください。
  - データの消失、故障の原因となります。
- FOMAカードを落としたり、衝撃を与えたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードを曲げたり、重いものをのせたりしないでください。
  - 故障の原因となります。
- FOMAカードにラベルやシールなどを貼った状態で、FOMA端末に取り付けないでください。
  - 故障の原因となります。

◆Bluetooth機能を使用する場合のお願い

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末では、ヘッドセット、ハンズフリー、オーディオ、ダイヤルアップ通信、オブジェクトプッシュ、シリアルポートを利用できます。また、オーディオではオーディオ／ビデオリモートコントロールも利用できる場合があります。（対応しているBluetooth対応機器のみ）
- 周波数帯について
  FOMA端末が使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



①2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
②FH：変調方式がFH-SS方式であることを示します。
③1：想定される与干渉距離が10m以下であることを示します。
④ ：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

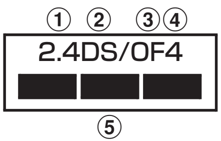
Bluetooth対応機器使用上の注意事項

本製品の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか、工場の製造ラインなどで使用される免許を要する移動体識別用構内無線局、免許を要しない特定小電力無線局、アマチュア無線局など（以下「他の無線局」と略します）が運用されています。

1. 本製品を使用する前に、近くで「他の無線局」が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、本製品と「他の無線局」との間に電波干渉が発生した場合には、速やかに使用場所を変えるか、電波の発射を停止して電波干渉を避けてください。
3. その他、ご不明な点につきましては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆無線LAN（WLAN）についてのお願い

- 無線LANについて
  電気製品・AV・OA機器などの磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところで使用しないでください。
  - 磁気や電気雑音の影響を受けると雑音が大きくなったり、通信ができなくなることがあります（特に電子レンジ使用時には影響を受けることがあります）。
  - テレビ、ラジオなどに近いと受信障害の原因となったり、テレビ画面が乱れることがあります。
  - 近くに複数の無線LANアクセスポイントが存在し、同じチャンネルを使用していると、正しく検索できない場合があります。
- 無線LANアクセスポイントや本FOMA端末に内蔵されている無線LAN（WLAN）は、セキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容によってセキュリティが十分でない場合があります。無線LAN（WLAN）を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- 無線LAN（WLAN）を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。
- 周波数帯について
  本FOMA端末がIEEE802.11b準拠、IEEE802.11g準拠の無線LANで使用する周波数帯は、端末本体の電池パック挿入部に記載されています。ラベルの見かたは次のとおりです。



①2.4：2400MHz帯を使用する無線設備を表します。
②DS：変調方式がDS-SS方式であることを示します。
③OF：変調方式がOFDM方式であることを示します。
④4：想定される与干渉距離が40m以下であることを示します。
⑤■■■：2400MHz～2483.5MHzの全帯域を使用し、かつ移動体識別装置の帯域を回避不可であることを意味します。

本FOMA端末のIEEE802.11aで使用する8つのチャンネルについては、電池パック挿入部と個装箱に以下のラベルで表示されています。



電池パック挿入部での表示



個装箱での表示

- J52：5.170～5.230GHz／34、38、42、46chは使用できません。
- W52：5.180～5.240GHz／36、40、44、48chが使用できます。
- W53：5.260～5.320GHz／52、56、60、64chは使用できます。

IEEE802.11aを使用する場合は、上記チャンネルを利用できる無線LAN製品とのみ通信が可能です。

- W53（52／56／60／64ch）では、無線LANアクセスポイントのDFS機能によって使用するチャンネルが変更された場合、通信が中断することがあります。
- 本品のIEEE802.11a（5GHz）WLANは屋外利用禁止です。
- 航空機内の使用は、事前に各航空会社へご確認ください。

2.4GHz機器使用上の注意事項

WLAN搭載機器の使用周波数帯では、電子レンジなどの産業・科学・医療用機器のほか工場の製造ラインなどで使用されている移動体識別用の構内無線局（免許を要する無線局）および特定小電力無線局（免許を要しない無線局）ならびにアマチュア無線局（免許を要する無線局）が運用されています。

1. この機器を使用する前に、近くで移動体識別用の構内無線局および特定小電力無線局ならびにアマチュア無線局が運用されていないことを確認してください。
2. 万が一、この機器から移動体識別用の構内無線局に対して有害な電波干渉の事例が発生した場合には、速やかに使用周波数を変更するか電波の発射を停止した上、下記連絡先にご連絡いただき、混信回避のための処置など（例えば、パーティションの設置など）についてご相談ください。
3. そのほか、この機器から移動体識別用の特定小電力無線局あるいはアマチュア無線局に対して電波干渉の事例が発生した場合など何かお困りのことが起きたときは、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

◆注意

- 改造されたFOMA端末は絶対に使用しないでください。改造した機器を使用した場合は電波法に抵触します。
  FOMA端末は、電波法に基づく特定無線設備の技術基準適合証明等を受けており、その証として「技適マーク㊜」がFOMA端末の銘版シールに表示されております。
  FOMA端末のネジを外して内部の改造を行った場合、技術基準適合証明等が無効となります。
  技術基準適合証明等が無効となった状態で使用すると、電波法に抵触しますので、絶対に使用されないようにお願いいたします。
- 自動車などを運転中の使用にはご注意ください。
  運転中は、携帯電話を保持して使用すると罰則の対象となります。
  やむを得ず電話を受ける場合は、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。
- Bluetooth機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末のBluetooth機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。
- 無線LAN（WLAN）機能は日本国内で使用してください。
  FOMA端末の無線LAN機能は日本国内での無線規格に準拠し認定を取得しています。
  海外でご使用になると罰せられることがあります。

知的財産権について

◆著作権・肖像権について

お客様が本製品を利用して撮影またはインターネット上のホームページからのダウンロードなどにより取得した文章、画像、音楽、ソフトウェアなど第三者が著作権を有するコンテンツは、私的使用目的の複製や引用など著作権法上認められた場合を除き、著作権者に無断で複製、改変、公衆送信などはできません。
実演や興行、展示物などには、私的使用目的であっても撮影または録音を制限している場合がありますのでご注意ください。
また、お客様が本製品を利用して本人の同意なしに他人の肖像を撮影したり、撮影した他人の肖像を本人の同意なしにインターネット上のホームページに掲載するなどして不特定多数に公開することは、肖像権を侵害するおそれがありますのでお控えください。

◆商標について

本書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。

- 「FOMA」「mova」「ｉモード」「mopera」「mopera U」「WORLD CALL」「WORLD WING」「デュアルネットワーク」「FirstPass」「セキュリティスキャン」「公共モード」「OFFICEED」「IMCS」および「FOMA」ロゴはNTTドコモの商標または登録商標です。

- Microsoft®、Windows®、Windows Mobile®、Windows Vista®、Outlook®、Internet Explorer®、Windows Media®、PowerPoint®、ActiveSync®、Windows Live™は、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- Microsoft Excel、Microsoft Wordは、米国のMicrosoft Corporationの商品名称です。本書ではExcel、Wordのように表記している場合があります。
- 「キャッチホン」は日本電信電話株式会社の登録商標です。
- フリーダイヤルサービス名称とフリーダイヤルロゴマークはNTTコミュニケーションズ株式会社の登録商標です。
- AdobeおよびReaderは、Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国ならびにその他の国における登録商標または商標です。
- QRコードは株式会社デンソーウェーブの登録商標です。
- Bluetooth®とそのロゴマークは、Bluetooth SIG, INC の商標で、株式会社NTTドコモはライセンスを受けて使用しています。
- microSDロゴは商標です。
- ドキュメントビューアはPicsel Technologiesにより実現しています。
  Picsel、Picsel Powered、Picsel Viewer、Picsel File Viewer、Picsel Document Viewer、Picsel PDF ViewerまたPicselキューブロゴはPicsel Technologiesの商標、または登録商標です。
- McAfee®、マカフィー®は米国法人McAfee, Inc.またはその関係会社の米国またはその他の国における登録商標です。
- 「ATOK」は株式会社ジャストシステムの登録商標です。
  「ATOK」は、株式会社ジャストシステムの著作物であり、その他権利は株式会社ジャストシステムおよび各権利者に帰属します。
- T9®およびT9ロゴマークはNuance Communications, Inc.と米国およびその他の国におけるNuance所有法人の登録商標です。
- T9テキストインプットは全世界において特許を取得または申請しております。
- その他、本取扱説明書に記載されている会社名や商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書では各OS（日本語版）を次のように略して表記しています。
  - Windows Vistaは、Windows Vista®（Home Basic、Home Premium、Business、Enterprise、Ultimate）の略です。
  - Windows XPは、Microsoft® Windows® XP Professional operating systemまたはMicrosoft® Windows® XP Home Edition operating systemの略です。
  - Windows 2000は、Microsoft® Windows® 2000 Professional operating systemの略です。

◆その他

- 下記一件または複数の米国特許またはそれに対応する他国の特許権に基づき、QUALCOMM社よりライセンスされています。
  Licensed by QUALCOMM Incorporated under one or more of the following United States Patents and/or their counterparts in other nations;

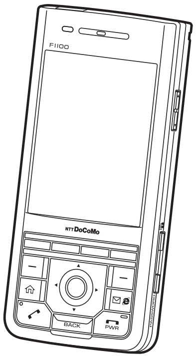
4,901,307	5,504,773	5,109,390	5,535,239
5,267,262	5,600,754	5,416,797	5,490,165
5,101,501	5,511,073	5,267,261	5,568,483
5,414,796	5,659,569	5,056,109	5,506,865
5,228,054	5,544,196	5,337,338	5,657,420
5,710,784	5,778,338		

- 本製品には、株式会社リコーが、リョービイマジクス株式会社の字母をもとに、デザイン制作したHGNUIゴシックTrueTypeフォントが搭載されています。

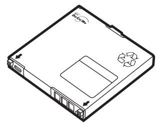
本体付属品および主なオプション品について

〈本体付属品〉

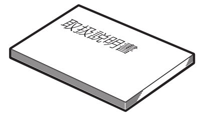
FOMA F1100
（リアカバー F26、保証書含む）



電池パック F10



取扱説明書



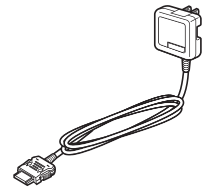
CD-ROM（2枚）

- **FOMA F1100用CD-ROM**
  FOMA F1100でデータ通信をする際に必要なソフトウェアのほか、PDF版「パソコン接続マニュアル」および「区点コード一覧」などを収録しています。

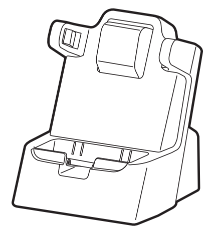
- **お使いになる前にディスク（Getting Started Disc）**
  FOMA F1100のデータをパソコンと同期させるソフトウェア「ActiveSync（Windows 2000、Windows XP用）」と「Windows Mobileデバイスセンター（Windows Vista用）」、これらのソフトウェアをインストールする際に同時にインストールできる「Windows Mobileデバイスハンドブック」を収録しています。

〈主なオプション品〉

FOMA ACアダプタ 01／02
（保証書、取扱説明書付き）



卓上ホルダ F23
（取扱説明書付き）



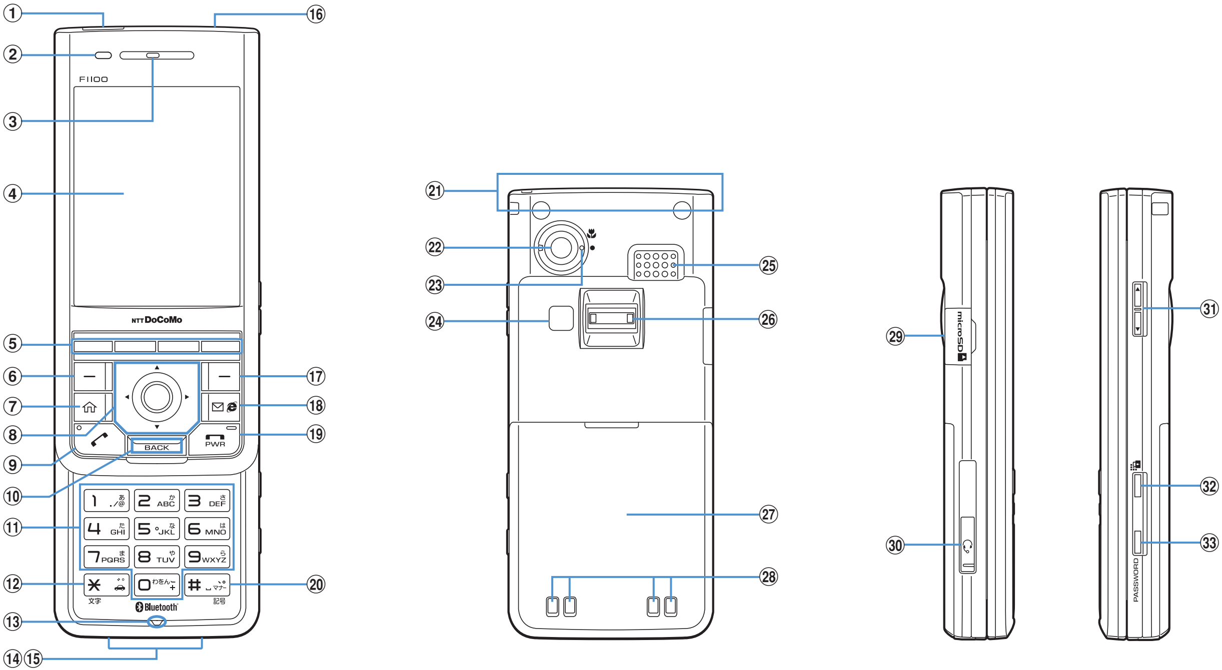
その他のオプション品→P208

ご使用前の確認

各部の名称と機能

ここではF1100の各部の名称と、キーに割り当てられている主な機能の説明をします。

- 本書の操作説明では各キーをここで説明したイラストで表しています。



① **赤外線ポート**→P153
赤外線で送受信
② **ランプ**→P65
電話の着信や通話中、メールの受信時、デバイスロックのオン／オフ、Bluetooth機能起動中などにイルミネーション設定に従って点灯・点滅。また充電中は赤く点灯、充電が完了すると消灯
③ **受話口**
相手の声をここから聞く
④ **ディスプレイ**→P27
⑤ **ワンタッチキー 1～4**→P32、136
⑥ [－] **左ソフトキー**
ガイド表示領域の左側に表示される操作の実行
⑦ [ホーム] **ホームキー**
ホームスクリーンを表示→P32
1秒以上押す：WLAN接続更新
⑧ **マルチカーソルキー**
◉決定キー
操作の実行
↑キー
上方向へカーソル移動
↓キー
下方向へカーソル移動
←キー
左方向へカーソル移動、通話履歴の表示
1秒以上押す：マナーモードのオン／オフ
→キー
右方向へカーソル移動、通話履歴の表示
1秒以上押す：デバイスロックのオン
⑨ [通話] **音声電話開始キー**
電話をかける／受ける
⑩ [BACK] **バックキー**
文字の消去、1つ前の操作画面に戻る
1秒以上押す（ホームスクリーン）：モード設定リンク画面を表示し、セルフモード／通信モード設定／パケット通信モード設定を実行
⑪ [1]～[0] **ダイヤルキー**
電話番号や文字の入力、メニュー項目の実行
1秒以上押す：スピードダイヤルに登録した内容を実行
⑫ [＊] **＊／公共モード（ドライブモード）キー**
「＊」を入力
1秒以上押す：ホームスクリーンのときは公共モードのオン／オフ、文字入力欄にカーソルがあるときは入力モード選択画面の表示
⑬ **送話口／マイク**
自分の声をここから伝える
⑭ **充電端子**
⑮ **外部接続端子**
USBケーブルなど各種オプション品の接続
⑯ **ストラップ取付口**
⑰ [－] **右ソフトキー**
ガイド表示領域の右側に表示される操作の実行
⑱ [メール] **メールキー**
メールメニューの表示
1秒以上押す：Internet Explorer Mobileを起動
⑲ [PWR] **電源／終了キー**
通話の終了、操作中の機能を閉じる
1秒以上押す：電源を入れる
2秒以上押す：電源を切る
⑳ [#] **／マナーモードキー**
「#」を入力
1秒以上押す：マナーモードのオン／オフ
㉑ **FOMAアンテナ**
※ FOMAアンテナは本体に内蔵されています。よりよい条件で通話をするために、アンテナ部を手で覆わないようにしてお使いください。
㉒ **カメラ**
静止画や動画の撮影
㉓ **マクロ（接写）切り替えスイッチ（🌷）**→P89
㉔ **ライト**
カメラ起動時に点灯

㉕ **スピーカー**

着信音やスピーカーフォン機能利用中の相手の声などをここから聞く

㉖ **指紋センサー→P77**

指紋の登録、認証

㉗ **リアカバー**

㉘ **USB通信端子**

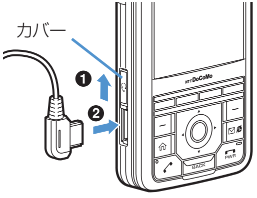
FOMA端末をセットした卓上ホルダとパソコンをUSBケーブルでつないでデータ通信をする際の通信端子

㉙ **microSDメモリーカードスロット→P36**

㉚ **イヤホンマイク端子→P133**

スイッチ付イヤホンマイクの接続方法

カバーを❶の方向へスライドし、別売の平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続します（❷）。



※ プラグは確実に差し込んでください。

※ コードをFOMA端末に巻きつけたり、アンテナ部に近づけないでください。受信レベルが低下したり、ノイズが入る場合があります。

㉛ **サイドキー［▲▼］**

スピーカーやイヤホンから出る音の音量を調整

- プロファイルのシステムサウンドの設定やWindows Media Playerの音量設定などは変更されません。

通話中は受話音量を調整

通話中に［▲］キーを1秒以上押す：音声メモの録音／停止

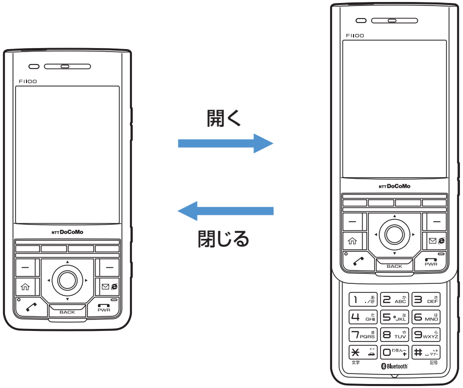
㉜ **[🔒]キーロックキー**

1秒以上押すと、ポケットやバッグに入れてFOMA端末を持ち運ぶ際などに、キーが押されて誤動作しないようにロック

㉝ **[PASSWORD]パスワードマネージャキー→P79**

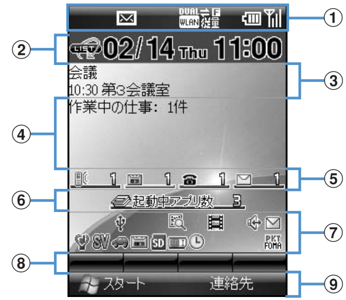
FOMA端末を開く／閉じる

FOMA端末を開くときは、ディスプレイ部分を上にスライドさせてください。閉じるときは逆方向へスライドさせます。



ディスプレイの見かた

ディスプレイに表示されるマーク（アイコン）で現在の状態を確認できます。また、表示されている情報でFOMA端末の登録状況や操作状況を確認できます。ここでは、ホームスクリーンを「情報キャンバス詳細」に設定した画面で説明します。



ホームスクリーン
（情報キャンバス詳細）

① ：Bluetooth機能オン→P156
：FOMA端末のメモリフル→P140
：受信メールあり→P107
：積算通話料金が上限を超過→P143
：プレゼンスの状態通知あり→P173
：OFFICEED圏内→P190
：ハンズフリー対応機器で通信中→P55
：デバイスロック中→P75
：キーロック中→P79
／／／：設定中の通信モード→P44
：外部データ連携中
：セルフモード中→P83

：64Kデータ通信中
：マルチアクセス（FOMAの通話と通信を同時に利用）中
／：FOMAでパケット接続中（定額制／従量制）→P163
：FOMA通話中→P48
：WLAN電話の保留中
：外部機器とUSB接続してパケット通信中
：外部機器とUSB接続してパケット送受信中
：WLAN圏外→P42
：WLAN受信レベル→P42
：バッテリ（電池）残量→P41
：充電中
：FOMA圏外→P42
：FOMA受信レベル→P42
：電話の保留中（FOMA／WLAN）→P49、170
：FOMAカードなし／無効
：FOMAカードに連絡先満杯→P59

② クイックリストと日付時刻→P32
③ 予定表（件名、開始時刻、場所）→P126
④ 仕事（作業中の件数、期限が当日の件数、今日が期限の仕事、期限切れの仕事）→P129
⑤ 新着情報
⑥ タスクマネージャ（起動中のアプリケーションの数）→P33、140
⑦ ／：最新パターンデータの更新推奨／更新完了→P228

：USBケーブルで外部機器と接続中→P158
：バーコードリーダー起動中→P130
：動画・音楽再生中→P94
：スピーカーフォン機能利用中→P49
：FOMAカードにSMS満杯→P114
：未読SMSあり→P107
：マナーモード中→P65、66
：プロファイルをサイレントに設定中→P65
：プロファイルの編集で着信通知の種類を「バイブと着信音」、または「バイブの後に着信音」に設定中→P66
：プロファイルをマナーモード、またはプロファイルの編集で着信通知の種類をバイブ／パルスバイブ／マルチバイブに設定中→P65、66
：公共モード（ドライブモード）中→P56
／：伝言メモ設定中／満杯→P58
：microSDメモリーカードあり
：FOMAカード読み込み中
：アラーム設定中→P135
：未読インスタントメッセージあり→P172
：パケット通信モード（FOMAモード）
：パケット通信モード（WLANモード）

⑧ ワンタッチキー→P32、136
⑨ ガイド表示領域

✔お知らせ

- ホームスクリーン以外の画面では、画面上部に通信モード、電池残量、アンテナ、受信メールありのアイコンが表示されます。
- ホームスクリーンの設定によっては、表示が異なります。
- ホームスクリーンに表示されるアイコンのうち、Windows専用のアイコンの一部については記載を省略しています。

■ ホームスクリーンの種類

ホームスクリーンには次の7種類があり、設定により変更できます。→P67

- 選択したホームスクリーンにより、ホームスクリーン上からの操作が異なります。



情報キャンバス標準（お買い上げ時）



情報キャンバス詳細



Windows シンプル



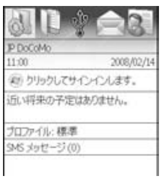
Windows 標準



大きなフォント



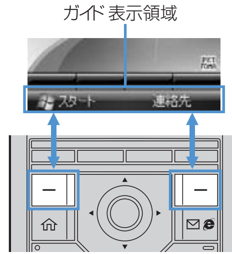
Windows 基本



Windows Live 標準

◆ガイド表示領域の見かた

ガイド表示領域には、[-]、[-]を押して実行できる操作が表示されます。表示される操作は画面によって異なります。表示位置とキーは、次のように対応しています。



◆新着情報を確認する

不在着信、伝言メモ、留守番電話サービスの伝言メッセージ、または未読メールがあるとホームスクリーンに新着情報アイコンが表示され、件数を確認できます。新着情報アイコンにカーソルを合わせて◉を押すと、対応する情報を確認できます。

- 選択したアイコンに対応する画面が表示されます。
  1（不在着信）：通話履歴が表示されます。
  1（伝言メモ）：伝言メモ一覧／音声メモ一覧選択画面が表示されます。
  1（留守番電話サービスの伝言メッセージ）：伝言メッセージ再生確認画面が表示されます。
  1（未読メール）：メールのアカウント一覧が表示されます。

✔お知らせ

- 複数の新着情報がある場合は、新着情報アイコンを選択すると新着情報画面が表示されます。確認する項目を選択すると、対応する画面が表示されます。

メニューから機能を選択する

ホームスクリーンで[－]［スタート］を押すと、スタートメニューが表示されます。

- スタートメニューの各項目に対応したダイヤルキーを押して項目を選択できます（ショートカット）。



スタートメニュー

項　目	概　要	ショートカット
メール	SMSや登録した電子メール、Outlookメールの各種操作、新しい電子メールアカウントの登録	[1]
Internet Explorer	Internet Explorer Mobileのサイト検索画面を表示	[2]
電話	スピードダイヤル、通話履歴、伝言メモ／音声メモ、連絡先（電話帳）	[3]
ビジネスツール	ActiveSync、ドキュメントビューア（Picsel Viewer）、仕事、予定表、コミュニティ（プレゼンス／メッセンジャー）	[4]
マイドキュメント	Guard、My Pictures、Templates、着信音の各フォルダを表示	[5]
生活ツール	Messenger、Windows Live、Windows Media、クイックガイド、バーコードリーダー、ボイスメモ、電卓、ゲーム	[6]
管理	SMS問合せ、USBモード切替、セキュリティスキャン、タスクマネージャ、ファイル エクスプローラ、プログラムの削除、ソフトウェア更新	[7]
画像とビデオ	カメラの起動、画像・ビデオの保存データ閲覧	[8]
設定	各種設定	[9]

✔お知らせ

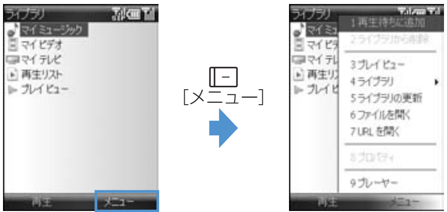
- プログラムを追加インストールするなどしてスタートメニューに2ページ目がある場合は、[－]［次へ］または[#]を押すと2ページ目に切り替えられます。1ページ目に戻るには[*]または[BACK]を押します。
- メニュー項目が1つの画面に収まらない画面では、メニュー項目の最後に「次へ...」が表示されます。「次へ...」にカーソルを合わせて◉を押すか、◎または[#]を押すと、続きのメニュー項目を表示できます。前のメニュー項目に戻るには◎／[*]／[BACK]を押します。
- スタートメニュー以外のメニューでも、項目名の前に番号が割り当てられている場合は、対応するダイヤルキーを押して項目を選択できます。

◆サブメニューの選択方法

ガイド表示領域の右側に「メニュー」と表示される場合は、サブメニューを使ってさまざまな操作ができます。

〈例〉Windows Media Playerのサブメニューを選択する

1 **Windows Media Playerのライブラリ画面で[－]［メニュー］▶項目にカーソルを合わせて◉**



サブメニューあり

- 項目の前に数字が表示されている場合は、対応するダイヤルキーを押しても項目を選択できます。
- サブメニューの項目は、同じ機能でも操作する画面や状況によって、表示が異なる場合や、項目を選択できない場合があります。
- ◉またはBACKを押すと、サブメニューが閉じます。
- サブメニューの項目のうち、項目名が薄くグレーの文字色で表示されているものは、選択しても実行されません。

◆各項目の操作方法

❖設定欄の操作方法

次のような表示の設定欄は、項目にカーソルを合わせ、◎を押すと設定項目の表示を切り替えることができます。◉を押して設定項目の一覧画面で項目を選択しても設定を変更できます。



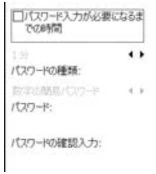
操作手順の表記について

本書では、設定欄の操作手順を次のように表記しています。

表記の例	意味
［(項目名)］または［(項目名)］	2つの項目のどちらかを選択する
項目を選択	複数の項目から選択する
(項目名)、(項目名)、…	

❖チェックボックスの操作方法

チェックボックスの項目は、項目にカーソルを合わせ、◉を押すことで☑(選択)／□(解除)を切り替えられます。



操作手順の表記について

本書では、チェックボックスの操作手順を次のように表記しています。

表記の例	意味
[(項目名)]	□の項目にカーソルを合わせて◉を押し、選択の状態にする
「(項目名)」の選択を外す	☑の項目にカーソルを合わせて◉を押し、解除の状態にする

◆ホームスクリーンですばやく機能を呼び出す

本FOMA端末ではスタートメニューのほか、クイックリストとワンタッチキーを使って、すばやく機能を呼び出せます。

- クイックリストとワンタッチキーは、ホームスクリーンのレイアウトを「情報キャンバス（標準）」または「情報キャンバス（詳細）」にしている場合に表示されます。

■ クイックリスト

ホームスクリーンの「クイックリストと日付時刻」（→P28）にカーソルを合わせて◉を押すと、クイックリストを表示し、プロファイルの設定やマナーモードのオン／オフを設定します。急いでモードの切り替えを行いたいときに使います。

■ ワンタッチキー

ワンタッチキーに機能や連絡先を登録（→P136）しておくと、ホームスクリーンの各ワンタッチキーに、割り当てた機能名や連絡先などの名称が表示されます。ワンタッチキーを押すと、登録した機能を起動できます。

ワンタッチキーには、3つのモードに4つずつ12個の機能や連絡先などを登録できます。Ⓞでホームスクリーンのワンタッチキーを選択して◉を押すと、モードを切り替えて別の機能を割り当てたワンタッチキーを表示・選択できます。



モード1　モード2　モード3

◆複数の機能を起動する

1つの機能を起動中に[⌂]を押し、スタートメニューから他の機能を選択して、複数の機能を同時に起動できます。また、次の操作を行っても、他の機能を起動できます。

[✉e]：メールアカウント一覧画面を表示

[✉e]**（1秒以上）**：ブラウザホームページ画面を表示

ワンタッチキー：登録した機能を起動（ワンタッチキー設定で登録した場合のみ）

- 機能の切り替えや終了の操作は、タスクマネージャから行います。→P33、140

✔お知らせ

- 本FOMA端末では新たに機能を起動しても、起動中の機能は自動的に終了しません（一部の機能を除く）。ただし、FOMA端末のメモリが不足するときは、自動的に機能が終了する場合があります。

◆複数の機能を切り替えながら操作する〈タスクマネージャ〉

機能の起動中に[⌂]を押すと、ホームスクリーンに起動中アプリ数 2（数字は件数）が表示され、起動中アプリ数 2 を選択するとタスクマネージャ画面を表示できます。タスクマネージャ画面には、現在起動している機能の一覧が表示され、機能の切り替えや終了などの操作ができます。→P140



✔お知らせ

- ホームスクリーンのレイアウトを「情報キャンバス標準」または「情報キャンバス詳細」以外に設定している場合は、起動中アプリ数 2 が表示されません。その場合は、メニューからタスクマネージャを起動してください。→P140

FOMAカードを使う

FOMAカード（SIMカード）とは、電話番号などのお客様情報を記録しているICカードです。

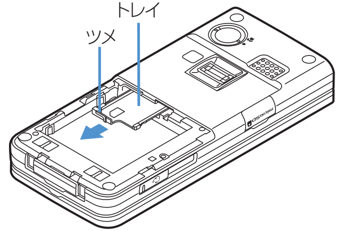
- FOMAカードを正しく取り付けていない場合や、FOMAカードに異常がある場合は、電話の発着信やメールの送受信などはできません。
- FOMAカードの取り扱いについての詳細は、FOMAカードの取扱説明書をご覧ください。

◆取り付けかた／取り外しかた

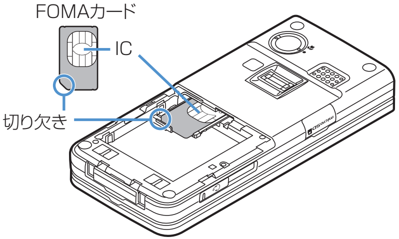
- 電源を切ってからFOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。
- IC部分に触れたり、傷をつけたりしないようにご注意ください。
- リアカバーと電池パックの取り付けかた／取り外しかた→P37

■ 取り付けかた

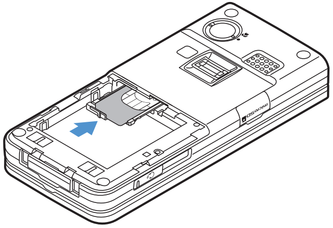
① ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出す



②IC面を上にして、図のような向きでFOMAカードをトレイに載せる

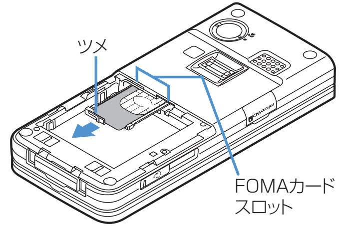


③トレイを奥まで押し込む



■ 取り外しかた

①ツメを引き、「カチッ」と音がするまでトレイを引き出し、FOMAカードを静かに取り外す



✔お知らせ

- FOMAカードを無理に取り付けようとしたり、取り外そうとしたりすると、FOMAカードやトレイが壊れる場合があるため、ご注意ください。
- トレイが外れてしまった場合は、FOMAカードは取り外した状態で、FOMAカードスロット内部のガイドレールに合わせてまっすぐに押し込んでください。

◆FOMAカードの暗証番号について

FOMAカードには、「暗証番号（PIN）」（PIN1コード）、「暗証番号（PIN2）」（PIN2コード）という2つの暗証番号があります。
ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。→P74

◆FOMAカードの機能差分について

FOMA端末でFOMAカード（青色）をご使用になる場合、FOMAカード（緑色／白色）とは次のような違いがありますので、ご注意ください。

項　目	FOMAカード（青色）	FOMAカード（緑色／白色）	参照先
FOMAカードの電話帳（SIMカード連絡先）に登録できる電話番号の桁数	最大20桁	最大26桁	―
FirstPass※を利用するためのユーザ証明書操作	利用不可	利用可	―
WORLD WINGサービス※の利用	利用不可	利用可	―
サービスダイヤル	利用不可	利用可	189

※ 本FOMA端末ではご利用になれません。

WORLD WING

WORLD WINGとは、FOMAカード（緑色／白色）とサービス対応のFOMA端末や海外用携帯電話（WCDMAまたはGSM方式）に差し替えることにより、海外でも同じ携帯電話番号で発信や着信ができる、ドコモのFOMA国際ローミングサービスです。

※ 2005年9月1日以降にFOMAサービスをご契約いただいたお客様は、WORLD WINGのお申し込みは不要です。ただし、FOMAサービスご契約時に不要である旨お申し出いただいたお客様や途中でご解約されたお客様は、再度お申し込みが必要です。

※ 2005年8月31日以前にFOMAサービスをご契約でWORLD WINGをお申し込みいただいていないお客様は、お申し込みが必要です。

※ 一部ご利用になれない料金プランがあります。

※ 万が一、海外でFOMAカード（緑色／白色）の紛失・盗難にあった場合などは、速やかにドコモへご連絡いただき、利用中断の手続きをお取りください。お問い合わせ先については、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」をご覧ください。なお、紛失・盗難された後に発生した通話・通信料もお客様のご負担となりますのでご注意ください。

microSDメモリーカードについて

撮影した静止画や動画、サウンドや音声などのデータをmicroSDメモリーカードに保存できます。また、ActiveSyncなどを使って外部機器で作成した動画をmicroSDメモリーカードに保存してFOMA端末で再生したり（→P94）、パソコンからデータを操作したりできます（→P148）。

- 別途microSDメモリーカードが必要です。お持ちでない場合は、家電量販店などでお買い求めいただけます。
- microSDメモリーカードは、SDメモリーカード規格に準拠したフォーマット（FAT16／FAT32）でお使いください。FAT以外のフォーマットで初期化されたmicroSDメモリーカードは、FOMA端末で利用できません。
- F1100では2GバイトまでのmicroSDメモリーカードに対応しています（2008年2月現在）。
  microSDメモリーカードの製造メーカや容量など、最新の動作確認情報については下記のサイトをご覧ください。また、掲載されているmicroSDメモリーカード以外については、動作しない場合がありますのでご注意ください。
  - パソコンから
    FMWORLD（http://www.fmworld.net/）→携帯電話→microSD対応状況
    なお、掲載されている情報は動作確認の結果であり、すべての動作を保証するものではありませんので、あらかじめご了承ください。

◆microSDメモリーカード使用時の留意事項

- データの保存中や削除中、使用状況確認中は、microSDメモリーカードを取り外したり、電源を切ったり、衝撃を与えたりしないでください。データが壊れる場合があります。
- microSDメモリーカードを取り付けているFOMA端末に落下などの強い衝撃を与えないでください。microSDメモリーカードが飛び出す場合があります。
- microSDメモリーカードにラベルやシールを貼らないでください。

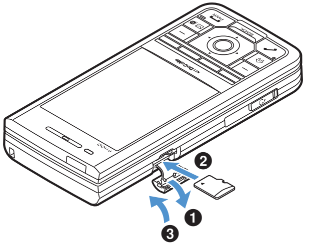
- パソコンなど他の機器で書き込み保護されたmicroSDメモリーカードは、データの保存、削除などができません。
- 他の携帯電話やパソコンなど他の機器からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、本FOMA端末で表示、再生できない場合があります。また、本FOMA端末からmicroSDメモリーカードに保存したデータは、他の機器で表示、再生できない場合があります。
- パソコンからドライブとして認識させることはできません。ただし、ActiveSyncなどを経由して￥マイWindows Mobileデバイス￥Storage Cardとしてアクセスできます。
- 連絡先、予定表などOutlookのデータは、microSDメモリーカードに保存できません。
- microSDメモリーカードによっては、保存した動画に乱れが発生する場合があります。
- microSDメモリーカードに保存されたデータは、バックアップを取るなどして別に保管するようお願いします。万が一、保存されたデータが消失または変化しても、当社としては責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

microSDメモリーカードの取り付けかた／取り外しかた

- 必ず電源を切った状態で行ってください。
- microSDメモリーカードスロットには、microSDメモリーカード以外は挿入しないでください。また、傷や変形、ゴミの付着などがあるmicroSDメモリーカードは取り付けないでください。故障の原因となる場合があります。
- microSDメモリーカードは正しく取り付けてください。正しく取り付けていない状態では、データのコピーやバックアップなどの操作ができません。
- microSDメモリーカードの金属端子部分に触れないようにご注意ください。
- 取り付け／取り外しを行うときに、microSDメモリーカードが飛び出す場合がありますのでご注意ください。

■ 取り付けかた

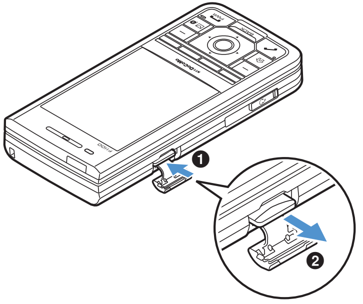
❶の方向にキャップを開き、microSDメモリーカードの印字面を上にしてスロットにゆっくり差し込む（❷）。「カチッ」と音がするまで差し込んだら、❸の方向にキャップを閉じる



■ 取り外しかた

- キャップの開閉方法は取り付けかたと同じです。

microSDメモリーカードの中央を❶の方向に「カチッ」と音がするまで軽く押し、飛び出したmicroSDメモリーカードを❷の方向にまっすぐ引き出す



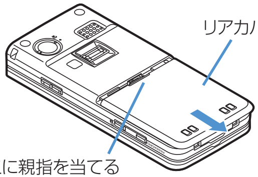
電池パックの取り付けかた／取り外しかた

- 電源を切ってからFOMA端末を閉じた状態で、手に持って行ってください。
- 自動時刻補正設定を「オフ」にして日付・時刻を設定したときは、電池パックを取り外すと日付・時刻が消去される場合があります。

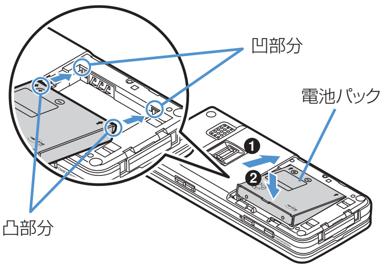
❖取り付けかた／取り外しかた

■ 取り付けかた

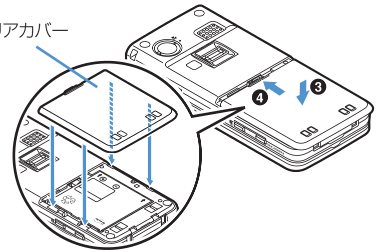
① 親指でリアカバーを押し付けながら、矢印方向に約3mmスライドさせて外す



② 電池パックのラベル面を上にして、電池パックの凸部分をFOMA端末の凹部分に合わせて❶の方向に差し込み、❷の方向に押し付けてはめ込む



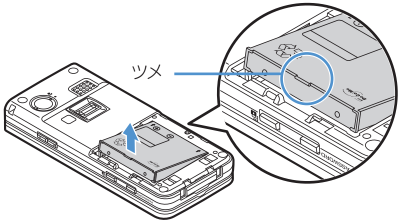
③ リアカバーの4箇所のツメをFOMA端末とリアカバーにすき間が生じないように❸の方向に押さえながら、❹の方向にスライドさせて取り付ける



■ 取り外しかた

① 取り付けかたの操作①を行う

② 電池パックのツメをつまんで、矢印方向に持ち上げて取り外す



✔お知らせ

- 電池パックを無理に取り付けようとすると、FOMA端末の端子が壊れる場合があるため、ご注意ください。
- 上記以外の方法で取り付け／取り外しを行ったり、力を入れすぎたりすると、FOMA端末やリアカバーが破損するおそれがあります。

❖電池パックの上手な使いかた

- **電源を入れたままでの長時間（数日間）充電はおやめください。**
  FOMA端末の電源を入れた状態で充電が完了した後は、FOMA端末は電池パックから電源を供給されます。そのままの状態で長時間置くと、電池パックが消費され、短い時間しか使用できずに電池アラームが鳴ってしまう場合があります。その場合はFOMA端末をACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットして充電し直してください。
- **環境保全のため、不要になった電池はNTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル協力店などにお持ちください。**

Li-ion

FOMA端末を充電する

お買い上げ時は、電池パックは十分に充電されていません。必ず専用のACアダプタまたはDCアダプタで充電してからお使いください。

- F1100の性能を十分に発揮するために、必ず電池パックF10をご利用ください。

❖充電時間（目安）

F1100の電源を切って、電池パックを空の状態から充電したときの時間です。電源を入れたまま充電したり、低温時に充電したりすると、充電時間は長くなります。

ACアダプタ	約150分	DCアダプタ	約150分

❖十分に充電したときの使用時間（目安）

充電のしかたや使用環境によって、使用時間は変動します。

連続待受時間	FOMAシングルモード	静止時：約350時間 移動時：約270時間
	WLANシングルモード	約250時間
	デュアルモード	約170時間
連続通話時間	FOMA通話	約190分
	WLAN通話	約140分 （パワーセーブオフ時） 約140分 （パワーセーブオン （LegacyPS）時） 約270分 （パワーセーブオン （U-APSD）時）

- 連続通話時間は、電波を正常に送受信できる状態での目安です。
- 連続待受時間はF1100を閉じた状態での目安です。なお、電池パックの充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かない、または弱い）などにより、通話や通信、待受の時間は約半分程度になる場合があります。また、通話や通信をしなくても、プログラムの起動やデータ通信、カメラの使用、動画の再生、Windows Media Player 10 Mobileでの曲の再生などを行うと、通話や通信、待受の時間は短くなります。
- WLAN通信時の連続待受時間や連続通話時間は、アクセスポイントの設定や通信状態によって変わることがあります。

❖電池パックの寿命について

- 電池パックは消耗品です。充電を繰り返すごとに、1回で使える時間が次第に短くなっていきます。
- 1回で使える時間がお買い上げ時に比べて半分程度になったら、電池パックの寿命が近づいていますので、早めに交換することをおすすめします。また、電池パックの使用条件により、寿命が近づくにつれて電池パックが膨れる場合がありますが問題ありません。

❖充電について

- 詳しくは、FOMA ACアダプタ 01／02（別売）、FOMA 海外兼用ACアダプタ 01（別売）、FOMA DCアダプタ 01／02（別売）の取扱説明書をご覧ください。
- FOMA ACアダプタ 01はAC100Vのみに対応しています。また、FOMA ACアダプタ 02はAC100Vから240Vまで対応しています。
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01はAC100Vから240Vまで対応していますが、ACアダプタのプラグ形状はAC100V用（国内仕様）です。

✔お知らせ

- 通話中や通信中は充電が完了しない場合があります。また、動画再生中、Windows Media Player 10 Mobile起動中、アプリケーションの動作中などに充電を開始すると、充電が完了しないことがあります。充電を完了させるには、通話や通信などを終了してから充電することをおすすめします。
- 充電中はFOMA端末や電池パック、卓上ホルダ、ACアダプタ、DCアダプタが温かくなる場合がありますが、異常ではありません。ただし、充電中にパケット通信、64Kデータ通信、WLAN通信を行ったりすると、FOMA端末内部の温度が上昇し、充電が正常に終了しない場合があります。また、そのまま使用していると電池を消費し、電池アラームが鳴り、自動的に電源が切れることがあります。これらの場合は、FOMA端末の温度が下がるのを待って充電を行ってください。
- ACアダプタまたは卓上ホルダで充電しているときに、電話／WLAN電話の着信があった場合、ACアダプタを抜くと着信動作に切り替わります。

◆充電する

別売のACアダプタ、DCアダプタ、卓上ホルダを利用するときは、それぞれの取扱説明書もご覧ください。

- 電池パック単体での充電はできません。FOMA端末に電池パックを取り付けて充電します。

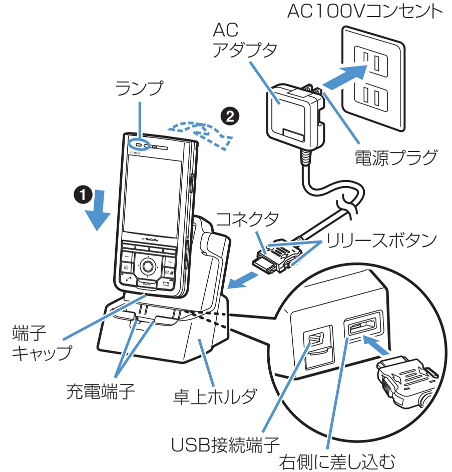
■ 卓上ホルダとACアダプタを使って充電する

① ACアダプタのコネクタを、矢印の表記面を上にして卓上ホルダへ差し込む

② ACアダプタの電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む

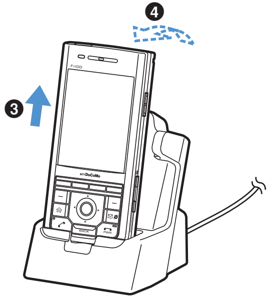
③ FOMA端末を卓上ホルダの充電端子に合わせ、矢印方向（❶）に差し込む

- FOMA端末を閉じて、端子キャップを閉じてから取り付けてください。
- 卓上ホルダにUSB接続して通信しながら充電するときは、❷の方向へ突き当たるまで押し込んでください。
- 充電のみを行うときには、FOMA端末を❷の方向へ押し込む必要はありません。
- 卓上ホルダを使ったパソコンとのUSB接続については、「卓上ホルダでUSB接続する」をご覧ください。→P159



④ 充電が終わったら、卓上ホルダからFOMA端末を矢印方向（❸）に引き抜いて取り外す

- 通信しながら充電していた場合は、卓上ホルダを押さえながら固定されていたFOMA端末を矢印方向（❹）に起こしてから引き抜いてください。



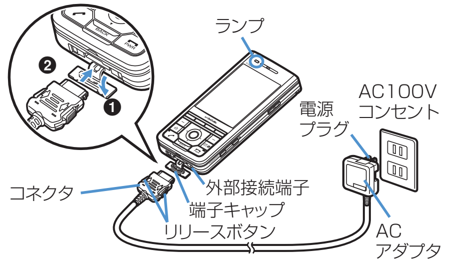
■ ACアダプタまたはDCアダプタで充電する

① FOMA端末の外部接続端子の端子キャップを開き（❶）、コネクタを矢印の表記面を上にして水平に差し込む（❷）

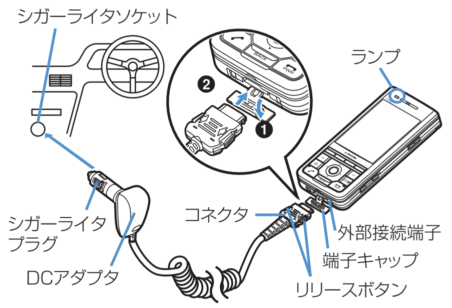
② ACアダプタの場合は、電源プラグを起こし、AC100Vコンセントへ差し込む
DCアダプタの場合は、シガーライタプラグを車のシガーライタソケットへ差し込む

③ 充電が終わったら、ACアダプタの場合は電源プラグをコンセントから、DCアダプタの場合はシガーライタプラグをシガーライタソケットから抜き、コネクタの両側のリリースボタンを押しながら、FOMA端末から水平に引き抜く

〈ACアダプタ〉



〈DCアダプタ〉



✔お知らせ

- ACアダプタやDCアダプタのコネクタを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないようゆっくり確実に行ってください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。

- FOMA端末を使用しないときや車から離れるときは、DCアダプタのシガーライタプラグをシガーライタソケットから外し、FOMA端末からDCアダプタのコネクタを抜いてください。
- DCアダプタのヒューズ（2A）は消耗品です。交換するときは、お近くのカー用品店などでお買い求めください。

❖充電中の動作と留意事項

充電が開始されると充電開始音が鳴り、ランプが点灯し、ディスプレイにが表示されます。充電が終わると、ランプは消灯します。

- 充電開始後、環境によってはランプが点灯しない場合がありますが、故障ではありません。しばらくたっても点灯しない場合は、FOMA端末を一度ACアダプタや卓上ホルダ、DCアダプタから外して、もう一度セットし直してから充電を行ってください。充電開始後、しばらくたっても点灯しない場合は、ドコモショップなどの窓口にお問い合わせください。

電池残量

電池残量の確認のしかた

ディスプレイ上部に表示される電池アイコンで、電池残量の目安が確認できます。

アイコン				
電池残量	レベル3 • 十分残っています。	レベル2 • 少なくなっています。	レベル1 • ほとんどありません。充電してください。	レベル0 • 充電してください。

❖電池が切れそうになると

電池アラームが鳴り、電池残量がない旨のメッセージが表示されます。その後、しばらくして自動的に電源が切れます。充電を開始するとこれらの動作は止まります。

- 待受中は、メッセージの表示とともにスピーカーから電池アラームが聞こえます。その後、しばらくして自動的に電源が切れます。
- FOMAの音声電話で通話中は、電池残量がない旨のメッセージの表示とともに受話口から電池アラームが聞こえます。しばらくすると、通話が切れます。その後、再びメッセージの表示とともにスピーカーから電池アラームが鳴り、しばらくして自動的に電源が切れます。
- WLAN電話で通話中は、電池残量がない旨のメッセージの表示とともに受話口から電池アラームが聞こえます。その後、しばらくして自動的に電源が切れます。
- 電池アラームが鳴ってから通話が切れるまでの時間や自動的に電源が切れるまでの時間は、FOMAの音声電話とWLAN電話の使用状況により異なります。

電源ON／OFF

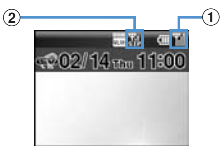
電源を入れる／切る

❖電源を入れる

1 PWR（1秒以上）

起動画面の後、ホームスクリーンが表示されます。

- 初期設定でパスワードの設定を行ったり、前回電源を切る前にデバイスロックを設定していた場合は、電源を入れるとホームスクリーンの左下に「ロックの解除」が表示されますので、ロックを解除してください。また、いずれも設定していない場合は、初期設定画面が表示されます。
- ディスプレイ上部に表示されるアイコンで電波の受信レベルの目安が確認できます。



① FOMA

アイコン	(強→弱の4段階アイコン)	※1
受信レベル	強 ←→ 弱	FOMAサービスエリア外や電波の届かない場所

※1 通信モード設定が「WLANシングルモード」の場合、またはセルフモード中の場合は が表示されます。

② WLAN

アイコン	(強→弱の4段階アイコン)※1	※2
受信レベル	強 ←→ 弱	電波の届かない場所

※1 SIPサーバに接続中は の代わりに で受信レベルを表示します。また、WLAN通信中は ／ 、WLAN電話通話中は で受信レベルを表示します。
※2 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は が表示されます。

✔お知らせ
- すでに無線モードを「IEEE802.11a」に設定してご利用の場合、電源を入れると、接続確認画面が表示されます。[－]［OK］を押して、引き続き「IEEE802.11a」でWLANをご利用になれます。

❖電源を切る

1 [PWR]（2秒以上）

✔お知らせ
- 起動しているアプリケーションの状態によっては、[PWR]を2秒以上押しても電源が切れない場合があります。しばらくしても電源が切れない場合は、再度[PWR]を押し続けてください。再起動した場合は、起動完了後にもう一度電源を切る操作をやり直してください。

初期設定を行う

初回起動時またはデーター括削除後の再起動時は、初期設定画面が表示されます。初期設定画面では自動時刻補正設定、日付／時刻の設定、キーパッド制御（キー確認音）の設定、端末暗証番号（パスワード）の設定を行います。設定した内容を後から変更したり、各設定画面で[－]［キャンセル］を押して、設定を後回しにすることもできます。
設定した内容を変更したい場合は、次の各ページをご覧ください。

- 自動時刻補正設定→P43
- 日付・時刻の設定→P43
- キーパッド制御（キー確認音）の設定→P64
- パスワードの設定（デバイスロックの設定）→P75

1 初期設定画面で[－]［確認］
時刻設定画面が表示されます。

2 [－]［更新］
音設定画面が表示されます。
手動で日付／時刻を設定する：「自動時刻補正」欄にカーソルを合わせて［オフ］▶「日付」欄にカーソルを合わせて日付を入力▶「時刻」欄にカーソルを合わせて時刻を入力▶[－]［更新］

3 「トーン」「クリック」「なし」から選択▶[－]［更新］
パスワードの設定画面が表示されます。

4 ［パスワード入力が必要になるまでの時間］▶時間の設定欄にカーソルを合わせて時間を選択

5 「パスワードの種類」欄にカーソルを合わせて［数字の簡易パスワード］または［強力な英数字のパスワード］

6 パスワードを入力 ▶ パスワードの確認入力 ▶ [-] [完了] ▶ [-] [はい] ▶ [-] [確認]

- パスワードは4～21文字以内で入力します。
- 他人にわかりやすい番号はお避けください。「数字の簡易パスワード」を選択した場合、「1111」や「1234」を端末暗証番号（パスワード）に設定できません。
- 初期設定後にセキュリティスキャンの自動更新設定画面が表示されます。→P231

✔お知らせ

- 企業内で使用される場合、初期設定はネットワーク管理者によって行われている場合があります。初期設定の画面が表示された場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- すべての設定を完了（更新）させると、次回電源を入れたときに初期設定画面は表示されなくなり、パスワード入力画面が表示されるようになります。ただし、次の操作を行った場合は、初期設定画面が表示されます。
  - デバイスロック設定の「パスワード入力が必要になるまでの時間」の選択を外す
  - データ一括削除を実行する

日付／時刻

日付・時刻を設定する

タイムゾーン・日付・時刻などを自分で入力します。

1 [-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [時計とアラーム] ▶ [日付／時刻] ▶ 各項目を設定 ▶ [-] [完了]

タイムゾーン：ホームスクリーンに表示する日付／時刻のタイムゾーンを選択
日付：年月日を入力
時刻：時分秒を入力

自動時刻補正設定

自動で時刻を設定する

時刻が自動補正されるように設定します。自動時刻補正を設定すると、ドコモのネットワーク経由で受信される時刻情報をもとに、時刻が補正されます。

1 [-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [時計とアラーム] ▶ [自動時刻補正設定] ▶ [オン] または [オフ] ▶ [-] [完了]

✔お知らせ

- 「オン」にすると、電源を入れたときなどに時刻の補正を行います。ただし、FOMAカードを取り付けていない場合や電波状態によっては、補正は行われません。
- 「オフ」にすると、次の機能を正しくご利用になれない場合があります。
  - SSL通信（認証）
  - ユーザ証明書の操作
  - 著作権保護により再生制限が設定されているデータのダウンロードおよび再生
  - アラーム、予定表（データ送受信や予定表データの表示含む）
  - Windows Update
  - 送信メール、未送信メール、メール送信履歴の日時
  - ダウンロードしたデータやファイルの保存日時
  - 通話履歴、伝言メモ／音声メモ
  - 静止画や動画、音声ファイル、バーコードリーダーで読み取ったデータのファイル名の日時

2つの通信モードについて

F1100は、FOMAとWLANの2つのネットワークに対応しています。それぞれのネットワークでご利用になれる主な機能は次のとおりです。なお、ドコモのｉモードメールやｉアプリの通信には対応していません。

- FOMAカードを取り付けていない場合、FOMAサービスはご利用になれません。
- 企業のWLAN環境で使用される場合には、ご利用になれる機能が限られている場合があります。

ネットワーク	FOMA	WLAN
利用できる機能	音声電話 SMS→P99 ネットワークサービス インターネット 電子メール など	インターネット→P118 電子メール→P99 メッセンジャー→P172 WLAN電話 プレゼンス→P172 など

◆通信モードを設定する〈通信モード設定〉

FOMA端末を利用する環境や接続するネットワークの電波状態などに応じて、通信モードを設定します。FOMAとWLANのどちらを優先して利用するか（DUALモード）、またはどちらか一方のみを利用するか（シングルモード）、利用シーンに合わせた設定ができます。

1 －［スタート］▶［設定］▶［モード設定］▶［通信モード設定］

通信モード設定画面が表示されます。

- BACK（1秒以上）▶［通信モード設定］と操作しても、通信モード設定画面を表示できます。

2 項目を選択

DUALモード（FOMA優先）：FOMAとWLANの両方が利用可、ただし音声電話はFOMA優先

DUALモード（WLAN優先）：FOMAとWLANの両方が利用可、ただし音声電話はWLAN優先

FOMAシングルモード：FOMAのみ利用可

WLANシングルモード：WLANのみ利用可

✔お知らせ

- 設定した通信モードに合わせて、ホームスクリーンに次のアイコンが表示されます。
  - DUAL FOMA：DUALモード（FOMA優先）
  - DUAL WLAN：DUALモード（WLAN優先）
  - FOMA：FOMAシングルモード
  - WLAN：WLANシングルモード
- 次の場合は通信モードの設定画面を表示できません。
  - 通信中（パソコンと同期中を含む）
  - セルフモード中
  - 外部データ連携中／内部データ処理中
- WLANシングルモードにおいて緊急通報（110番、119番、118番）を行った場合、DUALモード（WLAN優先）に切り替わります。

パケット通信モードについて

音声電話以外のパケット通信について、FOMA／WLANどちらの通信手段を使うかを選択します。通信モードをDUALモードに設定している場合に設定できます。

1 －［スタート］▶［設定］▶［モード設定］▶［パケット通信モード設定］▶項目を選択

パケット通信モード設定画面が表示されます。

- BACK（1秒以上）▶［パケット通信モード設定］と操作しても、パケット通信モード設定画面を表示できます。

FOMAモード：パケット通信をFOMAで実行
WLANモード：パケット通信をWLAN優先で実行
通信モードに合わせる：通信モードに合わせてFOMAモード／WLANモードを自動切替

通信モード	パケット通信モード
DUALモード（FOMA優先）	FOMAモード
DUALモード（WLAN優先）	WLANモード

2 項目を選択

設定しているモードで圏外になった場合の切り替え動作を選択します。
圏外時自動切替なし：モードの自動切替なし
圏外時自動切替あり：設定しているモードが圏外になった場合に他方のモードが圏内であればモードを自動切替

■ 圏外時自動切替ありの場合のパケット通信モード

切替前	状態			
	FOMA圏内／WLAN圏内	FOMA圏外／WLAN圏内	FOMA圏内／WLAN圏外	FOMA圏外／WLAN圏外
FOMAモード	FOMAモード	WLANモード	FOMAモード	FOMAモード
WLANモード	WLANモード	WLANモード	FOMAモード	WLANモード

✔お知らせ

- 現状のパケット通信モードに合わせて、ホームスクリーンにPKT FOMA（FOMAモード）、PKT WLAN（WLANモード）が表示されます。
- アイコンが表示されていない状態で、ブラウザやメールの通信を開始した場合、FOMAモード／WLANモードのどちら側で通信を開始するかは状況により異なります。
- WLANモードであっても、WLAN接続が行われていない場合には、ブラウザやメールの通信開始によりFOMAのパケット接続が行われます。
- FOMAのパケット接続状態においては、パケット通信モードは「FOMAモード」に切り替わります。

発信者番号通知設定

相手に自分の電話番号を通知する

電話をかけたときに、相手の電話機に自分の電話番号（発信者番号）を表示させます。

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。
- 圏外では設定の操作はできません。

1 [−]［スタート］▶［設定］▶［NWサービス］▶［発信者番号通知］▶［発信者番号通知設定］▶［通知する］▶[−]［OK］

- 通知しない場合は、「通知しない」を選択します。

設定内容を確認する：[−]［スタート］▶［設定］▶［NWサービス］▶［発信者番号通知］▶［発信者番号通知設定確認］

✔お知らせ

- 発信者番号通知は、次の方法によっても設定できます。優先順位は次のとおりです。
  ① 相手の電話番号の前に、「186」または「184」をつけて発信した場合 →P51
  ② 発信時に発信オプションで番号通知方法を設定していた場合
  ③ 発信者番号通知設定
- 電話をかけたときに番号通知お願いガイダンスが聞こえたときは、発信者番号を通知する設定にしてからかけ直してください。

自局番号表示

自分の電話番号などを確認する

自局電話番号（ご契約電話番号）や登録した名前、プロファイル名、SIPアドレス、電子メールアドレスなどの自局情報を確認します。

1 [－]［スタート］▶[0]

自局番号表示画面が表示されます。

- プロファイル名は、最後に接続したSIPサーバのプロファイル名が表示されます。
- SIPアドレスには、最後に接続したSIPサーバのアドレスが表示されます。
- FOMAカードが未挿入の場合や適応していないカードを挿入した場合は、正しく表示されません。

◆自局番号表示のサブメニューを利用する

自局番号表示画面で[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

ビーム	自局情報を赤外線通信またはBluetooth機能でFOMA以外の機器へ送信→P157
編集	名前と電子メールアドレスの登録 • 端末暗証番号（パスワード）を設定している場合は、認証操作が必要になります。 • 電子メールアドレス（3件）は、新しいメールアドレスを作成した場合に登録できます。
FOMAへビーム	自局情報を赤外線通信またはBluetooth機能で他のFOMA端末へ送信→P157
SIPアドレス一覧表示	登録されたSIPアドレスの一覧を表示

✔お知らせ

- 編集した名前は、オーナー情報にも反映されます。

オーナー情報

オーナー情報を編集する

自局情報とは別に任意の電話番号（2件）、任意の電子メールアドレス（2件）、郵便番号、住所、誕生日、メモをオーナー情報として編集・保存できます。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［オーナー情報］

オーナー情報画面が表示されます。

2 各項目を設定▶[－]［完了］

✔お知らせ

- 編集した名前は、自局番号表示にも反映されます。
- 入力欄で◉を押すと、システム音が鳴ります。この音を鳴らないようにするには、プロファイルの「システムサウンドの音量」を「オフ」に設定してください。→P66

◆オーナー情報のサブメニューを利用する

オーナー情報画面で[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

ビーム	オーナー情報を赤外線通信またはBluetooth機能でFOMA以外の機器へ送信→P157
FOMAへビーム	オーナー情報を赤外線通信またはBluetooth機能で他のFOMA端末へ送信→P157

電話／連絡先

電話のかけかた

電話の受けかた

電話に出られないとき／その他の通話設定

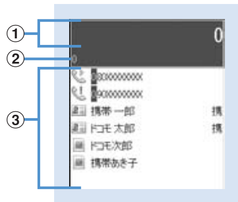
連絡先を使う

電話をかける

ここでは、FOMAの音声電話（以降、電話）の発信方法について説明します。

- 本FOMA端末では、テレビ電話は利用できません。
- 通信モード設定が「WLANシングルモード」の場合は、電話を利用できません。

1 電話番号を入力



電話番号入力画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① **電話番号入力欄**
  ② **検索対象の文字（ひらがな／カタカナ／数字／英字）**
  ダイヤルキーに割り当てられている文字を含む電話番号や名前（フリガナ）が、通話履歴に記録または連絡先に登録されている場合で、検索された名前や電話番号内の検索対象の文字にカーソルが当たっている場合に表示されます。
    - 検索対象の文字に漢字が含まれている場合は、検索対象の文字にカーソルは当たりません。

  ③ **検索された名前／電話番号／スピードダイヤル番号**
  ／／：通話履歴に記録されている電話番号
  ／：連絡先に登録されている名前
  スピードダイヤル番号と名前：入力した1～2桁の数字が、連絡先を登録したスピードダイヤル番号と一致した場合に表示されます。
- 一般電話にかけるときは、同じ市内への通話でも、必ず市外局番からダイヤルしてください。
- 80桁以内で入力します。

電話番号を1桁削除する：[BACK]
電話番号を全桁削除する：[BACK]（1秒以上）

2 [発信]

発信モードの選択画面が表示されます。

- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作4へ進みます。

検索された名前／電話番号に電話をかける：**名前／電話番号を選択▶[発信]**

3 ［FOMA］

接続中画面が表示され、相手が応答すると通話中画面が表示されます。接続中、通話中はが表示されます。

自分の声が相手に聞こえないようにミュート（無音）にする：**通話中に[-]［ミュート］**

ミュート中はが表示されます。

- ミュートを解除するには[-]［ミュート解除］を押します。

4 通話が終わったら[PWR]

- 通話中に他の機能を起動して通話中画面が表示されていない場合でも、[PWR]を押すと電話が切れます。

✔お知らせ

- 相手が話し中のときは話中音が聞こえます。[PWR]を押していったん発信を終了し、しばらくたってからおかけ直しください。
- 番号通知お願いガイダンスが聞こえた場合は、発信者番号を通知する設定にしてからおかけ直しください。

◆通話中に保留にする〈通話中保留〉

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。

- 保留中も発信側に通話料金がかかります。

1 通話中に◉または[通話キー]

保留中は[保留アイコン]が点滅表示されます。相手には保留音が流れます。

保留を解除する：[−]［保留解除］／◉／[通話キー]

◆スピーカーフォン機能を利用する

通話中の相手の声をスピーカーから聞こえるようにします。

1 通話中に[−]［メニュー］▶［スピーカーフォンをオン］

スピーカーフォン機能がオンになり、ホームスクリーンに[スピーカーアイコン]が表示されます。

スピーカーフォン機能をオフにする：**通話中に[−]［メニュー］▶［スピーカーフォンをオフ］**

✔お知らせ

- スピーカーに切り替えると音量が急に大きくなります。FOMA端末を耳から離して使用してください。
- FOMA端末に向かって約50cm以内の距離でお話しください。周囲や相手側の雑音が大きく、スピーカーからの相手の声が聞き取りにくい場合は、スピーカーフォン機能をオフにしてください。
- マナーモード中でも本機能を利用できます。
- 平型スイッチ付イヤホンマイク（別売）や車載ハンズフリーキット01（別売）を接続しているときは、接続した機器を使って音声をやりとりします。

◆電話機能のサブメニューを利用する

電話機能の各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[−]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

切り替え	電話／WLAN電話でマルチ接続中に、通話を保留中の相手に切り替え
スピーカーフォンをオン／スピーカーフォンをオフ	スピーカーフォン機能のオン／オフ→P49
スピードダイヤルを開く	選択している名前がスピードダイヤルに登録されている場合にスピードダイヤルの詳細画面を表示
通話呼切断	WLAN電話でマルチ接続中に通話中の電話を切断し、保留中の相手と通話
通話履歴	通話履歴一覧画面を表示
通話を開く	選択している電話番号が通話履歴に記録されている場合に通話履歴を表示
発信オプション	選択している名前／電話番号への発信方法を設定→P53
ハンズフリーをオンにする／ハンズフリーをオフにする	Bluetoothヘッドセットと接続している場合に、音声の聞こえる位置をBluetoothヘッドセット／FOMA端末に切り替え
表示	電話番号入力画面の表示条件を選択 •「通話と連絡先」は通話履歴と連絡先、「すべての通話」は通話履歴のみ、「スピードダイヤル」はスピードダイヤルに登録した連絡先のみが表示されます。
保留／保留解除	通話中の電話を保留／保留の解除
ミュート／ミュート解除	通話中に自分の声が相手に聞こえないようにミュート（無音）／ミュート（無音）の解除
予定表の表示	予定一覧画面を表示
連絡先	連絡先一覧画面を表示
連絡先に保存	発信中または通話中の相手が連絡先に登録されていない場合に連絡先へ新規／追加登録→P59
連絡先の表示	発信中または通話中の相手が連絡先に登録されている場合に連絡先の詳細画面を表示
連絡先を開く	選択している名前が登録されている連絡先の詳細画面を表示
SMSメッセージの送信	選択している相手へSMSを送信→P111

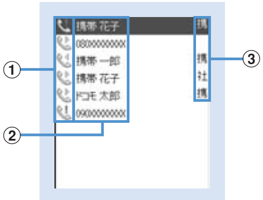
発着信履歴を利用して電話をかける

電話／WLAN電話の発信履歴と着信履歴を記録しておく機能です。

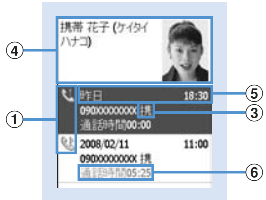
- 最大300件記録されます。

1 ▶ かけ直す相手にカーソルを合わせる

- かけ直す相手を選択すると通話履歴詳細画面が表示されます。



通話履歴一覧画面



通話履歴詳細画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  - ① **履歴の種類**
    : 発信履歴　: 着信履歴　: 不在着信履歴
  - ② **名前※／電話番号**
    - 相手の電話番号が通知されなかった場合は「不明」と表示されます。
  - ③ **番号種別※**
  - ④ **名前（フリガナ）と画像※**
  - ⑤ **発信／着信日時**
    - 当日の場合は「今日」、前日の場合は「昨日」と表示されます。
  - ⑥ **通話時間**
    - 不在着信の場合は「00:00」と表示されます。着信秒数は表示されません。

※ 連絡先に登録している場合に表示されます。

2

発信モードの選択画面が表示されます。

- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作3は不要です。

3 [FOMA]

◆かかってきた電話に出られなかったとき〈不在着信〉

ホームスクリーンに 1（数字は件数）が表示され、通話履歴に不在着信として記録されます。→P29

- 不在着信があると、イルミネーション設定の「不在通知あり」の設定に従ってランプ（ローズ色）が約6秒間隔で点滅します。新着情報を確認すると、点滅は停止します。

✔お知らせ

- 通話履歴一覧画面を表示すると、ホームスクリーンの新着情報表示は消えます。

◆通話履歴のサブメニューを利用する

通話履歴の各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

削除	選択している通話履歴を削除
すべての通話を表示	「通話を開く」を選択していちばん新しい通話履歴を表示している場合に通話履歴詳細画面に戻る
すべての履歴を削除	表示している通話履歴の相手の履歴をすべて削除
通話の削除	選択／表示している通話履歴を削除
通話を開く	表示している通話履歴の相手が連絡先に登録されていない場合にいちばん新しい通話履歴を表示
電子メール	通話履歴の相手が連絡先に登録されている場合に電子メールを送信→P105

発信オプション	選択している通話履歴の相手への発信方法を設定→P53
フィルタ	通話履歴一覧画面の表示条件を選択
履歴をすべて削除	すべての通話履歴を削除
連絡先に保存	選択している通話履歴の相手を連絡先へ新規／追加登録→P59
連絡先の検索	選択している通話履歴の相手が連絡先に登録されている場合に連絡先の詳細画面を表示
連絡先を開く	表示している通話履歴の相手が連絡先に登録されている場合に連絡先の詳細画面を表示
SMSメッセージの送信	選択している通話履歴の相手へSMSを送信→P111

186／184

1回の通話ごとに発信者番号を通知／非通知にする

電話をかけるときに、電話番号の先頭に特定の番号を付加することで、発信者番号を通知または非通知にします。

- 発信者番号はお客様の大切な情報です。発信者番号を通知する際には、十分にご注意ください。

1 **[1][8][6]または[1][8][4] ▶ 電話番号を入力 ▶ [発信]**

発信モードの選択画面が表示されます。

- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作2は不要です。
- 発信者番号を通知する場合は「186」、通知しない場合は「184」を入力します。

2 **[FOMA]**

✔お知らせ

- 国際電話では「186」を付けても、経由する電話会社などにより発信者番号が通知されない場合があります。

スピードダイヤル

スピードダイヤルを利用して発信する

ダイヤルキーに連絡先を登録すると、ホームスクリーンでダイヤルキーを押してすばやく発信できます。

- 本機能を利用するには、あらかじめ連絡先をスピードダイヤルに登録してください。→P135

1 **連絡先を登録したダイヤルキー（1秒以上）**

発信モードの選択画面が表示されます。

- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作2は不要です。
- スピードダイヤル番号が2桁の場合は、2桁目を1秒以上押します。

登録内容を確認してから発信する：

① **連絡先を登録したダイヤルキー**

電話番号入力画面にスピードダイヤル番号と名前が表示されます。

② **確認する名前を選択 ▶ 登録内容を確認したら[発信]**

2 **[FOMA]**

ワンタッチダイヤル

ワンタッチダイヤルを利用して発信する

ワンタッチキーに連絡先を登録すると、ワンタッチキーを押してすばやく発信できます。

- 本機能を利用するには、あらかじめ連絡先をワンタッチキーに登録してください。→P136

1 **連絡先を登録したワンタッチキー**

発信モードの選択画面が表示されます。
- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作2は不要です。

2 **[FOMA]**

連絡先から電話をかける

1 **[−]［連絡先］▶連絡先を検索**

連絡先の検索→P60

2 **電話をかける連絡先にカーソルを合わせて[発信]**

発信モードの選択画面が表示されます。
- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作3は不要です。
- 登録内容の種別を切り替えてから発信する場合は、電話をかける連絡先にカーソルを合わせて[左右キー]を押し、[発信]を押します。
- 連絡先の登録内容を確認してから発信する場合は、電話をかける連絡先を選択し、使用する電話番号にカーソルを合わせて[発信]または[−]［ダイヤル］を押します。

3 **[FOMA]**

プッシュ信号（DTMF）を送出する

FOMA端末からプッシュ信号（DTMF）を送出して、ご自宅の留守番電話の操作や各種のプッシュホンサービスなどを利用できます。また、電話をかけるときにウェイト（w）、ポーズ（p）を入力することにより、番号を区切ってプッシュ信号（DTMF）が送出されます。

◆ウェイト（w）を入力する

ご自宅の留守番電話の操作やチケットの予約などに利用します。ウェイト（w）が入力された箇所で電話番号を区切ってプッシュ信号（DTMF）を送出します。

1 **電話番号を入力▶[＊]（1秒以上）▶送出する番号を入力▶[発信]**

発信モードの選択画面が表示されます。
- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作2は不要です。

2 **[FOMA]**

電話がつながった後に[決定]を押すと、ウェイト（w）以降の番号が送出されます。

◆ポーズ（p）を入力する

外線番号に続けて内線番号を入力するときなどに利用します。外線番号と内線番号の間にポーズ（p）を入力することによって、外線番号に続いて一定の秒数が経過した後に内線番号が発信されます。

1 **電話番号を入力▶[＃]（1秒以上）▶内線番号を入力▶[発信]**

発信モードの選択画面が表示されます。
- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作2は不要です。
- ポーズ（p）は連続して入力できます。
- ポーズ（p）1つにつき、約3秒の間隔をとります。

2 **[FOMA]**

✔お知らせ

- 電話番号に「,」（カンマ）と内線番号を付けて電話をかけた場合は、ポーズ（p）と同様の動作になります。「,」（カンマ）を利用する場合は、連絡先の登録時に直接入力するか、パソコンで登録した連絡先をActiveSyncなどで同期させてください。
- WLAN電話では利用できません。
- 送出したウェイト（w）以降の番号は表示されません。

発信オプション

条件を設定して電話をかける

電話をかけるたびに、発信時の条件を設定します。

1 電話番号を入力▶[−]［メニュー］▶［発信オプション］▶各項目を設定▶[−]［ダイヤル］

発信方法：FOMA、WLAN

番号通知：発信者番号の通知／非通知を設定

- 「指定なし」に設定すると、発信者番号通知設定に従って動作します。

プレフィックス：電話番号の前に付加する番号（プレフィックス）を選択

国際電話発信：国際ダイヤル設定の国際電話設定に登録した国際アクセス番号を付加するかどうかを選択

WORLD CALL

国際電話を利用する

- 「WORLD CALL」はドコモの携帯電話からご利用いただける国際電話サービスです。
- 通話先は世界約240の国と地域です。
- 「WORLD CALL」の料金は毎月のFOMAサービスの通信料金と合わせてご請求します。
- 申込手数料は不要です。また、月額使用料は無料です。

※ FOMAサービスをご契約のお客様は、ご契約時にあわせて「WORLD CALL」もご契約いただいています（ただし、不要のお申し出をされた方を除きます）。

- 一部ご利用になれない料金プランがあります。
- 国際電話ダイヤル手順の変更について
携帯電話などの移動体通信は、電話会社選択サービス「マイライン」のサービス対象外であるため、「WORLD CALL」についても「マイライン」をご利用いただけませんが、「マイライン」の導入に伴い携帯電話などから国際電話をご利用になる場合の入力手順が変更となりました。従来の入力手順（下記入力手順から「010」を除いたもの）ではご利用いただけませんので、ご注意ください。
- 「WORLD CALL」についての詳細は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

※ ドコモ以外の国際電話サービス会社をご利用いただく場合は、各国際電話サービス会社に直接お問い合わせください。

1 [0][0][9][1][3][0]▶[0][1][0]▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[発信]

発信モードの選択画面が表示されます。

- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作2は不要です。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 ［FOMA］

◆「+」を入力して国際電話をかける

「+」を入力すると国際アクセス番号「009130010（WORLD CALL）」に変換されます。

- 「+」の後に日本の国番号「81」を入力して発信した場合は、国際アクセス番号は変換されません。

1 [0]（1秒以上）▶国番号▶地域番号（市外局番）▶電話番号を入力▶[発信]

発信モードの選択画面が表示されます。
- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作2は不要です。
- 0 を1秒以上押すと「+」が入力されます。
- 地域番号（市外局番）が「0」で始まる場合には「0」を除いて入力してください。ただし、イタリアの一般電話などにおかけになる場合は「0」が必要です。

2 [FOMA]

3 [-] [はい]

✔お知らせ
- 発信オプションのプレフィックスや国際電話発信を利用して、国際電話をかけることもできます。

国際ダイヤル設定

国際ダイヤル設定を変更する

「+」を入力して国際アクセス番号を自動変換するかどうかを設定します。また、国際アクセス番号を登録します。
- 国際アクセス番号は最大3件登録できます。

1 **[-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [発着信詳細設定] ▶ [国際ダイヤル設定] ▶ 各項目を設定 ▶ [-] [完了]**

自動付加設定：自動変換するかどうかを設定
国際電話設定：自動変換する国際アクセス番号を選択
国際ダイヤル1名称～国際ダイヤル3名称：国際アクセス番号の名称を入力
- 全角／半角16文字以内で入力します。

国際ダイヤル1番号～国際ダイヤル3番号：国際アクセス番号を入力
- 10桁以内で入力します。

✔お知らせ
- 国際ダイヤル番号に半角数字以外を含めて設定すると、その国際アクセス番号を付加して電話をかけられません。

プレフィックス設定

電話番号の先頭に付加するプレフィックスを設定する

国際アクセス番号など、電話番号の先頭に付加する番号（プレフィックス）をあらかじめ設定できます。
- 最大8件登録できます。

1 **[-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [発着信詳細設定] ▶ [プレフィックス設定] ▶ プレフィックスの入力欄にカーソルを合わせて番号を入力 ▶ [-] [完了]**
- 10桁以内で入力します。

✔お知らせ
- 番号（プレフィックス）に半角数字と「+」「＊」「#」以外を含めて設定すると、そのプレフィックスを付加して電話をかけられません。

サブアドレス設定

サブアドレスを指定して電話をかける

サブアドレスを指定して特定の電話機や通信機器を呼び出すかどうかを設定します。
- サブアドレスとは、同じ電話番号内にある複数の電話機や通信機器の中から、特定の機器を呼び出すときに使う番号です（ISDN回線で、サブアドレスが振られている機器を複数接続している場合など）。

1 [－] [スタート] ▶ [設定] ▶ [発着信・通話設定] ▶ [発着信詳細設定] ▶ [サブアドレス設定] ▶ [オン] または [オフ] ▶ [－] [完了]

✔お知らせ

- サブアドレスを指定して電話をかける場合は、電話番号の後ろに「＊」を入力し、サブアドレスを入力して[通話]を押します。
- 「w」（ウェイト）や「p」（ポーズ）の後ろに「＊」を入力した場合は、サブアドレスの区切りとして認識されません。

車載ハンズフリー

車の中で手を使わずに話す

FOMA端末を車載ハンズフリーキット01（別売）やカーナビなどのハンズフリー対応機器とケーブルまたはBluetooth機能で接続することにより、ハンズフリー対応機器から電話の発着信などの操作ができます。

- ハンズフリー対応機器の操作については、各ハンズフリー対応機器の取扱説明書をご覧ください。なお、ケーブルで接続して車載ハンズフリーキット01（別売）をご利用時には、FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル01（別売）が必要です。
- ハンズフリー対応機器と接続中は、ホームスクリーンに[アイコン]が表示されます。

✔お知らせ

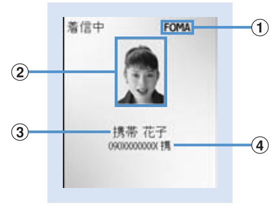
- ハンズフリー対応機器から音を鳴らす設定にしている場合、FOMA端末でのマナーモードや着信音の設定に関わらず、電話がかかってくるとハンズフリー対応機器から着信音が鳴ります。
- 公共モード中の着信動作は、公共モードの設定に従います。
- 伝言メモ設定中の着信動作は、伝言メモの設定に従います。
- Bluetooth接続でBluetooth対応のハンズフリー機器と接続する場合は、接続時に機器登録が必要です。
- WLAN電話では利用できません。
- 車載ハンズフリーキット01（別売）のメモリダイヤル発信機能を利用する場合、SIMカード連絡先に電話番号を登録してください。なお、リモコンの各ボタンを押したときの動作は次のとおりです。
  - 「▲」ボタン：SIMカード連絡先の1件目（最初に登録した電話番号）に発信
  - 「▼」ボタン：SIMカード連絡先の2件目（2番目に登録した電話番号）に発信

※「[ボタン]」ボタンは利用できません。

※ すでにSIMカード連絡先に電話番号が登録されている場合、本機能を使用する際にはSIMカード連絡先に登録している電話番号をすべて削除した後、再度SIMカード連絡先に電話番号を登録してください。

電話を受ける

1 **電話がかかってくる**



着信中画面

- 画面の見かたは次のとおりです。

① **通信種別**
FOMA：電話
WLAN：WLAN電話→P171

② **画像**※

③ **名前**※

④ **電話番号と番号種別**※

※ 連絡先に登録されている場合に表示されます。

着信音／バイブを停止する：サイドキー［▲▼］

2 [－]［応答］または[発信キー]

通話中画面に通話時間が表示されます。

- エニーキーアンサーを設定している場合は、ダイヤルキーなどを押しても電話を受けられます。
- 充電中に電話がかかってきた場合は、卓上ホルダからFOMA端末を取り外すか、ACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末から取り外しても、電話を受けられます。

着信を拒否する：[－]［着信拒否］／[PWR]／[BACK]

3 通話が終わったら[PWR]

エニーキーアンサー設定

ダイヤルキーなどを押して電話に出られるようにする

電話／WLAN電話がかかってきたとき、[発信キー]または[－]［応答］以外に[決定キー]、[方向キー]、[0]～[9]、[*]、[#]を押して電話／WLAN電話に出られるようにするかどうかを設定します。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［エニーキーアンサー設定］▶［着信応答に全てのキーを使用する］▶[－]［完了］

受話音量

通話中に相手の声の音量を調整する

通話中の受話音量（イヤホンの音量）を調整します。

- 0～5の6段階で調整できます。
- 通話中以外は調整できません。なお、調整した受話音量は保持されます。

1 通話中にサイドキー［▲▼］▶[－]［完了］

公共モードを利用する

◆公共モード（ドライブモード）を起動する〈公共モード（ドライブモード）〉

公共モードは、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モードを設定すると、電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような場所（電車、バス、映画館など）にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。

- 公共モードの設定や解除は、ホームスクリーン表示中のみできます。ディスプレイ上部に「圏外」が表示されているときでも可能です。
- 公共モード中でも、通常どおり電話をかけることができます。
- マナーモード中、伝言メモ設定中でも、公共モードが優先されます。
- 公共モード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うと、公共モードは解除されます。

1 [*]（1秒以上）

公共モードが設定され、ホームスクリーンに[車アイコン]が表示されます。

着信時に「ただいま運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

解除する：[*]（1秒以上）

✔お知らせ

- 各種着信音のほか、各種アラーム、バイブ、ランプも動作しません。

❖公共モード（ドライブモード）を起動すると

電話がかかってくると、相手に運転中もしくは携帯電話の利用を控えなければならない場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。お客様のFOMA端末は着信動作を行わず、ホームスクリーンには[不在着信アイコン] 1（数字は件数）が表示され、通話履歴に不在着信として記録されます。

- WLAN電話がかかってきた場合、相手には話中音が流れ、着信が拒否されます。

• 各ネットワークサービスと同時に設定しているときの着信時の動作については、「各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）設定中の着信動作」をご覧ください。

◆公共モード（電源OFF）を設定する〈公共モード（電源OFF）〉

公共モード（電源OFF）は、公共性の高い場所でのマナーを重視した自動応答サービスです。公共モード（電源OFF）を設定すると、電源を切っている間の着信時に、電話をかけてきた相手に電源を切る必要がある場所（病院、飛行機、電車の優先席付近など）にいるため電話に出られない旨のガイダンスが流れ、切断されます。

1 [＊][2][5][2][5][1][発信]

発信モードの選択画面が表示されます。

• 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作2は不要です。

解除する：[＊][2][5][2][5][0][発信]

設定を確認する：[＊][2][5][2][5][9][発信]

2 [FOMA]

公共モード（電源OFF）が設定されます（ホームスクリーン上の変化はありません）。

公共モード（電源OFF）設定後、電源を切っている間の着信時に「ただいま携帯電話の電源を切る必要がある場所にいるため、電話に出られません。のちほどおかけ直しください。」というガイダンスが流れます。

❖公共モード（電源OFF）を設定すると

電話がかかってくると、相手に電源を切る必要がある場所にいる旨のガイダンスが流れ、切断されます。

• 「＊25250」をダイヤルして公共モード（電源OFF）を解除するまで設定は継続されます。電源を入れるだけでは設定は解除されません。
• サービスエリア外または電波が届かない所にいる場合も、公共モード（電源OFF）のガイダンスが流れます。
• WLAN電話がかかってきた場合、相手には話中音が流れ、着信が拒否されます。
• 各ネットワークサービスと同時に設定しているときの着信時の動作については、「各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）設定中の着信動作」をご覧ください。

◆各ネットワークサービスと公共モード（ドライブモード／電源OFF）設定中の着信動作

サービス名	電話を着信したときの動作
留守番電話サービス	相手に公共モードのガイダンスを流した後、留守番電話サービスセンターに接続されます。※
転送でんわサービス	• 相手に公共モードのガイダンスを流した後、転送先に接続されます。※ • 相手に流れる公共モードのガイダンスの有無は、転送でんわサービスの設定に従います。
迷惑電話ストップサービス	• 迷惑電話拒否登録されている電話番号の場合は、相手に接続できなかったことを通知するガイダンスを流した後、通話を終了します。 • それ以外の電話番号の場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。
番号通知お願いサービス	• 相手が電話番号を通知していない場合は、相手に番号通知お願いのガイダンスを流した後、通話を終了します。 • 相手が電話番号を通知している場合は、相手に公共モードのガイダンスを流した後、通話を終了します。

※ 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間を0秒に設定している場合は、公共モードのガイダンスは流れません。

伝言メモ

電話に出られないときに用件を録音する

伝言メモを起動しておくと、電話／WLAN電話に出られないときに応答ガイダンスが流れ、相手の用件が録音されます。

- 最大4件、1件につき約30秒間録音できます。

◆伝言メモの設定をする〈伝言メモ設定〉

伝言メモを起動するかどうかを設定します。また、電話／WLAN電話がかかってきてから応答ガイダンスが流れるまでの応答時間を設定します。

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［伝言メモ設定］▶各項目を設定▶[－]［完了］**

伝言メモが設定され、ホームスクリーンに📼が表示されます。

伝言メモ：伝言メモのオン／オフを設定

応答時間（秒）：応答時間（0～120秒）を選択

✔お知らせ

- 伝言メモが録音されると、ホームスクリーンに📼 1（数字は件数）が表示されます。→P29
- 伝言メモが4件録音されている場合は📼Fullが表示され、応答時間を経過しても伝言メモは動作せず、着信音が鳴り続けます。

◆伝言メモを確認する

1 **[－]［スタート］▶［電話］▶［伝言メモ／音声メモ］▶［伝言メモ一覧］**

伝言メモ一覧画面が表示されます。

2 **伝言メモにカーソルを合わせて[－]［再生］または◉**

◆伝言メモのサブメニューを利用する

伝言メモ一覧画面で[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

一件削除	選択している伝言メモの削除
全件削除	すべての伝言メモの削除
発信	発信者番号を通知してきた伝言メモの相手に電話をかける

音声メモ

通話を録音する

電話／WLAN電話の通話中に相手の声を録音します。

- 最大4件、1件につき約30秒間録音できます。

1 **通話中にサイドキー［▲］（1秒以上）**

録音が開始されます。

- 約25秒経過すると終了予告音（ピピッ）、終了時には終了音（ピーッ）が鳴ります。

録音を途中で停止する：**サイドキー［▲］（1秒以上）**

✔お知らせ

- 電波の状態により、音声メモの録音内容が途切れる場合があります。

◆音声メモを確認する

1 **[－]［スタート］▶［電話］▶［伝言メモ／音声メモ］▶［音声メモ一覧］**

音声メモ一覧画面が表示されます。

2 **音声メモにカーソルを合わせて[－]［再生］または◉**

◆音声メモのサブメニューを利用する

音声メモ一覧画面で[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

一件削除	選択している音声メモの削除
全件削除	すべての音声メモの削除

連絡先

連絡先を利用する

本FOMA端末では、電話番号やメールアドレスなどを、FOMA端末（Outlook連絡先）とFOMAカード（SIMカード連絡先）に登録して利用します。

- ActiveSyncなどを利用すると、FOMA端末に登録している連絡先と、パソコンのOutlookに登録している連絡先を同期させて管理できます。→P148

◆連絡先を登録する

- SIMカード連絡先は、最大50件登録できます。
- SIMカード連絡先には、名前と電話番号のみ登録できます。

1 **[－]［連絡先］▶[－]［新規作成］▶［Outlook連絡先］または［SIMカード連絡先］▶各項目を設定▶[－]［完了］**

✔お知らせ

- お客様のFOMAカードを他のFOMA端末に挿入して、FOMAカード内の連絡先を利用できます。
- Outlook連絡先の画像には、静止画（GIF、JPEG、BMP、PNG、TIFF）のみ設定できます。
- Windows LiveまたはMessengerでサインインを行い、サーバの連絡先をFOMA端末に保存するように設定している場合は、連絡先の種類に「Windows Live」が追加されます。選択すると、Windows Live連絡先を登録できます。
- 通信モード設定が「WLANシングルモード」の場合は、[－]［新規作成］を押すと、Outlook連絡先の登録画面が表示されます。ただし、Windows Live連絡先を利用できる場合は、連絡先の種類（「Outlook連絡先」または「Windows Live」）の選択画面が表示されます。
- FOMAカードに保存した連絡先が最大件数になると、ホームスクリーンに[!]が表示されます。別の連絡先を登録する場合は、FOMAカード内の連絡先を削除してください。
- 入力欄で◉を押すと、システム音が鳴ります。この音を鳴らさないようにするには、プロファイルの「システムサウンドの音量」を「オフ」に設定してください。→P66

◆他の機能に表示／記録されている情報を連絡先に登録する

電話番号入力画面に入力した電話番号や通話履歴に記録された電話番号、受信した電子メールのメールアドレスなどを、Outlook連絡先に新規登録または追加登録します。

- バーコードリーダーの読み取りデータから操作することもできます。→P131

〈例〉電話番号入力画面から電話番号を追加登録する

1 **電話番号を入力▶[－]［保存］**

連絡先の選択画面が表示されます。

通話履歴の電話番号を登録する：◎▶登録する通話履歴にカーソルを合わせて[－]［保存］

メールアドレスを登録する：メール一覧画面で電子メールを選択▶送信者（メールアドレス）または「CC:」の宛先を選択▶[－]［保存］

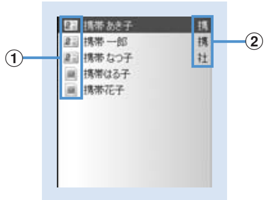
SMSの送信相手の電話番号を登録する：SMS一覧画面で宛先が電話番号のSMSを選択▶電話番号を選択▶[－]［はい］

2 **追加登録する連絡先を選択▶各項目を設定▶[－]［保存］**

新規登録する：［〈新しい連絡先〉］▶各項目を設定▶[－]［保存］

◆連絡先を検索・確認する

1 [－]［連絡先］



連絡先一覧画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① **登録先種別アイコン**
  : Outlook連絡先　: SIMカード連絡先
  : Windows Live連絡先※1　: Windows Live連絡先※2
  ※1 Windows Live または Messenger でサインインを行い、サーバの連絡先を FOMA 端末に保存するように設定している場合に表示されます。
  ※2 サブメニューの「Windows Live に追加」で追加した連絡先に表示されます。
  ② **登録内容の種別**

2 **確認する連絡先を選択**

連絡先の詳細画面が表示されます。

- 連絡先の相手との通話履歴が記録されている場合は、前回の通話履歴も表示されます。

フリガナ／名前で検索する：[0]～[9]、[✱]、[#]

- 登録内容のフリガナ（Outlook連絡先の場合）や名前（SIMカード連絡先の場合）を対象に、ダイヤルキーに割り振られたかなや記号で検索します。

50音で検索する：◎（2秒以上）

見出しボックスが表示され、◎を押し続けている間は英字→50音（昇順）→数字、◎を押し続けている間は英字→数字→50音（降順）の順に見出しが切り替わります。目的の見出しが表示されたときに◎を離すと、その見出し（行または英数字）で始まるフリガナ（姓）が登録された連絡先にカーソルが当たります。

絞り込む：[－]［メニュー］▶［表示方法］または［フィルタ］▶項目を選択

- 表示条件により連絡先を絞り込みます。

✔お知らせ

- 本FOMA端末では、他のFOMA端末を使ってFOMAカードに登録した連絡先を表示しても、名前と電話番号のみが表示されます。

◆連絡先のサブメニューを利用する

連絡先の各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

ウェイトの挿入	電話番号に「w」（→P52）を挿入
画像の削除	登録している画像を連絡先から削除
スピードダイヤルに追加／スピードダイヤルの編集	選択している登録内容がスピードダイヤルに登録されていない場合にスピードダイヤルに追加／選択している登録内容がスピードダイヤルに登録されている場合にスピードダイヤルの編集
すべての通話を表示	表示している連絡先の相手との通話履歴が記録されている場合に、通話履歴詳細画面を表示
登録件数確認	Outlook連絡先とSIMカード連絡先に登録されている連絡先の件数を確認
発信オプション	選択している連絡先の電話番号への発信方法を設定→P53
表示方法	連絡先一覧画面の表示方法を選択
フィルタ	連絡先一覧画面の表示条件を選択
編集	選択／表示している連絡先の登録内容の修正

ポーズの挿入	電話番号に「p」（→P52）を挿入
連絡先に保存	表示しているSIMカード連絡先の電話番号をOutlook連絡先に保存
連絡先のコピー	選択している連絡先をFOMA端末にコピー
連絡先の削除	選択／表示している連絡先を削除
連絡先の送信	**ビーム**：選択／表示している連絡先を赤外線通信またはBluetooth機能でFOMA以外の機器へ送信→P157
FOMAへビーム	表示している連絡先を赤外線通信またはBluetooth機能で他のFOMA端末へ送信→P157
Messengerに追加	選択／表示しているが表示されたWindows Live連絡先の電子メールアドレスを、Messengerのメンバーリストに追加
SIMカードに保存	選択しているOutlook連絡先の電話番号をSIMカード連絡先へ保存
SIMカード連絡先の削除	表示しているSIMカード連絡先を削除
SMSメッセージの送信	選択している連絡先の電話番号へSMSを送信→P111
Windows Liveに追加	選択／表示しているOutlook連絡先またはSIMカード連絡先をWindows Live連絡先にコピー • FOMA端末とサーバのWindows Live連絡先にコピーする場合は「連絡先の一覧とMessenger」、FOMA端末のWindows Live連絡先にのみコピーする場合は「連絡先の一覧のみ」を選択します。

✔お知らせ

- 登録件数確認で表示できるOutlook連絡先／SIMカード連絡先の表示可能件数は9999／999件です（SIMカード連絡先に登録できる件数は最大50件です）。表示可能件数を超える場合は、件数が赤色で表示されます。

音／画面／照明設定

着信を音で知らせる

電話やWLAN電話の着信音、電子メールやSMSの受信音、警告メッセージやアラームの音を設定します。

1 **[メニュー] [スタート] ▶ [設定] ▶ [音・バイブ設定] ▶ 各項目を設定 ▶ [メニュー] [完了]**

着信音：電話の着信音の種類
WLAN電話（内線）：WLAN電話（内線）着信音の種類
WLAN電話（外線）：WLAN電話（外線）着信音の種類
WLAN電話（専用線）：WLAN電話（専用線）着信音の種類
新しい電子メール：電子メール受信音の種類
新しいSMSメッセージ：SMS受信音の種類
新しいボイスメッセージ：留守番電話の伝言メッセージが録音されたときに鳴る通知音の種類
アラーム（時計）：アラームでセットした時間に鳴るアラーム音の種類
アラーム（Outlook）：仕事や予定表でセットした時間に鳴るアラーム音の種類
メッセージ（問い合わせ）：確認メッセージ画面の音の種類
メッセージ（警告）：情報、通知、エラーメッセージ画面等の音の種類
IM着信音：インスタントメッセージの受信音を鳴らす／鳴らさない
IMバイブ：インスタントメッセージ受信時のバイブのオン／オフ
プレゼンス状態通知着信音：プレゼンス状態の通知音を鳴らす／鳴らさない
プレゼンス状態通知バイブ：プレゼンス状態通知時のバイブのオン／オフ
キーパッド制御：トーン、クリック、なし

- トーンを選択すると、通常の操作ではキー操作音は鳴らずに、電話番号入力画面のときにだけ鳴ります。クリックを選択すると、通常の操作でクリック音が鳴りますが、電話番号入力画面では、「トーン」と同じ操作音が鳴ります。

音を確認する：音にカーソルを合わせて[メニュー] [メニュー] ▶ [再生]
音が1回再生されます。

- IM着信音・バイブ、プレゼンス状態通知着信音・バイブ、キーパッド制御は再生できません。

音を削除する：[メニュー] [メニュー] ▶ [サウンドの削除] ▶ 削除する音を選択 ▶ [メニュー] [はい]

- お買い上げの後に追加した音（音楽）だけ、削除することができます。

✔お知らせ

- 着信音やアラームなどの音量や通知動作は、プロファイルの編集で変更できます。→P66
- 自分の好きな音を設定する場合は、本体、またはmicroSDメモリーカードに保存しておきます。保存した音は選択一覧に表示されます。ただし、着信音やWLAN電話は、My Documents直下、着信音フォルダ内、microSDメモリーカード直下、microSDメモリーカードに作成した「着信音」フォルダ内に保存します。着信音以外の音はMy Documents直下かmicroSDメモリーカード直下に保存します。「着信音」フォルダに保存しても選択一覧に表示されませんのでご注意ください。
- 音を削除すると、本体またはmicroSDメモリーカード内に保存していたファイルが削除されますので、ご注意ください。
- 新しい電子メール、新しいSMSメッセージ、新しいボイスメッセージ、メッセージ（問い合わせ）、メッセージ（警告）に設定した音は、それぞれの動作が重なった場合、音も重複して鳴ります。また、一度鳴り出した音は途中で止めることができません。初期設定のまま、または短めの音を設定することをおすすめします。鳴り出した音を止めるには、電源を切ってください。

イルミネーション設定

イルミネーションを設定する

電話の着信時やメールの受信時など、FOMA端末のイルミネーションの動作を設定します。

- 公共モード（ドライブモード）に設定していると、イルミネーションは点灯しません。

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［イルミネーション設定］▶各項目を設定▶[－]［完了］**

電話着信：電話着信時のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー
WLAN電話着信（内線）：WLAN電話（内線）着信時のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー
WLAN電話着信（外線）：WLAN電話（外線）着信時のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー
WLAN電話着信（専用線）：WLAN電話（専用線）着信時のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー
WLAN電話着信（特殊）：WLAN電話（特殊）着信時のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー
メール着信：メール受信時のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー、時間
IM着信：インスタントメッセージ受信時のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー
プレゼンス状態通知：プレゼンスの状態通知受信時のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー
通話中：通話中のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー
通話保留中：通話保留中のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー
アラーム：アラーム鳴動時のイルミネーションのオン／オフ、パターン、カラー
Bluetooth起動中：Bluetooth機能起動中のイルミネーションのオン／オフ
Bluetoothデータ転送中：Bluetooth機能でデータ転送中のイルミネーションのオン／オフ
デバイスロックオン／オフ：デバイスロック設定時のイルミネーションのオン／オフ
キーロックオン／オフ：キーロック設定時のイルミネーションのオン／オフ
WLAN通信時：WLAN通信中のイルミネーションのオン／オフ
不在通知あり：不在着信があるときのイルミネーションのオン／オフ
不在メールあり：未読メールがあるときのイルミネーションのオン／オフ
伝言メモあり：伝言メモがあるときのイルミネーションのオン／オフ

プロファイル

プロファイル（着信通知の種類や音量・バイブ）を設定する

着信通知や各種アラーム、各種通知の動作を、使用状況に合わせた5つのプロファイル（標準、サイレント、バイブ、アウトドア、マナーモード）から選択して設定します。

- 各プロファイルの設定内容は変更できます。

◆プロファイルを選択する

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［モード設定］▶［プロファイル］**

プロファイル画面が表示されます。

- 選択されているプロファイルに✓が表示されています。

2 **プロファイルを選択▶[－]［完了］**

標準：通常使用するプロファイル
サイレント：比較的静かな場所で使用するプロファイル
バイブ：バイブで通知する場合に使用するプロファイル

アウトドア：外で使用するプロファイル
自動切替：（現在、この機能はご使用になれません。）
マナーモード：電車やバスの中で使用するプロファイル
- マナーモードにすると、ホームスクリーンにが表示されます。

✔お知らせ
- 設定したプロファイルはクイックリストで切り替えることもできます。→ P32

◆プロファイルを編集する

1 **[スタート]▶[設定]▶[モード設定]▶[プロファイル]▶変更するプロファイルにカーソルを合わせて[メニュー]▶[編集]▶各項目を設定▶[完了]**

名前：プロファイルの名称を変更
着信通知の種類：着信があったときの通知動作
- 「バイブの後に着信音」または「バイブと着信音」に設定すると、ホームスクリーンにが表示されます。
- 「サイレント」を設定した場合は、[着信音の音量]が「オフ」以外でも、着信音は鳴らないでが表示されます。

着信音の音量：「着信通知の種類」で着信音を鳴らすように設定したときの音量
- [着信通知の種類]を「着信音」、「着信音を一度だけ鳴らす」、「音量を上げる」、「バイブの後に着信音」、「バイブと着信音」のいずれかに設定している場合で[着信音の音量]が「オフ」のときは、着信音は鳴らないでが表示されます。
- [着信通知の種類]を「バイブ」、「パルスバイブ」、「マルチバイブ」のいずれかに設定している場合は、[着信音の音量]に関係なく、着信音は鳴らないでが表示されます。

アラーム（時計）の種類：アラームで指定した時刻になったときの通知動作
アラーム（時計）の音量：「アラーム（時計）の種類」でアラームを鳴らすように設定したときの音量
アラーム（Outlook）の種類：仕事や予定表で指定した時刻になったときの通知動作
アラーム（Outlook）の音量：「アラーム（Outlook）の種類」でサウンドを再生するように設定したときの音量
通知の種類：各種通知があったときの通知動作
通知の音量：「通知の種類」でサウンドを再生するように設定したときの音量
システムサウンドの音量：上記以外の音の音量
プロファイルをお買い上げ時の設定に戻す：**元に戻すプロファイルにカーソルを合わせて[メニュー]▶[既定にリセット]**

マナーモード

電話から鳴る音を消す

周囲に迷惑がかからないように着信やアラーム、各種通知を振動で知らせて、FOMA端末からの音を鳴らさないように設定します。

1 **（1秒以上）または（1秒以上）**

マナーモードが設定されます。
マナーモードを解除する：**（1秒以上）または（1秒以上）**

✔お知らせ
- マナーモード中でも次の音は鳴ります。
  - カメラのシャッター音やビデオの開始音と終了音
  - Windows Mediaの再生音
  - ゲームなどのプログラムから発生する音
  - ボイスメモの再生音

通話保留音設定

通話保留音を設定する

1 **[スタート]▶[設定]▶[発着信・通話設定]▶[通話保留音設定]▶通話保留音を選択▶[完了]**

ノイズキャンセラ

周囲の騒音を抑えて通話を明瞭にする

通話中の周囲の騒音を抑える機能（ノイズキャンセラ）を設定することにより、自分の声と相手の声を明瞭にして通話できます。

- 通常は、「オン」にした状態で使用することをおすすめします。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［通話詳細設定］▶［ノイズキャンセラ］▶［オン］または［オフ］▶[−]［完了］**

通話品質アラーム（FOMA）／通話品質アラーム（WLAN）

通話が切れそうなときにアラームで知らせる

電話／WLAN電話の通話状態が悪く、途中で通話が途切れる可能性のある場合、直前にアラームを鳴らして知らせるかどうかを設定します。

- 急に通話状態が悪くなった場合は、アラームが鳴らずに通話が切れることがあります。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［通話詳細設定］▶［通話品質アラーム（FOMA）］または［通話品質アラーム（WLAN）］▶アラームを選択▶[−]［完了］**

再接続アラーム（FOMA）

途切れた通話を再接続するときのアラームを設定する

トンネルやビルの陰などで電波状態が悪くて途切れた電話を、電波状態がよくなったときに再接続する際のアラームを設定します。

- 電波が途切れている間は、相手は無音状態となります。
- 利用状態や電波状態により、再接続されるまでの時間は異なります。目安は最長10秒間です。
- 再接続されるまでの時間（最長10秒間）も通話料金がかかります。
- 利用状態や電波状態により、アラームが鳴らずに通話が切れる場合があります。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［通話詳細設定］▶［再接続アラーム（FOMA）］▶アラームを選択▶[−]［完了］**

受信レベル低下通知（WLAN）

受信レベルの低下をアラームで知らせる

WLAN電話で通話中にWLANネットワークの電波状態が悪くなったときにアラームを鳴らして知らせるかどうかを設定します。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［通話詳細設定］▶［受信レベル低下通知（WLAN）］▶アラームを選択▶[−]［完了］**

ホームスクリーン

画面のデザインを変更する

ホームスクリーンのデザインを7種類のレイアウトから選んで設定します。また、画面の配色や背景イメージを変更したり、自動的にホームスクリーンに戻る時間（タイムアウト）を設定したりできます。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［ホームスクリーン］▶各項目を設定▶[−]［完了］**

ホーム画面のレイアウト：Windowsシンプル、Windows標準、大きなフォント、Windows基本、情報キャンバス標準、情報キャンバス詳細、Windows Live標準から選択→P29

- 「情報キャンバス詳細」、「情報キャンバス標準」以外に設定すると、ホームスクリーンに 起動中アプリ数 2（数字は件数）が表示されません。起動中の機能を切り替えたり終了したりするには、[−]［スタート］▶［管理］▶［タスクマネージャ］を選択してください。→P140

配色：画面の配色を設定
- すべての画面配色が設定色になります。

背景イメージ：ホームスクリーンの背景に表示する画像を設定
- 背景イメージの画像を透過して使用したい場合は、「画像とビデオ」フォルダ内の画像ファイルを選択して、背景イメージに設定します。→P93
- 「My Documents」フォルダ直下および「My Pictures」フォルダ直下に保存されている画像ファイル（JPEGまたはBMP）がすべて表示されます。

タイムアウト：何も操作をしない場合にホームスクリーンに戻るまでの時間を設定

✔お知らせ
- タイムアウトとデバイスロックを両方設定している場合、デバイスロックが優先されます。
- Windows Liveをホームスクリーンに表示するように設定すると、「ホーム画面のレイアウト」に「Windows Live」が追加されます。→P122

省電力設定

省電力モードで使う

現在の電池残量の確認、およびバックライトやディスプレイの消灯時間、照明の点灯範囲、ディスプレイの明るさの設定を行います。

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［省電力設定］▶各項目を設定▶[－]［完了］**

メインバッテリ：現在の電池残量（目安）
バッテリのバックライトタイムアウト：バックライトの消灯時間
ACのバックライトタイムアウト：充電中のバックライトの消灯時間
画面のタイムアウト：ディスプレイの消灯時間
- ディスプレイが消灯しているときに、スライドして開くかいずれかのキーを押すと、ディスプレイは点灯します。このとき、[PWR]以外のキー操作は無効です。ただし、[PWR]を押してディスプレイを点灯させると、通話が切れたり、パケット通信が切断したりしますのでご注意ください。

照明範囲：ディスプレイ＋キー、ディスプレイ
ディスプレイの明るさ：低輝度、標準、高輝度

表示設定

FOMA端末の画面表示を設定する

日付・時刻や通貨の表示形式、およびフォントを設定します。

◆言語・日付・時刻・数値・通貨の表示形式を設定する〈地域〉

使用する言語と地域を設定します。同時に言語ごとの日付・時刻・数値・通貨の表示形式を設定します。
- 言語を「US English」、地域を英語圏以外に設定すると、その国で標準的に使用している日付や通貨の表示形式になります。

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［表示設定］▶［地域］▶各項目を設定▶[－]［完了］**

言語：日本語、US English
- 英語圏以外の地域の場合も、「US English」を選択してください。

地域：現在地の地域
短い日付の形式：日付の省略表記の表示形式
長い日付の形式：日付の表示形式
時刻の形式：時間の表示形式
正の値：正の整数の表示形式（小数点の記号、小数点以下の桁数、桁区切り記号、負の値の表記）
- 正の値を設定すると、「負の値」にも反映されます。

負の値：負の整数の表示形式（小数点の記号、小数点以下の桁数、桁区切り記号、負の値の表記）
- 負の値を設定すると、「正の値」にも反映されます。

正の通貨：正の通貨の表示形式（通貨記号、記号の位置、小数点の記号、小数点以下の桁数、桁区切り記号、負の値の表記）
- 正の通貨を設定すると、「負の通貨」にも反映されます。

負の通貨：負の通貨の表示形式（通貨記号、記号の位置、小数点の記号、小数点以下の桁数、桁区切り記号、負の値の表記）
- 負の通貨を設定すると、「正の通貨」にも反映されます。

✔お知らせ
- 言語または地域を変更したときは、FOMA端末を再起動してください。

◆フォントを変える〈フォント選択〉

FOMA端末に表示されるフォントの種類を変更します。フォントには、太字と細字の2種類が用意されています。
- フォントを変更した後、FOMA端末を再起動するまで有効になりません。フォントを変更した場合は、必ず再起動してください。
- ［地域］▶［言語］を「US English」（英語環境）に設定している場合、フォント選択の設定内容は有効になりません。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［表示設定］▶［フォント選択］▶［太い（HGNUIゴシック）］または［細い（MS UI Gothic）］▶[−]［完了］▶[−]［OK］**

あんしん設定

FOMA端末で利用する暗証番号について

FOMA端末を便利にお使いいただくための各種機能には、暗証番号が必要な場合があります。暗証番号には、各種端末操作用の端末暗証番号（パスワード）の他、WLAN（無線LAN）のネットワーク管理者の認証などで使用するWLAN暗証番号、ネットワークサービスで使用するネットワーク暗証番号などがあります。暗証番号は用途ごとに上手に使い分けてご利用ください。

- 入力した暗証番号は、「＊」で表示されます。
- 端末暗証番号（パスワード）は、指紋認証を併用できます。
- 端末暗証番号（パスワード）が未設定の場合、次の機能が利用できなくなります。安全のため、端末暗証番号（パスワード）を設定することをおすすめします。
  - デバイスロック
  - 遠隔ダイヤルロック
  - 開閉ロック設定
  - 指紋登録

各種暗証番号に関するご注意

- 設定する暗証番号は「生年月日」「電話番号の一部」「所在地番号や部屋番号」などの他人にわかりやすい番号はお避けください。本FOMA端末では、「1111」や「1234」は端末暗証番号（パスワード）に使えません。また、設定した暗証番号はメモを取るなどしてお忘れにならないようお気をつけください。
- 暗証番号は、他人に知られないように十分ご注意ください。万が一暗証番号が他人に知られ悪用された場合、その損害については、当社は一切の責任を負いかねます。
- ドコモからお客様の暗証番号をうかがうことは一切ございません。
- 各種暗証番号を忘れてしまった場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。詳細は取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までご相談ください。端末暗証番号、WLAN暗証番号は、「データ一括削除」を実行して暗証番号を再設定してください。→P145

❖端末暗証番号（パスワード）

FOMA端末には、設定や解除の際に端末暗証番号の入力が必要な機能があります。お買い上げ時には端末暗証番号は設定されていません。「初期設定」で設定するか、または「デバイスロックの設定」でお客様ご自身が番号を設定・変更できます。→P75

- 端末暗証番号入力画面で誤った端末暗証番号を連続4回入力すると、電源が切れます。誤った端末暗証番号を入力した累積回数は、正しい端末暗証番号を入力するとクリアされます。
- 指紋認証が「有効」の場合は、端末暗証番号を入力する代わりに指紋認証画面が表示されますが、[－]［暗証番号］またはダイヤルキーを押して端末暗証番号入力画面に切り替えることもできます。
- 「データ一括削除」を実行して、初期設定画面から新たに端末暗証番号を設定し直すことができます。→P145
- 端末暗証番号が未設定の場合、パスワード設定、遠隔ダイヤルロック、指紋設定、パスワードマネージャ設定、連絡先登録外着信拒否、通話料金設定、データ一括削除については暗証番号なしに実行されますので、端末暗証番号を設定することをおすすめします。

❖WLAN暗証番号

WLAN暗証番号は、WLANの設定や確認を行う際にWLANネットワークの利用者であることを確認するために入力する4～40文字の暗証番号です。WLAN暗証番号は、お客様ご自身で変更できます（→P169）が、WLANネットワークによっては変更できない場合があります。
端末暗証番号（パスワード）が設定されていない場合、WLAN暗証番号を連続して間違えた累積回数は、認証操作を必要とする操作を行った際にクリアされます。

- 「データ一括削除」を実行すると、変更したWLAN暗証番号はお買い上げ時の状態に戻ります。

❖ネットワーク暗証番号

ドコモの各種ネットワークサービスご利用時にお使いいただく暗証番号で、ご契約時に任意の番号を設定していただきますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
パソコン向け総合サポートサイト「My DoCoMo」の「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちの方は、パソコンから新しいネットワーク暗証番号の変更手続きができます。
※「My DoCoMo」については、取扱説明書裏面をご覧ください。

❖暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2〈SIMカード暗証番号〉

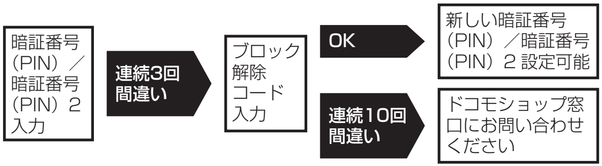
FOMAカード（SIMカード）には、暗証番号（PIN）、暗証番号（PIN）2という2つのSIMカード暗証番号を設定できます。ご契約時はどちらも「0000」に設定されていますが、お客様ご自身で番号を変更できます。
→P74
暗証番号（PIN）は、第三者によるFOMA端末の無断使用を防ぐため、FOMAカードを取り付ける、またはFOMA端末の電源を入れるたびに使用者を確認するために入力する4～8桁の番号です。暗証番号（PIN）を入力することにより、発着信および端末操作が可能となります。
暗証番号（PIN）2は、積算通話料金リセット、ユーザ証明書利用時や発行申請を行うときなどに使用する4～8桁の番号です。

- 別のFOMA端末で利用していたFOMAカードを差し替えてお使いになる場合は、以前に設定された暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2をご利用ください。設定を変更されていない場合は、「0000」となります。

❖ブロック解除コード

ブロック解除コードは、暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2がブロックされた状態を解除するための数字8桁の番号です。お客様ご自身では変更することができません。

- ブロック解除コードの入力を連続10回間違えると、FOMAカードがブロックされます。



✔お知らせ

- 指紋認証機能と端末暗証番号（パスワード）を併用する状態でパスワードマネージャをご利用になる場合は、端末暗証番号（パスワード）を必ず変更してください。

FOMAカード（SIMカード）暗証番号（PIN）を有効にする

◆電源を入れたときに暗証番号（PIN）を入力するかどうかを設定する

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［暗証番号］▶［SIMカード暗証番号（PIN）を有効にする］▶認証操作▶暗証番号（PIN）を入力▶[−]［完了］**

- 暗証番号（PIN）の入力を連続3回間違えると、FOMAカードがブロックされます。ブロック解除コードを入力してください。
- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

❖暗証番号（PIN）を有効にすると

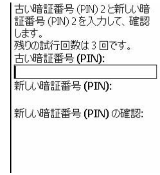
FOMA端末の電源を入れる（自動電源オン設定によって電源が入った場合を含む）たびに暗証番号（PIN）入力画面が表示されます。正しい暗証番号（PIN）を入力すると、ホームスクリーンが表示されますが、正しい番号を入力しないと、すべての操作ができません。

- 有効にすると、「暗証番号」メニューには、「SIMカード暗証番号（PIN）を無効にする」と表示され、同様の操作により設定を無効にします。
- 暗証番号（PIN）／ブロック解除コード入力画面では、入力した数字が「＊」で表示されますが、「110」、「118」、「119」、「112」、「000000」と一致するとそのままの数字が表示されます。続けて数字を入力すると「＊」で表示されます。

◆暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2を変更する

- 暗証番号（PIN）を変更するときは、暗証番号（PIN）を有効にする必要があります。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［暗証番号］▶［SIMカード暗証番号（PIN）の変更］または［暗証番号（PIN）2を変更する］▶認証操作▶現在の暗証番号を入力**



- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

2 **新しい暗証番号入力欄に新しい暗証番号を入力**

3 **新しい暗証番号の確認欄に操作2で入力した暗証番号を入力▶[−]［完了］**

- 暗証番号の入力を間違えると、認証に失敗した旨のメッセージが表示されます。暗証番号を入力し直してください。連続3回間違えると、FOMAカードがブロックされます。ブロック解除コードを入力してください。

✔お知らせ

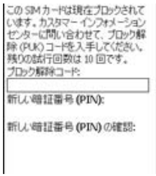
- 暗証番号（PIN）2を連続3回間違えてFOMAカードがブロックされた場合でも電話の発着信やメールの送受信などは行えますが、暗証番号（PIN）を連続3回間違えてFOMAカードがブロックされた場合はそれらの操作はできなくなりますので、ご注意ください。

ブロックを解除する

暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2入力画面で番号を連続3回間違えると、FOMAカードがブロックされます。ブロックを解除すると、新しい暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2を設定できます。

- ブロック解除コードはメモを取るなどしてお忘れにならないようご注意ください。ブロック解除コードを忘れた場合や完全にロックされた場合は、ご契約者本人であることが確認できる書類（運転免許証など）やFOMA端末、FOMAカードをドコモショップ窓口までご持参いただく必要があります。

1 ブロック解除コード入力画面で8桁のブロック解除コードを入力



2 新しい暗証番号の入力欄に新しい暗証番号を入力

3 新しい暗証番号の確認欄に操作2で入力した暗証番号を入力▶[－]［完了］

デバイスロック

他の人が使用できないようにする

他人が不正にFOMA端末を使用できないように、操作時に認証操作が必要になるデバイスロックをかけます。

デバイスロック中に緊急通報（110番、119番、118番）を行うには、ホームスクリーンで緊急通報番号を入力して[発信]を押します。

※ ロック解除の端末暗証番号（パスワード）入力画面で、緊急通報番号を入力することもできます。入力した番号は「＊」で表示されます。

■ **指紋認証の併用を設定しているとき**

ホームスクリーンで緊急通報番号を入力し、通話確認画面で[発信]を押します。指紋認証画面が表示されているときには[BACK]を押してホームスクリーンに戻るか、[－]［暗証番号］またはダイヤルキーを押して暗証番号画面で緊急通報番号を入力して[発信]を押します。

◆デバイスロックの動作内容を設定する〈デバイスロックの設定〉

デバイスロックを「オン」にするには、ロック解除後の無操作状態から再ロックされるまでの時間と端末暗証番号（パスワード）を設定する必要があります。お買い上げ時の初期設定（→P42）で、端末暗証番号（パスワード）を設定している場合は、設定内容を変更したいときにこの操作を行います。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［デバイスロックの設定］▶認証操作

- 初期設定で端末暗証番号（パスワード）の設定をスキップした場合は、認証操作なしに操作2へ進みます。

2 各項目を設定▶[－]［完了］▶[－]［はい］

パスワード入力が必要になるまでの時間：選択すると、デバイスロック解除後の無操作状態から再ロックされるまでの時間と、パスワードが設定・変更できるようになります。

（再ロックするまでの時間）：1分、5分、15分、30分、1時間、1.5時間、2時間、12時間、24時間

パスワードの種類：「数字の簡易パスワード」または「強力な英数字のパスワード」

パスワード：パスワードの種類に応じたパスワードを入力
パスワードの確認入力：確認のためにもう一度パスワードを入力

✔お知らせ

- 暗証番号（PIN）とデバイスロックの暗証番号を同じにしておくと、電源起動時に暗証番号（PIN）を入力するだけでデバイスロックも同時に解除できます。

◆デバイスロックをオンにする

1 **[－] [スタート] ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [デバイスロック] ▶ [オン] ▶ [－] [完了]**

デバイスロックがかかり、ホームスクリーンに🔒が表示されます。

解除する：**[－] [ロックの解除] ▶ 認証操作 ▶ [－] [ロックの解除]**

✔お知らせ

- デバイスロック中でも次の機能は利用できます。
  - 電話を受ける
  - SMS、電子メールの受信
  - サイドキー［▲▼］を押して音量調節
  - キーロック
- デバイスロック中でも、アラーム設定がされている場合はアラーム画面が表示され音が鳴ります。
- ロック解除後のホームスクリーンで、設定時間に関わらず再ロックするには、◎（1秒以上）を押します。

◆FOMA端末を閉じたときにデバイスロックをかける〈開閉ロック設定〉

ホームスクリーンの表示中にFOMA端末を閉じると、デバイスロックがかかるように設定します。

- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合、開閉ロックはかかりません。

1 **[－] [スタート] ▶ [設定] ▶ [ロックとセキュリティ] ▶ [開閉ロック設定] ▶ 認証操作 ▶ [オン] ▶ [－] [完了]**

指紋認証機能を利用する

指紋認証機能を利用すると、指紋センサー上で指をスライドさせるだけで認証を行い、ダイヤルキーで端末暗証番号（パスワード）を入力する操作を省略できます。

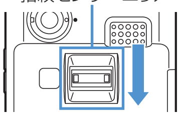
- 指紋認証画面で[－]［暗証番号］またはダイヤルキーを押すと端末暗証番号（パスワード）入力画面に切り替わり、端末暗証番号（パスワード）を入力して認証操作ができます。

◆指紋認証機能利用時の留意事項

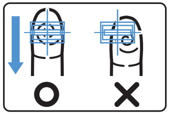
- 本機能は指紋画像の特徴情報を認証に利用するものです。このため、指紋の特徴情報が少ないお客様の場合は、指紋認証機能が利用できないことがあります。
- 指紋の登録には同じ指で4回の読み取りが必要です。異なる指で行わないでください。
- 登録に必要な4回の指のスライドのしかたは同じように行ってください。指の左右への傾きを変えるなどした場合には4回で登録が終了せずに5回以上のスライドが必要になる場合があります。
- 認証性能（正しく指をスライドさせた際に指紋が認証される性能）はお客様の使用状況により異なります。指の状態が次のような場合は、指紋の登録が困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。なお、手を洗う、手を拭く、認証する指を変える、手荒れや乾いている場合はクリームを塗るなど、お客様の指の状態に合わせて対処することで、認証性能が改善されることがあります。
  - お風呂上りなどで指がふやけていたり、濡れたり、汗をかいたりしている
  - 指に汗や脂が多く、指紋の間が埋まっていたり、泥や油などで汚れている
  - 手が荒れたり、指に損傷（切傷やただれなど）を負ったりしている

- 手が極端に乾燥している
- 太ったりやせたりして指紋が変化した
- 磨耗して指紋が薄い
- 登録時と認証時の指の表面状態が極端に異なる

図A



図B



- 指紋の登録・認証の際は、第1関節をセンサー中央に合わせ、センサーと平行になるように指を押し当てながら指紋センサーエリアを通過するまで下方向へスライドさせます。登録時と認証時の指の位置の違いによる認証失敗を防ぐためには、端末と同じ方向に指を置いてスライドさせてください。
- スライドが速すぎたり遅すぎたりすると、正常に認識できないことがあります。
- 親指は指紋の渦の中心がずれたりゆがんだりして、登録や認証が困難な場合があります。できるだけ指紋の渦の中心が指紋センサーの中心を通過するようにスライドさせてください。
- 指紋が正常に読み取れなかったときは、警告メッセージが表示されます。一定時間内に認証されなかったときは、確認メッセージが表示され1つ前の画面に戻ります。
- 指紋センサーに指を置いたまま指紋の登録・認証を開始すると、起動できない場合があります。指を離して操作をやり直してください。
- FOMA端末を、デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、FOMA端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。
- 指紋認証技術は完全な本人認証・照合を保証するものではありません。当社では本製品を使用されたこと、または使用できなかったことによって生じるいかなる損害に関しても、一切責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- WLAN電話の通話中など負荷の高いアプリケーションの実行中には、一時的に指紋の登録および認証ができない場合があります。指紋の登録は、他のアプリケーションが動作していない状態で行ってください。また、指紋での認証ができない場合には、端末暗証番号（パスワード）での認証を行ってください。

◆指紋センサーについて

- 次のような場合は、故障および破損の原因となることがあります。
  - ぶつけたり、強い衝撃を与えたりする
  - ひっかいたり、先のとがったものでつついたりする
  - 爪やストラップの金具など硬いものを押し付け、指紋センサー表面にキズが入る
  - 泥などで指紋センサー表面にキズが入る、表面が汚れる
  - シールを貼ったり、インクなどで塗りつぶしたりする
- 次のような場合は、指紋の読み取りが困難になったり、認証性能が低下したりすることがあります。指紋センサー表面は時々清掃してください。
  - ほこりや皮脂などの汚れ、汗などの水分の付着や結露
- 次のような現象が起きる場合は、指紋センサー表面を清掃してください。現象が改善されることがあります。
  - 「センサー表面の汚れを取り除いてください」というメッセージが表示される
  - 指紋の登録失敗や認証失敗が頻発する

- 指紋センサーを清掃する際には、静電気の発生しにくい乾いた柔らかい布で表面の汚れを取り除いてください。長期間の使用によりゴミがたまることがありますが、その場合でも先のとがったもので取り除かないでください。
- 静電気が故障の原因となる場合があります。指紋センサーに指を置く前に、金属に手を触れるなどして静電気を取り除いてください。冬期など乾燥する時期は、特にご注意ください。

◆認証に利用する指紋を登録する〈指紋登録〉

- 指紋登録をするには、あらかじめ端末暗証番号（パスワード）を設定しておく必要があります。
- 指紋は最大10件登録できます。

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［指紋設定］▶［指紋登録］▶認証操作**

2 **[－]［メニュー］▶［新規作成］▶メッセージに従って指紋センサーに指を押し当ててスライド**

3 **登録名を入力▶[－]［登録］▶[－]［OK］**

- 登録名は、全角／半角20文字以内で入力します。
- 登録すると認証用の指紋データとして設定され、登録名の左にが表示されます。



指紋登録一覧画面

◆指紋登録を編集する

1 **指紋登録一覧画面で[－]［メニュー］▶項目を選択▶[－]［完了］**

新規作成：認証用の指紋登録を新規に作成

利用設定／解除：選択した指紋データを認証に利用するかどうかを設定

- 指紋登録一覧画面で指紋データを選択し、◉を押しても利用設定／解除を変更できます。

1件削除：選択した指紋データを削除

複数削除：複数の指紋データを選択してまとめて削除

全件削除：すべての指紋データを削除

- 端末暗証番号（パスワード）を設定している場合は、削除する前に認証操作が必要です。

登録名編集：選択した指紋データの登録名を編集

認証確認：選択した指紋データが指紋認証できるかどうかを確認

一つ上へ移動：選択した指紋データを上へ移動

一つ下へ移動：選択した指紋データを下へ移動

◆認証操作で指紋認証を併用する〈指紋認証設定〉

認証操作での指紋認証の利用方法を設定します。

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［指紋設定］▶［指紋認証設定］▶認証操作▶各項目を設定▶[－]［完了］**

認証方式設定：指紋認証有効または指紋認証無効から選択

- 指紋認証有効を選択した場合は、指紋認証失敗動作と指紋認証失敗回数を設定します。

指紋認証失敗動作：指紋認証に連続して失敗したときの動作を「パスワード認証へ切替」または「電源切断」から選択

指紋認証失敗回数：指紋認証が失敗動作になるまでの連続失敗回数を2～5回から選択

キーロック

キー操作を無効にする

FOMA端末を閉じた状態でポケットやバッグに入れて持ち運ぶ際、キーが押されて誤動作しないようにロックします。

- FOMA端末を開いた状態ではキーロックは設定できません。閉じた状態で操作してください。

1 **[🔒]（1秒以上）**

- キーロックを設定すると、ホームスクリーンに🔒が表示されます。

解除する：[🔒]（1秒以上）

- FOMA端末を開いてもキーロックはいったん解除されますが、閉じると再度ロックされます。

✔お知らせ

- キーロック中でもかかってきた電話を受けることができます。また、キーロック中は[PWR]、[🔒]を押すとディスプレイが点灯します。

遠隔ダイヤルロック

遠隔ダイヤルロックをかける

FOMA端末を紛失した場合などに、あらかじめ設定した電話番号（許可番号）から設定回数の電話をかけて遠隔操作によりFOMA端末にデバイスロックをかけることができます。

- 紛失したFOMA端末の電源が入っていない場合やFOMA端末が圏外にあるとき、セルフモード中は、遠隔ダイヤルロックがかかりません。
- WLAN電話からダイヤルロックをかけることはできません。
- 遠隔ダイヤルロック機能ではデバイスロックがかかります。端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合、遠隔ダイヤルロックはかかりません。

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［遠隔ダイヤルロック］▶認証操作▶各項目を設定▶[－]［完了］**

遠隔ダイヤルロック：オン／オフを設定
- 「オン」に設定して、次の条件設定を行います。

監視時間（分）：遠隔操作でFOMA端末に設定回数の電話をかけてロックするまでの所要時間（1～10分）を設定

着信回数：許可番号からロックするためにFOMA端末へ電話をかける回数（3～10回）を設定

許可番号1～許可番号3：FOMA端末へ電話をかけてロックできる電話番号を3つまで設定
- 各許可番号を「電話番号」または「公衆電話」から選択します。「電話番号」を選択した場合に、電話番号入力欄に入力できます。
- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

パスワードマネージャ

パスワードマネージャを使う

パスワードマネージャは、インターネットの各サイトにログインするとき、またはFOMA端末の各機能を設定するときに利用します。パスワードマネージャに登録しておいたID、パスワードなどの認証情報やその他の繰り返し入力する情報を[PASSWORD]を押すだけで一度に代行入力できます。登録した代行入力情報は、設定メニューから変更または削除できます。

◆代行入力設定を有効にする〈パスワードマネージャ設定〉

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［パスワードマネージャ］▶［パスワードマネージャ設定］▶認証操作▶［有効］▶[－]［完了］**

- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

◆代行入力情報を登録する

代行入力する画面を表示した上で、入力情報を登録します。

- 事前にパスワードマネージャの代行入力設定を有効にしてください。
- 登録情報は、最大50件登録できます。また、1つの画面内の代行入力情報は、最大10件登録できます。

1 代行入力する画面で PASSWORD （1秒以上）▶認証操作▶タイトルを編集



タイトル編集画面

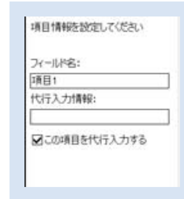
- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

2 [−]［詳細設定］▶編集するフィールド名を選択▶[−]［編集］

項目情報設定画面が表示されます。

3 フィールド名および代行入力情報を編集▶［この項目を代行入力する］▶[−]［OK］

- 項目情報設定画面の「この項目を代行入力する」を選択しないと代行入力できません。
- 認証情報のフィールドが複数ある場合は、フィールドごとに代行入力情報を編集します。



項目情報設定画面

4 [−]［保存］▶[−]［OK］

- 登録した代行入力情報の中で、パスワードだけは「＊」で表示されます。

❖代行入力する

- 事前にパスワードマネージャの代行入力設定を有効にしてください。

1 インターネットのログイン画面などの認証情報入力画面で PASSWORD ▶認証操作



タイトル一覧画面

- 登録情報が1つだけの場合は、タイトル一覧は表示されません。認証操作の後、直接登録情報が代行入力されます。

- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

2 **代行入力するタイトルを選択**

情報が入力されます。

◆代行入力情報を編集する

登録情報を編集／削除します。

1 **□［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［パスワードマネージャ］▶［登録情報編集］▶認証操作**

登録情報のタイトル一覧が表示されます。

- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

2 **編集／削除するタイトルにカーソルを合わせて□［メニュー］▶タイトルを選択して編集／削除▶□［保存］**

登録情報のタイトルを変更する：□［メニュー］▶タイトル編集▶タイトルを変更▶□［保存］

タイトル内のフィールド名と代行入力情報を変更する：□［メニュー］▶項目情報編集▶［編集］▶フィールド名と代行入力情報を変更▶□［OK］▶□［保存］▶□［OK］

タイトルを1件だけ削除する：□［メニュー］▶1件削除▶□［はい］▶□［OK］

2件以上のタイトルを一度に削除する：□［メニュー］▶複数削除▶削除するタイトルを選択▶□［削除］▶□［はい］▶□［OK］

すべてのタイトルを一度に削除する：□［メニュー］▶全件削除▶□［はい］▶認証操作▶□［OK］

3 **□［完了］**

ガードフォルダ設定

ガードフォルダを使う

特定のフォルダ内のファイルやフォルダを、悪意のあるソフトウェアやウィルスによって外部に流出しないように暗号化して保護します。

- ガードフォルダ内のファイルにアクセスしようとするプログラムは、すべて検証されます。その結果が信頼できると判断されたプログラムだけがアクセスを許可されます。
- FOMA端末本体には最大100件のガードフォルダを作成できます。microSDメモリーカードには1件だけ作成できます。
- ガードフォルダ内のサブフォルダも含めて暗号化されます。

✔お知らせ

- 既存のフォルダをガードフォルダに設定することはできません。

◆ガードフォルダの確認メッセージを表示する

ガードフォルダやフォルダ内のファイルを移動／削除したときに、メッセージを表示するかどうかを設定します。

1 **□［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［ガードフォルダ設定］▶［ガードフォルダの操作に関する確認メッセージを表示する］▶□［完了］**

- 確認メッセージはファイルを移動／削除するたびに表示されます。

✔お知らせ

- 次の操作をした場合、「ガードフォルダへのアクセスがありました」とメッセージが表示されます。
  - ガードフォルダの中からガードフォルダの外へファイルやフォルダを移動した場合
  - ガードフォルダの中のファイルやフォルダを、ファイル エクスプローラでコピー▶貼り付けを行った場合
  - 実行ファイルなどをガードフォルダの中へ移動、または、コピーした場合
  - 実行ファイルを含むガードフォルダを開いた場合

- 次の操作をした場合、「削除または移動の操作によって'XXXXXX'（ガードフォルダ）を削除しました」とメッセージが表示されます。
  - ガードフォルダを削除した場合
  - ガードフォルダをmicroSDメモリーカードに移動することによって移動元のガードフォルダが削除された場合
- ガードフォルダを本体メモリ内で移動した場合、「'XXXXXX'（ガードフォルダ）を移動しました」とメッセージが表示されます。
- ガードフォルダを含むフォルダを端末メモリ内で移動した場合、「ガードフォルダを含んでいるフォルダ'XXXXXX'を移動しました」とメッセージが表示されます。

◆ガードフォルダを利用する

FOMA端末本体やmicroSDメモリーカードにガードフォルダを作成します。また、既存のガードフォルダを一覧表示画面で確認することもできます。

1 **［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［ガードフォルダ設定］▶［メニュー］▶各項目を確認・設定▶［完了］**

既存のガードフォルダを確認する：**［現在のガードフォルダ］▶一覧表示画面で確認▶［完了］**

マイドキュメント配下にガードフォルダを新規作成する：**「マイドキュメントに作成」を選択▶ガードフォルダ名を入力▶［作成］▶［はい］▶完了画面で［OK］**

- フォルダ名は1～233文字まで入力できます。

microSDメモリーカードにガードフォルダを新規作成する：**「microSDに作成」を選択▶［はい］▶完了画面で［OK］**

ガードフォルダとして、¥My Documents¥Guard¥があらかじめ設定されています。また新規作成するとフォルダアイコンに🔒が付加されます。

✔お知らせ

- microSDメモリーカードのガードフォルダは同名フォルダが存在しないときに¥Storage Card¥Guardとして新規作成されます。またフォルダ名は変更できません。
- ガードフォルダの名前が長すぎる場合やガードフォルダの中のフォルダ階層を大きくしすぎると、フォルダアイコンに🔒が付加されない場合があります。🔒が表示されなくても、上位のフォルダがガードフォルダであればガードされます。ガードフォルダの名前の長さやフォルダ階層の大きさにご注意ください。
- ガードフォルダ内では実行ファイルを実行できません。ガードフォルダの外へ移動もしくはコピーしてから実行してください。
- ガードフォルダをコピーしても日付は保持されず、コピーした日付で作成されます。

◆ガードフォルダを解除する

ガードフォルダ内のファイルやフォルダの暗号化を解除するには、ファイル エクスプローラを使用して移動や削除をする必要があります。→P140

- 次のいずれかの操作を実行すると、ガードフォルダの暗号化が解除されます。
  - ガードフォルダ内のファイルやファイルが含まれるフォルダを、同じメモリ内のガードフォルダ外に移動またはコピーする
  - ファイルが含まれるガードフォルダを、同じメモリ内のガードフォルダ外にコピーする
  - ファイルが含まれるガードフォルダを、microSDメモリーカードのガードフォルダ外に移動またはコピーする

暗号化

データを暗号化して保存する

データをmicroSDメモリーカード（メモリカード）に保存するときに、お使いのFOMA端末でのみデータを再生・表示できるように暗号化します。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［暗号化］▶［メモリカード内のファイルを暗号化する］▶[－]［完了］

証明書

証明書を確認する

接続するサイトやサーバによっては、信頼性を証明する証明書を発行しています。これらのサイトなどへの接続にあたっては、証明書の取得と保存が必要になります。証明書の取得は接続したサイトやサーバの指示に従って行い、取得・保存した証明書は確認することができます。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［証明書］▶項目を選択

各証明書の一覧が表示されます。
個人：個人を識別する証明書
中間：認証会社などから割り当てられた認証情報を証明する証明書
ルート：認証会社などが発行する認証情報を証明する証明書

2 証明書を選択▶[－]［メニュー］▶項目を選択

表示：証明書の詳細を表示
削除：選択した証明書を削除

✔**お知らせ**

- 証明書の主な表示内容は、証明書の発行先、発行者、有効期間の開始日、有効期間の終了日、使用目的などです。有効期限や使用目的などから証明書を管理（削除）します。

発番号なし動作（FOMA）／発番号なし動作（WLAN電話）

電話番号が通知されない着信があったときの動作を設定する

電話番号が通知されない着信があった場合、通知されない理由ごとに着信動作を設定します。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］

2 ［発番号なし動作（FOMA）］または［発番号なし動作（WLAN電話）］▶認証操作▶各項目を設定▶[－]［完了］

- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

非通知設定：許可または拒否（FOMA）
公衆電話：許可または拒否（FOMA）
通知不可能：許可または拒否（FOMA）
非通知着信：WLAN電話で非通知着信を受けた場合の許可または拒否

セルフモード

発信や着信をできないようにする

電話／WLAN電話、Bluetooth通信の電波を出さないように設定します。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［モード設定］▶［セルフモード］▶[－]［はい］

ホームスクリーンにselfが表示されます。
解除する：[－]［スタート］▶［設定］▶［モード設定］▶［セルフモード］▶[－]［はい］

✔お知らせ

- セルフモード中は、次の機能が利用できません。
  - 電話／WLAN電話の発着信
  - FOMAやWLANを経由するブラウザやメールの利用
  - インスタントメッセージの受信、プレゼンスの更新
  - Bluetooth機能
- セルフモード中に電話／WLAN電話がかかってきたときは、相手には電波が届かないか電源が入っていない旨のガイダンスが流れます。留守番電話サービス、転送でんわサービスは利用できます。
- セルフモード中に受信したSMSはSMSセンターに保管されます。
- 外部データ連携中／内部データ処理中の場合、あるいは通信中（パソコンと同期中を含む）の場合は、セルフモードは設定できません。
- ホームスクリーンでBACKを1秒以上押すと、モード設定リンク画面が表示され、セルフモードを選択して設定できます。
- セルフモード中、メールやブラウザで通信を開始した場合に、「フライトモード」と表示される場合があります。
- セルフモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行った場合、DUALモード（WLAN優先）に切り替わります。

連絡先登録外着信拒否

連絡先に登録されていない番号からの着信を拒否する

- 番号通知お願いサービスを併用することをおすすめします。

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［連絡先登録外着信拒否］▶認証操作▶［オン］▶[－]［完了］**

- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

❖連絡先登録外着信拒否を設定すると

連絡先に登録していない相手から着信があると、着信音が鳴らずに電話が切れ、相手には話中音が流れます。

- 不在着信として記録されます。
- 連絡先に登録している相手でも発信者番号を通知しないで電話をかけてきたときは、着信を拒否します。また、公衆電話や発信者番号を通知しないで発信した電話からの着信があった場合の動作は、「発番号なし動作」の設定よりも本機能の設定が優先されます。

呼出時間表示設定

連絡先に登録していない相手からの着信をすぐに受けないようにする

「ワン切り」などの迷惑電話に効果的です。

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［呼出時間表示設定］▶［呼出時間表示設定（FOMA）］または［呼出時間表示設定（WLAN）］▶各項目を設定▶[－]［完了］**

呼出開始時間（秒）：着信してから呼び出しを開始するまでの時間をオフまたは1～99秒の範囲で設定

時間内不在着信表示：呼出時間表示で設定した時間に満たなかった不在着信を、通話履歴に表示するかどうかを設定

✔お知らせ

- 本機能の設定に関わらず、次の機能やサービスが設定されている場合は、それらの動作が優先されます。
  - 公共モード（ドライブモード）
  - 伝言メモ
  - 留守番電話サービス
  - 転送でんわサービス
  - 発番号なし動作設定の拒否設定

• 呼出開始の時間を、留守番電話サービス、転送でんわサービスの設定時間と同じ秒数に設定している場合、着信音が鳴ることがあります。

その他の「あんしん設定」について

本章でご紹介した以外にも、次のようなあんしん設定に関する機能／サービスがありますのでご活用ください。

目的	機能／サービス名称	参照ページ
いたずら電話や悪質なセールス電話などの「迷惑電話」を着信したくない	迷惑電話ストップサービス	187
発信者番号を通知してこない電話を着信したくない	番号通知お願いサービス	186
必要な場合にFOMA端末のソフトウェアを更新したい	ソフトウェア更新	224
障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る	セキュリティスキャン	228

✔お知らせ

• 見知らぬ着信履歴には、電話をかけ直さないようにご注意ください。特に、相手にお客様の電話番号を通知する設定にしてのおかけ直しは、無用なトラブルの原因となります。

〈迷惑電話防止機能の優先順位〉

• 迷惑電話を防止する機能を同時に設定した場合の優先順位は次のとおりです。
①迷惑電話ストップサービス
②連絡先登録外着信拒否または呼出時間表示設定／発番号なし動作

カメラとマルチメディア

著作権・肖像権について

FOMA端末を利用して撮影または録音したもの、およびインターネットホームページ上の著作物を権利者に無断で複製、改変、編集などする行為は、個人で楽しむなどの場合を除き、著作権法上禁止されていますのでお控えください。また、他人の肖像や氏名を無断で使用、改変などすると、肖像権の侵害となる場合がありますのでお控えください。撮影または録音などしたものをインターネットホームページなどで公開する場合も、著作権や肖像権に十分ご注意ください。なお、実演や興行、展示物などでは、個人として楽しむなどの目的であっても、撮影または録音などが禁止されている場合がありますのでご注意ください。

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシー等にご配慮ください。

カメラをご使用になる前に

◆カメラのご使用について

- カメラは非常に精密度の高い技術で作られていますが、常時明るく見えたり暗く見えたりする画素や線もあります。また、特に光量が少ない場所での撮影では、白い線などのノイズが増えますが、故障ではありませんのであらかじめご了承ください。
- 暖かい場所や直射日光が当たる場所に長時間FOMA端末を放置したりすると、撮影した画像が劣化することがあります。
- 太陽やランプなどの強い光源を直接撮影しようとすると、画質が暗くなったり画像が乱れたりする場合があります。
- レンズの特性により、画像がゆがんで見える場合があります。
- 蛍光灯、水銀灯、ナトリウム灯などの高速で点滅している照明下で撮影すると、画面がちらついたり縞模様が現れたりするフリッカー現象が起きる場合があり、撮影のタイミングによっては画像の色合いが異なることがあります。撮影時の明るさを調整することで、ちらつきや縞模様を軽減できる場合があります。
- カメラで撮影した画像は、実際の被写体と色味や明るさが異なる場合があります。
- バーコードリーダーを起動している状態では、カメラの撮影画面に移行しません。カメラで撮影する場合、あらかじめバーコードリーダーを終了させておく必要があります。

◆撮影時の留意事項

- レンズに指紋や油脂などが付くと、きれいに撮影できません。撮影前に柔らかい布で拭いてください。
- 撮影の際、レンズ部分を指などで覆わないでください。
- 手ぶれにご注意ください。FOMA端末が動かないようにしっかり持って撮影するか、FOMA端末を安定した場所に置き、セルフタイマー機能を利用して撮影することをおすすめします。タイマーモードは、静止画撮影のときだけ利用できます。
- ◉を押してから実際に撮影されるまでに、多少の時間差があります。◉を押してから少しの間、FOMA端末を動かさないでください。また、速く動いている被写体を撮影すると、◉を押したときにディスプレイに表示されていた位置とは少しずれて撮影されることがあります。
- 動きの激しいものを動画撮影すると、映像が乱れる場合があります。
- 保存先がmicroSDメモリーカードの場合は、カメラ使用中にmicroSDメモリーカードを抜かないでください。FOMA端末の故障の原因になります。
- 撮影した静止画や動画を保存する前に電池残量がなくなると、保存できません。
- カメラは電池の消費が非常に早いため、カメラを長時間起動しておいたり、撮影後に保存せず長時間放置したりしないでください。
- 設定によっては、カメラを起動してから撮影画面に映像が表示されるまでに時間がかかる場合があります。

カメラ

カメラを使用する

FOMA端末のカメラを使用して静止画や動画を撮影します。撮影した静止画は、電子メールに添付して送信したり、連絡先の画像として保存したりできます。また、撮影した動画は、Windows Media Player 10 Mobileを使って再生できます。

❖静止画撮影画面の見かた



静止画撮影画面（連写モード）

① **撮影枚数（連写モード）／シャッターが切れるまでの秒数（タイマーモード）**
1/5：連写モードの場合は撮影枚数
03：タイマーモードの場合は秒数

② **撮影モード**
：標準モード
通常利用する撮影モード
：連写モード
1回のシャッターで5枚の静止画を保存
：タイマーモード
タイマーが作動して、5秒後にシャッターが切れる

③ **撮影可能枚数（999まで表示可能）**

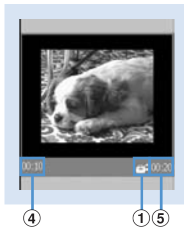
④ **フラッシュ（撮影時のライト）**

⑤ **ズーム（Zoom x1.0、Zoom x2.0、Zoom x4.0）**

❖動画撮影画面の見かた



動画撮影画面（スタンバイ）



動画撮影画面（撮影中）

① ：**ビデオモード**
動画撮影のとき表示

② **動画撮影の制限時間（99：59まで表示可能）**

③ **ズーム（Zoom x1.0、Zoom x2.0、Zoom x4.0）**
撮影中はズームの表示が消え、撮影残り時間（秒）を表示

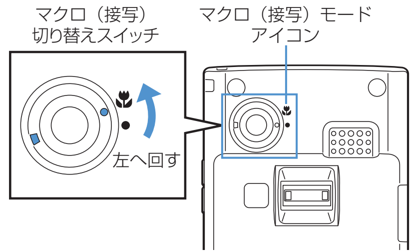
④ **撮影経過時間（秒）**
動画撮影中のときだけ表示

⑤ **撮影残り時間（秒）**

◆マクロ（接写）モードに切り替える

近くの被写体（約6～11cm）を撮影するときやバーコードリーダーを利用するときは、マクロ（接写）モードに切り替えます。

- レンズの縁にあるマクロ（接写）切り替えスイッチをの位置まで指先でゆっくり左に回します。このとき、レンズを傷つけないようにご注意ください。



- マクロ（接写）モードのままで標準の被写体を撮影すると、画像がぼやけてしまいます。マクロ（接写）モードでの撮影が終了したら、必ず元のモードに戻してください。

◆事前に撮影方法を設定する

カメラを使って静止画や動画を撮影する前に、サブメニューの各項目を確認し、必要に応じてお買い上げ時の設定を変更してください。

カメラアイコンが見えないときは

［スタート］▶［画像とビデオ］を選択したときに、カメラアイコンが見えない場合があります。以前、microSDメモリーカードを挿入したときに「画像とビデオ」で画像一覧を表示したり、別のフォルダを開いたりした場合です。
カメラアイコンが見えないときは、次の操作を行ってください。

・「画像とビデオ」の画像一覧画面で[−]［メニュー］▶［フォルダ］▶［マイ ピクチャ］を選択します。

1 **[−]［スタート］▶［画像とビデオ］▶[−]［メニュー］▶［オプション］▶各項目を設定▶[−]［完了］**

・お買い上げ時の設定については、メニュー一覧をご覧ください。→P203
・画像とビデオフォルダには、カメラアイコンのほか、撮影した静止画や動画が一覧表示されます。

全般の設定をする：［全般］▶各項目を設定▶[−]［完了］

画像を電子メールで送信する際の画像のサイズ：元のサイズ、大（480×640）、中（240×320）、小（120×160）

画像を90度回転するときの回転方向：回転方向の左、右

スライドショー関連を設定する：［スライドショー］▶各項目を設定▶[−]［完了］

スライドショーの表示を最適化する対象：画像（縦）、画像（横）
・バックグラウンドでプログラムが動作中の場合は、スライドショーが起動できません。

PCに接続後アイドル状態が2分間続いた場合にスクリーンセーバーを起動する：パソコンとActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターで接続してFOMA端末を2分間操作しなかったときに、スライドショーをスクリーンセーバーとして動作させる／させない
・充電中でない場合は、スクリーンセーバーは起動しません。

カメラ関連を設定する：［カメラ］▶各項目を設定▶[−]［完了］

ファイルの保存先：撮影した静止画および動画の保存先
・メインメモリ（本体メモリ）またはStorage Card（microSDメモリーカード）から選択します。

ファイル名のプレフィックスの入力：保存される静止画のファイル名（連番）の先頭文字
・入力欄内で◉を押すと、システム音が鳴ります。この音を鳴らさないようにするには、プロファイルの「システムサウンドの音量」を「オフ」に設定してください。→P66
・全角／半角130文字以内で入力します。
・プレフィックスに何も入力しない場合や「/」、「:」などの無効な文字を入力しようとした場合は、[−]［完了］を押した時点で「ファイルのプレフィックスに無効な文字列が含まれています。」のメッセージが複数回表示されます。
・静止画のファイル名は、指定したプレフィックス＋3桁の連番になります。1つのプレフィックスで999枚撮影できます。
・動画のファイル名は、プレフィックスなしの3桁の連番になります。

静止画像の圧縮レベル：高画質、標準画質、低画質

ビデオ関連を設定する：［ビデオ］▶各項目を設定▶[−]［完了］

ビデオファイルの収録時にオーディオを含める：動画撮影時に音声を録音する／しない

ビデオの制限時間：制限なし、15秒、30秒
・「制限なし」に設定すると、ファイルサイズが大きくなり、microSDメモリーカードに保存できない場合があります。

◆撮影形式およびフォーマット

静止画および動画の撮影形式やフォーマットは次のとおりです。
・ファイル名に拡張子は表示されません。

	静止画	動画
撮影形式	JPEG	WMV
撮影フォーマット	JFIF	WMV
拡張子	.jpg	.wmv

◆静止画の撮影枚数と動画の撮影時間について

静止画の保存枚数は、画像サイズ、画質などによって変わります。
FOMA端末の本体メモリやmicroSDメモリーカード（64MB）に保存できる静止画の撮影枚数と動画の撮影時間は次のとおりです。
・F1100では2GバイトまでのmicroSDメモリーカードに対応しています（2008年2月現在）。

■ 静止画の撮影枚数（目安）

画像サイズ（横×縦ピクセル数）	本体メモリに保存できる撮影枚数（お買い上げ時）	microSDメモリーカード（64MB）に保存できる撮影枚数
QQVGA（120×160）	999枚以上	999枚以上
QCIF（144×176）	999枚以上	999枚以上
QVGA（240×320）	999枚以上	999枚以上
CIF（288×352）	999枚以上	999枚以上
VGA（480×640）	999枚以上	約700枚
SXGA（1024×1280）	約500枚	約200枚

※ 999枚以上撮影可能な場合も、撮影可能枚数は999（最大表示）と表示されます。
※ 撮影条件は、明るさ：0、Zoom：x1.0、静止画像の圧縮レベル：高画質です。

■ 動画の撮影時間（目安）

撮影モード（横×縦ピクセル数）	本体メモリに保存できる撮影時間（お買い上げ時）	microSDメモリーカード（64MB）に保存できる撮影時間
QQVGA（160×120）	約70分	約30分
QCIF（176×144）	約60分	約25分
QVGA（320×240）	約25分	約10分

※ 99分59秒以上撮影可能な場合も、撮影可能時間は99分59秒（最大表示）と表示されます。
※ 撮影条件は、明るさ：0、Zoom：x1.0、オーディオを含める：ONです。
※ ビデオの制限時間を「制限なし」に設定していても、本体またはmicroSDメモリーカードの空きメモリがなくなった時点で録画が終了されます。
※ ビデオの制限時間を「制限なし」に設定している場合の1件の撮影可能時間は、QQVGA（70分）、QCIF（60分）です。ただし、QVGAは、最大20秒に制限されます。
※ 撮影時の動画サイズや撮影条件によっては保存に1分程度かかる場合があります。

静止画撮影

静止画を撮影する

アウトカメラを使用して、静止画を撮影します。

- 撮影の前に撮影方法を確認・設定しておきます。→P89
- 近くのもの（約6～11cm）を撮影する場合は、カメラをマクロ（接写）モードに切り替えます。→P89

1 **[－]［スタート］▶［画像とビデオ］▶［カメラ］**

静止画撮影画面が表示されます。撮影待機状態になり、ライトが点灯します。

- 操作しない状態が約30秒続くと、カメラはスタンバイになります。スタンバイになると、ライトが消灯し、カメラの画像が黒くなります。

2 **被写体にカメラを向けて◉**

シャッター音が鳴って静止画が撮影されると、ライトが消灯し、撮影画像確認画面が表示されます。撮影した静止画は自動的に保存されます。

画像とビデオフォルダのファイル一覧に戻る：[－]［縮小表示］

3 **撮影した静止画を確認**

次の静止画を撮影する：[－]［カメラ］▶被写体にカメラを向けて◉

◆ 静止画撮影のサブメニューを利用する

静止画撮影の画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

明るさ	撮影する静止画の明るさを+3～－3の7段階で調整 ・静止画撮影画面で◎を押すと、明るさを一段階ずつ調整できます。
オプション	カメラ機能の各種動作設定→P89

解像度	撮影する静止画サイズ • 設定できるサイズ（横×縦）は、QQVGA（120×160）、QCIF（144×176）、QVGA（240×320）、CIF（288×352）、VGA（480×640）、SXGA（1024×1280）です。
ズーム	静止画の撮影倍率の切り替え（Zoom x1.0、Zoom x2.0、Zoom x4.0） • 静止画撮影画面で◎を押すと、撮影倍率を切り替えることができます。
ビデオ	動画撮影画面への切り替え
フラッシュ	ライトのオン／オフ •「オン」に設定すると点灯、「オフ」に設定すると輝度を一段階落として点滅します。
モード	撮影モード（標準、連写、タイマー）

静止画を編集する

本体メモリやmicroSDメモリーカードに保存した静止画を編集（回転、トリミング、自動修正）します。

1 [−]［スタート］▶［画像とビデオ］

画像とビデオフォルダのファイル一覧が表示されます。

- 前回別のフォルダを開いた場合、前回表示したフォルダが表示されることがあります。→P89

2 編集する静止画を選択

静止画確認画面が表示されます。

他のフォルダにある静止画を選択する：[−]［メニュー］▶［フォルダ］▶［マイデバイス］▶フォルダを選択▶編集する静止画を選択

microSDメモリーカードにある静止画を選択する：[−]［メニュー］▶［フォルダ］▶［メモリカード］▶編集する静止画を選択

- 他のフォルダやmicroSDメモリーカードの画像を選択する場合は、必ず「画像とビデオ」フォルダから[−]［メニュー］▶［フォルダ］の順に操作して編集する画像を選択してください。
- ファイル エクスプローラを使用してファイルを選択した場合、ファイル形式によってはドキュメントビューアが起動して、編集できないことがあります。

3 [−]［メニュー］▶［編集］

編集画面が表示されます。

4 [−]［メニュー］▶次の操作を行う

静止画を回転させる：［回転］▶[−]［完了］

「事前に撮影方法を設定する」（→P90）で設定した回転方向（右または左）に静止画を90度回転します。

任意のサイズに切り出す：［トリミング］▶始点に移動▶●で始点を指定▶終点に移動▶●で終点を指定▶[−]［完了］

色味などを自動で補正する：［自動修正］▶[−]［完了］

◆ 静止画確認・編集のサブメニューを利用する

静止画確認・編集・ファイル一覧の各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[−]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

オプション	カメラ機能の各種動作設定→P89
回転	編集している静止画の回転→P92
画像のビーム	表示している静止画を赤外線通信またはBluetooth機能で送信→P157
キャンセル	編集内容を取り消して前の画面に戻る
削除	選択している静止画を削除
自動修正	編集している静止画の色味などの自動補正→P92
スペースに送信	Windows Liveのスペースに画像を送信

ズーム	表示している静止画の表示サイズ（拡大、縮小、画面に合わせる、原寸大） • 解像度がQQVGA（120×160）またはQCIF（144×176）の画像を表示中は操作できません。
スライドショーの再生	フォルダ内の静止画を順番に表示 • 再生中は次の操作ができます。 BACK：終了 ◉：一時停止／再開 ◎：前後の画像へ切り替え ◎：縦横表示の切り替え
送信	カーソルを合わせた静止画を電子メールに添付して送信→P106
トリミング	編集している静止画を任意のサイズで切り出し→P92
名前を付けて保存	編集している静止画の名前（ファイル名）を別名で保存
ビーム	カーソルを合わせた静止画を赤外線通信またはBluetooth機能で送信→P157
フォルダ	マイピクチャフォルダ、マイデバイスフォルダ、メモリカードフォルダに切り替え
プロパティ	名前（ファイル名）の変更や、詳細情報の確認
編集	ファイル一覧画面では静止画の切り取り、コピー、貼り付け、新しいフォルダの作成／静止画確認画面では編集画面の表示→P92
ホーム画面として使用	表示している静止画をホームスクリーンの背景に設定 • 透過の調整は5%単位で変わり、100%に近いほど透明になります。
保存	連絡先に保存／名前（ファイル名）を付けて保存
元に戻す	直前に加工した編集内容を元に戻す
連絡先に保存	連絡先の画像として登録

動画撮影

動画を撮影する

アウトカメラを使用して動画を撮影します。

• 撮影の前に撮影方法を確認・設定しておきます。→P89

1 **[−]［スタート］▶［画像とビデオ］▶［カメラ］▶[−]［メニュー］▶［ビデオ］**

ビデオ撮影画面が表示されます。撮影待機状態になり、ライトが点灯します。

• 操作しない状態が約30秒続くと、カメラはスタンバイになります。スタンバイになると、ライトが消灯し、カメラの画像が黒くなります。

2 **被写体にカメラを向けて◉**

撮影開始音が鳴り、ビデオ撮影が開始されます。

画像とビデオフォルダのファイル一覧に戻る：[−]［縮小表示］

3 **撮影が終了したら◉**

撮影終了音が鳴り、撮影待機状態になります。撮影した動画は自動的に保存されます。

撮影を中止する：[−]［中止］

• 撮影を中止すると、中止した時点までの動画が保存されます。

撮影を一時中断する：[−]［一時停止］

• 撮影を再開するには[−]［再開］を押します。

✔お知らせ

• 電池残量が少ない状態で撮影すると、動画が保存されないことがあります。
• 動画撮影中に着信音やアラームが鳴った場合、撮影が中断されます。動画は中断された時点まで保存されます。
• 動画撮影中に[⌂]または[PWR]を押してホームスクリーンに移動しても撮影は継続されます。

◆動画撮影のサブメニューを利用する

動画撮影の画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[-]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

明るさ	撮影する動画の明るさを+3～－3の7段階で調整 • 動画撮影画面で◎を押すと、明るさを一段階ずつ調整できます。
オプション	カメラ機能の各種動作設定→P89
画質	撮影する動画サイズ • 設定できるサイズ（横×縦）は、QQVGA（160×120）、QCIF（176×144）、QVGA（320×240）です。
ズーム	動画の撮影倍率の切り替え（Zoom x1.0、Zoom x2.0、Zoom x4.0） • 動画撮影画面で◎を押すと、撮影倍率を切り替えることができます。
静止モード	静止画撮影画面への切り替え

動画を再生する

FOMA端末で撮影した動画を再生します。

• ファイルサイズが大きすぎると、再生できないことがあります。

1 **[-]［スタート］▶［画像とビデオ］▶再生する動画を選択**

Windows Media Player 10 Mobileが起動して、動画が再生されます。

Windows Media Player

音楽や映像を再生する

Windows Media Playerを利用して、FOMA端末やmicroSDメモリーカードに保存した音楽ファイル、映像ファイルを再生して楽しむことができます。

• 次の方法で、FOMA端末に音楽ファイルや映像ファイルを保存できます。
  - パソコンなどに保存されている音楽ファイルや映像ファイルをActiveSyncなどで直接microSDメモリーカードにコピーする
  - インターネットからダウンロードする→P119
  - パソコンのWindows Media Playerと同期させる→P148
• FOMA端末で再生できる音楽や映像のデータ形式、登録可能曲数、プレイリスト数は次のとおりです。

	音楽データ	映像データ
データ形式	Windows Media Audio （wma） Advanced Audio Coding（aac） MPEG Audio Layer-3（MP3）	Windows Media Video（wmv） Moving Picture Experts Group phase 4（MP4）
	Advanced Streaming Format （asf）	
DRM	Windows Media DRM 10 for Portable Devices	
登録可能曲数	最大999曲	
プレイリスト数	最大100件（1件のプレイリストには999曲まで登録可能）	

• 音楽や映像を再生すると、ホームスクリーンに🎞が表示されます。
• MIDIファイル（SMF Format 0）、WAVファイルを選択するとWindows Media Player 10 Mobileではなく、サウンドプレーヤーが起動して再生されます。また、MIDIファイル（SMF Format 1）は、サポートしていないので、再生できません。

1 ［スタート］▶［生活ツール］▶［Windows Media］▶ライブラリから再生するファイルにカーソルを合わせて［再生］

- 保存したファイルが表示されない場合は、サブメニューから「ライブラリの更新」を選択します。
- microSDメモリーカードに保存している場合は、サブメニューからライブラリの「Storage Card」を選択します。



Windows Media Player 10 Mobile画面

- 画面の見かたは次のとおりです。

① **ファイル名／曲名**

② **プレーヤーの状態／ファイル情報**
操作時の状態（再生、一時停止など）が表示されます。再生中はファイル情報（アーティスト、アルバム名、ジャンルなど）が表示されます。

③ **評価**
を1回押すごとに、星が1つずつ黄色に変化します。5つの星が黄色の状態でを押すと、評価が0（5つの星がすべて透明）にリセットされます。
- キーの割り当ては、［オプション］▶［ボタン］で変更できます。

④ **経過時間または残り時間**
プレーヤーのオプションの設定に従って表示されます。

⑤ **ファイルの先頭へ／停止中は前のファイルへ**

⑥ **一時停止／再開**
再生中は、一時停止中はが表示されます。

⑦ **次のファイルへ**

⑧ **音量表示**
イヤホンの音量を100%としたときの音量が表示されます。

◆Windows Media Player 10 Mobileの各種動作を設定する

Windows Media Player 10 Mobileのオプションで、ボタンの割り当てやインターネットへの接続速度などを設定します。

- Windows Media Player 10 Mobileの再生画面のときだけ設定できます。

1 Windows Media Player 10 Mobile画面で［メニュー］▶［オプション］▶各項目を設定▶［完了］

再生オプションを設定する：［再生］▶各項目を設定▶［完了］

時間の表示形式： 再生中のWindows Media Player画面に表示する時間の種類（経過時間、残り時間）

他のプログラムの使用中に再生を一時停止する： 一時停止する／しない

通話後に再生を再開する： 再生中に着信があったとき、通話終了後に再生を再開する／しない

ビデオオプションを設定する：［ビデオ］▶各項目を設定▶［完了］

全画面でビデオを再生： 映像再生時の全画面表示（再生しない、サイズ超過時のみ、常に）

ウィンドウに合わせて拡大／縮小する： ウィンドウに合わせる／合わせない

ネットワークオプションを設定する：［ネットワーク］▶各項目を設定▶［完了］

インターネット接続速度： インターネットへの接続速度を検出する／しない

プロトコル： 利用するプロトコル

ライブラリオプションを設定する：**［ライブラリ］▶項目を設定▶［−］［完了］**

ライブラリ画面でプレーヤーを起動する：Windows Media Playerを起動したときにライブラリ画面を表示する／しない

スキンオプションを設定する：**［スキン］▶スキンを選択▶［−］［完了］**

- スキン（再生画面のデザイン）はWindows Mobileのホームページなどからダウンロードできます。

ボタンオプションを設定する：**［ボタン］▶変更する操作にカーソルを合わせて［−］［メニュー］▶［割り当て］▶割り当てるボタンを押す▶［−］［OK］**

- ボタンの割り当てをお買い上げ時の状態に戻すには、［−］［メニュー］▶［リセット］を選択します。

◆ Windows Media Player 10 Mobileのサブメニューを利用する

Windows Media Player 10 Mobileの各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに［−］［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

上へ	プレイビューの再生順番を1つ上に移動
エラーの詳細	エラーのログ
オプション	Windows Media Player 10 Mobileの各種動作設定
再生／一時停止	再生中の音楽や映像を一時停止／再開
再生待ちに追加	ライブラリ内の音楽や映像を再生予約 •「再生待ちに追加」した音楽や映像は「プレイビューリスト」に登録されます。
再生リストから削除	プレイビューリストから音楽や映像を削除
再生リストの保存	プレイビューリストの音楽や映像を再生リストに登録
下へ	プレイビューの再生順番を1つ下に移動
全画面表示	画面全体にジャケット写真を表示 • 元に戻す場合は、［BACK］を押します。
停止	再生中の音楽や映像を停止
バージョン情報	Windows Media Player 10 Mobileのバージョン情報を確認
ファイルを開く	ライブラリ以外の場所にあるファイルを開く
プレーヤー	Windows Media Player 10 Mobile再生画面を表示
プレイビュー	プレイビューリストを表示
プレイビューの消去	プレイビューリストからすべての音楽や映像を削除
プロパティ	音楽や映像の詳細情報を表示
ライブラリ	マイデバイス（本体メモリ）またはStorage Card（microSDメモリーカード）を選択／ライブラリ画面を表示
ライブラリから削除	ライブラリから聴かない音楽や映像を削除
ライブラリの更新	本体メモリまたはmicroSDメモリーカードのデータをライブラリに追加
ランダム再生／連続再生	プレイビューリスト内の音楽や映像を順不同で再生（ランダム再生）／表示順に繰り返し再生（連続再生）
CDの購入	プロパティ表示しているファイルの情報からインターネット接続してCDを購入
URLを開く	直接URLを指定して、音楽の再生やダウンロードを実行 • 事前に接続設定を行ってください。

メール

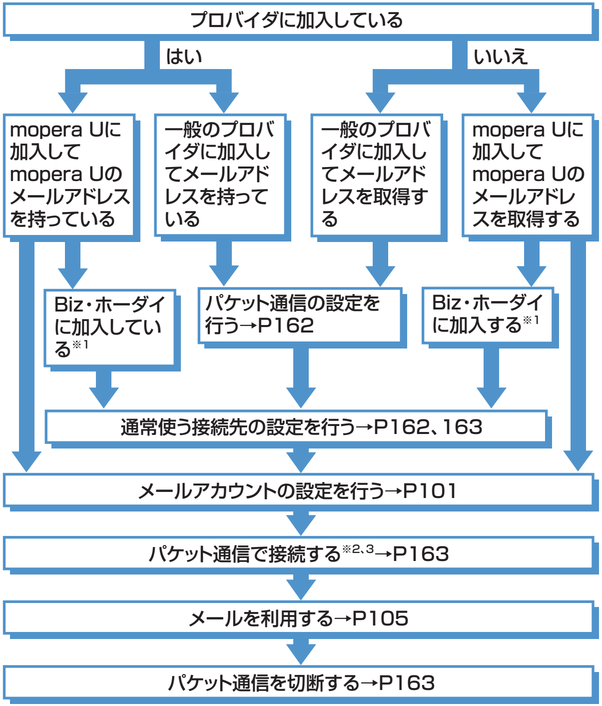
メール

SMS

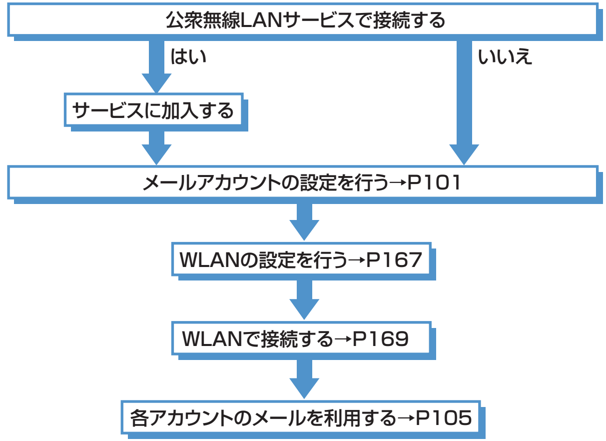
メールを始めるまでの流れ

パケット通信で接続する

（2008年2月現在）



WLANで接続する



※1　mopera Uに加えてBiz・ホーダイに加入すると、定額制サービスを利用できます（2008年2月現在）。Biz・ホーダイに加入した場合は、Biz・ホーダイを「通常使う接続先」に設定してください。

※2　パケット通信モード設定（→P44）の設定によって、自動的にパケット通信やWLANによる通信が開始されます。

※3　パソコンと同期（→P148）している場合、パソコンに接続されたネットワークを利用して、Outlookメール以外の電子メールの送受信を行います。

メールについて

本FOMA端末で利用できるメールの種類とメールBOXについて説明します。

ご利用料金についてのご注意

定額制サービスやWLANを利用しないでパケット通信を行う場合は、サイズの大きいファイルが添付された電子メールの送受信などデータ量の多い通信を行うと、通信料が高額になることがありますのでご注意ください。また、電子メールの送受信では、画面に表示される文字や画像以外に通信に必要なデータが含まれており、その部分も課金の対象となります。

◆扱えるメールの種類

本FOMA端末では、SMS、Outlookメール、一般のプロバイダや社内メールサーバを利用したメール、Windows Liveメールの4種類を利用できます。

- ｉモードメールは利用できません。
- 本書では、扱えるメールの名称を次のように示します。
  - メール：4種類のメールの総称
  - 電子メール：Outlookメールと一般のプロバイダ、Windows Liveメールなどを利用したメール

❖SMS（SMSメッセージ）

SMSは、FOMA端末間で、携帯電話番号のみで文字メッセージをやりとりできるサービスです。電子メールと異なり、FOMA端末のネットワーク設定を行うことなく、すぐに利用できます。送受信したSMSは、FOMAカードに保存できます。→P114

送信方法→P111　受信方法→P113
問い合わせ方法→P113

✔お知らせ

- お客様のFOMA端末に送られてきたSMSは、SMSセンターで受信し、すぐにお客様のFOMA端末に送信します。ただし、お客様のFOMA端末の電源が入っていないときや圏外などで受信できないときは、SMSセンターに保管されます。
- 送信したSMSが相手に届いたかどうかを知らせる配信通知を受け取れます。→P114

❖Outlookメール

Outlookメールは、FOMA端末とパソコンをActiveSyncなどで接続して、パソコンで利用しているOutlookの「電子メール」を同期させた場合にのみ利用できます。同期させると、メールアカウント一覧画面に「Outlookメール」アカウントが作成されます。

FOMA端末では、その他のメールアカウントと同じ操作でOutlookメールを読んだり送信したりすることができます。ただし、送信したメールは「送信トレイ」フォルダに保存されます。実際のメール送信は、パソコンとの同期後にパソコンのOutlookから送信してください。

パソコンと同期する→P148

❖一般のプロバイダなどを利用したメール

FOMA端末では、最大6個のメールアカウントを登録して使い分けることができます。

メールアカウントの登録→P101

❖Windows Liveメール

Windows Liveメールは、Windows LiveまたはMessengerでサインインを行い、電子メールを同期するように設定した場合にのみ利用できます。設定すると、メールアカウント一覧画面に「Windows Live」アカウントが作成されます。

FOMA端末では、その他のメールアカウントと同じ操作でWindows Liveメールを送信できます。→P122

✔**お知らせ**

- mopera Uなどのプロバイダ契約が必要です。社内メールアドレスを登録する場合は、メールサーバなどの情報をネットワーク管理者にお問い合わせください。
- パソコンや他の携帯電話とメールを送受信した場合、利用環境によっては絵文字やHTMLメールなのど内容が正しく表示されない場合があります。

mopera Uについて

- mopera Uをご利用になるためには、別途お申し込みが必要です。
- mopera UはFOMAのためのインターネット接続サービスです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、すぐにインターネットがご利用になれます。
- 詳しくは、ドコモのホームページでご確認ください。

◆ メールBOX（フォルダ）

SMS、Outlookメール、登録したメールアカウントごとのメール、Windows Liveメールには、それぞれ独立したメールBOX（フォルダ）が用意されています。

- メールBOXには、次のものがあります。

  受信トレイ：受信したメールを保存
  - 受信したメールは、自動的に「受信トレイ」フォルダに保存されます。

  送信トレイ：送信待ちのメールを一時保管

  送信済みアイテム：送信済みのメールを保存

  削除済みアイテム：他のフォルダから削除したメールを保管
  - 保管したメールは、他のフォルダに移動すると、削除を取り消せます。
  - 「削除済みアイテム」フォルダ内のメールを削除すると、完全に削除されます。

  下書き：作成中のメールを保存
  - 「下書き」フォルダ内のメールは、削除すると「削除済みアイテム」フォルダには保管されず、完全に削除されます。
- FOMA端末上で、新たにメールBOXを作成することはできません。

✔**お知らせ**

- パソコンのOutlookで、それぞれのフォルダにサブフォルダを作成して、そのサブフォルダをActiveSyncなどの同期対象フォルダに設定している場合は、FOMA端末のOutlookメールにもサブフォルダが自動的に作成されます。

メールを使うための設定と接続について

本FOMA端末では、パケット通信による接続とWLANによる接続でメールを利用できます。Outlookメールを利用するためには、パソコンとの同期接続を行います。

◆ 接続先の設定をする

パケット通信による接続を行うためには、mopera Uへの申し込みが必要です。また、定額制サービスを利用するためには、Biz・ホーダイへの申し込みが必要です。

WLANによる接続で、公衆無線LANサービスを利用するためには、別途、プロバイダなどとのサービス契約が必要です。

- パケット接続設定→P162
- WLAN接続設定→P167

❖ メールアカウントを取得して登録する

mopera Uや一般のプロバイダと契約して取得できるメールアカウントや、企業内で利用するメールアカウントなど、本FOMA端末に登録するアカウントの設定情報を入手します。

- FOMA端末へのメールアカウントの登録→P101

◆ネットワークに接続する

パケット通信モード設定（→P44）の設定によって、自動的にパケット通信やWLANによる通信が開始されます。
- パケット通信接続および切断→P163
  定額制サービス（Biz・ホーダイ）を併用せずに、サイズの大きいファイルが添付された電子メールの送受信など、データ量の多い通信を行った場合には、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- WLAN接続→P169
- パソコンとの同期（Outlookメール）→P148
  パソコンと同期している場合、パソコンに接続されたネットワークを利用して、Outlookメール以外の電子メールの送受信を行います。

メールを使うために必要な設定をする

- 新しいメールアカウントを登録する場合は、mopera Uなどのプロバイダ契約が必要です。社内メールアカウントを登録する場合は、メールサーバなどの情報をネットワーク管理者にお問い合わせください。

◆メールアカウントを作成する〈新しいメールアカウント〉

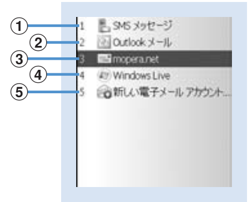
新しいメールアカウントを作成・登録します。複数のメールアカウントを作成・登録することができます。
- メールサーバの名称など、メールアカウントを作成するために必要な情報は、ご契約のプロバイダや社内のネットワーク管理者にお問い合わせください。

✔お知らせ

- mopera Uのメールを利用する場合は、各項目にmopera Uのメール情報を設定してください。mopera U以外のメールアカウントのメールを受信する場合は、各プロバイダから取得したメール情報を設定してください。

1 [✉]

メールアカウント一覧画面が表示されます。この画面から登録済みのメールアカウントを選択したり、新しいメールアカウントを登録したりします。



メールアカウント一覧画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① SMS
  ② Outlookメール
    - ActiveSyncなどでパソコンのOutlookと同期させた場合に表示されます。
    - 企業内でExchange ActiveSyncをインストールしたMicrosoft Exchange Serverを使用している場合は、Exchange Serverを利用してOutlookメールの同期ができます。詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
  ③ 一般のプロバイダなどを利用したメール
    - 「新しい電子メールアカウント」で登録した場合に表示されます。

④ Windows Liveメール

- Windows LiveまたはMessengerでサインインを行い、電子メールを同期するように設定した場合に表示されます。

⑤ 新しい電子メールアカウント登録

2 **[新しい電子メールアカウント] ▶ 各項目を設定**

電子メールアドレス：登録するメールアカウント用に発行されたメールアドレスを入力

インターネットから電子メールの設定を自動的に取得する：自動取得する場合に選択

- 「インターネットから電子メールの設定を自動的に取得する」を選択しない場合は、操作3に進みます。
- 「インターネットから電子メールの設定を自動的に取得する」を選択した場合、情報を自動取得する画面が表示され、自動取得が実行されます。
- 自動取得に成功すると、確認画面が表示されます。[−]［次へ］を押して操作3に進みます。操作3以降の画面で一部の設定項目の内容が自動的に入力されます。
- 自動取得に失敗すると、確認画面が表示されます。[−]［次へ］を押して操作3に進みます。
- 入力した電子メールアドレスの種類によっては、電子メールプロバイダの選択画面が表示されます。「インターネット電子メール」を選択し、[−]［次へ］を押して操作3に進みます。
- 企業内でExchange ActiveSyncをインストールしたMicrosoft Exchange Serverを使用している場合は、設定内容についての詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。

3 **[−]［次へ］ ▶ 各項目を設定**

名前：送信するメールに表示される名前を入力

アカウントの表示名：メールアカウント一覧画面に表示される名称を入力

4 **[−]［次へ］ ▶ 各項目を設定**

受信メールサーバー：受信メールサーバ名を入力

アカウントの種類：POP3、IMAP4

5 **[−]［次へ］ ▶ 各項目を設定**

ユーザー名：受信メールサーバに接続するためのアカウント名称を入力

パスワード：受信メールサーバに接続するためのパスワードを入力

- 入力した文字は「＊」で表示されます。

パスワードの保存：受信メールサーバ接続時にパスワード入力を省略する場合に設定

6 **[−]［次へ］ ▶ 各項目を設定**

送信（SMTP）メールサーバー：送信メールサーバ名を入力

送信サーバーで認証を要求する：メール送信前に認証が必要な送信メールサーバを利用している場合に選択

電子メールの送信に同じ名前とパスワードを使用：送信メールサーバの認証に受信メールサーバのアカウント名称およびパスワードを利用する場合に選択

- 「電子メールの送信に同じ名前とパスワードを使用」を選択した場合は、操作8に進みます。

サーバーの詳細設定：詳細設定画面に移動

- 詳細設定画面では、次の内容を設定できます。[−]［完了］を押すと、元の画面に戻ります。

  受信電子メールにはSSLが必要：SSLによる通信を行っている場合に選択

  送信電子メールにはSSLが必要：SSLによる通信を行っている場合に選択

  ネットワーク接続：インターネット、社内ネットワーク

- プロキシサーバを使用する場合は、「社内ネットワーク」に設定してください。

7 [−] ［次へ］ ▶ 各項目を設定

送信サーバーログインユーザー名：送信メールサーバに接続するためのアカウント名称を入力

パスワード：送信メールサーバに接続するためのパスワードを入力

- 入力した文字は「＊」で表示されます。

パスワードの保存：送信メールサーバ接続時にパスワード入力を省略する場合に設定

8 [−] ［次へ］ ▶ 各項目を設定

「すべてのダウンロード設定の確認」を選択する場合は、操作9へ進みます。設定を終了する場合は、操作11へ進みます。

自動送受信：手動実行、5分ごと、10分ごと、15分ごと、30分ごと、60分ごと、2時間ごと、4時間ごと、1日に一度

- Biz・ホーダイ以外の接続先を通常使う接続に設定している場合は、必ず［Biz・ホーダイ設定］▶［表示設定］を「表示しない」に設定してください。→P164

9 ［すべてのダウンロード設定の確認］ ▶ 各項目を設定

自動送受信：操作8の設定を確認／変更

メッセージのダウンロード：今日受信したメッセージ、過去3日間、過去5日間、過去7日間、過去30日間、すべてのメッセージ

詳細設定：選択すると詳細設定画面に移動

- 詳細設定画面では、次の内容を設定できます。[−]［完了］を押すと、元の画面に戻ります。
  [送信]をクリックしたとき送受信を実行する：メール送信時に受信も同時に行う場合に選択
  ローミング時に自動送受信スケジュールを使用する：ローミング契約エリアでも自動的に接続してメールの送受信を行う場合に選択（選択すると通知画面が表示されるので[−]［OK］）
  メッセージの削除時：サーバーから削除する、サーバーに残しておく

10 [−] ［次へ］ ▶ 各項目を設定

メッセージ形式：HTML、テキスト形式

メッセージのダウンロード制限：2KB、5KB、20KB、50KB、ヘッダーのみ、メッセージ全体

- アカウントの種類で「IMAP4」を選択した場合は、［テキストのみ（画像なし）］が追加表示されます。

添付ファイルのダウンロード：ダウンロードしない、25KB未満、50KB未満、100KB未満、250KB未満、すべての添付ファイル

- 手順4の「アカウントの種類」で「IMAP4」を選択した場合に設定します。

11 [−] ［完了］

◆自動送受信するメールアドレスを設定する〈メール自動受信設定〉

自動受信するメールアドレスを登録します。

- mopera Uのメールアドレスのみ登録できます。mopera Uの自動受信を開始するには、ネットワーク側の設定も必要になります。mopera U（初期設定）に接続してメール自動受信設定を行ってください。→P162

1 [−] ［スタート］ ▶ ［設定］ ▶ ［接続］ ▶ ［メール自動受信設定］ ▶ 各項目を設定 ▶ [−] ［保存］ ▶ [−] ［完了］

メールアドレス：自動受信するメールアドレスを選択

SMSによるメール自動受信を行う：mopera Uのメール自動受信サービスを受ける場合に選択

- メールがメールサーバに届くと本FOMA端末にSMSが送信され、自動でメールの受信が行われます（SMSは表示されません）。「送信トレイ」フォルダにメールが保存されている場合は、メールが送信されます。
- 「SMSによるメール自動受信を行う」を選択したときには、回線選択欄で回線種別を選択します。
- 回線選択にてBiz・ホーダイ以外の接続先を設定する場合は、必ず［Biz・ホーダイ設定］▶［表示設定］を「表示しない」に設定してください。→P164

◆署名を作成する〈メールオプション（署名）〉

メールに入れる署名を作成します。

- SMS、Outlookメール、登録した複数のメールアカウントのメール、Windows Liveメールそれぞれに個別に設定できます。
- メールオプション画面は、すべてのメールアカウントで共通です。

1 ▶メールアカウントを選択▶［メニュー］▶［ツール］▶［オプション］▶［署名］▶各項目を設定▶［完了］

アカウントの選択：署名を設定するメールアカウントを選択

このアカウントで署名を使用する：署名を使用する場合に選択

- この項目を選択しなければ、署名欄に文字を入力できません。
- この項目を選択すると、電子メールに署名が自動挿入されます。署名を使用しないときは、この項目の選択を外してください。

返信／転送時に使用する：返信メールや転送メールに署名をつける場合に選択

署名：署名として使用する文字列を入力

✔お知らせ

- SMSでは、署名で登録した文字列もメール本文の文字数に含まれます。署名とメール本文の合計文字数が送信できるサイズを超えると送信できません。

◆その他のオプションを設定する〈メールオプション（その他）〉

メール一覧の表示や送信時の動作などの設定について説明します。

- メールオプション画面は、すべてのメールアカウントで共通です。

❖メール一覧の表示方法を設定する

1 ▶メールアカウントを選択▶［メニュー］▶［ツール］▶［オプション］▶［表示設定］▶各項目を設定▶［完了］

メッセージリストに日付と時刻を表示する：メールを送受信・作成した日時をメール一覧に表示する場合に選択

以下の順にメッセージを並べ替え：メール一覧の並べ替えのキー項目と並び順を選択

メッセージを移動／削除した後：メールを削除したり、別のフォルダへ移動したりした後の動作を［メッセージ一覧に戻る］、［次のメッセージを開く］、［前のメッセージを開く］から選択

❖メール送信時の動作を設定する

1 ▶メールアカウントを選択▶［メニュー］▶［ツール］▶［オプション］▶［送信設定］▶各項目を設定▶［完了］

電子メールを返信するときに、元のメッセージのコピーを含める：返信元メールの本文を送信メールに引用する場合に選択

送信済みアイテムのコピーを保存する：送信したメールのコピーを「送信済みアイテム」フォルダに保存する場合に選択

❖リンク選択時の動作を設定する

1 ▶メールアカウントを選択▶［メニュー］▶［ツール］▶［オプション］▶［セキュリティ設定］▶各項目を設定▶［完了］

デバイス外部のURLまたはリンク先に移動する前に警告する：メール本文に書かれたURLを選択したとき、警告画面を出す場合に選択

❖その他の動作を設定する

1 ▶メールアカウントを選択▶［メニュー］▶［ツール］▶［オプション］▶［その他］▶各項目を設定▶［完了］

メールを開く際にアカウントを選択する：メールを読むときに、常にメールアカウント一覧画面を表示させる場合に選択

メッセージ一覧からメッセージを削除するときに警告する：メール一覧からメールを削除するとき、警告画面を出す場合に選択

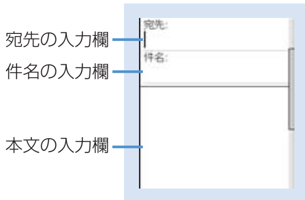
新規

電子メールを作成して送信する

- HTML形式のメールは作成できません。
- 電子メールを分割して送信する機能には対応していません。

1 **✉▶メールアカウントを選択▶□［メニュー］▶［新規］**

- カーソルは宛先の入力欄にあります。



メール作成画面

2 **宛先を入力**

直接メールアドレスを入力する：**ダイヤルキーを使って文字を入力**

宛先のメールアドレスを連絡先から探して入力する：**◉▶連絡先を選択**

- 選択した連絡先に複数のメールアドレスが登録されている場合は、メールアドレスの選択画面が表示されます。一覧から宛先に入力するメールアドレスを選択します。

3 **件名の入力欄にカーソルを合わせて件名を入力**

4 **本文の入力欄にカーソルを合わせて本文を入力**

5 **□［送信］**

作成した電子メールが送信されます。

- 入力した件名の長さによっては、送信先のメール受信画面で、正しく表示されない場合があります。
- 「Outlookメール」アカウントのメールを送信した場合は、メールは「送信トレイ」フォルダに保存されます。保存されたメールは、次回、FOMA端末とパソコンを同期させたときにパソコンのOutlookで送信してください。

✔お知らせ

- 宛先の入力欄の上部にBCC宛先入力欄とCC宛先入力欄があります。入力方法は、宛先と同じです。

◆マイテキストを利用する〈マイテキスト〉

よく使う短い文章を定型文として登録し、メールの件名や本文に挿入できます。マイテキストには、お買い上げ時にあらかじめ文章が登録されていますが、編集して利用することもできます。

- 最大9件まで登録できます。

❖マイテキストを入力する

1 **メール作成画面で件名欄または本文欄にカーソルを合わせて□［メニュー］▶［マイテキスト］▶マイテキストを選択**

❖マイテキストを編集する

1 **メール作成画面で件名欄または本文欄にカーソルを合わせて□［メニュー］▶［マイテキスト］▶□［メニュー］▶［マイテキストの編集］▶編集したいマイテキストに移動し、マイテキストを編集▶□［完了］**

挿入

ファイルを添付する

電子メールに画像やデータファイル、ボイスメモを添付して送信できます。複数のファイルを添付できます。

1 メール作成画面で[－]［メニュー］▶［挿入］▶添付する対象を画像、ボイスメモ（→P132）、ファイル（→P140）から選択▶選択対象ごとに操作を完了

宛先や件名、本文を入力、編集して送信します。→P105

- 画像を選択すると、画像の挿入画面が表示されます。登録されている画像を選択するか、カメラで撮影（→P91）します。

✔お知らせ

- 添付ファイルのサイズによっては、送信が完了するまでに時間がかかる場合があります。
- 添付ファイルを削除するときは、添付ファイルにカーソルを合わせて[BACK]を押します。

下書き保存

作成中のメールを保存しておき、あとで送信する

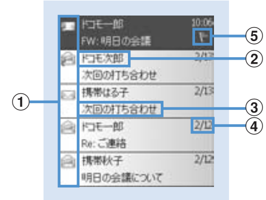
◆メールを一時保存する

1 メール作成画面で[－]［メニュー］▶［下書きに保存］

◆保存したメールを選択して、編集、送信する〈フォルダ〉

通常、メール一覧画面には、前回メール機能を使っていたときに表示していたフォルダに保存されているメールが一覧表示されています（このとき、画面上部に、「受信トレイ」フォルダの場合はアカウント名が、それ以外のフォルダの場合はフォルダ名が表示されます）。一覧表示するフォルダを変更して、保存したメールを編集、送信します。

1 [✉e]▶メールアカウントを選択



メール一覧画面

- 画面の見かたは次のとおりです。

① メールアイコン

: 新規作成メール
: 未読メール
: 未読メール・添付ファイルあり
: 未読メール・一部受信→P108
: 既読メール
: 既読メール・添付ファイルあり
: 既読メール・一部受信→P108
／: 未読メール／既読メール・次回送受信でダウンロード

② 宛先

③ 件名

④ 日時

- 日時は、メールオプションの「メッセージリストに日付と時刻を表示する」を設定している場合のみ表示されます。→P104

⑤ フラグアイコン（「Outlookメール」アカウントのみ）

: フラグ
: 終了フラグ

- フラグをつけているときのみ表示されます。→P110

2 [メニュー] ▶ [フォルダ]

- 「Outlookメール」アカウントでは、サブフォルダが表示される場合があります。→P100



フォルダ一覧画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ①「下書き」フォルダ
  ②「削除済みアイテム」フォルダ
  ③「受信トレイ」フォルダ
  ④「送信トレイ」フォルダ
  ⑤「送信済みアイテム」フォルダ
  - フォルダ内に未読メールがあるときには、フォルダ名の後ろに未読メール数がカッコつきで表示されます。

3 **「下書き」フォルダを選択**

メール一覧画面に「下書き」フォルダに保存されたメールが一覧表示されます。

- 同様の操作で、その他のフォルダを表示できます。

4 **編集、送信するメールを選択**

メール作成画面に切り替わります。メールを編集して、送信します。→P105

メールを受信する

電子メールは、自動受信の設定（→P103）に従って、一定間隔で自動的に受信されます。手動で受信することもできます。

◆メールを受信したときは〈メール自動受信〉

1 **メールを受信**

メールを受信すると、電子メール受信音が鳴り、ランプが点滅してが表示されます。受信結果は、ホームスクリーンの新着情報に表示されます。
受信したメールは、メールアカウントごとの「受信トレイ」フォルダに保存されます。

◆自動受信以外のタイミングでメールを受信する

1 **メール一覧画面で [メニュー] ▶ [送受信]**

メールを受信します。未送信のメールがある場合は、同時に送信します。

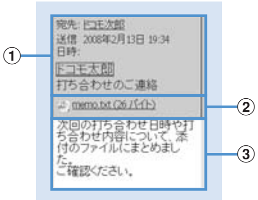
◆受信したメールを読む

ホームスクリーンの新着情報を選択すると、メールアカウント一覧画面が表示されます。未読メールのあるメールアカウントには、未読数がカッコつきで表示されます。

- 新着情報に複数のアイコンが表示されている場合は、新着情報アイコンの選択画面が表示されます。一覧から未読メールアイコンを選択します。
- メールオプションで「メールを開く際にアカウントを選択する」が設定されてないときは、メールアカウント一覧画面は表示されずに、直前に使用していたメールアカウントのメール一覧画面が表示されます。で別アカウントのメール一覧画面に切り替えることができます。
- 電子メールを分割して受信する機能には対応していません。

1 メール一覧画面でメールを選択

選択したメールの内容がメール表示画面に表示されます。



メール表示画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  - ① **ヘッダ**
    - 宛先、送信日時、送信者、件名が表示されます。
  - ② **添付ファイル**
    - ファイルが添付されているメールのみ表示されます。
  - ③ **本文**

✔お知らせ

- メール本文に「メッセージと添付ファイルをすべて取得する」と表示されているメールは、ダウンロード制限（→P103）のサイズを超えたものです。表示にカーソルを合わせて◉を押すと、「次回接続して電子メールを受信するときに、メッセージとすべての添付ファイルをダウンロードします」に変わり、その後のメール受信ですべての内容が受信されます。
- パケット通信でメールを受信した場合は、受信が完了してもパケット通信は接続されたままになりますのでご注意ください（タイムアウトなど操作状況によっては通信が切断される場合もあります）。操作の終了後は、パケット通信を切断してください。→P163

◆受信メールの添付ファイルを保存する

1 メール表示画面で添付ファイルを選択

2 [－]［メニュー］▶［名前を付けて保存］▶各項目を設定▶[－]［保存］▶[－]［OK］

名前：保存するファイル名を変更する場合に編集

場所：添付ファイルの保存場所

- メインメモリ（本体メモリ）またはStorage Card（microSDメモリーカード）から選択します。

添付ファイルを開く：[－]［開く］

- 添付ファイル形式によって、ファイルを開くときの動作が異なります。

返信

受信したメールに返信する

受信した電子メールに返信します。

1 メール表示画面で[－]［メニュー］▶［返信］▶返信対象を選択

対象を選択すると、メール作成画面に切り替わります。メールを編集して、送信します。→P105

返信：受信メールのFromヘッダに入っている宛先へ返信

全員へ返信：受信メールのFromヘッダ、Ccヘッダに入っている宛先すべてに返信

- 返信メールの件名には、先頭に文字列「RE:」が挿入されます。

✔お知らせ

- 返信メールのメール作成画面で「送信者のメッセージの編集」を選択すると、返信元のメール本文を引用、編集して、返信できます。

メールを転送する

1 **メール表示画面で［－］［メニュー］▶［返信］▶［転送］**

メール作成画面に切り替わります。メールを編集して、送信します。→P105

- 転送メールの件名には、先頭に文字列「FW:」が挿入されます。

✔お知らせ

- 転送メールのメール作成画面で「送信者のメッセージの編集」を選択すると、転送元のメール本文を引用、編集して、転送できます。

メールの便利な機能

◆受信メールから電話をかける

1 **メール表示画面で本文内に書かれた電話番号を選択**

ダイヤル画面が表示されます。

2 **［－］［ダイヤル］**

- 電話をかける前に電話番号を入力し直すこともできます。
- 受信メールの宛先欄に表示されている宛先が連絡先に登録されている場合は、宛先を選択すると連絡先が表示されます。連絡先から電話をかけることもできます。→P52

◆受信メールから直接メールを送信する

1 **メール表示画面で本文内に書かれたメールアドレスを選択**

メールアカウント一覧画面が表示されます。

2 **送信に使用するメールアカウントを選択**

メール作成画面が表示されます。メールを作成して、送信します。→P105

◆電話番号を連絡先に登録する

1 **メール表示画面で本文内に書かれた電話番号を選択**

ダイヤル画面が表示されます。

2 **［－］［メニュー］▶［連絡先に保存］**

連絡先画面が表示されます。連絡先に登録します。→P59

- ダイヤル画面で電話番号を入力し直すこともできます。

◆メール機能のサブメニューを利用する

メール機能の各画面で［－］［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

移動	メールを別フォルダに移動→P111
削除	読んでいるメールを「削除済みアイテム」フォルダに移動（「削除済みアイテム」フォルダ内および「下書き」フォルダ内では削除）→P111 メールアカウントの削除
下書きに保存	作成中の電子メールを「下書き」フォルダに保存→P106
受信者の追加	宛先の入力欄に連絡先から宛先を入力、追加
新規	メールを新規作成→P105
すべてのフォルダを表示／同期フォルダを表示	「Outlookメール」アカウントのフォルダ一覧画面で、すべてのフォルダを表示／パソコンと同期するフォルダを表示

設定	メールアカウントごとの設定 • SMS：配信通知要求の有無、Unicode使用の有無 • Outlookメール※：同期パターンの設定（メッセージのダウンロード、メッセージ形式、メッセージの最大サイズ）、詳細設定（セキュリティ、証明書選択） • 作成したメールアカウント：アカウントの設定、編集 • Windows Liveメール：ホームスクリーンの表示方法、同期動作の設定、メール表示の設定、Messengerの設定 ※パソコンと同期している場合は、設定を変更できません。
送受信／送受信の停止	メールの強制送受信を実行／停止→P107
挿入	添付ファイルを選択→P106
ツール	メールアカウントの切り替え、メールオプション画面を表示、［削除済みアイテム］を空にする
名前の確認	宛先の入力欄に直接入力したメールアドレスや名前の一部を連絡先から探して入力
表示	読んでいるメールの表示文字サイズや言語を変更
フォルダ	フォルダ一覧を表示→P107
フォルダの管理	「Outlookメール」および「Windows Liveメール」アカウントのフォルダに対して、パソコンとの同期の有無を設定 •「Outlookメール」および「Windows Liveメール」アカウントで有効な設定です。
フラグ	「Outlookメール」アカウントのメールにフラグを付加、削除
返信	返信メールや転送メールを作成→P108、109
マイテキスト	件名の入力欄または本文の入力欄にマイテキストを入力→P105
未読にする／開封済みにする	既読メールを未読にする／未読メールを既読にする
メッセージのダウンロード／ダウンロードしない	ダウンロード制限のサイズを超えたメールのダウンロードを予約／解除→P108
メッセージの取り消し	メールの作成を中断して内容を破棄
メッセージのオプション	メッセージのオプション画面を表示

◆ メール機能のショートカットを利用する

メール機能の各画面でダイヤルキーを1秒以上押すと、次の機能を利用できます。

ダイヤルキー	機能
1	全員に返信
2	返信
3	未読／既読の切り替え
4	フラグをつける（「Outlookメール」アカウントのみ）
5	移動
6	転送
7	削除
8	メッセージのダウンロード
9	送受信

フォルダ内のメールを操作する

◆メールを別のフォルダに移動する

1 メール一覧画面でメールを選択▶［－］［メニュー］▶［移動］

移動画面が表示されます。

2 移動先のフォルダを選択

メールが移動します。
- 移動後の動作は、メールオプションの「メッセージを移動／削除した後」の設定により変わります。→P104

◆メールを削除する

保存してあるメールを削除します。
- メールオプションの「メッセージ一覧からメッセージを削除するときに警告する」を設定していない場合、警告画面は表示されずにメールが削除されます。→P104

1 メール一覧画面でメールを選択▶［－］［削除］

警告画面が表示されます。

2 ［－］［はい］

メールが削除されます。
- 削除後の動作は、メールオプションの「メッセージを移動／削除した後」の設定により変わります。→P104

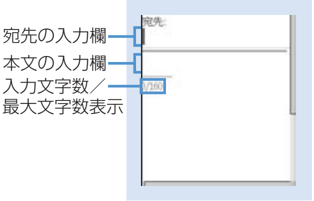
✔お知らせ
- 削除したメールは、「削除済みアイテム」フォルダに保存されます。
- 「削除済みアイテム」フォルダ内の電子メールを削除すると、完全に削除されます。
- 「下書き」フォルダ内の電子メールを削除すると、「削除済みアイテム」フォルダには保存されず、完全に削除されます。

SMS作成・送信

SMSを作成して送信する

1 ［✉］▶［SMSメッセージ］▶［－］［メニュー］▶［新規］

- カーソルは宛先の入力欄にあります。



SMS作成画面

2 宛先を入力

直接電話番号を入力する：ダイヤルキーを使って入力
- 半角数字20文字以内で入力します。21文字以上入力すると、送信時にエラーになります。

宛先の電話番号を連絡先から探して入力する：◉▶連絡先を選択
- 選択した連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、電話番号の選択画面が表示されます。一覧から宛先に入力する電話番号を選択します。

3 本文の入力欄にカーソルを合わせて本文を入力

- 半角英数字のみで160文字以内、全角文字と半角文字を混在させた場合は70文字以内で入力します。
- 改行も本文の文字数に含まれます（2文字分）。ただし、相手の端末によっては空白に置き換わります。

4 [－] [送信]

作成したSMSが送信されます。

✔お知らせ

- SMSにはファイルを添付できません。ファイルを添付してメールを作成する場合は、Outlookメール、一般のプロバイダなどを利用したメール、Windows Liveメールなどをご利用ください。
- 宛先に「＊」または「#」が含まれている場合は、SMSを送信できません。
- 改行コードおよび区点13区コードは、送信時にスペースに置換されます。ただし、次のコードについては、2区コードとしても定義されているので、スペースに置換されません。
「≒」「≡」「∫」「√」「⊥」「∠」「∵」「∩」「∪」

下書き保存

作成中のSMSを保存しておき、あとで送信する

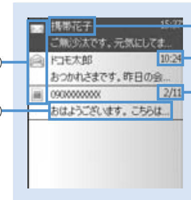
◆SMSを一時保存する

1 SMS作成画面で[－][メニュー] ▶ [下書きに保存]

◆保存したSMSを選択して、編集、送信する〈フォルダ〉

通常、SMS一覧画面には、前回SMSを使用したときに表示していたフォルダに保存されているSMSが一覧表示されています（このとき、画面上部に、「受信トレイ」フォルダの場合は「SMSメッセージ」と表示され、それ以外のフォルダの場合はフォルダ名が表示されます）。一覧表示するフォルダを変更して、保存したSMSを編集、送信します。

1 [✉] ▶ [SMSメッセージ]



SMS一覧画面

- 画面の見かたは次のとおりです。

① メールアイコン

：新規作成SMS
：未読SMS
：既読SMS
：FOMAカードに保存したSMS
：配信通知
：ボイスメール（留守番電話サービス）→P184

② 宛先

③ 日時

- 日時は、メールオプションの「メッセージリストに日付と時刻を表示する」を設定している場合にのみ表示されます。→P104

④ 本文の先頭部分

2 [ー]［メニュー］▶［フォルダ］

フォルダ一覧画面が表示されます。
フォルダ一覧画面の見かた→P107

3 「下書き」フォルダを選択

SMS一覧画面に「下書き」フォルダに保存されたメールが一覧表示されます。
- 同様の操作で、その他のフォルダを表示できます。

4 編集、送信するSMSを選択

SMS作成画面に切り替わります。SMSを編集して、送信します。→P111

SMSを受信する

◆SMSを受信したときは〈SMS受信〉

1 SMSを受信

SMSを受信すると、SMS受信音が鳴り、ランプが点滅して受信結果がホームスクリーンに表示されます。→P29、64、65
受信したSMSは、「受信トレイ」フォルダに保存されます。

◆SMSがあるかどうか問い合わせる〈SMS問合せ〉

1 [ー]［スタート］▶［管理］▶［SMS問合せ］

SMSを受信します。

◆受信したSMSを読む

受信したSMSを読む操作は、電子メールの場合と同じです。SMSの内容は、SMS表示画面に表示されます。
- 受信したメールを読む→P107

返信

受信したSMSに返信する

受信したSMSに返信します。

1 SMS表示画面で[ー]［メニュー］▶［返信］▶返信対象を選択

対象を選択すると、SMS作成画面に切り替わります。SMSを編集して、送信します。→P111
返信：選択している宛先へ返信
全員へ返信：「返信」と同じ機能

転送

SMSを転送する

受信したSMSを他の宛先に転送します。

1 SMS表示画面で[ー]［メニュー］▶［返信］▶［転送］

SMS作成画面に切り替わります。本文には転送元SMSの内容が表示されます。SMSを編集して、送信します。→P111

◆SMS機能のサブメニューを利用する

SMS機能の各画面で[ー]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

移動	SMSを別フォルダに移動（電子メールの移動と同じ操作）→P111
削除	読んでいるSMSを「削除済みアイテム」フォルダに移動（「削除済みアイテム」フォルダ内および「下書き」フォルダ内では削除）→P111
下書きに保存	作成中のSMSを「下書き」フォルダに保存→P113
受信者の追加	宛先の入力欄に連絡先から宛先を入力、追加
新規	SMSを新規作成→P111

送受信	SMSの問い合わせ→P113
ツール	メールアカウントの切り替え、「削除済みアイテム」フォルダ内の一括削除、メールオプション画面を表示
名前の確認	宛先の入力欄に直接入力した電話番号を連絡先から探し名前を表示※
フォルダ	フォルダ一覧を表示→P107
返信	返信SMSや転送SMSを作成→P113
マイテキスト	本文の入力欄にマイテキストを入力→P105
未読にする／開封済みにする	既読SMSを未読にする／未読SMSを既読にする • SMSを既読から未読にした場合、着信音が鳴り、✉が表示されます。
メッセージの取り消し	SMSの作成を中断して内容を破棄
メッセージのオプション	配信通知の要求の有無を設定
SIMカードにコピー／電話にコピー	SMSをFOMAカードにコピー／SMSをFOMA端末のメモリにコピー

※「名前<電話番号>」という形式で表示されますが、電話番号と関連しない名前が表示される場合があります。ただし、SMSは表示された電話番号宛に送信されます。

フォルダ内のSMSを操作する

◆SMSを別のフォルダに移動・削除する

移動や削除の操作は、電子メールの場合と同じです。

• メールを別フォルダに移動する→P111
• メールを削除する→P111

SMSをFOMAカードに保存する

• 最大20件保存できます。

1 保存するSMSを選択▶[－][メニュー]▶[SIMカードにコピー]

• FOMAカードに保存したSMSが最大件数になると、ホームスクリーンに📶が表示されます。別のSMSを保存する場合は、FOMAカード内のSMSを削除してください。
• 送信済SMSはFOMAカードに保存できません。

◆FOMAカードに保存したSMSをFOMA端末のメモリにコピーする

1 コピーするSMSを選択▶[－][メニュー]▶[電話にコピー]

SMS設定

SMSの有効期間を設定する

1 [－][スタート]▶[設定]▶[接続]▶[SMS設定]▶各項目を設定▶[－][完了]

有効期間：自分が送信したSMSを相手が受け取れない場合、SMSセンターで保管する期間（0～3日）を選択

SMSメッセージサービスセンター：電話番号を入力

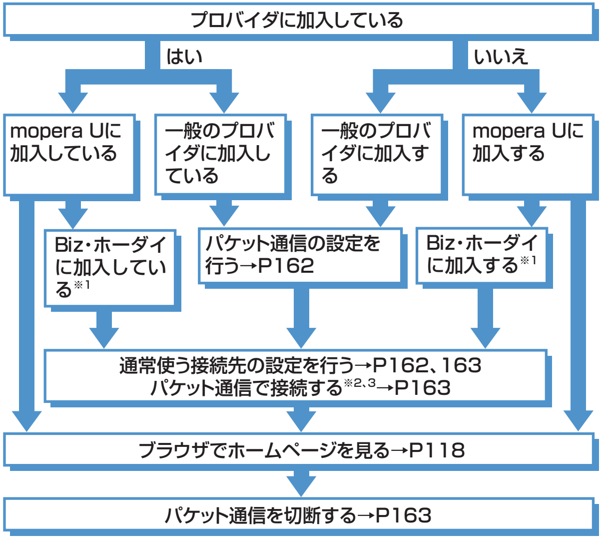
• 電話番号は、通常は変更せずにご利用ください。万が一変更する場合は、変更前の電話番号をメモなどに控えてください（元の電話番号に戻すときに必要です）。

ブラウザ

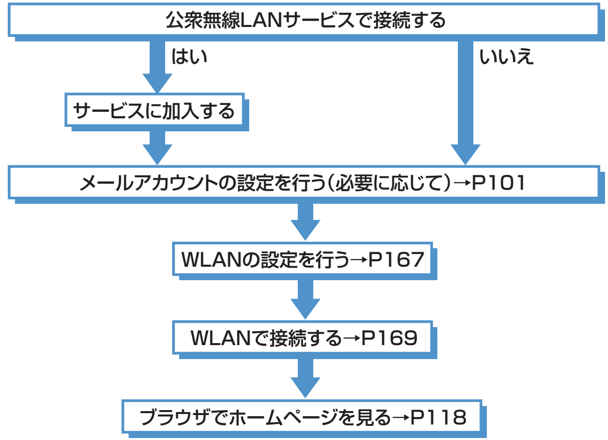
ブラウザを始めるまでの流れ

パケット通信で接続する

（2008年2月現在）



WLANで接続する



※1　mopera Uに加えてBiz・ホーダイに加入すると、定額制サービスを利用できます（2008年2月現在）。Biz・ホーダイに加入した場合は、Biz・ホーダイを「通常使う接続先」に設定してください。
※2　パケット通信モード設定（→P44）の設定によって、自動的にパケット通信やWLANによる通信が開始されます。
※3　パソコンと同期（→P148）している場合、パソコンに接続されたネットワークを利用して、ホームページの閲覧を行います。

ブラウザ（Internet Explorer Mobile）について

FOMA端末に搭載されているブラウザ（Internet Explorer Mobile）は、携帯端末向けのホームページに加え、パソコン向けのホームページも閲覧できるフルブラウザです。

- 次の機能には対応していません。
  - Flash画像の表示（静止画で表示される、または何も表示されない）
  - プラグイン
- すべてのパソコン向けホームページをパソコン用ブラウザと同様に表示することはできません。

パケット通信で、画像などを多く含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。

ブラウザを使うための設定と接続について

本FOMA端末では、パケット通信による接続とWLANによる接続でブラウザを利用できます。

◆接続先の設定をする

パケット通信による接続を行うためには、mopera Uへのお申し込みが必要です。また、定額制サービスを利用するためには、Biz・ホーダイへのお申し込みが必要です。
WLANによる接続で、公衆無線LANサービスを利用するためには、別途、プロバイダなどとのサービス契約が必要です。

- パケット接続設定→P162
- WLAN接続設定→P167

✔お知らせ

mopera Uについて

- mopera Uをご利用になるには、別途お申し込みが必要です。
- mopera UはFOMAのためのインターネット接続サービスです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、すぐにインターネットがご利用になれます。
- 詳しくは、ドコモのホームページでご確認ください。

◆ネットワークに接続する

パケット通信モード設定（→P44）の設定によって、自動的にパケット通信やWLANによる通信が開始されます。

- パケット通信の接続および切断→P163
  定額制サービス（Biz・ホーダイ）を併用せずに、画像などを含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- 他のプログラムに切り替えても、パケット通信を切断する（→P163）か、タイムアウトにならない限り、接続されたままとなりますのでご注意ください。
- WLAN接続→P169
- パソコンとの同期→P148
  パソコンと同期している場合、パソコンに接続されたネットワークを利用して、ホームページの閲覧を行います。

ホームページを表示する

1 [✉] （1秒以上）



ブラウザホームページ画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① 検索文字入力欄
  ② 検索ボタン
  ③ お気に入り表示
  ④ 履歴表示
- この画面からさまざまなホームページへ移動して閲覧できます。
- ブラウザホームページ画面が表示されない場合は、[−]［メニュー］▶［ホームページ］を選択してください。

◆ 検索バーを使う

1 ブラウザホームページ画面で検索文字入力欄に検索したい言葉を入力 ▶ 検索ボタン（🔍）を選択

インターネットに接続して、Microsoft Live Searchによる検索結果画面が表示されます。リンクを選択すると、それぞれのホームページが表示されます。

◆ アドレスバーを使う

ホームページのアドレス（URL）を指定して接続します。

1 ブラウザホームページ画面で[−]［メニュー］▶［アドレスバー］

アドレス入力画面が表示されます。

2 アドレスを入力 ▶ [−]［移動］

指定したアドレスのホームページが表示されます。

✔お知らせ

- SSLによるセキュリティ保護を行っているページが表示されたときは、画面上部に🔒が表示されます。
- SSLによるセキュリティ保護を行っているページから、セキュリティ保護されていないページへ移動すると、確認画面が表示されます。[−]［はい］を押すと、移動します。

ホームページ表示中の操作

◆ ページをスクロールする

表示されたホームページは、マルチカーソルキーでスクロールさせることができます。ページ内にリンクがあると、スクロールに従ってカーソルがリンク上に移動し、選択できる状態になります。

◆ リンクをたどる

❖別のページに移動する

別ページへのリンクを選択すると、そのページが表示されます。直前に表示していたページには、[BACK]で戻ることができます。

❖画像を保存する

画像ファイルに対して設定されたリンクを選択すると、ページ全体に画像が表示されます。

- ホームページ上に表示されている画像を選択して保存することはできません。
- 対応している画像形式は、GIF、JPEG、BMP、PNGです。

1 ブラウザ画面で[−]［名前を付けて保存］

ダウンロード画面が表示されます。保存先には、FOMA端末の「My Pictures」フォルダがあらかじめ指定されています。

2 [−]［はい］

画像が保存され、ドキュメントビューアで表示されます。[BACK]を2回押して、ブラウザに戻ります。

保存するファイル名を変更する：[−]［メニュー］▶［名前を付けて保存］▶名前欄を選択してファイル名を入力、編集▶[−]［保存］

microSDメモリーカードに保存する：[−]［メニュー］▶［名前を付けて保存］▶場所欄を選択して［Storage Card］▶[−]［保存］

❖データをダウンロードする

ドキュメントビューアやWindows Media Player 10 Mobileで開くことができる画像ファイル以外のデータファイルをダウンロードして保存します。ダウンロードするファイルに設定されているリンクを選択して、ダウンロードしてください。

- FOMA端末で認識できないファイルはブラウザで開いてしまうため、ダウンロードできません。
- 保存先には、FOMA端末の「My Documents」フォルダがあらかじめ指定されています。

1 ダウンロード画面で[−]［はい］

データファイルがダウンロードされ、指定のフォルダに保存されます。

- 画像ファイルの保存と同じく、microSDメモリーカードへの保存やファイル名の変更ができます。

✔お知らせ

- ダウンロードするファイルによって、ダウンロード後の動作が異なる場合があります。

◆ブラウザ機能のサブメニューを利用する

ブラウザ機能の各画面で[−]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

アドレスバー	アドレス入力画面を表示→P118
お気に入り	お気に入り一覧画面を表示→P120
お気に入りに追加	表示しているページをお気に入りに追加→P120
お気に入りの追加	［お気に入り］▶[−]［メニュー］▶［お気に入りの追加］を選択すると、［お気に入りの追加］画面を表示 •「お気に入りの追加」画面に名前、URL、フォルダを入力して「お気に入り」に追加します。
最新の情報に更新	表示しているページを再表示
削除	登録済みのお気に入りを削除
ツール	**リンクを送る**：ホームページのアドレス（URL）をメールで送信 **プロパティ**：ホームページの情報を表示 **オプション**：ブラウザの動作を設定
次へ	ページの表示履歴がある場合に次のページへ移動

表示	**文字サイズ**：表示する文字の大きさを変更 **一列に表示する**：ページ内の情報を上下スクロールだけで閲覧できるように表示 **画面に合わせる**：画面の幅に合わせて表示 **表示調整しない**：パソコン向けのホームページをオリジナルレイアウトに近い形式で表示 **画像を表示する**：ホームページ上の画像の表示と非表示の切り替え **全画面表示**：タイトルバーやガイド表示領域の表示と非表示の切り替え
フォルダの追加	お気に入り用のフォルダを作成
編集	登録済みのお気に入りを編集
ホームページ	ブラウザホームページを表示→P118
履歴	履歴一覧画面を表示→P120

履歴からホームページを表示する

1 ブラウザ画面で[－]［メニュー］▶［履歴］▶履歴一覧画面の履歴リストから表示したいホームページを選択

選択したホームページが表示されます。

お気に入りに登録してすばやく表示する

◆お気に入りにホームページを登録する

お気に入りに登録する前に、登録するページをブラウザで表示しておきます。

1 ブラウザ画面で[－]［メニュー］▶［お気に入りに追加］

お気に入りの追加画面が表示されます。

2 [－]［追加］

ブラウザで表示されているページがお気に入りに登録されます。

- お気に入りの追加画面では、お気に入り一覧に表示するホームページの名称を変更できます。

◆お気に入り一覧からホームページを選択する

1 ブラウザ画面で[－]［お気に入り］

お気に入り一覧画面が表示されます。

- お気に入り画面では、登録済みのお気に入りの名称を編集したり、フォルダを作成してお気に入りを分類したりできます。

2 一覧から表示したいホームページを選択

選択したホームページが表示されます。

その他の便利な機能

Windows Live／Messengerを利用する

Windows LiveおよびMessengerとは、Microsoftが提供するオンラインサービスです。Windows Liveでは、電子メールやスペースなどを利用できます。また、Messengerでは、登録したメンバーとの間でチャットを利用できます。
初めてご利用になる際は、Windows LiveまたはMessengerからサインイン（サーバへの登録）する必要があります。サインインにはWindows Live IDのアカウント（電子メールアドレス）とパスワードが必要となりますので、次のURLを参照してあらかじめパソコンなどでWindows Live IDを取得してください。
http://get.live.com/getlive/overview （2008年2月現在）

- Windows Liveはネットワーク接続が必要なため、あらかじめFOMA端末でインターネットに接続できるように設定しておいてください。→P116

■ パケット通信料金について
FOMAネットワーク経由でWindows LiveやMessengerを利用する場合は、課金の対象となります。定額制サービス（Biz・ホーダイ）を併用しないでFOMAネットワーク経由で利用すると、通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
特に、Messengerをご利用の場合は、サインインすると常時パケット通信を行いますのでご注意ください。Messengerを終了する際は、必ずサインアウトを行ってからパケット通信を切断してください。→P163

◆Windows Liveを利用する〈Windows Live〉

1 [－] ［スタート］▶［生活ツール］▶［Windows Live］

サインインしていない場合は、Windows Live（サインイン前）画面が表示されます。

- Windows LiveまたはMessengerでサインイン済みの場合は、操作6の画面が表示されます。

2 ［クリックしてサインインします。］

Windows Liveセットアップ画面が表示されます。「使用条件」と「プライバシーに関する声明」の各リンクを選択して内容を確認してください。

3 [－] ［承諾］▶アカウント（電子メールアドレス）とパスワードを入力▶[－] ［次へ］

- アカウント（電子メールアドレス）のドメインは、必要に応じて修正してください。

4 [－] ［次へ］

ホームスクリーンのレイアウトに「Windows Live」を追加しない場合は、「Windows Liveサービス」の選択を外してから[－] ［次へ］を押します。

- ホームスクリーンのレイアウトを「情報キャンバス標準」または「情報キャンバス詳細」以外に設定している場合に、「Windows Liveサービス」を選択できます。

5 各項目を設定

- 「詳細情報」を選択すると、設定に関する詳細情報を確認できます。

Windows Liveの連絡先を携帯電話のアドレス帳に保存する：
サーバに保存した連絡先をFOMA端末に保存するかどうかを設定
- 保存するように設定すると、連絡先一覧画面にWindows Liveの連絡先が表示されます。→P60

重複する連絡先を結合する：サーバに保存されている連絡先がFOMA端末の連絡先と重複する場合に1つの連絡先に統合するかどうかを設定

電子メールを同期する：サーバに保存されている電子メールをFOMA端末に保存するかどうかを設定

- 同期するように設定すると、メールアカウント一覧画面に「Windows Live」アカウントが作成されます。→P101

6 [－]［次へ］

サーバとの同期終了後に[－]［完了］を押すと、Windows Live画面が表示されます。



Windows Live画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  - ① **Windows Live Search**
    検索語を入力して⦿を押すと、パソコン用のホームページを検索できます。
  - ② **メール／Messenger／同期**
    カーソルを合わせて◆を押すと、項目を切り替えられます。項目を起動する場合は、利用する項目を表示して⦿を押します。
  - ③ **個人設定**
    表示名、表示メッセージ、表示アイコンが表示されます。カーソルを合わせて⦿を押すと、個人設定を編集できます。

◆Windows Liveのサブメニューを利用する

Windows Live画面で[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

アカウントオプション	Windows Live IDのパスワードをリセット、Windows Live IDの切り替え、使用条件やプライバシーに関する声明の確認
オプション	ホームスクリーンにWindows Liveを表示するかどうかを設定、電子メールを同期するかどうかを設定、同期の頻度や時間を設定、同期の履歴を確認、Messengerの動作を変更、電子メールのプレビューサイズや送信方法を設定
バージョン情報	Windows Liveのバージョンを確認

◆Messengerを利用する〈Messenger〉

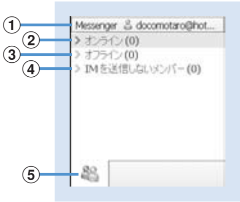
1 [－]［スタート］▶［生活ツール］▶［Messenger］

Messengerのサインイン画面が表示されます。

2 [－]［サインイン］

サインインしていない場合は、Windows Liveセットアップ画面が表示されます。セットアップの操作は、「Windows Liveを利用する」の操作3以降と同じです。

- Windows LiveまたはMessengerでサインイン済みの場合は、メンバー一覧画面が表示されます。



メンバー一覧画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① **自分のアカウント（電子メールアドレス）**
  ② **オンライン中のメンバー（数字は人数）**
  選択するとメンバーが一覧表示され、メンバーにカーソルを合わせるとメンバー情報が表示されます。メンバーを選択するとチャット画面が表示され、チャットを開始できます。
  ③ **オフライン中のメンバー（数字は人数）**
  ④ **IMを送信しないメンバー（数字は人数）**
  ⑤ **タブ**
  「」タブ：メンバー一覧画面が表示されます。
  「」タブ：チャット画面が表示されます。チャット中のみ表示されます。
  - 個人設定のアイコンに画像が設定されている場合は、「」タブには画像が表示されます。

◆Messengerのサブメニューを利用する

Messengerの各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[メニュー]を押すと、次の機能を利用できます。

新しいメンバーの追加	メンバーの電子メールアドレスを追加
絵文字の追加	チャット中の相手に送信する絵文字を選択
オプション	Messengerの通知方法やチャット中の文字サイズなどを設定、チャット中はメンバーの追加や参加メンバーの確認
オンライン状態の変更	現在のFOMA端末の状態を変更
会話を終了	選択している相手とのチャットを終了
個人設定の変更	表示名や表示メッセージ、表示アイコンを設定 • 個人設定画面のサブメニューから、Windows Live画面と同様に「オプション」「アカウントオプション」を設定できます。
すべての会話を終了	すべてのチャットを終了
送信	チャット中の相手に送信する絵文字やファイルの選択、音声メモの録音
次のアカウントでサインイン／サインアウト	サインイン／サインアウトする
並べ替え	メンバー一覧の表示順序や表示条件を選択
メンバーオプション	メンバー情報やオンライン情報の確認、スペースの表示、禁止の設定や解除、Messengerへの追加、メンバーの削除
Windows Live	Windows Live画面への切り替え

ドキュメントビューア

ドキュメントビューアを利用する

ドキュメントビューア（Picsel Viewer）を利用して、Word、Excel、PowerPoint、PDF、画像（GIF、JPEG、BMP、PNG、WMF、EMF）、TXTファイルを表示します。

- ドキュメントビューアの詳細については、サブメニューのヘルプをご覧ください。

1 **[スタート]▶[ビジネスツール]▶[ドキュメントビューア]**

フォルダ一覧画面が表示されます。

2 **フォルダを選択**

各ファイルは次のように表示されます。
：Wordファイル　：Excelファイル
：PowerPointファイル　：PDFファイル
：画像ファイル　：TXTファイル
：ZIPファイル　：未対応ファイル

3 ファイルを選択



ドキュメントビューア画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① モードアイコン
  : ズームモード　: パン（移動）モード
- 次のキーを押してショートカットを利用できます。

1	：前のページを表示	2	：ページを上にスクロール
3	：次のページを表示	4	：ページを左にスクロール
5	：縦横表示の切り替え	6	：ページを右にスクロール
7	：最初のページを表示	8	：ページを下にスクロール
9	：最後のページを表示	0	：表示をページに合わせる
*	：ページを拡大表示	#	：ページを縮小表示

パスワードが設定されたファイルを開く：**パスワード入力画面でパスワードを入力**

✔お知らせ

- Word 2007、Excel 2007、PowerPoint 2007のファイルは表示できません。
- 画像データが多い場合など、ファイルによっては表示に時間がかかる場合があります。
- ドキュメントビューアに対応していない形式や複雑なデザインなどを含むファイルの場合、正しく表示されないことがあります。
- ZIP形式の圧縮ファイルに含まれるドキュメントや画像を表示できます。ただし、解凍はできません。
- パスワードが設定されたファイルの形式によっては、ファイルを開くことができない場合があります。

◆ ドキュメントビューアの動作を設定する

1 ドキュメントビューア画面で［－］［メニュー］▶［設定］

2 次の操作を行う

履歴の保存期間を設定する：**［履歴］▶保存期間（0～28日）を選択▶［－］［OK］**
- 履歴を削除するには「履歴のクリア」を選択します。

関連付けるファイル形式を設定する：**［ファイル］▶ファイル形式を選択▶［－］［OK］**

PDF／PowerPointファイルの表示動作を設定する：**［文書のオプション］▶各項目を設定▶［－］［OK］**

ページ毎のローディング：PDF／PowerPointファイルのページの切り替えごとにデータを読み込むかどうかを設定

文字エンコーディングを設定する：**［エンコーディング］▶文字エンコーディングを選択▶［－］［OK］**
- 「自動検出」を選択している場合は、文字エンコーディングを自動で検出して表示し、検出できないときに選択した文字エンコーディングで表示されます。

✔お知らせ

- ページ毎のローディングを行うと、FOMA端末のメモリ使用を抑えることができます。
- ZIPファイル内のフォルダやファイルの一覧を表示するときは文字エンコーディングの自動検出が行われず、選択した文字エンコーディングで表示されます。

◆ ドキュメントビューアのサブメニューを利用する

ドキュメントビューアの各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

現在のドキュメント	ドキュメントビューア画面への切り替え
検索	Word、Excel、PowerPoint、PDF、TXTファイルの文字検索
終了	ドキュメントビューアの終了
設定	**履歴**：履歴の動作を設定→P125 **ファイル**：ファイル形式の関連付け→P125 **文書のオプション**：ファイルの表示動作の設定→P125 **エンコーディング**：文字エンコーディングの設定→P125 **ヘルプ**：ショートカットキー一覧や各種操作の確認 **バージョン情報**：ドキュメントビューア（Picsel Viewer）のバージョンの確認
フォルダ	フォルダ一覧画面への切り替え
ブックマーク	ブックマークの追加／削除や、ブックマークに登録したファイルの表示
ページ	**縦横切替**：画面の表示を縦／横に切り替え **画面幅に合わせる**：ディスプレイの横幅に合わせて表示 **ページに合わせる**：表示しているファイルの縦幅に合わせて表示 **次のページ**：ファイルが複数ページある場合に次のページを表示 **前のページ**：ファイルが複数ページある場合に前のページを表示 **最初のページ**：ファイルが複数ページある場合に最初のページを表示 **最後のページ**：ファイルが複数ページある場合に最後のページを表示 **ズーム拡大**：ページの拡大表示 **ズーム縮小**：ページの縮小表示
モードを隠す	モードアイコンの非表示
モードを表示	モードアイコンの表示
履歴	履歴の確認や、履歴に記録されているファイルの表示

予定表

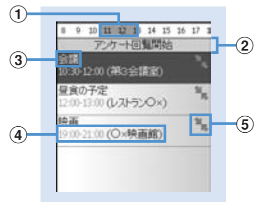
スケジュールを管理する

仕事の予定などを登録し、指定した日時になると画面表示やアラームでお知らせします。

- ActiveSyncなどを利用すると、FOMA端末に登録している予定と、パソコンのOutlookに登録している予定を同期させて管理できます。→P148

◆ 予定を確認する

1 [－]［スタート］▶［ビジネスツール］▶［予定表］

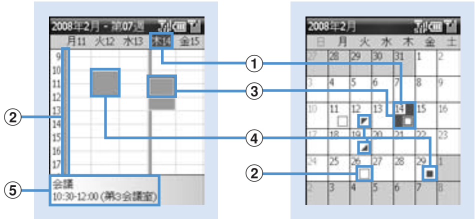


予定一覧画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  - ① **予定が登録されている時間帯**
    - カーソル位置の予定の時間帯には枠が表示されます。
  - ② **終日の予定**
  - ③ **件名**
  - ④ **予定の時間帯（場所）**
  - ⑤ **日時が他の予定と重なっている予定**

2 □［週］

週表示画面が表示されます。□［月］を押すと月表示画面が表示され、□［予定一覧］を押すと予定一覧画面に戻ります。



週表示画面　　月表示画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  - ① **当日の日付、曜日**
  - ② **終日の予定**
  - ③ **カーソル**
  - ④ **予定が登録されている時間帯／日付**
    - 月表示画面では、◤（午前のみに登録されている場合）、◢（午後のみに登録されている場合）、または■（午前と午後の両方に登録されている場合）が表示されます。
  - ⑤ **カーソル位置に登録されている予定**

3 **確認する予定／時間帯を選択**

予定の詳細画面が表示されます。

月表示画面から確認する：**確認する予定の登録日を選択▶確認する予定を選択**

✔お知らせ

- ホームスクリーンのレイアウトが「Windows標準」、「Windows基本」、「情報キャンバス詳細」または「Windows Live標準」の場合は、当日または次の日に予定があると、ホームスクリーンに予定の情報（当日の場合は件名と開始時刻、場所、次の日の場合は「明日」と件名、日付、開始時刻、場所）が表示されます。複数の予定がある場合は、開始時刻がいちばん早い予定の情報が表示されます。予定の表示にカーソルを合わせて◉を押すと、予定一覧画面を表示できます。

◆予定を登録する

1 **予定一覧画面で□［メニュー］▶［新しい予定］**

予定を編集する：**予定一覧画面で編集する予定を選択▶□［メニュー］▶［編集］**

2 **各項目を設定▶□［完了］**

✔お知らせ

- 「アラーム」欄に事前通知の時間を指定すると、開始日時より指定した時間分だけ前にアラームが鳴ります。ディスプレイには通知画面が表示され、現在時刻、件名、開始／終了時刻、場所を確認できます（FOMA端末の状況によっては、現在時刻には設定時刻より早い時間が表示される場合があります）。
- 通知画面で□［アラーム消去］を押すと、通知画面が閉じます。通知画面で□［メニュー］を押して再通知の時間を選択すると、スヌーズ機能（再通知）を利用できます。また、「すべてのアラームを消す」を選択すると通知画面が閉じ、「アイテム表示」を選択すると予定の詳細画面を表示できます。
- 他のプログラムが起動中は、設定時刻を過ぎてからアラームが鳴る場合があります。

◆ 予定表のサブメニューを利用する

予定表の各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[-]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

新しい予定	予定の登録
今日へ移動	当日にカーソルを移動
削除	表示している予定の削除
出席者の削除	選択している出席者を削除
指定の日付へ移動	指定した日付に移動 • 予定一覧画面／週表示画面の場合は、指定した日付／週の画面に切り替わります。月表示画面の場合は、指定した日付にカーソルが移動します。
週単位の表示	週表示画面への切り替え
全員へ返信	出席者を登録している場合に、出席者の全員へ予定の件名とメモを電子メールで送信→P105
ツール	「オプション」を選択し、予定表の動作設定を行う **既定の画面**：予定表を起動したときに最初に表示される画面を設定 **週の最初の曜日**：週表示画面／月表示画面で表示する週の最初の曜日を設定 **週単位の表示**：週表示画面／月表示画面で表示する週の単位を設定 **月単位の表示**：月表示画面に週番号を表示するかどうかを設定 **アラームの設定**：登録画面の「アラーム」欄にあらかじめ表示されるアラームの事前通知時間を設定 **会議出席依頼の送信方法**：出席者に電子メールを送信するときに利用するメールアカウントを設定
月単位の表示	月表示画面への切り替え
任意出席者の追加	登録中の予定に任意で出席してもらう相手を追加 • 追加する相手の連絡先に電子メールアドレスが登録されていない場合は、出席者に追加できません。
必須出席者の追加	登録中の予定に必ず出席してもらう相手を追加 • 追加する相手の連絡先に電子メールアドレスが登録されていない場合は、出席者に追加できません。
別の日時を指定	電子メールで送信されてきた予定を選択／表示している場合に、送信してきた相手に予定の日時を変更する電子メールを送信→P105
編集	表示している予定の編集
返信	**返信**：出席者を登録している場合に、選択した出席者へ予定の件名とメモを電子メールで送信→P105 **全員へ返信**：出席者を登録している場合に、出席者の全員へ予定の件名とメモを電子メールで送信→P105 • 予定の詳細画面から操作した場合は、電子メールの作成画面が表示されます。
予定一覧の表示	予定一覧画面への切り替え
予定の削除	選択している予定の削除
予定をビームする	表示している予定を赤外線通信またはBluetooth機能で送信→P157

ToDoリストを管理する

仕事の期限や状態、優先度を登録して管理します。また、日時を指定してアラームでお知らせします。

- ActiveSyncなどを利用すると、FOMA端末に登録している仕事と、パソコンのOutlookに登録している仕事を同期させて管理できます。→P148

◆仕事を確認する

1 □［スタート］▶［ビジネスツール］▶［仕事］



仕事一覧画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① **新規登録欄**
  カーソルを合わせて件名を入力し、◉を押すと仕事を登録できます。
  ② **件名**
  - 作業中の仕事で期限が切れた場合は、件名が赤色で表示されます。

  ③ **状態**
  □：作業中　☑：作業の終了
  ④ **優先度**
  !：高　↓：低　表示なし：標準

2 **確認する仕事を選択**

予定の詳細画面が表示されます。

✔お知らせ

- ホームスクリーンのレイアウトが「情報キャンバス詳細」の場合は、作業中の仕事、優先度の高い仕事、今日が期限の仕事、期限切れの仕事があると、ホームスクリーンにそれぞれの件数が表示されます。仕事の表示にカーソルを合わせて◉を押すと、仕事一覧画面を表示できます。

◆仕事を登録する

1 **仕事一覧画面で□［メニュー］▶［新しい仕事］**

仕事を編集する：**仕事一覧画面で編集する仕事を選択▶□［編集］**

2 **各項目を設定▶□［完了］**

✔お知らせ

- 「アラーム」欄で指定した日時になるとアラームが鳴ります。ディスプレイには通知画面が表示され、件名と期限を確認できます。□［アラーム消去］を押すと通知画面が閉じます。
- 通知画面で□［メニュー］を押して再通知の時間を選択すると、スヌーズ機能（再通知）を利用できます。また、「すべてのアラームを消す」を選択すると通知画面が閉じ、「アイテム表示」を選択すると仕事の詳細画面を表示できます。

◆仕事のサブメニューを利用する

仕事の各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに□［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

新しい仕事	仕事の登録

オプションの表示	**新しいアイテムにアラームを設定する**：「期限」欄を選択すると、自動的に「アラーム」欄が選択されるように設定 **開始日と期限を表示する**：仕事一覧画面に開始日と期限を表示
作業中／作業の終了	選択している仕事を作業中／作業の終了に切り替え
削除	表示している仕事を削除
仕事をビームする	選択している仕事を赤外線通信またはBluetooth機能で送信→P157
仕事の削除	選択している仕事の削除
並べ替え	仕事一覧画面の表示順序を選択
ビーム	表示している仕事を赤外線通信またはBluetooth機能で送信→P157
フィルタ	仕事一覧画面の表示条件を選択

バーコードリーダー

バーコードリーダーを利用する

カメラを使ってJANコード、QRコード、NW7コード、CODE39コードに含まれている文字や数字などの情報を読み取ります。読み取った情報を利用して、連絡先やお気に入りへの登録、電話の発信、メールの送信、インターネット接続などができます。

- 読み取った情報は最大5件保存できます。
- QRコードのバージョン（種類やサイズ）によっては読み取れない場合があります。
- 傷、汚れ、破損、印刷の品質、光の反射などにより読み取れない場合があります。
- バーコードリーダーを起動しているときは、カメラを使用する他の機能はご利用になれません。

◆コードを読み取る

- あらかじめカメラをマクロ（接写）モードに切り替えてください。→P89

1 [−]［スタート］▶［生活ツール］▶［バーコードリーダー］



バーコードリーダー画面

- バーコードリーダーを起動すると、ホームスクリーンにが表示されます。

2 カメラをコードに合わせる

コードの読み取りが完了すると確認音が鳴り、読み取り結果画面が表示されます。

分割コードを読み取る：**分割を知らせるメッセージが消えたらコードを読み取る**

- 分割されているQRコードを読み取ると、画面下部にコードの総数分のマスと、「読み取りが必要な残りのコード数／コードの総数」が表示されます。読み取りが完了したマスはグレー、読み取りが必要なマスは白、最後に読み取られたマスは青（ホームスクリーンの配色が「既定」の場合）で表示されます。

保存済みの読み取りデータを確認する：**[−]［データ一覧］▶読み取りデータを選択**

3 [−]［メニュー］▶［保存］

コードを読み取り直す：**[−]［読取］▶[−]［はい］▶カメラをコードに合わせる**

- 読み取りデータを保存済みの場合は、確認画面は表示されません。

✔お知らせ

- コードが読み取りにくい場合は、コードとカメラの距離、角度、方向などを調節することにより、読み取れることがあります。
- マナーモードや公共モード（ドライブモード）の設定中など、FOMA端末の設定によっては確認音が鳴らない場合があります。

◆読み取りデータを利用する

読み取り結果画面から各種操作を行います。

〈例〉保存済みの読み取りデータを連絡先に保存する

1 バーコードリーダー画面で[－]［データ一覧］▶利用する読み取りデータを選択

2 連絡先に登録する情報を選択▶［連絡先新規登録］または［連絡先更新登録］

選択した情報が入力されている連絡先の登録画面が表示されます。

- 「連絡先更新登録」を選択した場合は、更新する連絡先を選択します。

情報を連絡先に一括登録する：［連絡先登録］▶［連絡先新規登録］または［連絡先更新登録］

- 「連絡先更新登録」を選択した場合は、更新する連絡先を選択します。

電話をかける：電話番号を選択▶［電話発信］▶[－]［はい］▶［FOMA］または［WLAN］

- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」または「WLANシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話／WLAN電話がかかります。

電子メールを送信する：メールアドレスを選択または［メール作成］▶［メール新規作成］▶メールアカウントを選択

メール作成画面に切り替わります。メールを編集して、送信します。→P105

インターネットホームページに接続する：URLを選択▶［サイト接続］▶[－]［はい］

URLをお気に入りに登録する：URLを選択または［お気に入り登録］▶［お気に入り登録］▶[－]［OK］

静止画／音楽ファイルを保存する：ファイル名を選択▶［コンテンツ保存］▶[－]［はい］

✔お知らせ

- 読み取りデータのファイル名は、読み取り日時＋ファイル項番＋拡張子になります。拡張子はJANコードの場合「JAN」、QRコードの場合「QR」、NW7コードの場合は「NW7」、CODE39コードの場合は「C39」になります。同じ日時で保存したデータがある場合は、ファイル項番が+1されます。ファイル名は変更できません。
- 読み取った静止画／音楽ファイルは、「My Documents」フォルダ内の「My Pictures」／「My Music」フォルダにそれぞれ保存されます。

◆バーコードリーダーのサブメニューを利用する

バーコードリーダーの各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

アプリ終了	バーコードリーダーの終了
削除	**1件削除：**選択している読み取りデータを削除 **全件削除：**すべての読み取りデータを削除
データ一覧	保存した読み取りデータの一覧を表示
バーコード再読み取り	バーコードリーダー画面への切り替え
ファイル読み込み	選択している読み取りデータの読み取り結果画面を表示
保存	読み取りデータの保存
読み取り結果画面に戻る	読み取り結果画面への切り替え

ボイスメモ

ボイスメモを使う

- 保存できる件数や録音時間は、FOMA端末のメモリ残量によって異なります。

1 [−] [スタート] ▶ [生活ツール] ▶ [ボイスメモ]

ボイスメモ画面が表示されます。

録音したボイスメモを再生する：**再生するボイスメモを選択**

2 [−] [録音]

録音中画面が表示され、録音時間がカウントされます。

3 録音が終わったら [−] [停止]

✔お知らせ

- 通話中はボイスメモを録音できません。

◆ボイスメモのサブメニューを利用する

ボイスメモ画面で [−] [メニュー] を押すと、次の機能を利用できます。

再生	選択しているボイスメモを再生
削除	選択しているボイスメモを削除
着信音に設定	録音したボイスメモを音・バイブ設定の「着信音」に設定
名前の変更	選択しているボイスメモの名前を変更 • 全角／半角231文字以内で入力します。
録音	ボイスメモを録音

電卓

電卓として使う

FOMA端末で四則演算（＋、−、×、÷）などができます。

- 10桁以内で入力します。

1 [−] [スタート] ▶ [生活ツール] ▶ [電卓] ▶ 計算する

電卓画面には、FOMA端末のキーに割り当てられている操作が表示されます。

[0]～[9]：数字の入力

[方向キー]：＋、−、×、÷の入力

[●]：＝の入力（計算の実行）

[*]：少数点の入力

[#]：入力した数字の＋、−の切り替え

[BACK]：入力した数字の1桁削除

[−] [クリア]：入力した数字、計算結果の削除

✔お知らせ

- 0で除算すると「エラー」と表示されます。
- 計算結果が10桁（小数点を含む）を超える場合は指数表示されます。

◆電卓のサブメニューを利用する

電卓画面で [−] [メニュー] を押すと、次の機能を利用できます。

%	入力した数字／計算結果の百分率計算
√	入力されている数値のルート値を計算
1／×	入力されている数値の逆数を計算
MS	入力した数字／計算結果をメモリに保存 • メモリに保存すると、Mが表示されます。
M+	表示中の数字／計算結果をメモリに保存した数値に加える • メモリに保存した数値に加えた値は、「MR」を選択すると表示されます。
MR	メモリに保存した数値を使用
MC	メモリに保存した数値をクリア

ゲームで遊ぶ

お買い上げ時には、「Bubble Breaker」と「ソリティア」の2種類のゲームが登録されています。

◆Bubble Breakerで遊ぶ

マルチカーソルキーで隣り合っている同じ色の泡にカーソルを合わせて◉を押し、再度◉を押すと泡が割れます。画面に表示されている泡をすべて割るとゲームクリアです。

1 **[-]［スタート］▶［生活ツール］▶［ゲーム］▶［Bubble Breaker］**

Bubble Breaker画面が表示されます。

◆Bubble Breakerのサブメニューを利用する

Bubble Breaker画面で[-]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

新しいゲーム	ゲームをやり直す
オプション	Bubble Breakerの各種設定を行う
成績表	Bubble Breakerの成績を確認 • 確認する成績表のスタイルを変更するには◎を押します。 • 成績表をリセットするには、[-]［リセット］を押して[-]［はい］を押します。
バージョン情報	Bubble Breakerのバージョンを確認
元に戻す	直前に行った操作を元に戻す

◆ソリティアで遊ぶ

画面に表示されている同じマークのカードを数字の小さい順に組札（画面右上）に積み重ね、すべてのカードを積み上げるとゲームクリアです。

1 **[-]［スタート］▶［生活ツール］▶［ゲーム］▶［ソリティア］**

ソリティア画面が表示されます。

◆ソリティアのサブメニューを利用する

ソリティア画面で[-]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

新しいゲーム	ゲームをやり直す
カードをめくる	プレイ中のソリティアの場札（画面左上）をめくる

スイッチ付イヤホンマイクの使いかた

イヤホンマイク端子に別売の平型スイッチ付イヤホンマイク（ステレオイヤホンセット含む）を接続すると、スイッチを押して電話／WLAN電話をかけたり、電話がかかってきたときに自動的に応答したりできます。

• イヤホンジャック変換アダプタ P001（別売）を使うと、市販のイヤホンマイクが使用できます。

◆スイッチ付イヤホンマイクを接続する

平型スイッチ付イヤホンマイクをFOMA端末に接続するには、イヤホンマイク端子のカバーを開き、平型スイッチ付イヤホンマイクの接続プラグを差し込んでください。→P26

◆スイッチを押して電話をかける

ホームスクリーンの表示中に、平型スイッチ付イヤホンマイクのスイッチを1秒以上押すと、最後に通話履歴に記録された相手に電話／WLAN電話をかけられます。

- 本機能を利用する場合は、あらかじめイヤホン機能設定のイヤホンスイッチ設定を「イヤホンスイッチ発信」に設定してください。

1 スイッチを1秒以上押す

2 通話が終わったらスイッチを1秒以上押す

✔**お知らせ**

- 最後の通話履歴がFOMAの電話の場合は、通信モード設定が「Dualモード（WLAN優先）」または「WLANシングルモード」のときに電話をかけられません。また、最後の通話履歴がWLAN電話の場合は、通信モード設定が「Dualモード（FOMA優先）」または「FOMAシングルモード」のときにWLAN電話をかけられません。

◆イヤホンをつないでいるときの動作を設定する〈イヤホン機能設定〉

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続したときに、着信音をイヤホンからのみ、またはイヤホンとスピーカーの両方から鳴るように設定します。また、イヤホンのスイッチを押して電話／WLAN電話をかけられるようにするかどうかを設定します。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［イヤホン］▶［イヤホン機能設定］▶各項目を設定▶[－]［完了］

着信音出力先：イヤホンのみ、イヤホン＋スピーカー
イヤホンスイッチ設定：オフ、イヤホンスイッチ発信

✔**お知らせ**

- 次の場合はイヤホンから着信音が聞こえません。
  - 着信音を「なし」に設定するなどして着信音が鳴らない場合
  - 通話中に着信した場合

◆イヤホンをつないで自動で電話を受ける〈自動応答〉

平型スイッチ付イヤホンマイクなどを接続しているときに電話／WLAN電話の着信があった場合、設定した時間が経過すると自動的に応答するかどうかを設定します。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［イヤホン］▶［自動応答］▶応答時間を選択▶[－]［完了］

✔**お知らせ**

- 本機能と伝言メモの応答時間を同じ時間に設定した場合、本機能が優先して動作します。
- 次の場合は本機能が動作しません。
  - 着信音を「なし」に設定するなどして着信音が鳴らない場合
  - 通話中に着信した場合
  - 公共モード（ドライブモード）を設定するなどして着信動作が行われない場合

自動電源オン設定／自動電源オフ設定

自動的に電源を入れる／切る

指定した時刻に電源を自動的に入れたり、切ったりします。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［時計とアラーム］▶［自動電源オン設定］または［自動電源オフ設定］▶各項目を設定▶[－]［完了］

自動電源オン：電源を自動的に入れるかどうかを設定
自動電源オフ：電源を自動的に切るかどうかを設定
時刻：電源を入れる／切る時刻を入力
繰り返し：繰り返しのオン／オフを設定

✔お知らせ

- 自動電源オフ設定を「オン」にすると、指定した時刻に電源が切れます。ただし、指定した時刻の前（1分以内）に操作が行われた場合（指定した時刻を過ぎても操作を継続した場合を含む）は、操作を終了してから1分以上経過すると電源が切れます。
- 病院、医療機関、航空機の中など携帯電話の使用を禁止された所では、電源を切るだけではなく、自動電源オン設定を「オフ」にしてください。

アラーム

指定時刻にアラームを鳴らす

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［時計とアラーム］▶［アラーム］▶各項目を設定▶[−]［完了］**

アラーム時刻：アラームを起動する時刻を入力

アラーム：アラームの動作を選択

- 「毎日」または「平日」に設定すると、ホームスクリーンに🕒が表示されます。

✔お知らせ

- 指定した時刻になるとアラームが鳴ります。ディスプレイに通知画面が表示され、現在時刻を確認できます（FOMA端末の状況によっては、現在時刻には設定時刻より早い時間が表示される場合があります）。
- 通知画面で[−]［アラーム消去］を押すと、通知画面が閉じます。[−][アラーム消去]以外の操作（[−][メニュー]を除く）で通知画面を閉じた場合、2分後にアラームが鳴ります。通知画面で[−]［メニュー］を押して再通知の時間を選択すると、スヌーズ機能（再通知）を利用できます。また、「すべてのアラームを消す」を選択すると通知画面が閉じます。
- 他のプログラムが起動中は、設定時刻を過ぎてからアラームが鳴る場合があります。
- イルミネーション設定の「アラーム」をオンに設定している場合は、指定した時刻になるとイルミネーションが約1分間点灯／点滅します。

スピードダイヤルの追加

スピードダイヤルに登録する

スピードダイヤルで利用する連絡先や機能を、ダイヤルキーに登録します。

- 登録できる機能は、左上に「スタート」と表示されている画面にあるもののみです。ただし、下の階層がある一部のメニュー項目や、ソフトウェア更新は登録できません。
- 最大98件登録できます。
- 機能を実行するには、機能を登録したダイヤルキーをホームスクリーンで1秒以上押します。スピードダイヤル番号が2桁の場合は、2桁目を1秒以上押します。
- スピードダイヤルを利用して電話をかける→P51

1 **連絡先または機能を登録する**

連絡先を登録する：[−]［連絡先］▶連絡先を選択▶登録する登録内容にカーソルを合わせて[−]［メニュー］▶［スピードダイヤルに追加］

- 連絡先の電子メールアドレスやURLを登録すると、スピードダイヤルを利用して電子メールを送信したり、ホームページを表示したりできます。

機能を登録する：[−]［スタート］▶登録する機能にカーソルを合わせて[−]［メニュー］▶［スピードダイヤルの追加］

2 **各項目を設定▶[−]［完了］**

名前：連絡先または機能の名前を入力

- 全角／半角255文字以内で入力します。

キーパッドの割り当て：割り当てるダイヤルキーを指定

- 2桁の番号に割り当てる場合は、ダイヤルキーを複数回押しても指定できます。例えば、25番に割り当てる場合は、[2]を6回押します。

✔お知らせ

- お買い上げ時に[1]に登録されているボイスメールとは、留守番電話サービス（「1417」番）に電話をかける機能です。スピードダイヤル[1]は変更できません。

◆スピードダイヤルを確認／編集する

1 [−]［スタート］▶［電話］▶［スピードダイヤル］

スピードダイヤル画面が表示されます。

2 確認／編集するスピードダイヤルを選択

ヘルプを表示する：**[《ヘルプ》]**

削除する：**削除するスピードダイヤルにカーソルを合わせて[−]［メニュー］▶［削除］▶[−]［はい］**

連絡先を開く：**連絡先を登録したスピードダイヤルにカーソルを合わせて[−]［メニュー］▶［連絡先の検索］**

3 各項目を設定▶[−]［完了］

名前：名前の変更

- 全角／半角255文字以内で入力します。

内容：登録した連絡先の電話番号または機能の名称を表示

- 編集はできません。

キーパッドの割り当て：割り当てるダイヤルキーの変更

- 2桁の番号に割り当てる場合は、ダイヤルキーを複数回押しても指定できます。例えば、25番に割り当てる場合は、[2]を6回押します。

✔お知らせ

- お買い上げ時に[0]に登録されている自局番号表示は確認／編集できません。また、[1]に登録されているボイスメールは、名前の編集のみできます。

◆スピードダイヤルのサブメニューを利用する

スピードダイヤル画面で[−]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

削除	選択しているスピードダイヤルを削除
実行	選択しているスピードダイヤルを実行
フィルタ	スピードダイヤル画面の表示条件を選択
連絡先の検索	選択しているスピードダイヤルが連絡先の場合に連絡先の詳細画面を表示

ワンタッチキー設定

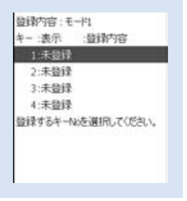
ワンタッチキーに登録する

4つのワンタッチキーのそれぞれに、連絡先（ワンタッチダイヤル）や機能（プログラム）、WLAN電話の内線機能を登録します。ワンタッチキーには3つのモードが用意され、合計12個の機能を登録できます。

- ワンタッチキーを利用する→P32、51

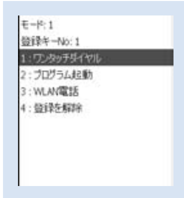
◆ワンタッチダイヤルを登録する

1 設定するワンタッチキー（1秒以上）



登録情報画面

2 [−]［モード変更］▶モードを選択▶登録するキーを選択



登録情報選択画面

3 ［ワンタッチダイヤル］

4 次の操作を行う▶表示文字を入力▶[−]［完了］

- 表示文字は全角4（半角8）文字以内で入力します。
- 表示文字は、ホームスクリーンのワンタッチキーに表示されます。

登録済の連絡先から選択する：［連絡先の選択］▶登録する連絡先を選択

- 電話番号の選択画面が表示された場合は、登録する電話番号を選択します。

連絡先に未登録の電話番号を入力する：［新しい連絡先］▶電話番号を入力▶[−]［完了］

◆機能（プログラム）を登録する

1 登録情報選択画面で［プログラム起動］▶次の操作を行う▶表示文字を入力▶[−]［完了］

- 表示文字は全角4（半角8）文字以内で入力します。
- 表示文字は、ホームスクリーンのワンタッチキーに表示されます。

スタートメニューから選択する：［スタートメニューから選択］▶機能を選択

- カーソル位置の項目に下の階層がある場合は、画面の左下に「開く」が表示されて選択できません。

直接指定する：［直接設定］▶ファイル名、コマンドライン、または作業フォルダを入力▶[−]［完了］

◆WLAN電話の内線機能を登録する

- 企業内で使用される場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 登録情報選択画面で［WLAN電話］▶各項目を設定▶[−]［完了］

内線特番設定に登録した内線機能から選択する：「内線サービス選択」にカーソルを合わせて内線機能を選択

内線特番またはサービス指定発信名を登録する：［内線特番設定］▶各項目を設定

内線特番：内線特番を登録

- 「内線特番」欄を選択し、内線特番を入力します。

サービス指定発信名：サービス指定発信の文字列を登録

- 「サービス指定発信名」欄を選択し、文字列を入力します。
- サービス指定発信とは、SIPシーケンスが「その他」の場合に利用できる機能で、内線特番番号（数字）の代わりに文字列を発信します。SIPシーケンスが「その他」以外の場合は、本項目を設定しないでください。

キー表示名：ホームスクリーンのワンタッチキーに表示される名称を入力

- キー表示名は全角4（半角8）文字以内で入力します。

内線サービス名：追加した内線特番の機能名を入力

- 内線サービス名は全角10（半角20）文字以内で入力します。

後続番号入力要否：ワンタッチキーを押して特番を入力した後、続けて番号の入力が必要かどうかを設定

✔お知らせ

- FOMA端末が次の状態の場合、ワンタッチキーを押しても登録したWLAN電話の内線機能を利用できません。
  - 通信モード設定が「FOMAシングルモード」のとき
  - 接続先をBiz・ホーダイにして通信しているとき
  - 外部機器と接続中
  - FOMAの電話で通話している、またはデータ通信しているとき

❖登録内容を解除する

1 登録情報画面で解除する項目を選択▶［登録を解除］▶［－］［はい］

◆ワンタッチキーを利用する機能（プログラム）を登録する〈キー操作プログラム〉

ワンタッチキーを利用するプログラムをFOMA端末にインストールした場合は、追加したプログラムを本機能に登録することで、ワンタッチキーを利用できるようになります。

- 法人のお客様のみご利用になれます。企業内で使用される場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ［－］［スタート］▶［設定］▶［ワンタッチキー設定］▶［キー操作プログラム］

2 登録する項目にカーソルを合わせて［－］［メニュー］▶［参照］▶登録するプログラムを選択▶［－］［完了］

登録したプログラムを削除する：［－］［メニュー］▶［全削除］

◆ワンタッチキー設定のサブメニューを利用する

ワンタッチキー設定の各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに［－］［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

参照	ファイルの選択画面からファイルを指定
全削除	登録したプログラムをすべて削除
並べ替え	フォルダ／ファイル一覧画面の表示順序を選択
ファイル参照	ファイル選択画面からファイルを指定
プロパティ	選択している項目の詳細情報を表示
表示	フォルダ／ファイル一覧画面の表示条件を選択
マイデバイス	「マイデバイス」フォルダを表示
メモリカード	「Storage Card」フォルダを表示
My Documents	「My Documents」フォルダを表示

遠隔起動設定

遠隔起動時の通知方法を設定する

遠隔アプリ起動によりFOMA端末の機能が起動／実行されたとき、通知を行うかどうかを設定します。

- 法人のお客様のみご利用になれます。企業内で使用される場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

1 ［－］［スタート］▶［設定］▶［遠隔起動設定］▶項目を選択▶［－］［完了］

- 「メロディ」または「バイブとメロディ」を設定した場合は、メロディの鳴動とともにランプが点滅します。

なし：何も通知を行わない
メロディ：メロディで通知
バイブ：バイブで通知
バイブとメロディ：バイブとメロディで通知

✔お知らせ

- メロディ、ランプ、バイブのパターンは変更できません。

端末管理

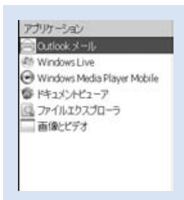
起動中の機能を切り替える／終了する

起動中の機能を切り替えたり、終了したりするには、タスクマネージャを利用します。

- ホームスクリーンのレイアウトを情報キャンバス以外に設定していると、ホームスクリーンに起動中アプリ数が表示されません。メニューからタスクマネージャを起動して起動中の機能の切り替えや終了を実行してください。
- 空きメモリが不足している場合、Windows Mobile OSは、起動しようとしているプログラムを優先的に起動し、使用頻度の少ないプログラムを順次終了させせます。

1 □［スタート］▶［管理］▶［タスクマネージャ］

現在起動している機能が一覧表示されます。



タスクマネージャ
（アプリケーション一覧）画面

2 次の操作を行う

起動中の機能を切り替える：切り替える機能にカーソルを合わせて□［メニュー］▶［切替］

起動中の機能を１つ終了する：終了する機能にカーソルを合わせて□［メニュー］▶［終了］▶□［はい］

詳細情報を確認する：詳細情報を確認する機能にカーソルを合わせて□［メニュー］▶［詳細情報］▶□［OK］

機能の名前を登録する：名前を登録する機能にカーソルを合わせて□［メニュー］▶［名前の登録］▶登録する機能の名前を入力▶□［登録］

- お買い上げ後に追加した機能の名前だけを登録できます（100件まで）。

現在起動している機能の一覧を最新の状態に更新する：□［メニュー］▶［再表示］

起動中のすべての機能を終了する：□［メニュー］▶［全終了］▶□［はい］

FOMA端末のプログラム実行用とデータ記憶用のメモリ状況を確認する：□［メニュー］▶［メモリ状況］▶□［OK］

✔お知らせ

- 起動中の機能をタスクマネージャで終了せずにスタートメニューから再度起動すると、表示を切り替える前の画面が表示され、継続して操作ができます。ただし、起動中の機能や操作の状態によっては、切り替える前の画面が表示されない場合があります。
- Outlook Mobile関連のプログラム（仕事、予定表、連絡先、ボイスメモ）は、共通の1つのプロセスで実行されています。そのため、これらのプログラムのいずれか1つをタスクマネージャで終了した場合、起動しているOutlook Mobile関連の他のプログラムも終了します。

ファイルを管理する

FOMA端末またはmicroSDメモリーカード上のファイルやフォルダのコピー／移動／削除、表示順の並べ替え、ファイル表示方法の変更などを行います。

本体メモリの空き領域について

本体メモリの空き領域が少なくなるとホームスクリーン上部にが表示され、次に示すさまざまな問題が発生します。

- メモリフル直前の状態でカメラ撮影をした場合、画像の保存や編集ができない

- データ記憶用空き領域が2KB以下になるとWindows Media Player 10 Mobileが起動しない
- メモリフルの状態でお気に入りを上書き保存していると、10回程度で保存できなくなる
- データ空き容量が少ない場合、画像を電子メールに添付して送信しようとするとOutlookが起動しない
- データ空き容量が少ない場合、画像をホームスクリーンに設定しても貼り付けられない
- データ空き容量が少ない場合、連絡先データなどの登録を行うとデータが保存されたように表示されるが、再起動すると、登録したはずの連絡先データなどが消失することがある
- データ記憶用空き領域サイズが0の場合、着信音（WLAN、FOMA)が鳴らない
- 本体メモリの空き領域が3MB以下になると、ファイルのコピーや移動が行えない

この状態のまま、FOMA端末を使用し続けると登録済みの連絡先、予定表、仕事、通話履歴、スピードダイヤルなどのデータを削除できない、電話着信時に着信音が鳴らない、正常にアプリを起動できない、などさまざまな問題が発生する場合があります。が表示された場合は、データをmicroSDメモリーカードやパソコンに移動することをおすすめします。

1 **[−]［スタート］▶［管理］▶［ファイル エクスプローラ］**

「My Documents」フォルダが表示されます。
- 前回別のフォルダを表示させ、そのままファイル エクスプローラを終了していない場合、前回表示したフォルダが表示されます。
- [−]［上へ］を押すと、1つ上のフォルダに移動します。

2 **ファイル／フォルダにカーソルを合わせて[−]［メニュー］▶各項目を設定**

ファイルを電子メールに添付して送信する：**［送信］▶メールアカウントを選択**

メール作成画面に切り替わります。メールを編集して、送信します。
→P105

ファイルを赤外線通信またはBluetooth機能で送信する：**［ビーム］▶赤外線通信またはBluetooth通信の送信相手にカーソルを合わせて[−]［ビーム］**

ファイルやフォルダを編集する：**［編集］▶各項目を設定**

切り取り：ファイル／フォルダの移動
コピー：ファイル／フォルダのコピー
貼り付け：切り取りやコピーしたファイル／フォルダの貼り付け
- 切り取りやコピーしたファイル／フォルダを同じフォルダ内に貼り付けると、ファイル名は「コピー～元のファイル名」になります。

削除：選択しているファイル／フォルダの削除
名前の変更：選択しているファイル／フォルダの名前を変更
- 記号を使用する場合は、かなモードで変換して入力するか、ActiveSyncなどでパソコンと接続しパソコン側から入力します。

新しいフォルダ：新しいフォルダの作成

詳細情報を確認する：**［プロパティ］**
- 他のFOMA端末で撮影した静止画のプロパティを確認する場合、作成日時に「1601/01/01 9:00:00」と表示されることがあります。

ファイル／フォルダの表示方法を変更する：**［表示］▶［アイコン］または［リスト］**

ファイル／フォルダを並べ替える：**［並べ替え］▶表示順序を選択**
- ファイルとフォルダが混在する場合は、フォルダの次にファイルの順番になります。再度同じ表示順序を選択すると、ファイルの次にフォルダが表示されます。

他のフォルダを表示する：**［マイデバイス］または［メモリカード］**

◆マイドキュメントについて

マイドキュメントは個人の画像や音楽データを保管する場所として標準で用意されているフォルダで、スタートメニューから「マイドキュメント」を選択しても表示できます。
ファイル操作はファイル エクスプローラと同じです。

- お買い上げ時は次のフォルダがマイドキュメント内に用意されています。
  Guard：特定のフォルダ内のファイルやフォルダを、外部に流出しないように暗号化して保護するフォルダ→P81
  My Pictures：カメラで撮影した画像・動画が保存されるフォルダ
  Templates：自分用のフォルダとして自由に使用できるフォルダ
  着信音：着信音として認識されるファイル（wma, wmv, wav, mp3, mid, asf）を保存するフォルダ
- 着信音フォルダに保存したファイルは音・バイブ設定の着信音の「アイテムの選択」画面に表示されます。

プログラムを管理する

お買い上げの後にゲームなどのプログラムをインストールしたり、インストールしたプログラムを削除したりできます。

◆プログラムをインストールする

パソコンと同期してmicroSDメモリーカードにコピーしたプログラムやインターネットでダウンロードしたプログラムをインストールします。

- .exeや.cabファイルをFOMA端末に展開することでインストールできます。詳しいインストール方法は、プログラムの提供者の説明に従ってください。
  インストールしたプログラムが自動的にパケット通信を行う場合があります。パケット通信の接続が開始された場合は、パケット通信を切断する（→P163）か、タイムアウトにならない限り、接続されたままとなりますのでご注意ください。

✔お知らせ

- プログラムのインストールは安全であることを確認の上、自己責任において実施してください。ウィルスへの感染や各種データの破壊などが発生する場合があります。
- 万が一、お客様がインストールを行ったプログラムなどにより各種動作不良が生じた場合、当社では責任を負いかねます。この場合、保証期間内であっても有償修理となります。
- お客様がインストールを行ったプログラムなどにより自己または第三者へ不利益が生じた場合、当社では責任を負いかねます。

◆プログラムを削除する〈プログラムの削除〉

FOMA端末にインストールしたプログラムを削除します。

- お買い上げの後にインストールしたプログラムが削除できます。

1 **[−]［スタート］▶［管理］▶［プログラムの削除］▶削除するプログラムにカーソルを合わせて[−]［メニュー］▶［削除］▶[−]［はい］▶[−]［OK］**

バージョン情報

バージョン情報を確認する

お使いのFOMA端末に組み込まれているOSのバージョン情報に加えて、使用可能なデータ記憶領域やメモリなどが表示されます。

- Windows Mobileの現在のバージョンを確認できるので、更新時などに利用できます。
- メモリ不足のメッセージが表示される場合などに、実際の使用メモリを確認できます。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［バージョン情報］▶バージョン情報を確認▶[−]［完了］**

通話料金／通話時間

通話料金／通話時間を確認する

電話、WLAN電話などの直前および積算の通話時間と通話料金を確認できます。

- 通話時間は、電話、WLAN電話、64Kデータ通信に分けて表示され、かけた場合とかかってきた場合の両方がカウントされます。
- 通話料金はかけた場合のみカウントされます。ただし、フリーダイヤルなどの無料通話先や番号案内（104）などに通話した場合は、「0YEN」と表示されます。
- 通話料金の情報はFOMAカードに蓄積されるため、FOMAカードを差し替えてご利用になる場合、蓄積されている積算料金（2004年12月から積算）が表示されます。
  ※ 901iシリーズより前に発売されたFOMA端末でも通話料金はFOMAカードに蓄積されていますが、表示はできません。
- 表示される通話時間および通話料金はあくまで目安であり、実際の時間や料金とは異なる場合があります。
- 表示される通話料金に消費税は含まれていません。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［情報表示・リセット］▶各項目を確認▶[－]［完了］

通話料金情報を確認する：［通話料金］▶各項目を確認／設定▶[－]［完了］

通話料金表示：電話の前回通話料金や64Kデータ通信の前回通信料金

積算通話料金表示：電話の積算通話料金や64Kデータ通信の積算通信料金、および前回リセットした日時
- [－]［積算リセット］▶暗証番号（PIN）2を入力▶[－]［はい］で積算料金をリセットできます。

通話料金上限通知：積算料金の上限／上限を超えたときの通知方法（アラームやアイコン表示）／アラーム時間
- アラーム時間は1秒～60秒の間で選択します。
- 端末暗証番号（パスワード）を設定している場合は、認証操作が必要になります。

上限通知アイコン消去：通話料金上限通知を設定している場合で上限を超えたときに表示される¥を消去する／しない
- 端末暗証番号（パスワード）を設定している場合は、認証操作が必要になります。

前回通話時間を確認する：［前回通話時間］▶各項目を確認▶[－]［完了］

前回通話時間（FOMA通話）：電話の前回通話時間
前回通話時間（WLAN通話）：WLAN電話の前回通話時間
前回通話時間（データ）：64Kデータ通信の前回通信時間

積算通話時間を確認する／リセットする：［積算通話時間］▶各項目を確認／設定▶[－]［完了］
- [－]［積算リセット］▶認証操作▶[－]［はい］で積算時間をリセットできます。端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

積算通話時間（FOMA通話）：FOMAを利用した積算通話時間
積算通話時間（WLAN通話）：WLANを利用した積算通話時間
積算通話時間（データ）：64Kデータ通信の積算通信時間
前回リセット日時：前回リセットした日時

設定リセット

設定を初期化する

各機能の設定をお買い上げ時の状態に戻します。

- 企業内のWLAN環境でお使いの場合は、設定の内容が消去されます。本機能を実行する前にネットワーク管理者にお問い合わせください。
- お買い上げ時の状態に戻る機能については、「メニュー一覧」をご覧ください。→P192

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［情報表示・リセット］▶［設定リセット］▶認証操作▶[－]［はい］

- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

データ一括削除

登録データを一括して削除する

FOMA端末に保存、登録、設定したデータを一括して削除します。

- 企業内のWLAN環境でお使いの場合は、設定の内容が消去されます。本機能を実行する前にネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 設定リセットの対象となる機能は、お買い上げ時の状態に戻ります。
- 次に示す機能の設定・登録・保存内容は、削除されたりお買い上げ時の状態に戻ったりします。

項目		
メール	マイテキスト	Internet Explorer
スピードダイヤル	通話履歴	伝言メモ
音声メモ	連絡先	ActiveSync
ドキュメントビューア	仕事	予定表
プレゼンス	メッセンジャー	マイドキュメント
Messenger	Windows Live	Windows Media
バーコードリーダー	ボイスメモ	電卓
Bubble Breaker	ソリティア	セキュリティスキャン
タスクマネージャ	ファイル エクスプローラ	プログラムの削除
画像とビデオ	音・バイブ設定	イルミネーション設定
通信モード設定	パケット通信モード設定	ホームスクリーン
プロファイル	公共モード（ドライブモード）	セルフモード
デバイスロック	デバイスロックの設定	遠隔ダイヤルロック
WLAN暗証番号変更	指紋設定	パスワードマネージャ
ガードフォルダ設定	証明書	暗号化
発着信・通話設定（項目内のすべての設定）	通話中の着信動作選択	USSD登録
応答メッセージ登録	OFFICEED（「エリア表示設定」のみ）	時計とアラーム（項目内のすべての設定）
ビーム	Bluetooth	パケット接続設定
FOMAプロキシ	VPN	PCへのUSB接続
WLAN環境設定（「WLAN設定リセット」を除く）	SIPアドレス一覧表示	USBモード切替
SMS設定（「有効期間」のみ）	Biz・ホーダイ設定	メール自動受信設定
通話料金上限通知	前回通話時間	積算通話時間
省電力設定	表示設定	オーナー情報
ワンタッチキー設定	遠隔起動設定	自局番号表示（自局電話番号を除く）
単語登録	変換学習データ	FOMA端末に保存した各種データ
作成したフォルダ	変更したフォルダ名	Personal Firewallログ

1 **[-]［スタート］▶［設定］▶［情報表示・リセット］▶［データ一括削除］▶認証操作▶[-]［はい］**

再起動中にデータが一括削除されます。

- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。

✓お知らせ

- 次のデータは削除されません。また、お買い上げ時の設定に戻せません。
  - FOMAカードやmicroSDメモリーカードに保存、登録、設定されているデータ
  - パソコンから設定したデータ通信の設定
- 削除されるデータが多い場合は、再起動に時間がかかることがあります。途中で電源を切らないようご注意ください。

■ **強制的にデータを一括削除する**

万が一、FOMA端末がフリーズするなどそれ以上操作ができなくなった場合、PWRをしばらく押し続けることにより再起動させることができます。

再起動によっても状況が改善しない場合には、次の操作により強制的にデータを一括削除して、操作できる状態に戻すことができます。ただし、保存していたデータは削除され、設定内容はお買い上げ時の状態になりますので、ご注意ください。

（操作）

1. 電源を切る→P42
2. 画面左下に「CLEANBOOT」という文字が表示されるまで6、7、PWRの3つのキーを同時に押し続ける

• 「CLEANBOOT」という文字が表示されるまでの時間は約5秒です。

※ 企業内などのWLAN環境でお使いの方は、操作する前に必ずネットワーク管理者にご相談ください。

外部接続

パソコンと同期する

FOMA端末とパソコンをUSBケーブル、赤外線またはBluetooth機能で接続し、ActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンターを利用して次の操作ができます。

同期：パソコンで利用しているMicrosoft Outlookのデータ（連絡先、予定表、電子メール、仕事、お気に入り）をFOMA端末のデータと同期させます。
- お気に入りは、パソコンのInternet Explorerの「モバイルのお気に入り」フォルダと同期がとられます。
- Windows Media Player 10以降を利用して、画像や動画、音楽などのファイルを同期させることができます。

ファイルのコピー：ファイルのドラッグ＆ドロップ操作で、パソコンからFOMA端末へのファイルのコピーや、FOMA端末からパソコンへのファイルのコピー／移動ができます。

プログラムの追加と削除：FOMA端末へのプログラムのインストールや、FOMA端末にインストールしたプログラムの削除ができます。

その他：インターネット接続できる環境のパソコンと接続し、ActiveSyncやWindows Mobileデバイスセンター経由で、インターネットの接続や電子メールの送受信ができます。
- 赤外線通信でパソコンと同期している場合、WLANを使ったWLAN電話、インスタントメッセージ（IM）、プレゼンス機能は利用できません。
- パソコンと同期している場合、パケット通信（→P162）は接続できません。
- パケット通信で接続中にパソコンとの同期を行うと、パケット通信が切断されます。
- パソコンのActiveSyncの設定で「デスクトップコンピュータに接続中にデバイスの無線接続を許可する」を選択していない場合、またはWindows Mobileデバイスセンターの設定で「PCへの接続時にデバイス上でデータ接続を許可する」を選択してない場合は、パソコンと同期しているときにWLANを利用できません。
- FOMA／WLANのプロキシが設定された状態では、正常に通信できない場合があります。FOMA／WLANのプロキシ設定を解除して通信を行ってください。

■ ActiveSyncについて

Windows 2000またはWindows XPを搭載のパソコンとFOMA端末を接続して同期させるには、付属のCD-ROMに収録されているActiveSyncをパソコンにインストールします。
操作や設定などの詳細については、パソコンのActiveSyncのヘルプやマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/

■ Windows Mobileデバイスセンターについて

Windows Vistaを搭載のパソコンとFOMA端末を接続して同期させるには、付属のCD-ROMに収録されているWindows Mobileデバイスセンターをパソコンにインストールします。
操作や設定などの詳細については、パソコンのWindows Mobileデバイスセンターのヘルプやマイクロソフト社のホームページをご覧ください。
http://www.microsoft.com/japan/windowsmobile/

✔お知らせ

- 企業内でExchange ActiveSyncをインストールしたMicrosoft Exchange Serverを使用している場合は、サーバと情報の同期ができます。詳細はネットワーク管理者にお問い合わせください。
- 同期を行うパソコンにMicrosoft OutlookやWindows Media Player 10以降がインストールされていない場合は、あらかじめインストールしてから操作を行ってください。また、Microsoft Outlookをインストールしたときは、次の操作を行ってください。
  ① Microsoft Outlookを起動▶［ツール］をクリック▶［オプション］をクリック
  ② オプション画面で「その他」タブをクリック
  ③「Outlookを既定の電子メール、連絡先、予定表のプログラムにする」が選択されていることを確認▶［OK］をクリック
- パソコンと同期してデータ送受信やソフトウェア更新、設定リセットを行っている際に、パソコンとの同期を解除しないようにしてください。

◆ご利用になる前に

❖動作環境について

ActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターを利用するためのパソコンの動作環境は次のとおりです。

プログラム	ActiveSync	Windows Mobileデバイスセンター
パソコン本体	次の機能を持つPC／AT互換機 • CD-ROMドライブが使用可能 • USBポート（USB1.1／USB2.0に準拠）を搭載※	
OS（各日本語）	Windows 2000、Windows XP、Windows Server 2003	Windows Vista

※ 赤外線通信またはBluetooth通信で接続する場合は、各通信を利用できるパソコンが必要になります。

- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、これらの動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。

❖必要な機器について

- USB接続でActiveSyncを利用するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器が必要です。
  - FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
  - 付属のCD-ROM「お使いになる前にディスク（Getting Started Disc）」

  ※ 卓上ホルダ（別売）を利用すると、パソコン用のUSBケーブル（USB1.1／USB2.0規格に準拠し、コネクタ形状がUSB Aコネクタおよびミニ USBミニBコネクタのもの）も使用できます。
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 本書では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02を例に説明しています。

◆ActiveSyncをインストールして同期させる

Windows 2000またはWindows XPを搭載のパソコンをご利用の場合は、付属のCD-ROMに収録されているActiveSyncをパソコンにインストールしてから同期させます。

- FOMA端末の設定を、あらかじめ次のように設定してください。
  - 「USBモード切替」を「ActiveSyncモード」→P158
  - 「PCへのUSB接続」を有効→P158
- パソコンにActiveSync をインストール済みの場合は、USBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続すると、同期が開始されます。

1 CD-ROMをパソコンにセット



- 「Adobe Flash Playerのバージョン8.0以降が必要です。」というメッセージを含む画面が表示された場合は、画面の指示に従って必要なソフトウェアをインストールしてください。インストールが完了したら、操作1からやり直します。

2 ［日本語］または［英語］▶［次へ］を順にクリック

- パソコンの地域の設定に従って言語を選択します。



3 ［セットアップとインストール］をクリック



4 ［インストール］をクリック

「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」画面が表示されます。

- 「Windows Mobile®デバイス ハンドブック」をインストールしない場合は、選択を外してから操作してください。

5 「マイクロソフト ソフトウェア ライセンス条項」をお読みの上、［同意する］をクリック

「インストールの状態」画面が表示され、インストールの進行状況が表示されます。インストールが完了すると、パソコンの画面にMicrosoft ActiveSync画面が表示されます。

- 「Windows Mobile®デバイス ハンドブック」をインストールすると、パソコンのデスクトップにが作成されます。

6 「インストールの状態」画面で［終了］をクリック▶［閉じる］をクリック

7 USBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

パソコンの画面に同期セットアップウィザード画面が表示されます。

8 ［次へ］をクリック

「同期オプション」の画面が表示されます。

9 同期させる項目をクリック▶［次へ］をクリック

「ワイヤレス接続を許可する」の画面が表示されます。

- 同期させる項目をクリックしたときに確認画面が表示された場合は、［OK］をクリックします。

10 「デバイスがコンピュータに接続されている間の無線データ接続（MMSまたはインターネット電話など）を許可します。」をクリック▶［次へ］をクリック

同期セットアップウィザードの完了画面が表示されます。

- 許可しない場合は、「次へ」のみをクリックします。

11 ［完了］をクリック

設定が保存され、同期が開始されます。

- FOMA端末とパソコンで同期されていない項目がある場合は同期が一時中断され、結合／置換画面が表示されます。項目の対応方法をクリックして［OK］をクリックすると、同期が再開されます。

✔お知らせ

- FOMA端末のデバイスロック中にパソコンを接続すると、接続のたびにデバイスロックを解除する必要があります。次回接続時にFOMA端末で解除操作を行った後、パソコンの画面に表示される自動接続画面で［はい］をクリックすると、解除操作を省略することができます。

◆Windows Mobileデバイスセンターをインストールして同期させる

Windows Vistaを搭載のパソコンをご利用の場合は、付属のCD-ROMに収録されているWindows Mobileデバイスセンターをパソコンにインストールしてから同期させます。

- FOMA端末の設定を、あらかじめ次のように設定してください。
  -「USBモード切替」を「ActiveSyncモード」→P158
  -「PCへのUSB接続」を有効→P158
- パソコンにWindows Mobileデバイスセンターをインストール済みの場合は、USBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続すると、同期が開始されます。
- Windows Vista搭載のパソコンにWindows Mobileデバイスセンターをインストールする場合、複数回ユーザアカウント制御画面が表示されます。［許可］または［続行］をクリックしてインストールを継続します。

1 CD-ROMをパソコンにセット



- パソコンの画面に「自動再生」画面が表示された場合は、［Start.exeの実行］をクリックします。
- 「Adobe Flash Playerのバージョン8.0以降が必要です。」というメッセージを含む画面が表示された場合は、画面の指示に従って必要なソフトウェアをインストールしてください。インストールが完了したら、操作1からやり直します。

2 ［日本語］または［英語］▶［次へ］を順にクリック

- パソコンの地域の設定に従って言語を選択します。



3 ［セットアップとインストール］をクリック



4 ［インストール］をクリック

「インストールの状態」画面が表示され、インストールの進行状況が表示されます。

- 「Windows Mobile®デバイス ハンドブック」をインストールしない場合は、選択を外してから操作してください。
- 「Windows Mobile®デバイス ハンドブック」をインストールすると、パソコンのデスクトップにが作成されます。

5 ［終了］をクリック▶［閉じる］をクリック

6 パソコンを再起動する

7 USBケーブルでFOMA端末とパソコンを接続する

ドライバのインストールが開始されます。ドライバのインストールが終了すると、パソコンの画面に「Windows Mobileメンバーセンター」画面が表示されます。

8 ［登録しない］をクリック

Windows Mobileデバイスセンターのセットアップ画面が表示されます。

9 ［デバイスのセットアップ］をクリック

同期させる項目の選択画面が表示されます。

10 同期させる項目をクリック▶［次へ］をクリック

パートナーシップをセットアップする画面が表示されます。

11 デバイス名を確認▶［セットアップ］をクリック

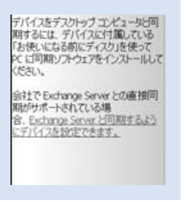
セットアップが完了すると、Windows Mobileデバイスセンター画面に戻り、同期が開始されます。

◆FOMA端末から同期の操作をする

赤外線通信またはBluetooth通信でパソコンと接続して同期させるには、FOMA端末から操作します。

- パソコンのActiveSyncまたはWindows Mobileデバイスセンターのヘルプを参照し、あらかじめ赤外線通信またはBluetooth通信の接続準備を行ってください。
- パソコン側の操作については、ご利用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

1 [−]［スタート］▶［ビジネスツール］▶［ActiveSync］



ActiveSync画面

2 [−]［メニュー］▶［赤外線から接続］または［Bluetoothから接続］

パソコンと接続され、同期が開始されます。

手動で同期を開始する：[−]［同期］

初めてBluetooth通信で接続する：

① [−]［メニュー］▶［Bluetoothから接続］▶[−]［はい］▶［新しいデバイスの追加］▶接続する機器にカーソルを合わせて[−]［次へ］▶パスコード（→P154）を入力▶[−]［次へ］

パソコン側でパスコードが入力されると、接続の確認画面が表示されます。

② [−]［OK］▶表示名を確認▶[−]［次へ］▶「ActiveSync」が選択されていることを確認▶[−]［完了］▶[−]［完了］

③ [−]［メニュー］▶［Bluetoothから接続］

パソコンの画面に同期のセットアップウィザードが表示されます。セットアップが完了すると、同期が開始されます。

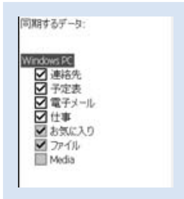
- 操作の途中で、パケット接続設定の通知画面が表示される場合があります。[−]［いいえ］を押して、操作を続けます。

接続を終了する：[−]［メニュー］▶［切断］

◆FOMA端末から同期の動作を変更する

同期させるデータの種類を変更します。また、接続機器の表示名の変更、競合の解決、イベントログの有無、同期させるデータ量の変更を行います。

1 ActiveSync画面で[－]［メニュー］▶［オプション］



オプション画面

2 同期させるデータを選択

接続機器に関する設定を変更する：機器名にカーソルを合わせて[－]［メニュー］▶［設定］▶各項目を設定▶[－]［完了］

表示名：機器の表示名を変更

競合が発生した場合：同期データの競合が発生した場合の同期方法を設定

イベントログ：イベントログを記録するかどうかを設定

接続機器との接続設定を削除する：機器名にカーソルを合わせて[－]［メニュー］▶［削除］▶[－]［はい］

予定表の同期データ量を変更する：「予定表」にカーソルを合わせて[－]［設定］▶すべて、2週間、1か月、3か月、6か月から選択▶[－]［完了］

電子メールの同期方法を変更する：「電子メール」にカーソルを合わせて[－]［設定］▶各項目を設定▶[－]［完了］

メッセージのダウンロード：1日、3日、1週間、2週間、1か月、すべて

メッセージ形式：HTML、テキスト形式

メッセージの最大サイズ：0.5KB、1KB、2KB、5KB、20KB、50KB、ヘッダーのみ、テキストのみ（画像なし）、メッセージ全体

◆ActiveSyncのサブメニューを利用する

FOMA端末のActiveSync画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

オプション	FOMA端末から同期の動作を変更→P153
サーバーのソースの追加／サーバーの構成	同期させるExchange Serverの接続設定
状態	同期の履歴を確認
スケジュール	Microsoft Exchange Serverとの同期間隔を設定
赤外線から接続	赤外線通信で接続して同期させる
接続	FOMA端末を卓上ホルダ（別売）に取り付けたときに同期させるかどうかを設定
切断	接続している通信を切断
Bluetoothから接続	Bluetooth通信で接続して同期させる

赤外線通信／Bluetooth通信を使って送受信する

◆赤外線通信／Bluetooth通信について

赤外線通信とBluetooth通信では、赤外線通信機能またはBluetooth通信機能が搭載された他のFOMA端末や携帯電話、パソコンなどとデータの送受信ができます。Bluetooth対応のヘッドセットやワイヤレスヘッドフォンと接続することもできます。

- Bluetooth通信機能を使って、FOMA端末をパソコンのモデムとして利用できます。詳しくは、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。
- ActiveSyncによるパソコンとのデータの同期も行えます。→P148

Bluetooth機能について

Bluetooth機能とは、携帯電話やパソコンなどのBluetooth対応機器どうしをワイヤレス接続する技術です。ケーブルを使わずにFOMA端末とパソコンやヘッドセットなどのBluetooth対応機器を接続でき、データの送受信やハンズフリー通話など、ワイヤレスによる通信が可能になります。

- 本FOMA端末の対応プロファイルについて→P155
- FOMA端末とBluetooth対応機器を接続する場合、各機器の操作方法は、お使いになる機器の取扱説明書をご覧ください。
- 本FOMA端末とすべてのBluetooth対応機器とのワイヤレス通信を保証するものではありません。

Bluetoothパスキー（パスコード）

Bluetooth対応機器を他人に許可なく使われないためのパスワードです。半角英数字最大16桁で設定できますが、機器によってはあらかじめ設定され、変更できない場合があります。ワイヤレス接続するBluetooth対応機器とFOMA端末の両方に同じBluetoothパスキー（パスコード）を入力する場合と、FOMA端末だけにBluetoothパスキー（パスコード）を入力する場合があります。

安全のため、Bluetoothパスキー（パスコード）を設定する場合は最大16桁のできるだけ長い桁数でのご使用をおすすめします※。また、名前や誕生日など容易に推測できる言葉をBluetoothパスキー（パスコード）に使わないようご注意ください。

※ DUNプロファイルでは、十分なセキュリティを確保するために長い桁数のBluetoothパスキー（パスコード）を設定してください。

良好な接続を行うために、次の点にご注意ください。

1. 他のBluetooth対応機器とは、見通し距離約10m以内で接続してください。周囲の環境（壁、家具など）、建物の構造によっては接続可能距離が短くなります。FOMA端末と他のBluetooth対応機器の間に障害物がある場合も、接続可能距離は短くなります。
   特に、鉄筋コンクリートの建物では、上下の階や左右の部屋など鉄筋の入った壁をはさんで設置した場合、接続できないことがあります。上記接続距離を保証するものではありませんので、ご了承ください。
2. 他の機器（電気製品／AV機器／OA機器／デジタルコードレス電話機／ファックスなど）から2m以上離れて接続してください（特に電子レンジ使用時は影響を受けやすいため、必ず3m以上離れてください）。近づいていると、他の機器の電源が入っているときには、正常に接続できなかったり、テレビやラジオの雑音や受信障害の原因になったりすることがあります（UHFや衛星放送の特定のチャンネルではテレビ画面が乱れることがあります）。
3. 放送局や無線機などが近く、正常に接続できないときは、接続相手のBluetooth対応機器の場所を変更してください。周囲の電波が強すぎると、正常に接続できないことがあります。

無線LAN（WLAN）との電波干渉について

Bluetooth対応機器とWLAN（IEEE802.11b/g）は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

1. WLANと、FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、WLANまたはFOMA端末とワイヤレス接続するBluetooth対応機器の電源を切ってください。

- FOMA端末は、Bluetooth機能を使用した通信時のセキュリティとして、Bluetooth標準規格に準拠したセキュリティ機能に対応しておりますが、設定内容などによってセキュリティが十分でない場合があります。Bluetooth機能を使用した通信を行う際にはご注意ください。
- Bluetooth機能を使用した通信時にデータや情報の漏洩が発生しましても、当社としては責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

■ Bluetooth機能の主な仕様

Bluetooth機能	対応Bluetoothバージョン	Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDR準拠※1
	出力	Bluetooth標準規格Power Class2
	見通し通信距離※2	約10m以内
	対応Bluetoothプロファイル※3	Generic Access Profile Service Discovery Application Profile Serial Port Profile Headset Profile Handsfree Profile Dial-up Networking Profile Generic Object Exchange Profile Object Push Profile Generic Audio/Video Distribution Profile Advanced Audio Distribution Profile Audio/Video Remote Control Profile

※1 FOMA端末を含むすべてのBluetooth機能搭載機器は、Bluetooth SIGが定めている方法でBluetooth標準規格に適合していることを確認しており、認証を取得しています。ただし、接続する機器の特性や仕様によっては、操作方法が異なったり、接続してもデータのやりとりができない場合があります。

※2 通信機器間の障害物や電波状況により変化します。

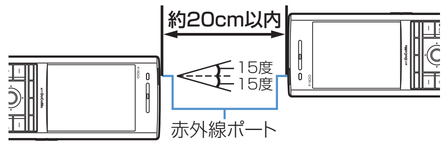
※3 Bluetooth対応機器どうしの使用目的に応じた仕様で、Bluetooth機能の標準規格です。

❖送受信できるデータ

- FOMA端末では、次のデータを送受信できます。
  - 1件の連絡先
  - 1件の仕事
  - 1件の予定
  - ファイル（エクスプローラで選択できるファイル）
  - 「画像とビデオ」に保存された静止画や動画
  - 自局番号情報
  - オーナー情報
- 「FOMAへビーム」を使ってF1100以外のFOMA端末に送信できるのは、1件の連絡先、自局番号情報、オーナー情報だけです。
- 「ビーム」を使ってF1100以外のFOMA端末に送信できるのは以下のデータです。ただし、受信側のFOMA端末で、Windowsからのファイルの受信をサポートしている場合に限ります。
  - ファイル（エクスプローラで選択できるファイル）
  - 「画像とビデオ」に保存された静止画や動画

❖赤外線通信を行うには

- 赤外線通信の通信距離は約20cm以内にしてください。また、データの送受信が終わるまで、FOMA端末は相手側の赤外線ポート部分に向けたまま動かさないでください。
- 赤外線放射角度は中心から15度以内です。



✔お知らせ

- 直射日光が当たる場所や蛍光灯の真下などでは、赤外線通信を正常に行えないことがあります。
- 省電力状態の場合には、赤外線通信を受信できないことがあります。
- 赤外線通信機能は、すべての外部機器との接続性を保証するものではありません。使用する環境や相手側機器のハードウェアおよびソフトウェア特性などにより、接続することができない場合があります。
- 赤外線送信が失敗した場合は、相手の機器で受信操作をやり直してから、本FOMA端末で送信操作を行ってください。

◆データ受信の準備をする

❖FOMA端末をBluetooth通信で検索されるようにする

1 [－] ［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［Bluetooth］

Bluetoothデバイス画面が表示されます。

2 [－] ［メニュー］▶［検出可能にする］▶ [－] ［完了］

❖赤外線通信／Bluetooth通信を有効にする

1 [－] ［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［ビーム］▶［着信ビームを受信する］▶ [－] ［完了］

赤外線通信およびBluetooth通信の受信が可能になります。

- 赤外線通信／Bluetooth通信を有効にすると、電池の消費が早くなる場合があります。

◆Bluetooth対応機器を登録する

Bluetooth対応機器は、接続要求があるたびに登録することができますが、よく利用するパソコンなどをあらかじめ登録しておくと、すぐにデータの送受信ができて便利です。

1 [－] ［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［Bluetooth］

Bluetoothデバイス画面が表示されます。

2 ［新しいデバイスの追加］

通信可能範囲にあるBluetooth対応機器を検索して、一覧表示します。

- 一覧の表示には時間がかかる場合があります。
- FOMA端末が複数の機器を検索した場合は、対応機器の名称で判別してください。

3 追加する機器にカーソルを合わせて [－] ［次へ］

- パスコード画面が表示されたときは、パスコードを入力して [－] ［次へ］を押します。

4 [－] ［OK］▶ [－] ［次へ］

登録する機器で利用できるサービスの一覧が表示されます。

- 追加する機器で利用できるサービスがない場合は、何も表示されません。
- [－] ［OK］を押して表示される画面で、デバイス名を編集できます。

5 利用するサービスを選択 ▶ [－] ［完了］

❖Bluetoothヘッドセット、Bluetoothハンズフリー機器を登録する

- 登録する機器の取扱説明書をあわせてご覧ください。

1 [－] ［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［Bluetooth］

Bluetoothデバイス画面が表示されます。

2 ［新しいデバイスの追加］

通信可能範囲にあるBluetooth対応機器を検索して、一覧表示します。

- 一覧の表示には時間がかかる場合があります。
- FOMA端末が複数の機器を検索した場合は、登録する機器の取扱説明書を参考にして、対応機器の名称で判別してください。

3 追加する機器にカーソルを合わせて [－] ［次へ］

- パスコード画面が表示されたときは、登録する機器の取扱説明書を参考にして、パスコードを入力します。

4 [－] ［OK］▶ [－] ［次へ］

登録する機器で利用できるサービスの一覧が表示されます。

- [－] ［OK］を押して表示される画面で、デバイス名を編集できます。

5 利用するサービスを選択 ▶ [－] ［完了］

6 登録した機器にカーソルを合わせて [－] ［メニュー］▶［ハンズフリーに設定］▶ [－] ［完了］

◆データを送信する〈赤外線送信／Bluetooth送信〉

Bluetooth機能で送信する場合は、[－][スタート] ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [Bluetooth] ▶ [－] [メニュー] ▶ [Bluetoothをオンにする]と操作して、あらかじめBluetooth機能を「オン」にしておきます。

1 送信するデータを選択して送信先一覧を表示

1件の連絡先を送信する：[－][連絡先] ▶ 送信するデータにカーソルを合わせて[－][メニュー] ▶ [連絡先の送信] ▶ [ビーム]

他のFOMA端末へ1件の連絡先を送信する：[－][連絡先] ▶ 送信するデータを選択 ▶ [－][メニュー] ▶ [FOMAへビーム]

1件の仕事を送信する：[－][スタート] ▶ [ビジネスツール] ▶ [仕事] ▶ 送信するデータにカーソルを合わせて[－][メニュー] ▶ [仕事をビームする]

1件の予定を送信する：[－][スタート] ▶ [ビジネスツール] ▶ [予定表] ▶ 送信するデータを選択 ▶ [－][メニュー] ▶ [予定をビームする]

ファイルを送信する：[－][スタート] ▶ [管理] ▶ [ファイル エクスプローラ] ▶ 送信するファイルにカーソルを合わせて[－][メニュー] ▶ [ビーム]

静止画や動画を送信する：[－][スタート] ▶ [画像とビデオ] ▶ 送信する静止画や動画にカーソルを合わせて[－][メニュー] ▶ [ビーム]

自局番号を送信する：[－][スタート] ▶ [0] ▶ [－][メニュー] ▶ [ビーム]

他のFOMA端末へ自局番号を送信する：[－][スタート] ▶ [0] ▶ [－][メニュー] ▶ [FOMAへビーム]

オーナー情報を送信する：[－][スタート] ▶ [設定] ▶ [オーナー情報] ▶ [－][メニュー] ▶ [ビーム]

他のFOMA端末へオーナー情報を送信する：[－][スタート] ▶ [設定] ▶ [オーナー情報] ▶ [－][メニュー] ▶ [FOMAへビーム]

2 赤外線またはBluetooth通信の送信相手にカーソルを合わせて[－][ビーム]

◆データを受信する〈赤外線受信／Bluetooth受信〉

データを受信すると、受信画面が表示されます。

- FOMA端末に追加されていないBluetooth対応機器から接続要求があると、デバイスの追加画面が表示されます。デバイスを追加するときにパスコードを要求された場合は、パスコードを入力します。→P154

1 データの受信画面で[－][はい]

- ファイルや静止画、動画は、「My Documents」フォルダに保存されます。

◆Bluetoothデバイス画面のサブメニューを利用する

Bluetoothデバイス画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[－][メニュー]を押すと、次の機能を利用できます。

検出可能にする／検出不可にする	FOMA端末を他のBluetooth対応機器から検索できるようにする／検索できないようにする→P156
削除	登録済みBluetooth対応機器の削除
設定／自局情報※1	FOMA端末のBluetooth対応機器名称や受信時パスコードの有無を設定※2
ハンズフリーに設定	登録したBluetooth対応機器をハンズフリー機器として設定
編集	登録済みBluetooth対応機器の情報を編集
ワイヤレスステレオに設定	登録したBluetooth対応機器をワイヤレスステレオ機器として設定
Bluetoothをオフにする／Bluetoothをオンにする	FOMA端末のBluetooth機能を無効にする／有効にする

COMポート	本FOMA端末にBluetooth対応ソフトウェアをインストールしたときにソフトウェア用設定で使用（詳しくは、各ソフトウェアの取扱説明書をご覧ください）

※1 機器名称やパスコードの設定は、Bluetooth機能をオフにしてから行ってください。
※2 機器名称に記号を使うと、接続するBluetooth対応機器によっては機器名称が正常に表示されない場合があります。

USB接続

パソコンとUSB接続する

FOMA端末とパソコンを接続して、データの同期（→P148）やデータ通信を行えます。

- USB接続するには、FOMA端末とパソコン以外に次の機器が必要です。
  - USBケーブル：FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
  - 付属のCD-ROM「FOMA F1100用CD-ROM」

  ※ 卓上ホルダF23（別売）を利用すると、パソコン用のUSBケーブルも使用できます。→P159
- USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
- 本書では、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02を例に説明しています。
- データ通信についての詳細は、付属のCD-ROM内の「パソコン接続マニュアル」をご覧ください。

◆USB接続のモードを設定する〈USBモード切替〉

1 **[−]［スタート］▶［管理］▶［USBモード切替］▶USB動作モードを設定▶[−]［完了］**

- USB動作モードには、次のものがあります。
  ActiveSyncモード：パソコンと同期させる→P148
  通常モード：FOMA端末でデータ通信を行う

❖パソコン接続時のネットワーク機能を設定する〈PCへのUSB接続〉

ActiveSyncモードを利用する場合、「高度なネットワーク機能」の設定を有効にします。

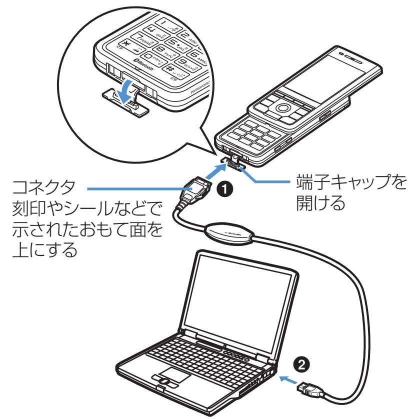
1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［PCへのUSB接続］▶［高度なネットワーク機能を有効にする］▶[−]［完了］**

◆USBケーブルで接続する

1 **USBケーブルのFOMA端子側をFOMA端末の外部接続端子に「カチッ」と音がするまで水平に差し込む（❶）**

2 **USBケーブルのパソコン側をパソコンのUSBコネクタに水平に差し込む（❷）**

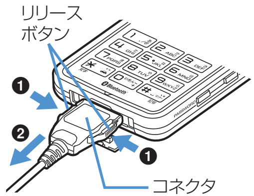
- 接続中は、ホームスクリーンに⇕が表示されます。



❖USBケーブルを取り外す

1 パソコンからUSBケーブルを水平に引き抜く

2 USBケーブルのFOMA端子側のリリースボタンを押し（❶）、FOMA端末から水平に引き抜く（❷）



✔お知らせ

- USBケーブルを無理に引き抜こうとすると故障の原因になります。
- データの送受信中にUSBケーブルを取り外さないでください。誤動作やデータ消失の原因となります。

◆ 卓上ホルダでUSB接続する

FOMA 端末をセットした卓上ホルダF23（別売）とパソコンをUSB接続して、データの同期（→P148）やデータ通信を行えます。

- 市販のUSB ケーブルは、USB 1.1／USB2.0規格に準拠した、コネクタ形状がUSBミニBコネクタのものを使用してください。
- 卓上ホルダへの取り付けや取り外しを行うときは、FOMA端末を閉じた状態にしてください。
- 必ず卓上ホルダF23取扱説明書もご覧ください。

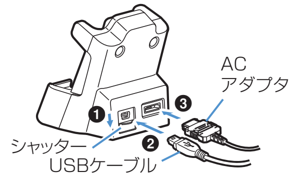
✔お知らせ

- 卓上ホルダとパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続した場合、USB接続によるデータ通信はご利用いただけません。

1 卓上ホルダの背面にあるシャッターを❶の方向にスライドさせ、卓上ホルダに市販のUSBケーブルを接続し（❷）、ACアダプタを接続する（❸）

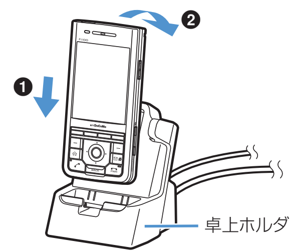
ACアダプタの接続方法→P39

- ACアダプタは、卓上ホルダに接続した後、コンセントに差し込んでください。



2 FOMA端末を卓上ホルダの充電端子に合わせて❶の方向へ差し込み、❷の方向へ突き当たるまで押し込む

- 接続中は、ホームスクリーンに[USB icon]が表示されます。
- 付属のCD-ROMからパソコンに通信設定ファイルをインストールしていない場合は、USBモード切替（→P158）を「通常モード」にして接続すると、パソコンの画面に新しいハードウェアの検出ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を卓上ホルダから取り外し、検出ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして終了してください。



✔お知らせ

- データ通信中にUSBケーブルを外したり、卓上ホルダからFOMA端末を外したりしないでください。また、FOMA端末や卓上ホルダに衝撃を与えたりすると、データ通信の切断、誤動作、データ消失などの原因となるため、ご注意ください。
- 卓上ホルダでUSB接続してActiveSyncを利用する場合、デバイスロックがかかっているとパスワードの入力が必要になります。卓上ホルダに取り付けた状態でFOMA端末を開いてパスワードを入力する際には、FOMA端末が卓上ホルダから外れないようにしっかりと手で押さえながら開いてください。
  FOMA端末で解除操作を行った後、パソコンの画面に表示される自動接続画面で［はい］をクリックすると、接続のたびにデバイスロックを解除する操作を省略することができます。
- データ通信中に充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了したい場合は、データ通信を終了してから充電することをおすすめします。

FOMAプロキシ

プロキシの設定を行う

パケット接続でインターネット上などのHTTPプロキシサーバを利用するときは、プロキシサーバの情報を設定します。

- パケット接続中は、設定、変更できません。
- FOMAプロキシは、パケット接続設定の「通常使う接続先」として設定した接続先に対して有効になります。
- パケット接続設定で「通常使う接続先」が設定されていない場合は、FOMAプロキシは動作しません。
- Biz・ホーダイではプロキシを使用することができません（設定は反映されません）。
- パケット接続設定で通常使う接続先を変更した場合、FOMAプロキシの設定は解除されます。
- FOMAプロキシを使用してHTTPパケット通信を行った後にBiz・ホーダイで通信を行う場合、またはFOMAプロキシを使用してHTTPパケット通信を行った後にパケット接続設定で通常使う接続先をBiz・ホーダイに変更した場合、次回のブラウザ接続時のみ必ずブラウザからURLを入力・選択してパケット接続を開始してください（パケット接続設定画面から手動で接続しないでください）。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［FOMAプロキシ］

FOMAプロキシ画面が表示されます。

2 各項目を設定▶[－]［完了］

FOMA側HTTPプロキシ使用：プロキシサーバを使用する場合に選択
- 選択後、次の項目を設定します。

HTTPプロキシアドレス：プロキシサーバのアドレスを設定

HTTP/SSLポート番号：ポート番号を設定
- ポート番号は、httpプロトコルとhttpsプロトコルで共用します。

プロキシを使用しないアドレス：プロキシサーバを使用しないアドレスを設定
- アドレスの設定には「http://」が必要です。
- アドレスの指定には、ワイルドカード（?、＊）と範囲指定（例：[a-z]）を使用できます。
- 対象サイトの配下すべてを指定する場合は、アドレスの末尾に「/＊」が必要です。

VPN

インターネット経由で社内LANに接続する

◆VPNとは

VPN（Virtual Private Network）は、インターネット経由で安全に社内ネットワークなどを利用するための接続方法です。仮想的な専用回線を用意して、第三者がデータを盗聴したり、当事者になりすましたりすることができないよう、暗号化したデータを送受信できます。

- 通常、VPNの設定は接続元をインターネット、接続先を社内ネットワークに設定します。
- ブラウザで［－］［メニュー］▶［ツール］▶［オプション］と操作して「接続」の「設定を自動的に検出する」の選択を外し「ネットワークの選択」を「社内ネットワーク」に変更する、または電子メールのセットアップにおいて「サーバーの詳細設定」の「ネットワーク接続」を「社内ネットワーク」に変えて通信を開始することでVPN接続が行われます。上記の他、VPN接続先設定に登録したアドレスに接続した場合にもVPN接続が行われます。
- FOMAプロキシの設定が有効な状態では、FOMA側でVPN接続できません。
- WLANのHTTPプロキシ設定が有効な状態では、WLAN側でVPN接続できません。
- VPNの設定は、1つのみ設定してください。
- FOMA側でのVPN接続に失敗すると、FOMAのパケット通信も切断されます。

◆VPNの設定を行う

1 **［－］［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［VPN］**

VPN画面が表示されます。

2 **［追加］▶各項目を設定▶［－］［完了］**

名前：一覧に表示する名称を入力
VPNの種類：PPTP、IPSec/L2TP
サーバー：接続するサーバ名を入力
接続元：社内ネットワーク、インターネット
接続先：社内ネットワーク、インターネット
ユーザー名：接続するためのユーザー名を入力
パスワード：接続するためのパスワードを入力
- 入力した文字は「＊」で表示されます。

ドメイン：ドメイン名を入力
IPSec認証：証明書、事前共有キー
IPSec事前共有キー：キー用文字列を入力
- 入力した文字は「＊」で表示されます。

✔お知らせ

-「ユーザー名」欄に何も入力せずに「ドメイン」欄のドメイン名を「ドメイン名¥ユーザー名」の形式で設定すると、ユーザー名が「ユーザー名¥」に設定される場合があります。ユーザー名の最後の「¥」を削除して設定し直してください。

◆VPN画面のサブメニューを利用する

VPN画面で［－］［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

削除	選択したVPN設定を削除
追加	VPN設定を追加→P161
編集	選択したVPN設定を編集

◆VPN接続先アドレスを設定する

1 **［－］［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［－］［メニュー］▶［VPN接続先設定］**

VPN接続先設定画面が表示されます。

2 **各項目を設定▶［－］［完了］**

VPN接続先アドレスを設定：VPNの接続先アドレスを登録する場合に選択

VPN接続先アドレス：VPN接続後にアクセスするサーバなどのアドレスを設定
- アドレスの設定には、「*://」、「http://」などが必要です。
- アドレスの設定には、ワイルドカード（?、*）と範囲指定（例:[a-z]）を使用できます。
- 対象サイトの配下すべてを指定する場合は、アドレスの末尾に[/*]が必要です。

パケット接続設定

パケット接続の設定をする

◆パケット通信について

パケット通信は、送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMAパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
- 定額制サービス（Biz・ホーダイ）を併用せずに、画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。
- FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するときは、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

◆パケット通信の接続先を設定・管理する

利用する接続先の情報の登録や、登録済みの内容の編集などを行います。
- 接続先は、最大20件登録できます。

本FOMA端末に登録済みのパケット通信接続先について
- 次の接続先を利用する場合は、接続先を追加する必要はありません。

■ mopera U（初期設定）
パケット代無料でmopera Uのメールアドレス変更などの初期設定を行うことができます。
mopera Uの契約後この接続先に接続するとブラウザが起動してmopera Uの初期設定を行う画面が表示されます。画面の指示に従ってメールアドレスの変更などの初期設定を行ってください。この接続先は、編集および削除はできません。

■ mopera U
この接続先に接続すれば、すぐに使い始めることができます。
- mopera Uをご利用になるためには、別途お申し込みが必要です。
- mopera UはFOMAのためのインターネット接続サービスです。mopera Uにお申し込みいただいたお客様は、すぐにインターネットがご利用になれます。
- 詳しくは、ドコモのホームページでご確認ください。

■ Biz・ホーダイ
mopera Uに加えてBiz・ホーダイを契約した場合は、この接続先を「通常使う接続先」に設定します。ビジネスmoperaインターネットなどmopera U以外のインターネット接続サービス利用でBiz・ホーダイをご利用になる場合は、編集にてアクセスポイントの変更を行ってください。

1 [−][スタート] ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [パケット接続設定]

パケット接続設定画面が表示されます。画面には、登録済みの接続先が一覧表示されます。
アカウント名：接続先の名称
- 通常使う接続先の場合、太字で表示されます。

状態：現在の接続状態
- 接続中の場合「●」が表示されます。

定額：定額制サービス（Biz・ホーダイ）用アカウントの表示
- 定額制サービスの場合「●」が表示されます。

2 **[−]［メニュー］▶［追加］▶各項目を設定▶[−]［次へ］**

- 登録済みの接続先を編集する場合は、接続先にカーソルを合わせて[−]［メニュー］▶［編集］を選択します。

アカウント名：パケット接続設定画面の「アカウント名」に表示される名称
通信タイプ：IP接続、PPP接続

3 **各項目を設定▶[−]［次へ］**

アクセスポイント名（APN）：アクセスポイントの名称
ユーザー名：接続するためのユーザー名
パスワード：接続するためのパスワード
- 入力した文字は「＊」で表示されます。

ドメイン：接続先のドメイン名
- 操作2の「通信タイプ」で「PPP接続」を選択した場合に設定します。

4 **各項目を設定▶[−]［完了］**

定額用アクセスポイント：定額制サービスに対応したアクセスポイントの場合に選択
通常使う接続先に設定：この接続先を通常使う接続先として登録する場合に選択

◆パケット通信を接続する・切断する

❖接続する

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［パケット接続設定］▶接続先にカーソルを合わせて[−]［メニュー］▶［接続］**

- 接続先が定額制対象外の場合、確認画面が表示されます。[−]［はい］を押すと、接続されます。
- 接続中は、次のアイコンが表示されます。
  ：Biz・ホーダイ以外を利用
  ：Biz・ホーダイを利用
- は、「mopera U（初期設定）」への接続時やセキュリティスキャンのパターンデータ更新時（→P228）にも表示されます。
- メールやブラウザを利用する場合、パケット通信モード設定（→P44）の設定によって、自動的にパケット通信やWLANによる通信が開始されます。自動接続でパケット接続が開始されない場合は、パケット通信モード設定を「FOMAモード」にしてください。

❖切断する

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［パケット接続設定］▶接続先にカーソルを合わせて[−]［メニュー］▶［切断］**

◆パケット接続設定画面のサブメニューを利用する

パケット接続設定画面で[−]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

最新の情報に更新	接続状態などを最新のものに更新
削除	選択した接続先を削除
接続／切断	選択した接続先に接続／切断
追加	接続先を追加→P162
通常使う接続先に設定	選択した接続先を通常使う接続先として設定
編集	選択した接続先を編集→P162

Biz・ホーダイ設定

Biz・ホーダイの設定を行う

Biz・ホーダイをご契約いただいている場合に、FOMA端末でサービスを利用できるように設定したり、サービス対象外の通信利用時に注意メッセージを表示するように設定したりします。

❖サービスを利用する設定

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［Biz・ホーダイ設定］▶各項目を設定▶[－]［完了］

表示設定：Biz・ホーダイ対象外の通信を行うときに注意メッセージを表示するかどうかを設定

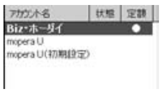
- メッセージを表示しない設定にすると、以降、Biz・ホーダイ以外のアクセスポイントへ接続しても注意メッセージが表示されません。ご利用料金が高額にならないようにご注意ください。

ご利用機種変更：Biz・ホーダイ契約済みの別のFOMAカードを挿入した場合に設定

- ご利用機種変更画面で[－]［機種変更］を押すと、Biz・ホーダイが利用できるようになります。

✔お知らせ

- Biz・ホーダイをご利用になる場合は、パケット接続設定（→P162）でBiz・ホーダイを通常使う接続先に設定します。



- Biz・ホーダイ以外の通信を行う場合は、ご利用料金が高額にならないようにご注意ください。
- Biz・ホーダイ接続（定額接続中）は、次の通信機能が制限されます。
  - WLAN
  - Bluetooth通信
  - 赤外線通信
  - USB接続（ActiveSyncモードおよび通常モード）

Biz・ホーダイとは

Biz・ホーダイとは、定額料金でｉモード以外のFOMAパケット通信（パソコンなどに接続して利用する場合を除く）が利用できるサービスです。

- 外部接続（USB、Bluetooth機能、WLAN）を行っている場合は、ご利用いただけません。

Biz・ホーダイをご利用いただく上での注意事項

- Biz・ホーダイをご利用いただくには、事前にご契約が必要です。
- Biz・ホーダイをご契約いただけるのは、FOMA新料金プランのご契約者です。
- Biz・ホーダイは、「mopera U」および「ビジネスmoperaインターネット」（法人ユーザ向け）など、Biz・ホーダイ対応インターネット接続サービスのお申し込みが必要となります。※
- ｉモード以外の国内におけるFOMAパケット通信のうち、本FOMA端末でパケット通信の接続先として「Biz・ホーダイ」を利用して接続したものが、Biz・ホーダイの定額料金の対象になります。「Biz・ホーダイ」以外の接続先を利用した場合は、別途パケット通信料がかかります。
- ネットワークの混雑状況によっては、Biz・ホーダイを適用しない場合に比べて、通信速度が遅くなることや接続しにくくなることがあります。
- 1回の接続で大量（約20MB以上）のデータ通信があった場合や、長時間（約12時間以上）連続して接続した場合は、その通信が中断されたり、それ以降一定時間接続できなくなったりすることがあります。また、1分間に連続して4回以上の接続を行った場合は、接続が制限されます。
- Biz・ホーダイのご契約を解約する手続きについては、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。

※ 2008年2月現在

WLAN

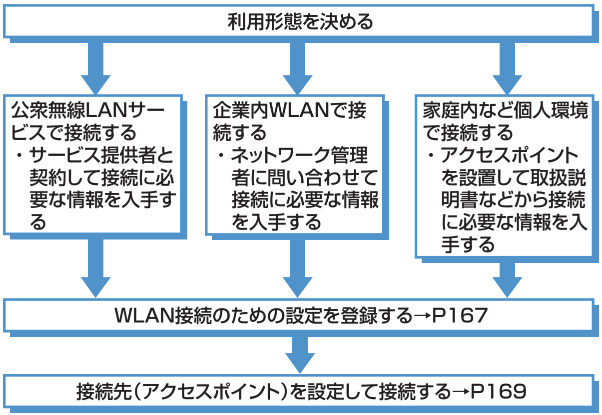
WLAN電話を利用する

インスタントメッセージを利用する

プレゼンス機能を利用する

環境設定を行う

アクセスポイントに接続するまでの流れ



- パケット通信モード設定（→P44）の設定によって、メールやブラウザによるアクセスが開始されたとき、自動的にWLANで通信が開始されます。自動接続でパケット通信が開始される場合は、パケット通信モード設定を「WLANモード」にしてください。

WLANとは

本FOMA端末は、無線LAN（以降、WLAN）機能を搭載しています。WLANでは、次の機能を利用できます。

インターネット接続：WLAN経由でインターネットに接続します。

WLAN電話：VoIP（Voice over Internet Protocol）を利用した電話で、構内の内線電話などで活用します。通話時の制御プロトコルにはSIP（Session Initiation Protocol）を使用します。→P170

メッセンジャー：ネットワークに登録されているメンバーからの簡単なテキストメッセージ（インスタントメッセージ、以降、IM）を受信できます（送信はできません）。→P172

プレゼンス：ネットワークに登録されているメンバーの在席情報（プレゼンス情報）を確認できます。→P172

※ WLAN電話、プレゼンス、メッセンジャーは、各機能を提供するサーバに本FOMA端末を登録した場合にのみ利用できます。各機能を企業内で使用される場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

WLAN利用時の注意

次の状態では、WLAN機能を利用できません。

- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」のとき→P44
- 接続先をBiz・ホーダイにして通信しているとき→P162
- セルフモード中のとき→P83
- パソコンと同期しているとき→P148

無線モードが「IEEE802.11a」のときの通知画面について

無線モードが「IEEE802.11a」のアクセスポイントに接続しようとすると、「本製品のIEEE802.11a（5GHz）WLAN機能は、屋外での利用は禁止されています」と表示された通知画面が表示され、□［OK］を押すと接続されます。□［OK］を押さずに別の画面を表示させると、アクセスポイントには接続されません。接続する場合はBACKを押して通知画面まで戻り、□［OK］を押してください。

11aにおけるアクティブスキャンの動作の違いについて

- 本FOMA端末のIEEE802.11a（5GHz）WLAN機能は、電波法令によって屋外での利用は禁止されており、IEEE802.11aの利用時のScan Type設定がActiveの場合については、屋内に設置されたアクセスポイントからBeacon信号を検知しない限り電波を発信しません。本FOMA端末のIEEE802.11a（5GHz）WLAN機能は、必ず屋内でご利用ください。

Bluetooth対応機器との電波干渉について

WLAN（IEEE802.11b/g）とBluetooth対応機器は同一周波数帯（2.4GHz）を使用するため、無線LANを搭載した機器の近辺で使用すると、電波干渉が発生し、通信速度の低下、雑音や接続不能の原因になる場合があります。この場合、次の対策を行ってください。

1. WLANと、FOMA端末やワイヤレス接続するBluetooth対応機器は、10m以上離してください。
2. 10m以内で使用する場合は、WLANまたはFOMA端末とワイヤレス接続するBluetooth対応機器の電源を切ってください。

■ WLANの主な仕様

対応規格	IEEE802.11a、IEEE802.11b、IEEE802.11g
伝送方式	IEEE802.11a：OFDM IEEE802.11b：DS-SS IEEE802.11g：OFDM
伝送速度	IEEE802.11a：6,9,12,18,24,36,48,54Mbps IEEE802.11b：1,2,5.5,11Mbps IEEE802.11g：6,9,12,18,24,36,48,54Mbps
使用周波数帯	IEEE802.11a：5150MHz～5350MHz IEEE802.11b：2400MHz～2497MHz IEEE802.11g：2400MHz～2483.5MHz
チャンネル数（チャンネル）	IEEE802.11a：8（36、40、44、48、52、56、60、64ch） IEEE802.11b：14（1～14ch） IEEE802.11g：13（1～13ch）
伝送距離※	IEEE802.11a：屋内15m IEEE802.11b：屋内25m、屋外25m IEEE802.11g：屋内25m、屋外25m
セキュリティ	WEP、IEEE802.1x、WPA/WPA2（EAP、PSK）、CCKM

※ 電波状態や機器間の障害物など、状況により変化します。

アクセスポイントに接続する

本FOMA端末を公衆無線LANサービスや企業内WLANのアクセスポイントに接続すると、WLAN経由でメールやブラウザを利用できるようになります。アクセスポイントに接続するためには、アクセスポイントごとの接続用設定を接続先のプロファイルとして登録します。また、登録した接続先の情報を使わずに、アクセスポイントのスキャン結果から選択して接続することもできます。

- 公衆無線LANサービスを利用するためには、別途、プロバイダなどとのサービス契約が必要です。
- 公衆無線LANサービスでは、アクセスポイントに接続した後で、ブラウザなどを使ったログイン認証が必要になる場合があります。詳細は、各サービスの資料をご覧ください。
- 企業内WLANを利用するためには、事前に機器登録などの手続きが必要になる場合があります。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

◆ 接続先のプロファイルを登録する

最大20個まで登録できます。

1 **[－]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［WLAN環境設定］▶［設定参照／変更］**

WLAN暗証番号入力画面が表示されます。

2 **WLAN暗証番号を入力▶［プロファイル設定］**

プロファイルリスト画面が表示されます。

- WLAN暗証番号のお買い上げ時の設定は「0000」です。
- WLAN暗証番号は、初期設定値から変更することをおすすめします。→P169

3 **登録する位置のプロファイルを選択▶各項目を設定▶[－]［完了］**

SIP環境設定→P175

プロファイルリストに表示される名前を設定する：［プロファイル名設定］▶プロファイル名を入力▶[−]［完了］
- 全角／半角16文字以内で入力します。

セキュリティ認証を設定する：［セキュリティ接続設定］▶各項目を設定▶[−]［完了］▶[−]［完了］

ESSID設定：ESSIDを入力

セキュリティ方式設定：認証方式などを設定
- 「セキュリティ方式設定」における各認証種別と設定する項目は、次のとおりです。

認証方式	設定項目						
	共有キーのID	共有キーの種類と値	EAP認証方式	認証タイプ	EAP用ID	ユーザID	パスワード
なし	—	—	—	—	—	—	—
WEP	○	○	—	—	—	—	—
802.1x	—	—	○	○※1	○※2	○※3	○※3
WPA/WPA2	—	—	○	○※1	○※2	○※3	○※3
WPA2	—	—	○	○※1	○	○※3	○※3
CCKM	—	—	○	○※2	○※2	○	○
WPA/WPA2-PSK	—	○	—	—	—	—	—
WPA2-PSK	—	○	—	—	—	—	—

※1 「EAP認証方式」が、「EAP-TTLS」、「PEAP」、「EAP-FAST」のときに設定

※2 「EAP認証方式」が「LEAP」以外のときに設定

※3 「EAP認証方式」が「EAP-TLS」以外のときに設定

- 「EAP認証方式」が「EAP-TLS」、「EAP-TTLS」、「PEAP」の場合、認証に必要な証明書を選択します（中間証明書を利用する場合は、中間証明書からルート証明書までの証明書チェインのすべての証明書のインストールが必要です）。証明書の選択の操作は、次のとおりです。

  ［セキュリティ接続設定］▶［証明書］
- 「EAP認証方式」が「EAP-TLS」の場合は、個人証明書とルート／中間証明書の選択が必要です。また、「EAP認証方式」が「EAP-TTLS」、「PEAP」の場合は、ルート／中間証明書の選択が必要です。

WLANの規格（WLANモード）を設定する：［WLAN設定］▶［WLANモード設定］▶各項目を設定▶[−]［完了］※▶[−]［完了］

※ 次の組み合わせを選択した場合は、通知画面が表示されます。[−]［OK］を押します。
- 「無線モード選択」で「802.11a」を選択
- 「無線モード選択」で「Auto（802.11b/g）」を選択し、「通信チャネル 802.11b/g」で「Auto（1,6,11,14）」、「Auto（1-14）」、「14」のいずれかを選択

ネットワーク情報（IPアドレス、DNSサーバアドレス）を設定する：［ネットワーク設定］▶各項目を設定▶[−]［完了］
- 「DNSアドレス自動取得」を選択する場合は、先に「IPアドレス自動取得」を選択します。

HTTPプロキシを設定する：［HTTPプロキシ設定］▶各項目を設定▶[−]［完了］
- 「プロキシを使用しないアドレス」のアドレスの設定には「http://」が必要です。
- 「プロキシを使用しないアドレス」のアドレスの指定には、ワイルドカード（?、＊）と範囲指定（例：[a-z]）を使用できます。
- 「プロキシを使用しないアドレス」で、対象サイトの配下すべてを指定する場合は、アドレスの末尾に「/＊」が必要です。
- ポート番号は、httpプロトコルとhttpsプロトコルで共用します。

◆接続先を設定して接続する

❖接続先のリストを用意する

WLANの接続先の一覧を作成します。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［WLAN環境設定］▶［接続先設定］▶［指定接続］▶[−]［メニュー］▶［リスト編集］**

優先順位リスト設定画面が表示されます。

2 **[−]［メニュー］▶［追加］▶追加する接続先（プロファイル）を選択▶[−]［完了］▶[−]［完了］**

- 通知画面が表示された場合は[−]［OK］を押します。
- リストの上位に表示されている接続先から優先的にスキャンして接続します。

❖アクセスポイントをスキャンして接続する

優先順位リストに追加したアクセスポイント（接続先）に接続する場合は「指定接続」を選択します。接続できるアクセスポイントをその場で探して接続する場合は「一時接続」を選択します。

- ホームスクリーンで[⌂]を1秒以上押すと、設定されている接続方法（一時接続または指定接続）で再接続できます。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［WLAN環境設定］▶［接続先設定］▶接続方法を選択▶[−]［完了］**

「指定接続」で接続する：**アクセスポイントのスキャンが開始され、接続先優先順位リストに登録したアクセスポイントに接続されます。**

- アクセスポイントの圏外になってWLANが切断された場合でも、再び圏内に戻りアクセスポイントが見つかれば、自動的に再接続されます。

「一時接続」で接続する：**アクセスポイントのスキャンが開始され、見つかったアクセスポイントが接続先一覧画面に表示されます。接続するアクセスポイントにカーソルを合わせて[−]［接続］を押します。**

- セキュリティ認証が必要なアクセスポイントでは、キー入力画面が表示されます。「キーの入力方法」を選択して、キーを入力します。
- 無線モードが「IEEE802.11a」のアクセスポイントでは、通知画面が表示されます。[−]［OK］を押して接続します。
- 接続されたアクセスポイントを接続先として登録できます。
- メールやブラウザを利用する場合、パケット通信モード設定（→P44）の設定によって、自動的にパケット通信やWLANによる通信が開始されます。自動接続でパケット通信が開始される場合は、パケット通信モード設定を「WLANモード」にしてください。

WLAN暗証番号変更

WLAN設定用の暗証番号を変更する

WLAN設定の変更やリセットを行うときに入力する暗証番号（WLAN暗証番号）を変更します。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［ロックとセキュリティ］▶［暗証番号］▶［WLAN暗証番号変更］▶WLAN暗証番号を入力▶新しいWLAN暗証番号を入力▶「WLAN暗証番号再入力」欄にカーソルを合わせて新しいWLAN暗証番号を再入力▶[−]［完了］**

- WLAN暗証番号のお買い上げ時の設定は「0000」です。

WLAN電話をかける

- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、WLAN電話を利用できません。

1 **電話番号（内線番号）を入力**

- 32桁以内で入力します。
- 外線にかけるには、外線発信番号を入力してから相手の電話番号を入力します。

2 [発信キー]

発信モードの選択画面が表示されます。

- 通信モード設定が「WLANシングルモード」の場合は、選択画面は表示されずにWLAN電話がかかります。その場合、操作4へ進みます。

3 **[WLAN]**

相手が応答したら通話します。通話中は[SIPアイコン]が表示されます。

自分の声が相手に聞こえないようにミュート（無音）にする：通話中に[−] [ミュート]

ミュート中は[ミュートアイコン]が表示されます。

- ミュートを解除するには[−]［ミュート解除］を押します。

4 **通話が終わったら[PWR]**

✔お知らせ

- WLAN電話以外のプログラムを実行したままWLAN電話をかけると、プログラムによっては音声が途切れる場合があります。実行中のプログラムを終了させてください。
- BluetoothヘッドセットはWLAN電話では利用できません。
- DUALモード中に緊急通報（110番、119番、118番）を行った場合、WLAN優先であってもFOMA音声電話でかかります。WLANシングルモードでかけたときは、自動的にDUALモード（WLAN優先）に切り替わりFOMA音声でかかります。
- 本FOMA端末では「110番」、「118番」、「119番」、「000000番」、「112番」は緊急呼番号として認識するため、内線番号には設定しないでください。

◆通話中に保留にする

通話中に自分の声を相手に聞こえないようにします。

1 **通話中に[−]［メニュー］▶［保留］**

- 保留中は[WLANアイコン]、[保留アイコン]が表示されます。相手には保留音が流れます。

保留を解除する：[−]［保留解除］

✔お知らせ

- 次の機能は電話の操作と同様です。
  - 電話番号入力画面の見かた→P48
  - 電話機能のサブメニュー操作→P49
  - 通話履歴→P50
  - 伝言メモ→P58
  - 音声メモ→P58
- WLANに接続している状態で[−]を1秒以上押すと、内線機能メニューが表示され、内線機能を利用できます。ただし、次の状態では内線機能を利用できません。
  - 内線特番設定が未登録のとき→P175
  - 通信モード設定が「FOMAシングルモード」のとき→P44
  - 接続先をBiz・ホーダイにして通信しているとき
  - 外部機器と接続しているとき
  - FOMAの電話で通話している、またはデータ通信しているとき

※ 内線機能の操作などの詳細は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ワンタッチキーに内線機能が登録されている場合は、対応するワンタッチキーを押して操作できます。→P137

WLAN電話を受ける

1 **電話がかかってくる**



着信中画面

- 画面の見かたは次のとおりです。
  ① **通信種別**
  FOMA：電話→P55
  WLAN：WLAN電話
  ② **WLAN電話の種別（内線／外線／専用線）**
  ③ **電話番号（内線番号）**

着信音／バイブを停止する：**サイドキー［▲▼］**

2 **[−]［応答］または[✐]**

- エニーキーアンサーを設定している場合は、ダイヤルキーなどを押しても電話を受けられます。
- 充電中に電話がかかってきた場合は、卓上ホルダからFOMA端末を取り外すか、ACアダプタ／DCアダプタのコネクタをFOMA端末から取り外しても、電話を受けられます。

着信を拒否する：**[−]［着信拒否］／[PWR]／[BACK]**

3 **通話が終わったら[PWR]**

✔お知らせ

- WLAN電話の種別は、SIPシーケンスが「基本SIP」で、かつ、基本内線着信識別設定（WLAN）が「オン」の場合、またはSIPシーケンスが「拡張SIP」の場合に表示されます。ただし、SIPサーバや着信状態によっては表示されない場合があります。
- WLAN電話以外のプログラムを実行したままWLAN電話を受けると、プログラムによっては音声が途切れる場合があります。実行中のプログラムを終了させてください。
- BluetoothヘッドセットはWLAN電話では利用できません。

基本内線着信識別設定（WLAN）

WLAN電話の着信種別を識別する

WLAN電話がかかってきたとき、着信の種別（内線／外線／専用線）を識別して着信中画面に表示するかどうかを設定します。

- 本機能の設定は、基本SIPにのみ対応します。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［発着信・通話設定］▶［発着信詳細設定］▶［基本内線着信識別設定（WLAN）］▶［オン］または［オフ］▶[−]［完了］**

SIPアドレス一覧表示

登録されているSIPアドレスを表示する

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［SIPアドレス一覧表示］**

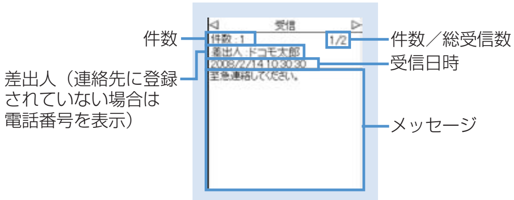
メッセンジャー

インスタントメッセージ（IM）を受信する

1 **IMを受信**

「IMを受信しました」と表示された受信通知画面が表示されます。

2 **[OK]**



受信画面

ホームスクリーンから受信画面を表示する：[スタート]▶[ビジネスツール]▶[コミュニティ]▶[メッセンジャー]

- 未読のIMがある場合は、ホームスクリーンにが表示されます。

前／次のIMに切り替える：

3 **[閉じる]▶[削除せずに終了]または[すべて削除して終了]**

◆メッセンジャーのサブメニューを利用する

受信画面で[メニュー]を押すと、次の機能を利用できます。

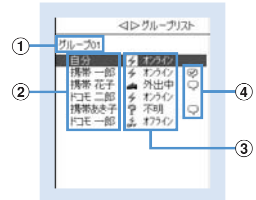
次IM	表示しているIMの後に受信したIMを表示
前IM	表示しているIMの前に受信したIMを表示

プレゼンス

プレゼンス情報を登録／確認する

ご利用中のFOMA端末のプレゼンス情報を登録したり、メンバーのプレゼンス情報を確認したりします。

1 **[スタート]▶[ビジネスツール]▶[コミュニティ]▶[プレゼンス]**



バディリスト画面

- 画面の見かたは次のとおりです。

①グループ名

を押すとグループリスト画面を表示

- グループリスト画面でグループにカーソルを合わせて[切替]を押すと、グループを切り替えられます。

②表示中のグループに登録されているメンバー

- お買い上げ時のFOMA端末は「自分」と表示されます。

③ステータス表示

：オンライン　：取込中　：外出中　：会議中
：出張中　：離席　：休憩中　：食事中　：帰宅
：秘密　：オフライン　：電話中　：不明

- 外出中、会議中、出張中、離席、休憩中、食事中、帰宅、秘密のメンバーがFOMA端末の電源を切ったときや、WLANの圏外になったときは、アイコンがグレーで表示されます。

④ 状態通知設定の設定状態
　：状態通知設定を設定したメンバー
　：状態通知設定を設定したメンバーのステータスがオンライン

2 次の操作を行う

自分のステータスを登録する：［自分］▶ステータスを選択
- オフライン、電話中、不明は、自動的に更新されます。自分では登録できません。

メンバーのステータスを更新する：□［更新］

他のグループに登録したメンバーのステータスを確認する：◎▶確認するグループにカーソルを合わせて□［切替］

✔お知らせ
- バディリスト画面でメンバーを選択すると、登録した電話番号にWLAN電話をかけられます。
- ステータス表示のオフラインは、オンライン、取込中、通話中のメンバーが次の状態のときに表示されます。
  - 電源を切ったとき
  - WLANの圏外になったとき

グループにメンバーを追加する

- 追加するメンバーを、あらかじめ連絡先に登録してください。
- グループごとに最大24人のメンバーを登録できます。

1 バディリスト画面で□［メニュー］▶［メンバー追加］

2 登録するメンバーの連絡先を選択
- 選択した連絡先に複数の電話番号が登録されている場合は、選択画面で登録する電話番号を選択してください。

状態通知を設定／解除する

特定のメンバーのステータスがオンラインになったとき、状態通知画面を表示して知らせるかどうかを設定します。

1 バディリスト画面で設定するメンバーにカーソルを合わせて□［メニュー］▶［状態通知設定］▶［設定］または［解除］
- 状態通知設定は、最大3人のメンバーを登録できます。
- 電源を切ると、設定は自動的に解除されます。
- 一度状態通知を受けたメンバーは、再度オンラインになっても状態通知画面が表示されません。状態通知画面を表示させる場合は、もう一度設定してください。

◆状態通知を受けたときは

1 状態通知を受ける

状態通知画面が表示されます。

2 メンバーの状態を確認する

バディリスト画面を表示しているときに通知を受けた：□［OK］

バディリスト画面に戻ります。

バディリスト画面以外を表示しているときに通知を受けた：□［はい］

バディリスト画面が表示されます。
- □［いいえ］を押すと、元の画面に戻ります。

✔お知らせ
- 状態通知を受けた後、バディリスト画面を表示せずにホームスクリーンを表示させると、ホームスクリーンに　が表示されます。
- プレゼンス通話中設定の設定によっては、状態通知画面は表示されません。

「電話中」状態の通知の有無を設定する

電話／WLAN電話をかけたり受けたりしているときに、FOMA端末のステータスを「電話中」として通知するかどうかを設定します。

1 [－]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［WLAN環境設定］▶［設定参照／変更］▶WLAN暗証番号を入力▶［プロファイル設定］▶プロファイルを選択▶［SIP環境設定］▶［プレゼンス通話中設定］▶各項目を設定▶[－]［完了］▶[－]［完了］▶[－]［完了］

通話中通知（FOMA）：電話で通話を始めたときに通知する場合に選択

通話中通知（WLAN電話）：WLAN電話で通話を始めたときに通知する場合に選択

◆ プレゼンスのサブメニューを利用する

プレゼンスの各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

グループリスト	グループリスト画面を表示
グループ名変更	選択しているグループの名前を変更 • 全角／半角20文字以内で入力します。
状態通知設定	特定のメンバーがオンライン状態になったときに通知するかどうかを設定→P173
ステータス変更	ご利用のFOMA端末のプレゼンス情報を登録
全削除	表示しているグループのすべてのメンバーを削除
プロフィール設定	ご利用のFOMA端末の表示名を変更 • 全角／半角10文字以内で入力します。
メンバーリスト	選択しているグループのメンバーリスト画面を表示
メンバー移動	選択しているメンバーを表示しているグループ内で移動
メンバー追加	表示しているグループにメンバーを追加→P173
WLAN電話発信	選択しているメンバーにWLAN電話をかける
1件削除	選択しているメンバーを削除

WLAN環境設定について

◆ プロファイル設定／共通設定項目一覧

■ プロファイル設定

- WLANの接続先（プロファイル）を個別に設定し、保存します。最大20件の接続先を保存できます。
- 共通操作：[－]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［WLAN環境設定］▶［設定参照／変更］▶WLAN暗証番号を入力▶［プロファイル設定］▶設定するプロファイルを選択

操　作	設定項目
［プロファイル名設定］	一覧に表示される名称を入力 • 全角／半角16文字以内で入力します。
［セキュリティ接続設定］▶［ESSID設定］	ESSIDを入力
［セキュリティ接続設定］▶［セキュリティ方式設定］	認証方式を選択し、方式ごとの値を設定
［セキュリティ接続設定］▶［証明書］	認証時に使用する証明書を選択
［セキュリティ接続設定］▶［CN検証設定］	認証サーバのCN検証の有無とCN設定
［WLAN設定］▶［QoS設定］	QoS利用の有無を設定
［WLAN設定］▶［パワーセーブ設定］	パワーセーブ利用の有無を設定
［WLAN設定］▶［WLANモード設定］	無線モードを選択し、モードごとの値を設定
［WLAN設定］▶［送信電力レベル設定］	レベルを選択

操　作	設定項目
[ネットワーク設定]	IPアドレスおよびDNSアドレスの自動取得利用の有無を設定※1 • 自動取得を利用しない場合は、アドレスを個別に入力
[HTTPプロキシ設定]	HTTPプロキシ使用の有無を設定 • 使用する場合は、アドレスなどの値を個別に設定
[SIP環境設定] ▶ [SIPサーバ設定]	SIPサーバに関する値を設定※1、2
[SIP環境設定] ▶ [SIPシーケンス設定]	SIPシーケンスを選択※2
[SIP環境設定] ▶ [ユーザ認証設定]	ユーザIDとパスワードを入力
[SIP環境設定] ▶ [WLAN電話設定]	ジッターバッファサイズとRTPポート番号を入力
[SIP環境設定] ▶ [プレゼンス通話中設定]	通知利用の有無を設定→P174

※1 「IPアドレス自動取得」を選択した場合は、必ず「SIPサーバ自動取得」も選択します。また、「IPアドレス自動取得」の選択を外した場合は、必ず「SIPサーバ自動取得」の選択も外します。

※2 SIPシーケンスを「その他」に設定した場合、有効なプレゼンスサーバIPアドレスは「0.0.0.0」だけです。

■ 共通設定

• 共通操作：[－] [スタート] ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [WLAN環境設定] ▶ [設定参照／変更] ▶ WLAN暗証番号を入力 ▶ [共通設定]

操　作	設定項目
[Scan Type設定]	Scan Typeを選択
[最大Scan間隔設定]	間隔の数値（単位：分）を入力
[内線特番設定]	内線サービス名、キー表示名、内線番号（「内線特番」または「サービス指定発信名※」）、後続番号入力要否、有効呼状態を設定 • 一覧から、登録、編集する位置の内線サービスを選択して、これらの項目を設定

※ サービス指定発信とは、SIPシーケンスが「その他」の場合に利用できる機能で、内線特番番号（数字）の代わりに文字列を発信します。SIPシーケンスが「その他」以外の場合は、本項目を設定しないでください。

■ 情報表示

• 共通操作：[－] [スタート] ▶ [設定] ▶ [接続] ▶ [WLAN環境設定] ▶ [設定参照／変更] ▶ WLAN暗証番号を入力 ▶ [情報表示]

操　作	表示内容
[接続ステータス]	接続AP名、ESSID、接続中チャネル、電界強度、無線モード、通信速度、IPアドレスタイプ、IPアドレス、サブネットマスクアドレス、デフォルトゲートウェイアドレス、DNSサーバアドレス（プライマリ、セカンダリ）、HTTP Proxyの有無、HTTP Proxyサーバアドレスを表示
[MACアドレス]	本FOMA端末のMACアドレスを表示

◆WLANの設定を初期状態に戻す

設定済みのWLANのプロファイルなど、WLAN環境設定の内容をリセットし、初期状態に戻します。

• この操作を行うと、WLAN設定のすべての内容が削除されます。

1 **[−]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶［WLAN環境設定］▶［WLAN設定リセット］▶WLAN暗証番号を入力**

確認画面が表示されます。

2 **[−]［はい］▶[−]［OK］▶[−]［はい］**

FOMA端末が再起動します。

◆WLAN環境設定のサブメニューを利用する

WLAN環境設定の各画面で右下に「メニュー」が表示されているときに[−]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

入替え	接続先優先順位リストの接続先の順序を入れ替え
上書き	接続先優先順位リストの選択している接続先を別の接続先で上書き
解除	個人証明書の選択を解除
コピー	選択しているプロファイルをコピー
再検索	一時接続で検索した接続先を再検索
削除	• 接続先優先順位リストの選択している接続先を削除 • 内線サービス一覧（内線特番設定）の選択しているサービスを削除
参照	内線サービス一覧（内線特番設定）の選択しているサービスの設定内容を参照
詳細設定	セキュリティ方式設定のEAP認証方式の詳細を設定 • EAP認証方式が「EAP-FAST」の場合
詳細表示	プロファイル設定の設定済みの内容を表示
選択	ルート証明書の選択、個人証明書の選択
全リセット	プロファイル全件の内容を初期化
全解除	選択したルート証明書または中間証明書のすべてを解除
全選択	ルート証明書または中間証明書のすべてを選択
挿入	接続先優先順位リストのカーソル位置に接続先を挿入
追加	接続先優先順位リストに接続先を追加
表示	証明書を表示
編集	内線サービス一覧（内線特番設定）の選択しているサービスを編集
リスト編集	接続先優先順位リストの編集
ESSID表示	一時接続で検索した接続先のESSIDを表示
PACインポート	セキュリティ方式設定のEAP認証方式で利用するPACファイルを設定 • EAP認証方式が「EAP-FAST」の場合
PAC削除	セキュリティ方式設定のEAP認証方式で設定したPACファイルを削除 • EAP認証方式が「EAP-FAST」の場合
1件リセット	選択しているプロファイルの内容を初期化

文字入力

区点コード一覧について、詳細は付属のCD-ROM内の「PDF版「区点コード一覧」」をご覧ください。「PDF版「区点コード一覧」」をご覧になるには、Adobe Reader（バージョン6.0以上を推奨）が必要です。お使いのパソコンにインストールされていない場合は、付属のCD-ROM内のAdobe Readerをインストールしてご覧ください。ご使用方法などの詳細は、「Adobe Reader ヘルプ」をご覧ください。

文字入力について

FOMA端末では、次の2つの入力方式を利用できます。

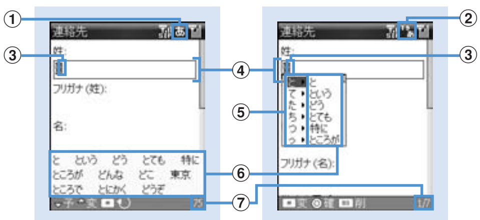
入力方式	説明
かな入力方式	文字が割り当てられているダイヤルキーを、目的の文字が表示されるまで複数回押して入力する
T9入力方式	文字が割り当てられているダイヤルキーを行単位で1回ずつ押し、表示される候補から入力する文字を選択して入力する

- 複雑な漢字は、変形または省略して表示されます。
- 本書では、文字入力の最後に◉を押す操作も含めて、「入力」と表記しています。

◆ 画面の見かた

文字を入力するには、◎を押して入力欄へカーソルを移動し、入力待ち状態にします。ダイヤルキーを押して文字を入力します。

- 入力欄の中には、カーソルを移動した後に◉を押すと、入力エリアが全画面表示される場合があります。



入力待ち状態の画面（かな入力方式）　入力待ち状態の画面（T9入力方式）

- 画面の見かたは次のとおりです。

① **入力モード（かな入力方式）**

あ：かなモード
ｧ：半角カタカナモード
abc：英字小モード
Abc：英字シフトモード
ABC：英字大モード
123：半角数字モード
区：区点モード

- 英字シフトモードは、先頭の文字のみが大文字で入力され、2文字目を入力すると英字小モードに切り替わります。

② **入力モード（T9入力方式）**

T9あ：かなモード
T9ｧ：半角カタカナモード
t9：英字小モード
T9：英字シフトモード
T9：英字大モード

- 英字シフトモードは、先頭の文字のみが大文字で入力され、2文字目を入力すると英字小モードに切り替わります。
- 半角数字モード、区点モードのアイコンは、かな入力方式と同じです。

③ **入力位置**

④ **入力欄**

- 変換待ちの文字列には下線が表示され、変換範囲の文字列にはカーソルが表示されます。
- 候補リスト（かな入力方式の場合）または読み候補リスト（T9入力方式の場合）にカーソルがない状態で次の操作を行うと、入力欄の文字列を編集できます。

BACK：入力位置の左側にある文字を削除
◎：変換範囲の変更
ダイヤルキー：入力位置に文字を追加

⑤ **読み候補リスト（T9入力方式）**

押したダイヤルキーに割り当てられている文字が、読み候補として表示されます。

⑥ **候補リスト**

変換候補が表示されます。予測変換がオンの場合は変換候補と予測変換候補が表示されます。

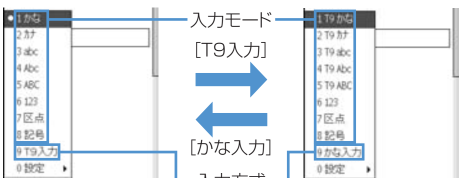
- 予測変換とは、入力した文字列が変換学習データ（→P181）に記録された文字列、または単語登録に登録された「読み」の文字列と一致すると、予測変換候補リストに単語を表示する機能です。
- かな入力方式の場合は、候補リストにカーソルがあるときに[BACK]を押すと、入力待ちの状態に戻ります。
- T9入力方式の場合は、読み候補リストにカーソルがあるときに[◎]、候補リストにカーソルがあるときに[◎]を2回押すと、入力待ちの状態に戻ります。
- T9入力方式で予測変換がオンの場合、候補リストを利用して文字を変換すると、かな入力方式と同じ表示方法で予測変換候補が表示されます。

⑦ **候補数**

- かな入力方式の場合、[◎]を押して変換候補リストにカーソルを移動すると変換候補の数が表示されます。
- T9入力方式の場合、読み候補リストにカーソルがあるときは読み候補の数が、[◎]を押して候補リストにカーソルを移動すると変換候補と予測変換候補の数が表示されます。

◆入力方式と入力モードを切り替える

1 入力待ち状態の画面で[✱]（1秒以上）



かな入力方式　　T9入力方式

2 入力方式を選択▶入力モードを選択

✔お知らせ

- 英字の入力モードの場合は、[✱]を押すごとに、英字小→英字シフト→英字大に切り替えられます。

かな入力方式で文字を入力する

- ダイヤルキーの割り当て文字については、「キーの文字割り当て一覧（かな入力方式）」を参照してください。→P204

〈例〉「ドコモ」と入力する

1 入力待ち状態の画面で[✱]（1秒以上）▶［かな入力］▶［かな］▶「どこも」と入力

「ど」：[4]を5回▶[✱]
「こ」：[2]を5回
「も」：[7]を5回

入力中の文字を1つ前に戻す：[#]

- [#]を押すごとに逆順に文字が切り替わります。
- かなモードまたは半角カタカナモードのときのみ操作できます。

改行する：[●]

- 入力欄によっては操作できない場合があります。

入力した文字を削除する：**削除する文字の右側にカーソルを移動して[BACK]**

2 [◎]▶［ドコモ］

変換候補リストを利用する場合は[◎]、予測変換候補リストを利用する場合は[◎]を押します。

- 文字を変換せずに入力を確定する場合は[●]を押します。
- かな英数候補は変換候補リスト／予測変換候補リストの後ろに表示されます。

変換範囲を変更してから変換する：◎を押して変換する文字列だけにカーソルを表示▶◎▶変換候補リスト／予測変換候補リストを選択

◆区点コードで入力する

文字、数字、記号を4桁の区点コードを使って入力します。
- 「区点コード一覧」については、付属のCD-ROM内のPDF版「区点コード一覧」をご覧ください。

〈例〉「携」（区点コード2340）を入力する

1 **入力待ち状態の画面で[✱]（1秒以上）▶［区点］▶4桁の区点コード（[2][3][4][0]）を入力**

区点コードを修正する：[BACK]

2 ◉

◆記号を入力する

1 **入力待ち状態の画面で[#]（1秒以上）**

記号選択画面が表示されます。
- 入力待ち状態の画面で[✱]を1秒以上押して「記号」を選択しても、記号選択画面を表示できます。
- 記号選択画面の1～5ページには全角記号、6ページには半角記号が表示されます。[-]［前ページ］／[-]［次ページ］を押すと、ページを切り替えられます。

2 **入力する記号を選択**

T9入力方式で文字を入力する

- ダイヤルキーの割り当て文字については、「キーの文字割り当て一覧（T9入力方式）」を参照してください。→P205

〈例〉「ドコモ」と入力する

1 **入力待ち状態の画面で[✱]（1秒以上）▶［T9入力］▶［T9かな］▶「どこも」と入力**

「ど」：[4]▶[✱]
「こ」：[2]
「も」：[7]

改行する：◉
- 入力欄によっては操作できない場合があります。

入力した文字を削除する：消去する文字の右側にカーソルを移動して[BACK]
- 読み候補リストにカーソルがある場合は◎を押してから、変換候補リストにカーソルがある場合は◎を2回押してから操作します。

2 **「どこも」にカーソルを合わせて◎▶［ドコモ］**

- 入力する文字の読みが読み候補リストに表示されない場合は、読み候補リスト内の「かな編集」を選択して、その行の何番目の文字かを指定します。
- 予測変換候補リストと変換候補リストを切り替えるには[#]を押します。
- 文字を変換せずに入力を確定する場合は、読み候補リストから入力する読みを選択します。

単語登録

よく使う単語をあらかじめ登録する

よく使う単語をあらかじめ登録しておくと、文字の変換のときに簡単に呼び出せます。

- 約100件登録できます。ただし、単語の登録状況により件数は異なります。

1 入力待ち状態の画面で[✂]（1秒以上）▶［設定］▶［単語登録］

単語登録画面が表示されます。

2 [－]［新規］▶各項目を設定▶[－]［完了］

読み：単語の読みを入力
- 全角16文字以内で入力します。
- 先頭に「を」、「ん」、小文字のひらがな、長音を入力すると、単語を登録できません。

語句：単語を入力
- 全角25（半角50）文字以内で入力します。
- 変換候補リストを利用して入力する場合は、[◎]を押し、入力する候補を選択します。

✔お知らせ
- T9入力方式で文字を入力する場合は、候補リストの表示数に制限があるため、登録した単語が表示されない場合があります。
- 本FOMA端末では、メールの作成時に利用できるマイテキスト（定型文）があり、編集して利用することができます。→P105

◆単語登録のサブメニューを利用する

単語登録画面で[－]［メニュー］を押すと、次の機能を利用できます。

削除	選択している単語の削除
新規登録	単語の登録
全削除	登録しているすべての単語の削除
編集	選択している単語の編集
戻る	操作をキャンセルして前の画面に戻る

動作設定

入力動作を設定する

1 入力待ち状態の画面で[✂]（1秒以上）▶［設定］▶［動作設定］▶各項目を設定▶[－]［完了］

予測ON：予測変換を利用するかどうかを設定

自動カーソルON：一定時間が経過すると自動的に入力した文字を確定するかどうかを設定
- かな入力方式の英字モードで入力した場合に動作します。

自動カーソルタイムアウト：自動カーソルONで文字を確定する時間を選択

T9表示候補制限：T9入力時の候補リストを3ページ（14項目）以内になるように候補数を絞って表示するかどうかを設定

✔お知らせ
- 入力待ち状態の画面で[✂]を1秒以上押して「設定」を選択し、「T9について」を選択すると、日本語入力ソフトのバージョン情報を確認できます。

学習クリア

辞書をリセットする

予測変換候補リストに変換学習データとして登録されたデータをお買い上げ時の状態に戻します。

- 変換学習データには、変換候補リスト／予測変換候補リストから選択して入力した文字列が記録されます。

1 入力待ち状態の画面で[✂]（1秒以上）▶［設定］▶［学習クリア］▶[－]［はい］

ネットワークサービス

利用できるネットワークサービス

- FOMA端末では、次のようなドコモのネットワークサービスをご利用いただけます。

サービス名	申し込み	月額使用料	サービス名	申し込み	月額使用料
留守番電話サービス	必要	有料	デュアルネットワークサービス	必要	有料
キャッチホン	必要	有料	英語ガイダンス	不要	無料
転送でんわサービス	必要	無料	OFFICEED	必要	有料
迷惑電話ストップサービス	不要	無料	公共モード※（ドライブモード）	不要	無料
番号通知お願いサービス	不要	無料	公共モード※（電源OFF）	不要	無料

※ 公共モード→P56、57

- FOMAサービスエリア外や電波の届かない場所ではネットワークサービスはご利用できません。
- お申し込み、お問い合わせについては取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」までお問い合わせください。
- 「OFFICEED」はお申し込みが必要なサービスです。ご不明な点はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。
- 本書では、各ネットワークサービスの概要を、FOMA端末のメニューを使って操作する方法で説明しています。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

留守番電話サービス

FOMAの電波が届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、WLANシングルモードのとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、電話をかけてきた相手に応答メッセージでお答えし、お客様に代わって伝言メッセージをお預かりするサービスです。

- 留守番電話サービスの対象は、FOMAの電話番号にかかってきた電話のみです。
- 伝言メモを同時に設定しているとき、留守番電話サービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも留守番電話サービスの呼出時間を短く設定してください。
- 留守番電話サービスが開始のときに、かかってきた電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、ホームスクリーンに 1（数字は件数）が表示されます。
- 本FOMA端末では、伝言メッセージが録音されると、宛先に「ボイスメールシステム」、本文に「VM：XX」（Xは伝言メッセージの件数）と入力された通知SMSを受信し、ホームスクリーンに 1（数字は件数）が表示されます。SMS一覧画面で通知SMSを選択して [ボイスメール] を押すと、「1417」に発信して伝言メッセージを再生できます。
  - ※ 受信したSMSを削除しても、伝言メッセージは削除されません。
  - ※ お客様ご自身の操作により留守番電話サービスセンターの伝言メッセージを確認、保存、または削除した場合も、自動的にSMSが届きます。
- 本FOMA端末では、宛先に「DoCoMo　SMS」、本文に着信の日時と電話番号が入力された着信通知SMSを受信します。電話番号は発信番号をそのまま表示します。

◆ 留守番電話サービスの基本的な流れ

ステップ1：サービスを開始に設定する
ステップ2：電話をかけてきた相手が伝言を録音する
ステップ3：伝言メッセージを再生する

1　[スタート] ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [留守番電話] ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
留守番電話サービス開始	▶ [はい] ▶ [はい] ▶ 呼出時間を入力 ▶ [OK] • 呼出時間を「0秒」に設定すると、通話履歴には記録されません。
留守番呼出時間設定	▶ 呼出時間を入力 ▶ [OK] • 呼出時間を「0秒」に設定すると、通話履歴には記録されません。
留守番サービス停止	▶ [はい]
留守番設定確認	現在の留守番電話サービスの設定を確認します。 • 留守番設定確認画面で、サブメニューから設定を変更できます。
留守番メッセージ再生	▶ [はい] ▶ 音声ガイダンスに従って操作 • 1で表示される件数は、新しい伝言メッセージを再生するときにガイダンスで案内する件数です。保存した伝言メッセージの件数は含まれません。
留守番サービス設定	音声ガイダンスを聞きながら留守番電話サービスを設定します。 ▶ [はい] ▶ 音声ガイダンスに従って操作
メッセージ問合せ	伝言メッセージがあるかどうかを確認します。

メニュー項目	機能と操作
着信通知開始	FOMA端末の電源が入っていないときやFOMA圏外のときに着信があった場合、再び電源が入ったときや圏内になったときに、着信があったことをSMSで通知します。 ▶ [はい] ▶ [はい] または [いいえ] • [はい] を押すと、発信者番号通知の着信のみ通知します。 • [いいえ] を押すと、すべての着信を通知します。
着信通知停止	▶ [はい]
着信通知開始設定確認	現在の着信通知の設定を確認します。
表示消去	☎1を消します。 ▶ [はい]

✔お知らせ

- メッセージ問合せを行うと通知SMSを受信し、ホームスクリーンに✉1（数字は件数）が表示されます。伝言メッセージ（保存した伝言メッセージを除く）がある場合は、☎1（数字は件数）も表示されます。

キャッチホン

電話の通話中に別の電話がかかってきたときに、通話中着信音でお知らせし、現在の電話を保留にして新しい電話に出ることができます。また、通話中の電話を保留にして、別の相手へ電話をかけることもできます。

- キャッチホンの対象は、FOMAの電話番号にかかってきた電話のみです。
- 通話中にWLAN電話がかかってきた場合や、WLAN電話通話中に電話がかかってきた場合、キャッチホンは動作しませんが、不在着信として記録されます。企業内で使用されるWLAN電話の詳細については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。
- キャッチホンを利用する場合は、あらかじめ通話中の着信動作選択を「通常着信」にしてください。他の設定になっている場合は、キャッチホンを開始しても通話中にかかってきた電話に応答することはできません。
- 通話中にかかってきた別の電話に出るときは、次の操作を行います。
  または [応答]：現在の通話を保留にし、かかってきた電話に応答する
  ：現在の通話が切断される。 または [応答] を押し電話に応答する
- キャッチホン中は、 [切り替え] を押すたびに通話相手を切り替えられます。
- 通話中に別の相手に電話をかける場合は、ダイヤルキーを押して電話番号を入力し、 を押します。

1 **[スタート] ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [キャッチホン] ▶ メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
キャッチホンサービス開始	▶ [はい]
キャッチホンサービス停止	▶ [はい]
キャッチホンサービス設定確認	現在の設定を確認します。

転送でんわサービス

FOMAの電波が届かない所にいるとき、電源が入っていないとき、WLANシングルモードのとき、設定した呼出時間内に応答しなかったときなどに、かかってきた電話を転送するサービスです。

- 転送でんわサービスの対象は、FOMAの電話番号にかかってきた電話のみです。
- 伝言メモを同時に設定しているとき、転送でんわサービスを優先させるためには、伝言メモの応答時間よりも転送でんわサービスの呼出時間を短く設定してください。

- 転送でんわサービスが開始のときに、かかってきた電話に応答しなかった場合は、不在着信として記録され、ホームスクリーンに 1（数字は件数）が表示されます。

◆転送でんわサービスの基本的な流れ

ステップ1：転送でんわサービスを開始に設定する
ステップ2：転送先の電話番号を登録する
ステップ3：お客様のFOMA端末に電話がかかる
ステップ4：電話に出ないと指定した転送先に転送される

1 **－［スタート］▶［設定］▶［NWサービス］▶［転送でんわ］▶メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
転送サービス開始	▶－［はい］▶－［はい］▶転送先電話番号を入力▶－［OK］▶－［はい］▶呼出時間を入力▶－［OK］ • 転送先電話番号入力画面で－［メニュー］▶［連絡先］を選択すると、連絡先から電話番号を選択できます。 • 呼出時間を「0秒」に設定すると、通話履歴には記録されません。
転送サービス停止	▶－［はい］
転送先変更	転送先を変更します。 ▶転送先電話番号を入力▶－［OK］▶－［はい］ • 転送先電話番号入力画面で－［メニュー］▶［連絡先］を選択すると、連絡先から電話番号を選択できます。
転送先通話中時設定	転送先の電話が通話中などで転送できないときに、留守番電話サービスで応答するように設定します。 ▶－［はい］
転送サービス設定確認	現在の設定を確認します。

◆転送ガイダンスの有／無を設定する

1 **1 4 2 9 ▶ ▶［FOMA］▶音声ガイダンスに従って操作**

発信モードの選択画面が表示されます。
- 通信モード設定が「FOMAシングルモード」の場合は、選択画面が表示されずに電話がかかります。その場合、操作3へ進みます。

2 **［FOMA］**

3 **音声ガイダンスに従って操作**

- 詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

番号通知お願いサービス

電話番号を通知してこない電話に対して、番号通知のお願いをガイダンスで応答し、自動的に電話を切るサービスです。

- 番号通知お願いサービスの対象は、FOMAの電話番号にかかってきた電話のみです。
- 番号通知お願いサービスによって着信しなかった電話は、通話履歴に記録されず、ホームスクリーンに 1（数字は件数）は表示されません。

1 **－［スタート］▶［設定］▶［NWサービス］▶［番号通知お願いサービス］▶メニュー項目を選択して操作**

メニュー項目	機能と操作
番号通知お願いサービス開始	▶－［はい］
番号通知お願いサービス停止	▶－［はい］
番号通知お願いサービス設定確認	現在の設定を確認します。

通話中着信設定

通話中の着信動作選択の設定を開始／停止したり、設定内容を確認したりします。

1 [ー] ［スタート］▶［設定］▶［NWサービス］▶［通話中着信設定］▶メニュー項目を選択

メニュー項目	機能と操作
通話中着信設定開始	通話中着信設定を開始します。
通話中着信設定停止	通話中着信設定を停止します。
通話中着信設定確認	現在の設定を確認します。

通話中の着信動作選択

通話中に電話がかかってきたときの対応方法を選択する

キャッチホンをご契約されているお客様の通話中にかかってきた電話にどのように対応するかを設定できます。

- 通話中の着信動作選択を利用する場合は、あらかじめ通話中着信設定を開始にしてください。

1 [ー] ［スタート］▶［設定］▶［NWサービス］▶［通話中の着信動作選択］▶項目を選択▶[ー] ［完了］

通常着信：キャッチホンが開始のときはキャッチホンが動作し、停止のときは通話中の電話を終了してかかってきた電話に応答する

着信拒否：通話中にかかってきた電話の着信を拒否する

- 着信を拒否した電話は、不在着信として記録されます。

迷惑電話ストップサービス

いたずら電話などの迷惑電話を着信しないように拒否するサービスです。着信拒否登録すると、以後の着信を自動的に拒否し、相手にはガイダンスで応答します。

- 着信拒否登録できる電話番号は、FOMAの電話番号にかかってきた番号のみです。
- 着信拒否登録した電話番号から電話がかかってきても、着信音は鳴りません。着信履歴にも記録されません。

1 [ー] ［スタート］▶［設定］▶［NWサービス］▶［迷惑電話ストップ］▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
迷惑電話着信拒否登録	最後に着信応答した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶[ー] ［はい］ • 通話していない不在着信などは登録の対象になりません。
電話番号指定拒否登録	指定した電話番号を着信拒否に登録します。 ▶[ー] ［はい］▶着信拒否電話番号を入力▶[ー] ［OK］▶[ー] ［はい］ • 着信拒否電話番号入力画面で[ー] ［メニュー］▶［連絡先］を選択すると、連絡先から電話番号を選択できます。
迷惑電話全登録削除	▶[ー] ［はい］
迷惑電話1登録削除	最後に登録した電話番号を1件削除します。同様の操作を繰り返し行うことにより、最後に登録した順より1件ずつ削除することができます。 ▶[ー] ［はい］
拒否登録件数確認	現在の登録状態を確認します。

遠隔操作設定

遠隔操作を設定する

留守番電話サービスや転送でんわサービスなどを、プッシュ式の一般電話や公衆電話、ドコモの携帯電話などから操作できるようにします。

1 [-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [遠隔操作設定] ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
遠隔操作開始	▶ [-] [はい]
遠隔操作停止	▶ [-] [はい]
遠隔操作設定確認	現在の設定を確認します。

デュアルネットワークサービス

お使いになっているFOMA端末の電話番号で、mova端末をご利用いただけるサービスです。FOMAとmovaのサービスエリアに応じた使い分けが可能です。

- デュアルネットワークサービスの対象は、FOMAの電話番号のみです。
- FOMA端末とmova端末を同時には利用できません。
- デュアルネットワークサービスの切り替え操作は、利用不可状態の端末から行ってください。

1 [-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [デュアルネットワーク] ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
デュアルネットワーク切替	mova端末に切り替えていたデュアルネットワークサービスを、FOMA端末に切り替えます。 ▶ [-] [はい] ▶ ネットワーク暗証番号を入力 ▶ [-] [OK]
デュアルネットワーク状態確認	現在の設定を確認します。

英語ガイダンス

ガイダンスを日本語と英語で切り替える

留守番電話サービスなどの各種ネットワークサービス設定時のガイダンスや、FOMA圏外などの音声ガイダンスを英語に設定することができます。

1 [-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [英語ガイダンス] ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
ガイダンス設定	発信時と着信時のガイダンスの言語を日本語または英語に切り替えます。 ▶ [-] [はい] ▶ 項目を選択 **日本語**：発信時に自分が聞くガイダンスを日本語に設定 **英語**：発信時に自分が聞くガイダンスを英語に設定 ▶ [-] [はい] ▶ 項目を選択 **日本語**：着信時に相手が聞くガイダンスを日本語に設定 **日本語＋英語**：着信時に相手が聞くガイダンスを、日本語→英語の順に設定 **英語＋日本語**：着信時に相手が聞くガイダンスを、英語→日本語の順に設定
ガイダンス設定確認	現在の設定を確認します。

✔お知らせ

- 発信者と着信者が本サービスを利用している場合、発信者側の発信時の設定が、着信者側の設定より優先されます。

サービスダイヤル

ドコモ総合案内・受付や故障の問い合わせ先へ電話をかけることができます。

- お使いのFOMAカードによっては、表示される項目が異なる場合や表示されない場合があります。→P34

1 [-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [サービスダイヤル] ▶ メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
ドコモ故障問合せ	ドコモ指定の故障取扱窓口に電話をかけます。▶ [-] [はい]
ドコモ総合案内・受付	ドコモ総合案内・受付に電話をかけます。▶ [-] [はい]

追加サービス（USSD登録）

新しいネットワークサービスを登録する

ドコモから新しいネットワークサービスが追加されたときに、そのサービスをメニューに登録して利用します。

1 [-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [USSD登録] ▶ 登録する項目にカーソルを合わせて [-] [メニュー] ▶ [編集]

登録したサービスを利用する：利用するサービスを選択

登録したサービスを削除する：削除するサービスにカーソルを合わせて [-] [メニュー] ▶ [1件削除] または [全件削除] ▶ [-] [はい]

2 各項目を設定 ▶ [-] [登録]

USSDコード：ドコモから通知されたサービスコードを入力

- サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。

名称：名称（サービス名）を入力

- 全角／半角20文字以内で入力します。

◆応答メッセージを登録する〈応答メッセージ登録〉

USSD登録で追加したサービスを実行したときに、サービスセンターから返ってくるコードに対応したメッセージを登録します。登録したコードが応答として返ってきたときにこのメッセージが表示されます。

1 [-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [NWサービス] ▶ [応答メッセージ登録] ▶ 登録する項目にカーソルを合わせて [-] [メニュー] ▶ [編集]

登録した応答メッセージを削除する：削除する応答メッセージにカーソルを合わせて [-] [メニュー] ▶ [1件削除] または [全件削除] ▶ [-] [はい]

2 各項目を設定 ▶ [-] [登録]

USSDコード：ドコモから通知されたサービスコードを入力

- サービスコードとはネットワークサービスの設定などを行うためのコードです。FOMA端末ではUSSDコードとして登録します。

応答メッセージ：応答メッセージを入力

- 全角／半角20文字以内で入力します。

OFFICEED

「OFFICEED」は指定されたIMCS（屋内基地局設備）で提供されるグループ内定額サービスです。ご利用には別途お申し込みが必要となります。
詳細はドコモの法人向けホームページ（http://www.docomo.biz/d/212/）をご確認ください。

1 [−]［スタート］▶［設定］▶［NWサービス］▶［OFFICEED］▶メニュー項目を選択して操作

メニュー項目	機能と操作
エリア表示設定	OFFICEEDエリア内にいるときに、ホームスクリーンにOFFICEEDを表示させるかどうかを設定します。 ▶［オン］または［オフ］
圏外転送開始	▶[−]［はい］
圏外転送停止	▶[−]［はい］
圏外転送設定確認	現在の圏外転送の設定を確認します。 ▶[−]［はい］

付録／外部機器連携／困ったときには

メニュー一覧

ホームスクリーンで[－]［スタート］を押して表示されるスタートメニューの一覧から選択できる項目です。

- 青文字は、設定リセットを行うと、お買い上げ時の状態に戻るメニューです。
- 「設定」以外のメニューでは、サブメニューを表示して設定できる項目があります。「サブメニューの設定項目とそのお買い上げ時一覧」をご覧ください。→P199

■ メール

メニュー	お買い上げ時	参照先
SMSメッセージ	―	111
新しい電子メールアカウント※	―	101

※ メールアカウントの設定やActiveSyncでの同期を行った場合は、本項目の上に設定したアカウント名または「Outlookメール」が表示されます。

■ Internet Explorer

メニュー	お買い上げ時	参照先
お気に入り	Explore Windows Mobile、Windows Live、WindowsMedia.com、Windows Mobile Extras、その他のお気に入り…	118 120
履歴	その他の履歴	

■ 電話

メニュー		お買い上げ時	参照先
スピードダイヤル		ボイスメール	136
通話履歴		―	50
伝言メモ／音声メモ	伝言メモ一覧	―	58
	音声メモ一覧	―	58
連絡先		―	59

■ ビジネスツール

メニュー		お買い上げ時	参照先
ActiveSync		―	152
ドキュメントビューア		―	124
仕事		―	129
予定表		―	126
コミュニティ	プレゼンス	―	172
	メッセンジャー	―	172

■ マイドキュメント

メニュー	お買い上げ時	参照先
Guard	―	142
My Pictures	Flower、Waterfall	
Templates	―	
着信音	―	

■ 生活ツール

メニュー	お買い上げ時	参照先
Messenger	―	122
Windows Live	―	122
Windows Media	―	94
クイックガイド	―	7
バーコードリーダー	―	130
ボイスメモ	―	132
電卓	―	132

<table>
<tr><th colspan="2">メニュー</th><th>お買い上げ時</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td rowspan="2">ゲーム</td><td>Bubble Breaker</td><td>ー</td><td>133</td></tr>
<tr><td>ソリティア</td><td>ー</td><td>133</td></tr>
</table>

■ 管理

<table>
<tr><th colspan="2">メニュー</th><th>お買い上げ時</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td colspan="2">SMS問合せ</td><td>ー</td><td>113</td></tr>
<tr><td colspan="2">USBモード切替</td><td>通常モード</td><td>158</td></tr>
<tr><td colspan="2">セキュリティスキャン</td><td>ー</td><td>228</td></tr>
<tr><td colspan="2">タスクマネージャ</td><td>ー</td><td>140</td></tr>
<tr><td colspan="2">ファイル エクスプローラ</td><td>ー</td><td>140</td></tr>
<tr><td colspan="2">プログラムの削除</td><td>ー</td><td>142</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ソフトウェア更新</td><td>バージョン表示</td><td>ー</td><td rowspan="2">224</td></tr>
<tr><td>更新開始</td><td>ー</td></tr>
</table>

■ 画像とビデオ

メニュー	お買い上げ時	参照先
カメラ	ー	91 93
(コンテンツ)	Flower、Waterfall	ー

■ 設定

<table>
<tr><th colspan="3">メニュー</th><th>お買い上げ時</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td rowspan="16">音・バイブ設定</td><td colspan="2">着信音</td><td>Ring-WindowsMobile</td><td rowspan="16">64</td></tr>
<tr><td colspan="2">WLAN電話（内線）</td><td>Ring-Standard</td></tr>
<tr><td colspan="2">WLAN電話（外線）</td><td>Ring-vision</td></tr>
<tr><td colspan="2">WLAN電話（専用線）</td><td>Ring-WindowsMobile</td></tr>
<tr><td colspan="2">新しい電子メール</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">新しいSMSメッセージ</td><td>Alert-AscendingChimes</td></tr>
<tr><td colspan="2">新しいボイスメッセージ</td><td>Alert-Echo</td></tr>
<tr><td colspan="2">アラーム（時計）</td><td>Alarm-WakeUp</td></tr>
<tr><td colspan="2">アラーム（Outlook）</td><td>Alert-Outlook</td></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージ（問い合わせ）</td><td>Alert-Exclaim</td></tr>
<tr><td colspan="2">メッセージ（警告）</td><td>Alert-Exclaim</td></tr>
<tr><td colspan="2">IM着信音</td><td>オン</td></tr>
<tr><td colspan="2">IMバイブ</td><td>オフ</td></tr>
<tr><td colspan="2">プレゼンス状態通知着信音</td><td>オン</td></tr>
<tr><td colspan="2">プレゼンス状態通知バイブ</td><td>オフ</td></tr>
<tr><td colspan="2">キーパッド制御</td><td>トーン</td></tr>
<tr><td rowspan="9">イルミネーション設定</td><td rowspan="3">電話着信</td><td>イルミネーション</td><td>オン</td><td rowspan="3">65</td></tr>
<tr><td>イルミネーションパターン</td><td>点滅</td></tr>
<tr><td>イルミネーションカラー</td><td>ライム</td></tr>
<tr><td rowspan="3">WLAN電話着信（内線）</td><td>イルミネーション</td><td>オン</td><td rowspan="3">65</td></tr>
<tr><td>イルミネーションパターン</td><td>点滅</td></tr>
<tr><td>イルミネーションカラー</td><td>ローズ</td></tr>
<tr><td rowspan="3">WLAN電話着信（外線）</td><td>イルミネーション</td><td>オン</td><td rowspan="3">65</td></tr>
<tr><td>イルミネーションパターン</td><td>点滅</td></tr>
<tr><td>イルミネーションカラー</td><td>ムーン</td></tr>
</table>

メニュー			お買い上げ時	参照先
	WLAN電話着信（専用線）	イルミネーション	オン	65
		イルミネーションパターン	点滅	
		イルミネーションカラー	ミント	
	WLAN電話着信（特殊）	イルミネーション	オン	65
		イルミネーションパターン	点滅	
		イルミネーションカラー	ルビー	
	メール着信	イルミネーション	オン	65
		イルミネーションパターン	点滅	
		イルミネーションカラー	レモン	
		イルミネーション時間（秒）	10	
	IM着信	イルミネーション	オン	65
		イルミネーションパターン	点滅	
		イルミネーションカラー	アメジスト	
	プレゼンス状態通知	イルミネーション	オン	65
		イルミネーションパターン	点滅	
		イルミネーションカラー	オーシャン	
	通話中	イルミネーション	オン	65
		イルミネーションパターン	ゆっくり点滅	
		イルミネーションカラー	レインボー	

メニュー			お買い上げ時	参照先
	通話保留中	イルミネーション	オン	65
		イルミネーションパターン	点滅	
		イルミネーションカラー	ライム	
	アラーム	イルミネーション	オン	65
		イルミネーションパターン	点滅	
		イルミネーションカラー	レインボー	
	Bluetooth起動中	イルミネーション	オフ	65
	Bluetoothデータ転送中	イルミネーション	オフ	65
	デバイスロックオン／オフ	イルミネーション	オン	65
	キーロック オン／オフ	イルミネーション	オン	65
	WLAN通信時	イルミネーション	オフ	65
	不在通知あり	イルミネーション	オン	65
	不在メールあり	イルミネーション	オン	65
	伝言メモあり	イルミネーション	オン	65
モード設定	プロファイル		標準	65
	公共モード（ドライブモード）		オフ	56
	セルフモード		オフ	83
	通信モード設定		FOMAシングルモード	44
	パケット通信モード設定		FOMAモード	44
ホームスクリーン	ホーム画面のレイアウト		情報キャンバス標準	67
	配色		既定	
	背景イメージ		既定	
	タイムアウト		なし	

<table>
<tr><th colspan="3">メニュー</th><th>お買い上げ時</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td rowspan="22">ロックとセキュリティ</td><td colspan="2">デバイスロック</td><td>オフ</td><td>76</td></tr>
<tr><td rowspan="4">デバイスロックの設定</td><td>パスワード入力が必要になるまでの時間</td><td>チェックなし</td><td rowspan="4">75</td></tr>
<tr><td>パスワードの種類</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>パスワード</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>パスワードの確認入力</td><td>なし</td></tr>
<tr><td rowspan="6">遠隔ダイヤルロック</td><td>遠隔ダイヤルロック</td><td>オフ</td><td rowspan="6">79</td></tr>
<tr><td>監視時間（分）</td><td>3</td></tr>
<tr><td>着信回数</td><td>5</td></tr>
<tr><td>許可番号1</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>許可番号2</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>許可番号3</td><td>なし</td></tr>
<tr><td colspan="2">開閉ロック設定</td><td>オフ</td><td>76</td></tr>
<tr><td rowspan="4">暗証番号</td><td>SIMカード暗証番号（PIN）を有効にする</td><td>なし</td><td>74</td></tr>
<tr><td>SIMカード暗証番号（PIN）を変更する</td><td>—</td><td rowspan="2">74</td></tr>
<tr><td>暗証場号（PIN）2を変更する</td><td>—</td></tr>
<tr><td>WLAN暗証番号変更</td><td>0000</td><td>169</td></tr>
<tr><td rowspan="2">指紋設定</td><td>指紋登録</td><td>登録なし</td><td>78</td></tr>
<tr><td>指紋認証設定</td><td>認証方式設定：指紋認証無効
指紋認証失敗動作：パスワード認証へ切替
指紋認証失敗回数：5</td><td>78</td></tr>
<tr><td rowspan="2">パスワードマネージャ</td><td>登録情報編集</td><td>登録なし</td><td>81</td></tr>
<tr><td>パスワードマネージャ設定</td><td>代行入力設定：無効</td><td>79</td></tr>
</table>

<table>
<tr><th colspan="3">メニュー</th><th>お買い上げ時</th><th>参照先</th></tr>
<tr><td rowspan="5"></td><td>ガードフォルダ設定</td><td>ガードフォルダの操作に関する確認メッセージを表示する</td><td>チェックあり</td><td>81</td></tr>
<tr><td rowspan="3">証明書</td><td>個人</td><td>なし</td><td rowspan="3">83</td></tr>
<tr><td>中間</td><td>なし</td></tr>
<tr><td>ルート</td><td>（CA証明書17点）</td></tr>
<tr><td>暗号化</td><td>メモリカード内のファイルを暗号化する</td><td>チェックなし</td><td>83</td></tr>
<tr><td rowspan="14">発着信・通話設定</td><td rowspan="3">発番号なし動作（FOMA）</td><td>非通知設定</td><td>許可</td><td rowspan="3">83</td></tr>
<tr><td>公衆電話</td><td>許可</td></tr>
<tr><td>通知不可能</td><td>許可</td></tr>
<tr><td>発番号なし動作（WLAN電話）</td><td>非通知着信</td><td>許可</td><td>83</td></tr>
<tr><td colspan="2">通話保留音設定</td><td>ENTERTAINER</td><td>66</td></tr>
<tr><td>エニーキーアンサー設定</td><td>着信応答に全てのキーを使用する</td><td>チェックなし</td><td>56</td></tr>
<tr><td rowspan="2">イヤホン</td><td>イヤホン機能設定</td><td>着信音出力先：イヤホンのみ
イヤホンスイッチ設定：オフ</td><td>134</td></tr>
<tr><td>自動応答</td><td>しない</td><td>134</td></tr>
<tr><td colspan="2">連絡先登録外着信拒否</td><td>オフ</td><td>84</td></tr>
<tr><td rowspan="3">発着信詳細設定</td><td>プレフィックス設定</td><td>1：009130010
2：184
3：186
4：0
5～8：空欄</td><td>54</td></tr>
<tr><td>国際ダイヤル設定</td><td>自動付加設定：自動付加する
国際電話設定：国際ダイヤル1
国際ダイヤル1名称：World Call
国際ダイヤル1番号：009130010
国際ダイヤル2、3名称：空欄
国際ダイヤル2、3番号：空欄</td><td>54</td></tr>
<tr><td>サブアドレス設定</td><td>サブアドレス設定：オン</td><td>54</td></tr>
</table>

メニュー			お買い上げ時	参照先
		基本内線着信識別設定（WLAN）	**基本内線着信識別設定**：オフ	171
	通話詳細設定	ノイズキャンセラ	オン	67
		通話品質アラーム（FOMA）	アラームオフ	67
		再接続アラーム（FOMA）	アラームオフ	67
		通話品質アラーム（WLAN）	アラーム高音	67
		受信レベル低下通知（WLAN）	アラームオフ	67
	伝言メモ設定	伝言メモ	オフ	58
		応答時間（秒）	13	
	呼出時間表示設定	呼出時間表示設定（FOMA）	**呼出開始時間（秒）**：オフ **時間内不在着信表示**：表示しない	84
		呼出時間表示設定（WLAN）	**呼出開始時間（秒）**：オフ **時間内不在着信表示**：表示する	
NWサービス	留守番電話	留守番電話サービス開始	—	184
		留守番呼出時間設定	10秒	184
		留守番サービス停止	—	184
		留守番設定確認	—	184
		留守番メッセージ再生	—	184
		留守番サービス設定	—	184
		メッセージ問合せ	—	184
		着信通知開始	—	185
		着信通知停止	—	185
		着信通知開始設定確認	—	185
		表示消去	—	185

メニュー			お買い上げ時	参照先
	キャッチホン	キャッチホンサービス開始	—	185
		キャッチホンサービス停止	—	185
		キャッチホンサービス設定確認	—	185
	転送でんわ	転送サービス開始	—	186
		転送サービス停止	—	186
		転送先変更	—	186
		転送先通話中時設定	—	186
		転送サービス設定確認	—	186
	発信者番号通知	発信者番号通知設定	—	45
		発信者番号通知設定確認	—	45
	番号通知お願いサービス	番号通知お願いサービス開始	—	186
		番号通知お願いサービス停止	—	186
		番号通知お願いサービス設定確認	—	186
	通話中着信設定	通話中着信設定開始	—	187
		通話中着信設定停止	—	187
		通話中着信設定確認	—	187
	通話中の着信動作選択		通常着信	187
	迷惑電話ストップ	迷惑電話着信拒否登録	—	187
		電話番号指定拒否登録	—	187

メニュー			お買い上げ時	参照先
		迷惑電話全登録削除	―	187
		迷惑電話1登録削除	―	187
		拒否登録件数確認	―	187
	遠隔操作設定	遠隔操作開始	―	188
		遠隔操作停止	―	188
		遠隔操作設定確認	―	188
	デュアルネットワーク	デュアルネットワーク切替	―	188
		デュアルネットワーク状態確認	―	188
	英語ガイダンス	ガイダンス設定	―	188
		ガイダンス設定確認	―	188
	サービスダイヤル	ドコモ故障問合せ	―	189
		ドコモ総合案内・受付	―	189
	USSD登録		―	189
	応答メッセージ登録		―	189
	OFFICEED	エリア表示設定	オフ	190
		圏外転送開始	―	190
		圏外転送停止	―	190
		圏外転送設定確認	―	190
時計とアラーム	日付／時刻	タイムゾーン	GMT＋9 東京、大阪	43
		日付	2008/1/1	
		時刻	12:00:00	
	自動時刻補正設定	自動時刻補正	オン	43
	自動電源オン設定	自動電源オン	オフ	134
		時刻	8:00	
		繰り返し	オフ	

メニュー			お買い上げ時	参照先
	自動電源オフ設定	自動電源オフ	オフ	134
		時刻	8:00	
		繰り返し	オフ	
	アラーム	アラーム時刻	8:00	135
		アラーム	オフ	
接続	ビーム	着信ビームを受信する	チェックなし	156
	Bluetooth		デバイスなし	156
	パケット接続設定		プリセットの接続先が登録される（mopera Uなど）	162
	FOMAプロキシ		**FOMA側HTTPプロキシ使用：**チェックなし **HTTPプロキシアドレス：**0.0.0.0 **HTTP／SSLポート番号：**― **プロキシを使用しないアドレス：**―	160
	VPN	追加	―	161
	PCへのUSB接続	高度なネットワーク機能を有効にする	チェックあり	158
	WLAN環境設定	設定参照／変更		167 174
		接続先設定	一時接続	169
		WLAN設定リセット	―	176
	SIPアドレス一覧表示		登録なし	171
	USBモード切替	USB動作モード	通常モード	158
	SMS設定	有効期間	3日	114
		SMSメッセージサービスセンター	+81903101652	
	Biz・ホーダイ設定	表示設定	**定額対象外メッセージ表示なし：**チェックなし	163
		ご利用機種変更	―	

メニュー			お買い上げ時	参照先
	メール自動受信設定	メールアドレス	なし	103
		SMSによるメール自動受信を行う	チェックなし	
		回線選択	なし	
情報表示・リセット	通話料金	通話料金表示	**前回通話料金（FOMA通話）**：0 **前回通話料金（データ）**：0	143
		積算通話料金表示	**積算通話料金**：0 **前回リセット日時**：----/--/-- --:--	143
		通話料金上限通知	**通知設定**：オフ **料金上限**：0 **通知方法**：アラーム+アイコン表示 **アラーム時間**：10	143
		上限通知アイコン消去	—	143
	前回通話時間		**前回通話時間（FOMA通話）**：0:00:00	143
			前回通話時間（WLAN通話）：0:00:00	
			前回通話時間（データ）：0:00:00	
	積算通話時間		**積算通話時間（FOMA通話）**：0:00:00	143
			積算通話時間（WLAN通話）：0:00:00	
			積算通話時間（データ）：0:00:00	
			前回リセット日時：----/--/--:--	
	設定リセット		—	143
	データ一括削除		—	144
省電力設定	メインバッテリ		—	
	バッテリのバックライトタイムアウト		10秒	

メニュー				お買い上げ時	参照先
	ACのバックライトタイムアウト			1分	68
	画面のタイムアウト			1分	
	照明範囲			ディスプレイ+キー	
	ディスプレイの明るさ			標準	
表示設定	地域	言語		日本語	68
		地域		日本語	
		短い日付の形式		2008/1/1	
		長い日付の形式		2008年1月1日	
		時刻の形式		12:00:00	
		正の値		123,456,789.00	
		負の値		-123,456,789.00	
		正の通貨		￥123,456,789	
		負の通貨		-￥123,456,789	
	フォント選択			太い（HGNUIゴシック）	69
オーナー情報	名前			なし	46
	フリガナ			なし	
	電話番号			なし	
	電話番号2			なし	
	電子メールアドレス			なし	
	電子メールアドレス2			なし	
	郵便番号			なし	
	住所			なし	
	誕生日			1970/01/01	
	メモ			なし	
バージョン情報				—	142
ワンタッチキー設定	機能登録			未登録	136
	キー操作プログラム			なし	138
遠隔起動設定	アプリ起動通知			なし	138
Windows Update				—	227

■ 自局番号表示

メニュー	お買い上げ時	参照先
名前	―	46
自局電話番号	（お客様の電話番号）	
プロファイル名	―	
SIPアドレス	―	
電子メールアドレス1～3	―	

■ プロファイルの編集項目

項目	標準	サイレント	バイブ	アウトドア	マナーモード
名前	標準	サイレント	バイブ	アウトドア	マナーモード
着信通知の種類	着信音	サイレント	バイブ	着信音	バイブ
着信音の音量	4	オフ	オフ	最大	オフ
アラーム（時計）の種類	音量を上げる				バイブ
アラーム（時計）の音量	4	4	4	最大	オフ
アラーム（Outlook）の種類	サウンドの再生	サウンドの再生	マルチバイブ	音量を上げる	マルチバイブ
アラーム（Outlook）の音量	3	オフ	オフ	最大	オフ
通知の種類	サウンドの再生	サウンドの再生	パルスバイブ	サウンドの再生	パルスバイブ
通知の音量	3	オフ	オフ	最大	オフ
システムサウンドの音量	2	オフ	オフ	3	オフ

サブメニュー設定項目のお買い上げ時一覧

スタートメニューの「設定」以外の各メニューに含まれる機能で、サブメニューを表示して変更できる設定項目とそのお買い上げ時の状態です。

- 各設定項目を表示する操作方法は、ホームスクリーンからの操作を記載しています。また、複数の操作方法がある場合は、主な操作方法で記載しています。

■ メール

設定（SMSメッセージ）

操作方法： ▶「SMSメッセージ」にカーソルを合わせて［メニュー］▶［設定］

項目	お買い上げ時	参照先
配信通知を要求する	チェックなし	110
必要に応じて、Unicodeを使用する	チェックあり	

オプション（SMSメッセージ）

操作方法：[✉] ▶ 設定するメールアカウントを選択 ▶ [−]［メニュー］▶［ツール］▶［オプション］

項目		お買い上げ時	参照先
表示設定	メッセージリストに日付と時刻を表示する	チェックなし	
	以下の順にメッセージを並べ替え：	受信日時、降順	
	メッセージを移動／削除した後：	次のメッセージを開く	
送信設定	電子メールを返信するときに、元のメッセージのコピーを含める	チェックあり	
	送信済みアイテムのコピーを保存する	チェックあり	
署名	アカウントの選択：	SMSメッセージ	101 104 104
	このアカウントで署名を使用する	チェックなし	
アカウントの設定	配信通知を要求する	チェックなし	
	必要に応じて、Unicodeを使用する	チェックあり	
新しい電子メールアカウント		—	
セキュリティ設定	デバイス外部のURLまたはリンク先に移動する前に警告する	チェックあり	
その他	メールを開く際にアカウントを選択する	チェックあり	
	メッセージ一覧からメッセージを削除するときに警告する	チェックあり	

■ Internet Explorer

表示

操作方法：[✉]（1秒以上）▶ [−]［メニュー］▶［表示］

項目	お買い上げ時	参照先
表示	**文字サイズ：**中 一列に表示する **全画面表示：**チェックなし **画像を表示する：**チェックあり	120

オプション

操作方法：[✉]（1秒以上）▶ [−]［メニュー］▶［ツール］▶［オプション］

項目		お買い上げ時	参照先
全般	サウンドを再生する	チェックあり	
	セキュリティ保護のないページに移動するときに警告する	チェックあり	
	Cookieを許可する	チェックあり	
	エンコード	日本語（自動選択）	
	セキュリティ設定によりページのコンテンツがブロックされた場合に警告する	チェックあり	119
接続	設定を自動的に検出する	チェックあり	
	ネットワークの選択	なし	
メモリ	一時ファイル	0バイト	
	Cookie	0バイト	
	履歴	0バイト	

■ 電話

フィルタ（スピードダイヤル）

操作方法：[−]［スタート］▶［電話］▶［スピードダイヤル］▶ [−]［メニュー］▶［フィルタ］

項目	お買い上げ時	参照先
フィルタ	フィルタなし	136

フィルタ（通話履歴）

操作方法：[☎] ▶ [−]［メニュー］▶［フィルタ］

項目	お買い上げ時	参照先
フィルタ	フィルタなし	51

表示方法（連絡先）

操作方法：[−]［連絡先］▶ [−]［メニュー］▶［表示方法］

項目	お買い上げ時	参照先
表示方法	名前	60

フィルタ（連絡先）
操作方法： [−]［連絡先］▶ [−]［メニュー］▶［フィルタ］

項目	お買い上げ時	参照先
フィルタ	すべての連絡先	60

■ ビジネスツール

設定（ドキュメントビューア）
操作方法： [−]［スタート］▶［ビジネスツール］▶［ドキュメントビューア］▶ [−]［メニュー］▶［設定］

項目		お買い上げ時	参照先
履歴		**履歴保存期間**：7日	126
ファイル		すべてチェックあり	
文書のオプション	ページ毎のローディング：	チェックなし	
	エンコーディング	**日本語（Shift-JIS）自動検出**：チェックあり	
ヘルプ		―	
バージョン情報		―	

並べ替え（仕事）
操作方法： [−]［スタート］▶［ビジネスツール］▶［仕事］▶ [−]［メニュー］▶［並べ替え］

項目	お買い上げ時	参照先
並べ替え	優先度	129

フィルタ（仕事）
操作方法： [−]［スタート］▶［ビジネスツール］▶［仕事］▶ [−]［メニュー］▶［フィルタ］

項目	お買い上げ時	参照先
フィルタ	すべての仕事	129

オプションの表示（仕事）
操作方法： [−]［スタート］▶［ビジネスツール］▶［仕事］▶ [−]［メニュー］▶［オプションの表示］

項目	お買い上げ時	参照先
新しいアイテムにアラームを設定する	チェックあり	129
開始日と期限を表示する	チェックなし	

オプション（予定表）
操作方法： [−]［スタート］▶［ビジネスツール］▶［予定表］▶ [−]［メニュー］▶［ツール］▶［オプション］

項目		お買い上げ時	参照先
オプション	既定の画面	予定一覧の表示	128
	週の最初の曜日	日曜日	
	週単位の表示	週5日表示	
	月単位の表示	チェックなし	
	アラームの設定	15分	
	会議出席依頼の送信方法	Outlookメール	

■ マイドキュメント

表示（マイドキュメント）
操作方法： [−]［スタート］▶［マイドキュメント］▶ [−]［メニュー］▶［表示］

項目	お買い上げ時	参照先
表示	リスト	142

並べ替え（マイドキュメント）
操作方法： [−]［スタート］▶［マイドキュメント］▶ [−]［メニュー］▶［並べ替え］

項目	お買い上げ時	参照先
並べ替え	名前	142

■ 生活ツール

オプション（Windows Media）

操作方法： [−]［スタート］▶［生活ツール］▶［Windows Media］▶ [−]［メニュー］▶［プレーヤー］▶ [−]［メニュー］▶［オプション］

項目		お買い上げ時	参照先
再生	時間の表示形式	経過時間	95
	他のプログラムの使用中に再生を一時停止する	チェックなし	
	通話後に再生を再開する	チェックあり	
ビデオ	全画面でビデオを再生	しない	
	ウィンドウに合わせて拡大／縮小する	チェックあり	
ネットワーク	インターネット接続速度	移動体通信（384kbps）	
	接続速度を検出する	チェックあり	
	UDP	チェックあり	
	ポート	0	
	TCP	チェックあり	
	HTTP	チェックあり	
ライブラリ	ライブラリ画面でプレーヤーを起動する	チェックあり	
スキン		既定（縦）	
ボタン	再生／一時停止	⊙	
	停止	【未割り当て】	
	一時停止	【未割り当て】	
	前へ	◁	
	次へ	▷	
	音量上げる	△	
	音量下げる	▽	
	ミュート	[#]	
	全画面表示	[0]	
	評価	[*]	
	早送り	ホールド：▷	
	巻き戻し	ホールド：◁	
	切り替え画面	【未割り当て】	

オプション（Bubble Breaker）

操作方法： [−]［スタート］▶［生活ツール］▶［ゲーム］▶［Bubble Breaker］▶ [−]［メニュー］▶［オプション］

項目	お買い上げ時	参照先
サウンドを再生する	チェックあり	133
ゲストモード	チェックなし	
スタイル	標準	
バルーンの色	カラー	

■ 管理

スキャン予約（セキュリティスキャン）

操作方法： [−]［スタート］▶［管理］▶［セキュリティスキャン］▶ [−]［メニュー］▶［スキャン予約］

項目	お買い上げ時	参照先
スキャン予約	有効（繰り返し）	230
時間	00:00	
曜日	すべてチェックあり	

スキャン機能設定（セキュリティスキャン）

操作方法： [−]［スタート］▶［管理］▶［セキュリティスキャン］▶ [−]［メニュー］▶［スキャン機能設定］

項目	お買い上げ時	参照先
問題検出時の処理	削除する	229
自動スキャン	有効	
外部メディアスキャン	有効	

表示（ファイル エクスプローラ）

操作方法： [−]［スタート］▶［管理］▶［ファイル エクスプローラ］▶ [−]［メニュー］▶［表示］

項目	お買い上げ時	参照先
表示	リスト	141

並べ替え（ファイル エクスプローラ）

操作方法：[−]［スタート］▶［管理］▶［ファイル エクスプローラ］▶[−]［メニュー］▶［並べ替え］

項目	お買い上げ時	参照先
並べ替え	名前	141

■ 画像とビデオ

オプション

操作方法：[−]［スタート］▶［画像とビデオ］▶[−]［メニュー］▶［オプション］

項目		お買い上げ時	参照先
全般	画像を電子メールで送信する際の画像のサイズ	大（480×640）	90
	画像を90度回転するときの回転方向	右	
スライドショー	スライドショーの表示を最適化する対象	画像（縦）	
	PCに接続後アイドル状態が2分間続いた場合にスクリーンセーバーを起動する	チェックなし	
カメラ	ファイルの保存先	メインメモリ	
	ファイル名のプレフィックスの入力	img	
	静止画像の圧縮レベル	高画質	
ビデオ	ビデオファイルの収録時にオーディオを含める	チェックあり	
	ビデオの制限時間	30秒	

モード（カメラ）

操作方法：[−]［スタート］▶［画像とビデオ］▶［カメラ］▶[−]［メニュー］▶［モード］

項目	お買い上げ時	参照先
モード	標準	92

明るさ（カメラ）

操作方法：[−]［スタート］▶［画像とビデオ］▶［カメラ］▶[−]［メニュー］▶［明るさ］

項目	お買い上げ時	参照先
明るさ	0	91

解像度（カメラ）

操作方法：[−]［スタート］▶［画像とビデオ］▶［カメラ］▶[−]［メニュー］▶［解像度］

項目	お買い上げ時	参照先
解像度	144×176	92

ズーム（カメラ）

操作方法：[−]［スタート］▶［画像とビデオ］▶［カメラ］▶[−]［メニュー］▶［ズーム］

項目	お買い上げ時	参照先
ズーム	Zoom x1.0	92

フラッシュ（カメラ）

操作方法：[−]［スタート］▶［画像とビデオ］▶［カメラ］▶[−]［メニュー］▶［フラッシュ］

項目	お買い上げ時	参照先
フラッシュ	オン	92

■ 設定

VPN接続先設定

操作方法：[−]［スタート］▶［設定］▶［接続］▶[−]［メニュー］▶［VPN接続先設定］

項目	お買い上げ時	参照先
VPN接続先アドレスを設定	チェックなし	161
VPN接続先アドレス	―	161

キーの文字割り当て一覧（かな入力方式）

キー	かな（あ）	半角カタカナ（ｶﾅ）	英字小／英字シフト(abc／Abc※1)	英字大（ABC）	半角数字（123）
1	あいうえおぁぃぅぇぉ1	ｱｲｳｴｵｧｨｩｪｫ	./@,?!-:~_&()'￥1※2	./@,?!-:~_&()'￥1※2	1
2	かきくけこ2	ｶｷｸｹｺ	abc2※2	ABC2※2	2
3	さしすせそ3	ｻｼｽｾｿ	def3※2	DEF3※2	3
4	たちつてとっ4	ﾀﾁﾂﾃﾄｯ	ghi4※2	GHI4※2	4
5	なにぬねの5	ﾅﾆﾇﾈﾉ	jkl5※2	JKL5※2	5
6	はひふへほ6	ﾊﾋﾌﾍﾎ	mno6※2	MNO6※2	6
7	まみむめも7	ﾏﾐﾑﾒﾓ	pqrs7※2	PQRS7※2	7
8	やゆよゃゅょ8	ﾔﾕﾖｬｭｮ	tuv8※2	TUV8※2	8
9	らりるれろ9	ﾗﾘﾙﾚﾛ	wxyz9※2	WXYZ9※2	9
0	わをんゎー0	ﾜｦﾝｰ	+0※2	+0※2	0
*※3	゛゜	ﾞﾟ	※4	※4	*
#※5	、。？！・全角スペース	､｡?!･半角スペース	半角スペース	半角スペース	#

※1　先頭の英字のみ大文字で、入力が確定されると自動的に英字小に切り替わります。
※2　1秒以上押しても入力できます。
※3　1秒以上押すと、入力方式や入力モードを切り替えられます。→P179
※4　押すごとに英字小→英字シフト→英字大に切り替えられます。
※5　1秒以上押すと、記号選択画面が表示されます。

キーの文字割り当て一覧（T9入力方式）

キー	かな（T9あ）	半角カタカナ（T9ｱ）	英字小／英字シフト（t9／T9※1）	英字大（T9）	半角数字（123）
1	あ行、１	ｱ行、1	.?!,-'@:/1※2;	.?!,-'@:/1※2;	1
2	か行、２	ｶ行、2	abc2※2	ABC2※2	2
3	さ行、３	ｻ行、3	def3※2	DEF3※2	3
4	た行、４	ﾀ行、4	ghi4※2	GHI4※2	4
5	な行、５	ﾅ行、5	jkl5※2	JKL5※2	5
6	は行、６	ﾊ行、6	mno6※2	MNO6※2	6
7	ま行、７	ﾏ行、7	pqrs7※2	PQRS7※2	7
8	や行、８	ﾔ行、8	tuv8※2	TUV8※2	8
9	ら行、９	ﾗ行、9	wxyz9※2	WXYZ9※2	9
0	わをんゎー０	ﾜｦﾝｰ0	+0※3	+0※3	0
*※4	゛゜	ﾞﾟ	※5	※5	*
#※6	、。？！・全角スペース	､｡?!･半角スペース	半角スペース	半角スペース	#

※１　先頭の英字のみ大文字で、入力が確定されると自動的に英字小に切り替わります。
※２　１秒以上押しても入力できます。
※３　１秒以上押すと入力できます。
※４　１秒以上押すと、入力方式や入力モードを切り替えられます。→P179
※５　押すごとに英字小→英字シフト→英字大に切り替えられます。
※６　１秒以上押すと、記号選択画面が表示されます。

マルチアクセスの組み合わせ

現在実行中の動作ごとに発生、実行する処理の動作可否を次に示します。

現在の通信状態		新たに発生した通信										
		FOMA通信										
		FOMA電話		SMS		パケット通信		64Kデータ通信		外部PPP通信		Bluetoothダイヤルアップ
		発信	着信	送信	受信	発信	着信	発信	着信	発信	着信	
FOMA通信	FOMA電話中	△※1	△※1、2	○	○	○	×	×	×※3	○	○	△※7
	SMS送受信中	○	○	○※4	○※4	○	×	○※5	○	○	○	○
	パケット通信中（IP／PPP）	○	○	○	○	×	×	×	×※3	×	×	×
	パソコンなどとUSB接続して64Kデータ通信中	×	×※3	×	○	×	×	×	×※3	×	×	×
	パソコンなどとUSB接続してPPP通信中	○	○	○	○	×	×	×	×※3	×	×	×
	パソコンなどとBluetooth接続してダイヤルアップ通信中	△※7	△※7	○	○	×	×	×	×※3	×	×	×
WLAN通信	WLAN電話中	×	×※3	○	○	×	×	×	×※3	×	×	×
	IM受信中	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	プレゼンス更新中	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○
	ブラウザ／メール通信中	△※6	△※6	○	○	△※6	×	△※6	△※6	△※6	△※6	△※6

○: 新たに通信を実行できます。
×: 新たに通信を実行できません。
△: 条件により新たに通信を実行できます。
※1 キャッチホンを開始に設定している場合、通話中に別の相手に電話をかけたり受けたりできます。
※2 留守番電話サービス、転送でんわサービスをご利用の場合は各サービスで対応できます。
※3 通話履歴に不在着信として記録されます。
※4 送信どうし、または受信どうしは実行できません。また、送信と受信を同時にできない場合があります。
※5 SMS送信中のみ発信できない場合があります。

※6 FOMA通話／通信中はWLAN側でのブラウザ／メール通信は継続できません。
※7 同時に通信できません。現在の通信が切断され、新たに発生した通信が開始されます。

現在の通信状態		新たに発生した通信				
		WLAN通信				
		WLAN電話		IMを受信	プレゼンス更新	ブラウザ／メール通信
		発信	着信			
FOMA通信	FOMA電話中	×	×※1	○※5	○※5	×※2
	SMS送受信中	○	○	○	○	○
	パケット通信中（IP／PPP）	×	×※1	○	○	×※2
	パソコンなどとUSB接続して64Kデータ通信中	×	×※1	○	○	×※2
	パソコンなどとUSB接続してPPP通信中	×	×※1	○	○	×※2
	パソコンなどとBluetooth接続してダイヤルアップ通信中	×	×※1	○	○	×※2
WLAN通信	WLAN電話中	△※6	×※3	○※5	○※5	○
	IM受信中	○	○	×	○	○
	プレゼンス更新中	○	○	○	×	○
	ブラウザ／メール通信中	○	○	○	○	△※4

○: 新たに通信を実行できます。
×: 新たに通信を実行できません。
△: 条件により新たに通信を実行できます。
※1 通話履歴に不在着信として記録されます。
※2 FOMA通話／通信中はWLAN側でのブラウザ／メール通信はできません。
※3 通話履歴への不在着信記録が行われず、発信者側が話中となります。
※4 異なるアプリケーションであれば同時通信可能です。
※5 着信音は鳴りません。
※6 転送操作を行うと、転送先へWLAN電話を発信できます。

FOMA端末から利用できるサービス

FOMA端末から利用できるサービス	電話番号
番号案内サービス （有料：案内料＋通話料） （電話番号の案内を希望されないお客様については案内しておりません）	（局番なし）104
電報の発信（有料：電報料）	（局番なし）115
時報サービス（有料）	（局番なし）117
天気予報（有料）	知りたい地域の市外局番＋177
警察への緊急通報	（局番なし）110
消防・救急への緊急通報	（局番なし）119
海上で事件・事故が起きたときの緊急通報	（局番なし）118
災害用伝言ダイヤル（有料）	（局番なし）171
コレクトコール （有料：案内料＋通話料）	（局番なし）106

✔お知らせ

- 番号案内（104）をご利用の際には、案内料100円（税込105円）に加えて通話料がかかります。また、目や上肢などの不自由な方には、無料でご案内をしております。詳細は一般電話から116番（NTT営業窓口）までお問い合わせください（2008年2月現在）。
- コレクトコール（106）をご利用の際には、電話を受けた方に、通話料と1回の通話ごとの取扱手数料90円（税込94.5円）がかかります（2008年2月現在）。
- FOMA端末から110番・119番・118番通報の際は、発信場所が特定できません。警察、消防機関側から確認などの電話をする場合があるため、携帯電話からかけていることと電話番号を伝えてから、明確に現在地を伝えてください。また、通報は途中で通話が切れないように移動せず通報し、通報後はすぐに電源を切らず10分程度は着信のできる状態にしておいてください。
- おかけになった地域により、管轄の消防署、警察署に接続されない場合があります。接続されない場合は、お近くの公衆電話または一般電話からおかけください。
- 一般電話の転送電話をご利用のお客様で、転送先を携帯電話に指定した場合、一般電話または携帯電話の設定によって携帯電話が通話中、サービスエリア外および電源を切っているときでも発信者には呼出音が聞こえることがあります。
- 116番（NTT営業窓口）、ダイヤルQ2、伝言ダイヤル、クレジット通話などのサービスはご利用できませんのでご注意ください。ただし、一般電話または公衆電話からFOMA端末へおかけになる際の自動クレジット通話は利用できます。

オプション品・関連機器のご紹介

FOMA端末にさまざまな別売りのオプション品を組み合わせることで、パーソナルからビジネスまでさらに幅広い用途に対応できます。なお、地域によってお取り扱いしていない商品もあります。
詳細は、ドコモショップなどの窓口へお問い合わせください。また、オプション品の詳細については各機器の取扱説明書などをご覧ください。

- FOMA DC アダプタ 01／02
- FOMA AC アダプタ 01
- FOMA AC アダプタ 02
- FOMA 海外兼用ACアダプタ 01
- FOMA 乾電池アダプタ 01
- 車載ハンズフリーキット 01※1
- FOMA 車載ハンズフリー接続ケーブル 01
- 電池パック F10
- 車内ホルダ 01
- 卓上ホルダ F23
- リアカバー F26
- キャリングケースL 01
- FOMA USB接続ケーブル※2
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02※2

- FOMA補助充電アダプタ 01
- 平型スイッチ付イヤホンマイク P01／P02
- 平型ステレオイヤホンセット P01
- イヤホンジャック変換アダプタ P001
- スイッチ付イヤホンマイク P001※3／P002※3
- ステレオイヤホンセット P001※3
- イヤホンターミナル P001※3
- FOMA室内用補助アンテナ
- FOMA室内用補助アンテナ（スタンドタイプ）
- 骨伝導レシーバマイク 01
- Bluetoothヘッドセット F01※4
- Bluetoothヘッドセット用ACアダプタ F01
- ワイヤレスイヤホンセット P01※4

※1 F1100をUSB接続／充電するには、FOMA車載ハンズフリー接続ケーブル 01が必要です。
※2 USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※3 F1100と接続するには、イヤホンジャック変換アダプタP001が必要です。
※4 オプション品の操作により電話をかけることはできません。

故障かな？と思ったら、まずチェック

まず初めに、ソフトウェアを更新する必要があるかをチェックして、必要な場合にはソフトウェアを更新してください。→P224
その他の事象については、以下を参考にしてください。

■ 電源・充電関連

●FOMA端末の電源が入らない（FOMA端末が使えない）
- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P37
- 電池切れになっていませんか。→P39、41
- デュアルネットワークサービスでmova端末が有効となっている場合、FOMA端末でのサービスの利用はできません。FOMA端末が有効になっているかご確認ください。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。

●充電できない
- 電池パックが正しく取り付けられていますか。→P37
- 充電端子が汚れていませんか。端子部分を乾いた綿棒などで清掃してください。
- ACアダプタのコネクタがFOMA端末の外部接続端子や卓上ホルダの接続端子にしっかりと差し込まれていますか。→P39、40
- 卓上ホルダにFOMA端末が正しく取り付けられていますか。→P39

●アラームが鳴っている
電池がありません。操作を終了して、充電するか充電済の電池と交換してください。

■ 電話関連

●ダイヤルキーを押しても発信できない
- デバイスロックを起動していませんか。→P75
- 遠隔ダイヤルロックを起動していませんか。→P79
- セルフモードを起動していませんか。→P83

●電話をかけたが話中音（プープー音）が出てつながらない
- 市外局番を忘れていませんか。
- 発信音を聞かず、急いで電話番号を入力していませんか。
- 圏外と表示されていませんか。→P42

●着信音が鳴らない
- 音・バイブ設定での着信音を「なし」または「バイブ」にしていませんか。→P64
- プロファイルでの着信音の音量を「オフ」にしていませんか。→P66
- 次の機能を設定していませんか。
  - 発番号なし動作（FOMA）／発番号なし動作（WLAN電話）→P83
  - 呼出時間表示設定→P84
  - 連絡先登録外着信拒否→P84
- 公共モード（ドライブモード）を起動していませんか。→P56
- マナーモードを起動していませんか。→P66
- セルフモードを起動していませんか。→P83
- 留守番電話サービスまたは転送でんわサービスの呼出時間が「0秒」の場合、着信音は鳴りません。詳細は『ご利用ガイドブック（ネットワークサービス編）』をご覧ください。
- 伝言メモの応答時間を「0秒」にしていませんか。→P58

●通話中、相手の声が聞こえにくい、相手の声が大きすぎる
受話音量を変更していませんか。→P56

●WLAN電話で通話中に音が途切れる
- WLAN電話以外のプログラムを実行したままWLAN電話をかけた場合や、WLAN電話を受けた場合、実行させているプログラムによっては、WLAN電話の音が途切れることがあります。実行している他のプログラムを終了させてください。→ P33、140
- BluetoothヘッドセットはWLAN電話では利用できません。

●電話がかかってきたとき、連絡先に登録している名前や着信音などが動作しない
相手の電話番号が連絡先に登録している内容と一致していません。正しい電話番号を登録してください。→P59

●FOMA端末の起動時に、自動的にWLANに接続しないことがある

無線モードを「IEEE802.11a」に設定してFOMA端末を起動すると、「本製品のIEEE802.11a（5GHz）WLAN機能は、屋外での利用は禁止されています」と表示されますが、次のような動作が発生した場合はこの画面が閉じられ、アクセスポイントに接続されません。

・FOMA着信
・アラームの通知（仕事/予定表/アラーム）
・各種情報通知（電池アラーム、パソコンからのPPP接続など）
・Bluetooth機能による外部機器の接続通知
・赤外線受信／Bluetooth受信

接続を行うには[ホーム]を1秒以上押してください。

●電話番号を入力して電話発信を行ったとき、連絡先に登録された別の名前が発信中画面に表示される場合がある

入力した電話番号と完全に一致する電話番号が連絡先に登録されていないとき、電話番号の下6桁で連絡先が検索され、下6桁が一致する連絡先が2件以上あるとその名前が表示される場合があります。

■ 設定・操作関連

●キー確認音が鳴らない

・キーパッド制御を「なし」にしていませんか。→P64
・マナーモードを起動していませんか。→P66

●FOMA端末の電源を入れると「SIMカードエラー」と表示される

FOMAカードが正しく取り付けられていないか、破損している可能性があります。FOMAカードを確認してください。→P33

●FOMA端末を閉じているときにサイドキーなどを押しても操作できない

キーロック中です。→P79

●ディスプレイが暗い、またディスプレイ、ダイヤルキーの照明が点灯しない

省電力設定の「画面のタイムアウト」「照明範囲」「ディスプレイの明るさ」の設定を確認してください。→P68

●日付・時刻が正しく表示されない

自動時刻補正設定が正しく設定されているかを確認してください。→P43

●[−][スタート]▶[#]と操作したときに何のアイコンも表示されない

お買い上げ時は何も表示されません。プログラムを追加した場合に[#]を押して表示させることができます。戻るときは、[✂]を押してください。

■ カメラ・メール・ブラウザ・データ関連

●カメラで撮影した静止画や動画がぼやける

近くの被写体を撮影するときは、マクロ（接写）モードに切り替えてください。→P89

●メール受信時に、連絡先に登録している名前や着信音などが動作しない

相手の電話番号またはメールアドレスが連絡先に登録している内容と一致していません。正しい電話番号とメールアドレスを登録してください。→P59

●キーを押したときの画面の反応が遅い

FOMA端末とmicroSDメモリーカードの間で容量の大きいデータをやりとりしているときは、画面の反応が遅くなる場合があります。

●データ転送が行われない

USB HUBを使用していませんか。USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。

●動作が不安定になり、データの登録ができない

大量のファイルや連絡先やメールなどを保存・登録すると、本体メモリが一杯となり、動作が不安定になったり、データが登録できなくなるなどの現象が発生します。本体メモリが一杯になると、ホームスクリーンに[アイコン]が表示されますので、速やかに不要なデータを削除してください。

●電子メールやSMSの宛先を連絡先から選択する際、画面には「新規作成」の表示がないのに「新しい連絡先を作成するには、[新規作成]を選択します。」と表示される

連絡先が1件も登録されていない場合に表示されますが、故障ではありません。連絡先を登録してから宛先を選択するには、[−][メニュー]▶「新しい連絡先」を選択し、連絡先を登録（P59）してから選択します。

■ WLAN関連

●[アイコン]が表示される

・WLANの電波が届かない場所にいませんか。アクセスポイントの近くに移動してください。→P42
・接続先のプロファイルは登録されていますか。→P167
・アクセスポイントをスキャンして接続してください。→P169
・WLAN環境設定は正しく設定されていますか。→P174

●WLANのアクセスポイントに接続できない

・通信モード設定が「FOMAシングルモード」になっていませんか。→P44
・WLAN環境設定は正しく設定されていますか。→P174

●SIPが表示されない

・WLANの電波が届かない場所にいませんか。アクセスポイントの近くに移動してください。→P42
・接続先のプロファイルは登録されていますか。→P167
・アクセスポイントをスキャンして接続してください。→P169
・WLAN環境設定は正しく設定されていますか。→P174

■ その他

●指紋認証や登録の際、センサーに指を触れていないのに「操作が速すぎます」「操作が遅すぎます」と表示される

センサー表面が濡れていたり、結露していたりすることが考えられます。柔らかい布で水分を取り除いてからご使用ください。

●パソコンなどとFOMA端末を接続したときに指紋認証できない

デスクトップパソコンなどアースを必要とする機器にFOMA端末をUSBケーブルで接続するときは、必ず機器のアースが接続されていることを確認してください。アースが接続されていない状態で接続している間は、指紋認証できない場合があります。その場合は、接続する機器の金属部分（筐体や外部接続用コネクタなど）に触れながら指紋認証を行うか、FOMA端末を機器から取り外して指紋認証を行ってください。

●パソコンとFOMA端末の接続ができなくなり、パソコン画面に「Windows Mobile デバイスに接続できません。問題を解決するには、[OK] をクリックしてください。」と表示される

次の手順で操作をしたことにより、表示されるメッセージです。
①FOMA端末上でActiveSyncモードとする
②USBケーブルでPCと接続して同期
③PCのコマンドプロンプトから、「ipconfig / release」を入力
④コマンドプロンプトから「ipconfig / renew」を入力
⑤再接続しようとするが上記メッセージが表示され、接続不可
接続できないときは、USBケーブルを抜き差ししてみてください。

●ディスプレイに常時点灯する／点灯しないドット（点）がある

FOMA端末のディスプレイは非常に高度な技術を駆使して作られていますが、一部に常時点灯するドットや点灯しないドットが存在する場合があります。これは液晶ディスプレイの特性であり、FOMA端末の故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●連絡先の登録や編集の際、「着信音」欄にカーソルを合わせているときにサブメニューからグレー表示の項目を選択すると、着信音が鳴る

FOMA端末の設定によっては着信音が鳴る場合がありますが、故障ではありません。あらかじめご了承ください。

●連絡先の登録や編集の際、画像の削除を行うと、画像とともに他の項目の内容が削除される

画像を登録した後に他の項目を入力し、サブメニューから「画像の削除」を選択すると、入力した内容（複数の項目を入力した場合は、最後に入力した内容）が画像とともに削除される場合がありますが、故障ではありません。画像を削除する場合は、最後に入力した項目からカーソルを移動してから実行してください。

●Outlook連絡先を削除できない

電話番号と名前を入力しないでFOMAカードに連絡先を新規登録すると、登録した連絡先を削除できなくなります。この場合、一度電源をOFFにしてから再度電源をONにすれば、自動的に削除されます。

●ソリティアをクリアしたときに[−]［カードをめくる］を押すと、場札（画面左上）をめくることができる

カードが表示されますが、故障ではありません。新しくゲームを始める場合は、[−]［メニュー］を押して「新しいゲーム」を選択してください。

●連絡先、予定表、仕事、通話履歴、スピードダイヤルを削除できない

FOMA端末のデータ記憶用メモリの空き容量が0.05MB以下になると、データが削除できなくなります。その場合は、各機能のデータをパソコンまたはmicroSDメモリーカードに移動するか、データ一括削除を行ってください。

●画面に「クリック」という言葉が表示される

Windows Mobileの用語として「クリック」と表示されることがありますが、その場合は該当するキーを押してください。

●音・バイブ設定で設定した音（新しい電子メール、新しいSMSメッセージ、新しいボイスメッセージ、メッセージ（問い合わせ）、メッセージ（警告））が止まらない

一度鳴り出した音は途中で止めることはできません。止める場合は電源を切ってください。
また、再生時間の短い音に設定し直してください。

こんな表示が出たら

FOMA端末に表示される主なエラーメッセージを50音順に示します。

- エラーメッセージ内の「(数字)」または「(XXX)」は、各種サーバから送信されたエラーを区別するためのコードです。

●アカウント設定を保存できませんでした
エラーが発生したため、アカウント設定を登録できませんでした。操作し直してください。

●空きプロファイルが無いため保存できません
空いているプロファイルがないため、プロファイルを保存できませんでした。不要なプロファイルを削除してから、登録し直してください。

●アクセスポイントがみつかりませんでした
WLANのアクセスポイントが見つかりませんでした。電波状態のよい場所に移動して操作し直してください。

●アプリが多数起動しています。動作が遅くなる場合は、他のアプリを終了することができます。
起動しているアプリケーションが多いため、端末の動作が不安定になる恐れがあります。この画面が表示された場合、使用していないアプリケーションを終了させてください。

●アプリケーションに予期しないエラーが発生しました。
Outlook連絡先の画像に静止画以外を設定して登録しようとしました。静止画（GIF、JPEG、BMP、PNG、TIFF）に設定し直してから登録してください。

●移動機SIPアドレスを入力してください
移動機SIPアドレスが入力されていないため、SIPサーバ設定を登録できませんでした。

●移動機本体のメモリがいっぱいです
FOMA端末本体の保存領域が不足しています。FOMA端末内のSMSを削除してください。→P113、114

●同じアカウント名が既に登録されています 別のアカウント名を入力してください
入力したアカウント名はすでに登録されているため、アカウント設定を登録できませんでした。アカウント名を変更してください。

●音声メモを再生することができません
着信中の場合や音声メモファイルの読み込みに失敗したため、選択した音声メモを再生できませんでした。操作し直してください。

●ガードフォルダへのアクセスが拒否されました ガードフォルダにアクセスするためにはSIMカードが必要です
FOMAカードを挿入してから、操作し直してください。
このエラーメッセージには、ファイル エクスプローラのエラーメッセージが上に重なって表示されることがあります。

●ガードフォルダを作成できませんでした
エラーが発生したため、ガードフォルダを作成できませんでした。操作し直してください。

●外部データ連携／データ処理中のため変更できません
外部機器と接続してデータを送受信中のため、セルフモードの設定を変更できませんでした。通信を終了してから、操作し直してください。

●書換え失敗しました　Rewrite failed
ソフトウェアの書き換えに失敗しました。ドコモ指定の故障取扱窓口までお越しください。また、企業内でご利用の場合は、ネットワーク管理者にご相談ください。

●機器名称は半角で16文字以内、全角で8文字以内で入力してください
制限文字数を超えているため、機器名称を登録できませんでした。制限文字数内で入力し直してください。

●起動できませんでした　しばらくしてから再度操作してください
FOMA端末の状態により、一時的にプレゼンスを表示できませんでした。しばらくしてから、操作し直してください。

●圏外です
FOMA圏外のため、電話の発信、ネットワークサービスの操作、またはSMS問い合わせができませんでした。

●更新ファイルにエラーがあります　終了します
更新ファイルにエラーがある、適切な暗号化が実施されていない、または更新ファイルが壊れているため、更新ファイルのダウンロードを中止しました。

●このSIMカードは現在ブロックされています。カスタマーインフォメーションセンターに問い合わせて、ブロック解除（PUK）コードを入手してください。残りの試行回数はXX回です。
暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2の入力を連続3回間違えたため、暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2がブロックされました。ブロック解除コードを入力してください。

●このカードは認識できません
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があります。FOMAカードを確認してください。→P33

●このプロファイルのユーザIDとPACのInitiatorIDが一致していません。このユーザに対応したPACファイルをインポートするか、このプロファイルのPACを削除して、自動PACプロビジョニングを許可する必要があります
EAP-FAST利用時に使用するPACのInitiatorIDとユーザIDが一致していません。設定の確認をしてください。

●コピーできませんでした
プロファイルのコピーに失敗しました。再度コピーを行ってください。

●これ以上ガードフォルダを作成できません　他のガードフォルダを削除した後で再度作成操作を行ってください
すでに100件のガードフォルダが存在しているため、作成できませんでした。

●これ以上登録できません　他の指紋を削除した後で再度登録操作を行ってください
指紋データがすでに10件登録されているため、指紋データを登録できませんでした。不要な指紋データを削除してから操作し直してください。
→P78

●最大Scan間隔は1～10の数値を入力してください
入力した数値が不正のため、最大Scan間隔設定を登録できませんでした。正しい数値を入力してから、操作し直してください。

●最大文字数を超えました
送信可能な文字数を超えているため、SMSを送信できませんでした。

●削除する指紋が選択されていません
指紋データを選択せずに、複数削除を実行しようとしました。指紋データを選択してから操作し直してください。

●削除するタイトルが選択されていません
代行入力情報のタイトルを選択せずに、複数削除を実行しようとしました。タイトルを選択してから操作し直してください。

●サブネットマスクアドレスを入力してください
サブネットマスクアドレスが入力されていないため、ネットワーク設定を登録できませんでした。

●システムエラーです　終了します
エラーが発生したため、ソフトウェア更新ができませんでした。操作し直してください。

●指定したIPアドレスは使用できません　正しい値を入力してください
入力したIPアドレスが不正のため、ネットワーク設定を登録できませんでした。正しいIPアドレスを入力してから、操作し直してください。

●指定したRegisterサーバIPアドレスは使用できません。正しい値を入力してください
入力したRegisterサーバIPアドレスが不正のため、SIPサーバ設定を登録できませんでした。正しいRegisterサーバIPアドレスを入力してから、操作し直してください。

●指定したSIPサーバIPアドレスは使用できません。正しい値を入力してください
入力したSIPサーバIPアドレスが不正のため、SIPサーバ設定を登録できませんでした。正しいSIPサーバIPアドレスを入力してから、操作し直してください。

●指定した移動機SIPアドレスに使用できない文字が含まれています　正しい値を入力してください
移動機SIPアドレスに使用できない文字が含まれているため、SIPサーバ設定を登録できませんでした。移動機SIPアドレスを変更してください。

●指定した移動機SIPアドレスは使用できません　正しい値を入力してください
入力した移動機SIPアドレスが不正のため、SIPサーバ設定を登録できませんでした。正しい移動機SIPアドレスを入力してから、操作し直してください。

●指定したサービス指定発信名は使用できません。正しい値を入力してください
ワンタッチキー設定でサービス指定発信名に全角文字が入力されているため、登録できませんでした。サービス指定発信名は半角で入力してから、操作し直してください。

●指定したサブネットマスクアドレスは使用できません　正しい値を入力してください
入力したサブネットマスクアドレスが不正のため、ネットワーク設定を登録できませんでした。正しいサブネットマスクアドレスを入力してから、操作し直してください。

●指定したセカンダリDNSアドレスは使用できません　正しい値を入力してください
入力したセカンダリDNSアドレスが不正のため、ネットワーク設定を登録できませんでした。正しいセカンダリDNSアドレスを入力してから、操作し直してください。

●指定したデフォルトゲートウェイアドレスは使用できません　正しい値を入力してください
入力したデフォルトゲートウェイアドレスが不正のため、ネットワーク設定を登録できませんでした。正しいデフォルトゲートウェイアドレスを入力してから、操作し直してください。

●指定したプライマリDNSアドレスは使用できません　正しい値を入力してください
入力したプライマリDNSアドレスが不正のため、ネットワーク設定を登録できませんでした。正しいプライマリDNSアドレスを入力してから、操作し直してください。

●指定したプレゼンスサーバIPアドレスは使用できません。正しい値を入力してください
入力したプレゼンスサーバIPアドレスが不正のため、SIPサーバ設定を登録できませんでした。正しいプレゼンスサーバIPアドレスを入力してから、操作し直してください。

●指定したプロキシアドレスは使用できません　正しい値を入力してください
入力したHTTPプロキシアドレスが不正のため、HTTPプロキシアドレス設定を登録できませんでした。正しいHTTPプロキシアドレスを入力してから、操作し直してください。

●しばらくお待ちください
・電話をかけた相手から着信を拒否されました。
・通信規制中のため、SMS問合せができませんでした。しばらくしてから操作し直してください。
・ネットワーク側でパケット通信が規制されています。しばらくしてから操作し直してください。

●しばらくお待ちください（パケット）
ネットワーク側でパケット通信が規制されています。しばらくしてから操作し直してください。

●指紋認証設定に失敗しました
エラーが発生したため、指紋認証設定ができませんでした。操作し直してください。

●指紋認証できませんでした
エラーが発生したため、指紋認証ができませんでした。操作し直してください。

●指紋編集に失敗しました
エラーが発生したため、編集した登録名を保存できませんでした。操作し直してください。

●指紋を登録できませんでした
エラーが発生したため、指紋を登録できませんでした。操作し直してください。

●受信者を認識できないか、アドレスが無効です。メッセージを送信しますか？
宛先に「＊」「#」が含まれているため、SMSを送信できませんでした。[－]［いいえ］を押し、メールアドレスを確認してから、操作し直してください。

●証明書を設定してください
プロファイル設定が完了できませんでした。証明書を選択してください。

●所定時間内に操作がありませんでした　指紋登録を終了しました
認証の読み取りがタイムアウトになったため、指紋登録が終了しました。操作し直してください。

●所定時間内に操作がありませんでした　指紋認証を終了しました
認証操作がタイムアウトになったため、指紋認証が終了しました。操作し直してください。

●処理中に問題が発生しました
エラーが発生したため、操作できませんでした。操作し直してください。

●使用できない文字があります
ESSID設定、セキュリティ接続設定、CN検証設定に使用できない文字が含まれているため、これらの登録ができませんでした。入力したESSID設定、セキュリティ接続設定、CN検証設定を確認して入力し直してください。

●既に存在するフォルダはガードフォルダに設定できません
指定したフォルダがすでに通常フォルダとして存在する、他のFOMAカードを挿入しているときに作成したガードフォルダがすでに存在している、またはmicroSDメモリーカードにガードフォルダが存在しているため、作成できませんでした。

●すべてのデータは受け渡せません
読み取りデータの連絡先情報（名前、フリガナ、またはニックネーム）、メール情報（件名）、またはお気に入り情報（サイト名）が半角256文字以上のため、256文字目以降の情報が削除されました。

●積算料金が既定の上限に達したため通話が切断されました
通話料金上限通知で設定した料金を超えたため、通話中の電話が切断されました。

● **積算料金が既定の上限に達したため保留中の通話が切断されました**
マルチ接続中に通話料金上限通知で設定した料金を超えたため、保留中の電話が切断されました。

● **積算料金が既定の上限に達したため64Kデータ通信が切断されました**
通話料金上限通知で設定した料金を超えているため、64Kデータ通信が切断されました。

● **積算料金が既定の上限に達しているため発信できません**
通話料金が通話料金上限通知で設定した料金を超えたため、電話を発信できませんでした。→P143

● **接続更新を終了してください**
WLANの接続更新中にWLAN環境設定の設定参照／変更を選択しました。接続更新を終了してから操作し直してください。

● **接続できませんでした**
指定接続先への接続に失敗しました。

● **設定可能なジッターバッファサイズは200～1000[ms]です。また、20[ms]単位の数値で入力してください**
入力した数値が不正のため、WLAN電話設定を登録できませんでした。正しい数値を入力してから、操作し直してください。

● **セルフモード設定中です**
セルフモード設定中のため、メンバーのプレゼンス情報を更新できませんでした。

● **セルフモードまたは外部データ連携／データ処理中のため変更できません**
セルフモード中、または外部機器と接続してデータを送受信中のため、通信モード設定を変更できませんでした。通信を終了してから、操作し直してください。

● **操作が制限されています　表示することができません**
ネットワーク管理者により接続先設定が「編集不可・閲覧不可」に設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

● **操作が制限されています　WLAN暗証番号の変更ができません**
ネットワーク管理者によりWLAN暗証番号変更が「設定変更不可」に設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

● **操作が制限されています　WLAN設定リセットを実行することができません**
ネットワーク管理者によりWLAN設定リセットが「リセット不可」に設定されています。詳しくは、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

● **ソフトウェア更新が失敗しました**
更新時にエラーが発生したため、ソフトウェア更新に失敗しました。操作し直してください。

● **ソフトウェア更新が失敗しました　再起動します**
ソフトウェア更新に失敗しました。操作し直してください。

● **ソフトウェア更新は正常に終了しませんでした（0001）**
書き換えに失敗しました。

● **ソフトウェア更新は正常に終了しませんでした（0002）**
書き換え実施しませんでした。

● **ソフトウェア更新は正常に終了しませんでした（0003）**
書き換えは成功しましたが、その後内部エラーが発生しました。

● **代行入力情報の登録が50件を超えました　他のタイトルを削除した後で登録操作を行ってください**
代行入力情報がすでに50件登録されているため、情報を登録できませんでした。不要な情報を削除してから操作し直してください。→P81

● **代行入力情報を登録できませんでした**
エラーが発生したため、代行入力情報を登録できませんでした。操作し直してください。

● **代行入力情報を編集できませんでした**
エラーが発生したため、代行入力情報の編集ができませんでした。操作し直してください。

● **代行入力設定を変更できませんでした　再度、パスワード入力キーを操作してください**
エラーが発生したため、代行入力設定を「有効」に変更できませんでした。操作し直してください。

● **代行入力対象の画面が閉じられました　画面を表示したのち、再度パスワード入力キーを操作してください**
代行入力対象の画面が閉じられているため、代行入力できませんでした。対象となる画面を表示してから操作し直してください。

● **代行入力対象の画面がなかったため代行入力できません　代行入力対象の画面を表示したあとで代行入力操作を行ってください**
代行入力対象がない画面を表示中にPASSWORDを押しました。代行入力対象のある画面を表示してから操作し直してください。

● **代行入力できませんでした**
エラーが発生したため、代行入力できませんでした。操作し直してください。

●代行入力できる情報が登録されていません　代行入力情報を登録したあとで代行入力操作を行ってください
代行入力情報を登録していない画面でPASSWORDを押しました。情報を登録してから操作し直してください。→P80

●タイムアウトしました
Biz・ホーダイの従量接続時の注意メッセージ画面で、約10秒間何も操作をしないと表示されます。

●ダウンロードできませんでした　終了します
ソフトウェア更新のダウンロードサイトにアクセスするときに、Internet Explorer Mobileの起動に失敗したため、ソフトウェア更新ができませんでした。操作し直してください。

●ただいまフォルダまたはファイルは使用中です　使用中のフォルダまたはファイルにはアクセスできません　しばらくお待ちください
ガードフォルダに関連するフォルダまたはファイルの移動を行うと、暗号化または復号が行われ、フォルダまたはファイルが使用中となります。フォルダまたはファイルの移動が完了してから、操作し直してください。
このエラーメッセージには、ファイル エクスプローラのエラーメッセージが上に重なって表示されることがあります。

●端末暗証番号が設定されていません　端末暗証番号を設定してください
端末暗証番号（パスワード）が設定されていないため、指紋登録できません。端末暗証番号（パスワード）を設定してから操作し直してください。→P75

●通信中のためソフトウェア更新を開始できません
通信を終了してから、ソフトウェア更新を実行してください。

●通信中のため変更できません
通信中のため、セルフモードの設定、通信モード設定、パケット通信モード設定、FOMAプロキシ設定、またはVPN接続先設定を変更できませんでした。通信を終了してから、操作し直してください。

●通信モードがDUALモードでないため変更できません
通信モード設定がFOMA／WLANシングルモードのため、パケット通信モード設定を変更できませんでした。通信モード設定をDUALモード（FOMA優先／WLAN優先）に設定してから、操作し直してください。

●データが正しく削除できませんでした
エラーが発生したため、コードを削除できませんでした。操作し直してください。

●データが保存できませんでした
エラーが発生したため、コードを保存できませんでした。再度読み取りを行ってください。

●データが読み込めませんでした
エラーが発生したため、保存済みの読み取りデータを表示できませんでした。操作し直してください。

●データ結合できませんでした
分割コードの連結処理に失敗しました。すべての分割コードを読み取り直してください。

●データ連結できません　次のデータを読み取ってください
読み取った分割コードに連結エラーが発生しました。次の分割コードを読み取ってください。

●伝言メモを再生することができません
着信中の場合や伝言メモファイルの読み込みに失敗したため、選択した伝言メモを再生できませんでした。操作し直してください。

●電池残量不足です　終了します
ソフトウェア更新のダウンロードサイトにアクセスするときに、電池残量不足になったため、Internet Explorer Mobileを起動できませんでした。充電してから、操作し直してください。

●電池残量不足のためソフトウェア更新を開始できません
充電してから、ソフトウェア更新を実行してください。

●電話番号が32桁を超えるため追加できませんでした
電話番号が32桁を超えるため、メンバーに追加できませんでした。

●電話番号に「0～9,＊,#,+」以外の文字が登録されているため追加できませんでした
電話番号に使用できない文字が含まれているため、メンバーを追加できませんでした。電話番号を変更してください。

●問合せできませんでした
SMSの問い合わせに失敗しました。しばらくしてから操作し直してください。

●同一電話番号のメンバーがすでに登録されているため追加できませんでした
メンバーはすでに登録されているため、追加できませんでした。

●同一プロファイル名での保存はできません
入力したプロファイル名はすでに存在しています。名前を変更してください。

●登録された指紋と一致しません
登録と異なる指で認証操作を行いました。登録した指で認証操作し直してください。

●登録できない画面です
代行入力対象がない画面の情報を登録しようとしました。代行入力対象のある画面を表示してから操作し直してください。

●登録名は1文字から20文字以内で入力してください
登録名が制限文字数を超えているため、指紋データを登録できませんでした。制限文字数内で入力し直してください。

●内線サービス名とキー表示名を入力してください
内線サービス名またはキー表示名が入力されていないため、内線サービス設定を登録できませんでした。内線サービス名またはキー表示名を入力してください。

●内線特番に使用可能な文字は0～9,＊,#となります。正しい値を入力してください
内線特番に使用できない文字が含まれているため、特番設定を登録できませんでした。内線特番を変更してください。

●内線特番またはサービス指定発信名が設定されていないため、発信できません
内線特番またはサービス指定発信名が設定されていないため、選択した内線機能を利用できませんでした。内線特番またはサービス指定発信名の設定については、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

●内線特番またはサービス指定発信名が未設定です
内線特番またはサービス指定発信名が入力されていないため、ワンタッチキーに内線機能を登録できませんでした。内線特番を入力してから、操作し直してください。

●内線特番、または、サービス指定発信名のいずれかを入力してください
内線特番またはサービス指定発信名が入力されていないため、内線サービス設定を登録できませんでした。内線特番またはサービス指定発信名を入力してください。

●名前は一意でなければなりません。また、名前に次の文字を使用することはできません：¥:*?"<>|
ボイスメモの名前に使用できない文字が含まれているため、名前を変更できませんでした。名前を入力し直してください。¥:*?"<>|が含まれていない名前を入力してもメッセージが表示された場合は、[－]［キャンセル］を押して名前の変更を中断し、ファイル エクスプローラの「My Documents」フォルダ→「Notes」フォルダからファイル名を変更してください。

●入力文字数が範囲外です
規定されている文字数を満たしていないため、セキュリティ方式設定を登録できませんでした。設定を確認してください。

●入力文字は1文字から233文字以内で入力してください
フォルダ名が入力されていない、または制限文字数を超えているため、ガードフォルダを登録できません。制限文字数内で入力し直してください。

●入力文字は1文字から40文字以内で入力してください
代行入力情報のタイトルが入力されていない、または制限文字数を超えているため、情報を登録できません。制限文字数内で入力し直してください。

●入力文字は40文字以内で入力してください
代行入力情報のタイトルが制限文字数を超えているため、情報を登録できません。制限文字数内で入力し直してください。

●認証エラー
SIPサーバの認証エラーが発生したため、WLAN電話を発信できませんでした。

●認証できませんでした
エラーが発生したため、WLAN暗証番号を認証できませんでした。操作し直してください。

●ネットワークプロファイルの全リセットができませんでした
プロファイルのリセットに失敗しました。再度全リセットを行ってください。

●ネットワークプロファイルをリセットできませんでした
プロファイルのリセットに失敗しました。再度1件リセットを行ってください。

●バージョンアップ処理中に異常が発生しました再度、接続を実施してください
エラーが発生したため、Biz・ホーダイ接続用の機能のバージョンアップに失敗しました。再度定額接続を行ってください。

●バージョン情報を表示できませんでした
エラーが発生したため、バージョン情報の取得に失敗しました。操作し直してください。

●発信できません
・64Kデータ通信中のため、電話を発信できませんでした。
・32桁を超える電話番号（内線番号）を入力した、またはアウトバンド保留を行わずに他の相手にWLAN電話を発信しようとしたため、WLAN電話を発信できませんでした。
・サービス指定発信による内線機能が利用できないSIPサーバに接続しているときに、サービス指定発信を割り当てたワンタッチキーを押しました。サービス指定発信を利用できるSIPサーバに接続してから、操作し直してください。

●発信できませんでした
アウトバンド保留に失敗したため、ワンタッチキーに登録した内線機能を実行できませんでした。

●発信できませんでした（XXX）
SIPサーバから応答がない、またはSIPサーバからエラー応答があったため、WLAN電話を発信できませんでした。

●'×××（ファイル名）'を移動できませんでした
フォルダまたはファイルを移動する際にエラーが発生しました。メモリ容量が不足していることがあります。メモリ容量を確保してから、操作し直してください。

●フォルダに保存できるのは最大999ファイルまでです。ファイルを別の場所に保存するか、いくつかのファイルを削除してください。
最大のファイル数を超えて静止画または動画を保存しようとしました。静止画の場合は、プレフィックスを変更すると新たに999枚保存できます。それ以外の場合は、ファイルを別の場所に移動・保存するか、余分なファイルを削除してください。

●フォルダ名に誤りがあります
フォルダ名に使用できない文字が含まれているため、ガードフォルダを登録できませんでした。フォルダ名を変更してください。

●不正な更新ファイルです
終了します
デジタル証明書による署名がない、またはデジタル証明書が不正と判断されたため、更新ファイルのダウンロードを中止しました。

●ブラウザ（IE）アクセスエラー
ソフトウェア更新のダウンロードサイトにアクセスするときに、Internet Explorer Mobileの起動に失敗したため、ソフトウェア更新ができませんでした。操作し直してください。

●古いパスワードが正しくありません。もう一度やり直してください。古い暗証番号（PIN）と新しい暗証番号（PIN）を入力して、確認します。残りの試行回数はX回です
・入力した暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2が正しくありませんでした。暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2を入力し直してください。
・残り回数は、3回までです。

●プレゼンスサーバIPアドレスを入力してください
SIPサーバを手動で設定しているときに、プレゼンスサーバIPアドレスが入力されていないため、SIPサーバ設定を登録できませんでした。

●プロキシアドレスを入力してください
HTTPプロキシアドレスが入力されていないため、HTTPプロキシアドレス設定を登録できませんでした。

●プロキシを使用しないアドレスに使用できない文字が入力されています
プロキシを使用しないアドレスに使用できない文字が含まれているため、HTTPプロキシアドレス設定を登録できませんでした。アドレスを確認してください。

●プロキシを使用しないアドレスは半角512文字までを入力してください
プロキシを使用しないアドレスが制限文字数を超えているため、HTTPプロキシアドレス設定を登録できませんでした。制限文字数内で入力し直してください。

●プロファイル名に使用できない文字が入力されています
プロファイル名に使用できない文字が含まれているため、プロファイル名を変更できませんでした。プロファイル名を変更してください。

●プロファイル名は全角8文字　半角16文字までを入力してください
制限文字数を超えているため、プロファイル名を登録できませんでした。制限文字数内で入力し直してください。

●プロファイル名を入力してください
プロファイル名が入力されていないため、プロファイル設定を保存できませんでした。プロファイル名を入力してください。

●ポート番号は0～65532（偶数）の数値を入力してください
入力した数値が不正のため、WLAN電話設定を登録できませんでした。正しい数値を入力してから、操作し直してください。

●ポート番号は1～65535の数値を入力してください
入力した数値が不正のため、SIPサーバ設定を登録できませんでした。正しい数値を入力してから、操作し直してください。

●他のアプリケーションが接続中のため更新できません　接続を解除し、再度パターンデータ更新を実行してください
ActiveSync接続中、FOMAパケット接続中、またはWLAN電話通話中のため、パターンデータ更新ができませんでした。通信を終了してから、操作し直してください。

●保存できませんでした
エラーが発生したため、プロファイルの設定を登録できませんでした。再度設定を行ってください。

●保存領域が不足しています　ファイルを保存できませんでした
FOMA端末のメモリ容量が不足しているため、読み取ったコードを保存できませんでした。

●本製品のIEEE802.11a（5GHz）WLAN機能は、屋外での利用は禁止されています
屋外での使用ではないことを確認してください。

●本操作は無効です
内線機能メニュー画面が、次の制限により表示できませんでした。または、WLAN電話を登録したワンタッチキーを押す操作は、以下の制限によって実行できませんでした。
・通信モードが「FOMAシングルモード」の場合
・Biz・ホーダイが設定されている場合
・外部連携中の場合
・FOMA通話中およびFOMAデータ通信中の場合
・その他、WLANオフ状態の場合

●メールアドレスが指定されていません
メールアドレスが指定されていないため、メール自動受信設定を登録できませんでした。メールアカウントを登録し、メールアカウントを指定してから操作し直してください。

●メールの自動受信に失敗しました（サーバ接続失敗）
メールサーバへの接続に失敗したため、メールの自動受信ができませんでした。手動によるメールの送受信を行ってください。

●メールの自動受信に失敗しました（メールソフト起動失敗）
メールのプログラムの起動に失敗したため、メールの自動受信ができませんでした。手動によるメールの送受信を行ってください。

●メッセージの送受信中に以下のエラーが発生しました：
SMSメッセージを送信できません
SMS発信時に表示される通知画面（圏外、規制中、本体メモリフル、FOMAカードフル、FOMAカードのSMS情報無効、最大文字数超過）で、約2秒間何も操作をしない場合に表示されます。通知画面の内容を対処してから、操作し直してください。

●メンバーのプレゼンスを更新できませんでした　しばらくしてから再度操作してください
パソコンと同期中などで通信ができないため、メンバーのプレゼンス情報を更新できませんでした。しばらくしてから操作し直してください。

●有効な指紋が存在しません　指紋の登録を行ってください　パスワードによる認証を行いますか？
指紋データが登録されていないため、指紋認証ができませんでした。指紋を登録してから操作し直してください。

●読み取り済みです　次のデータを読み取ってください（XX／XX）
読み取り済みの分割コードを読み取りました。次の分割コードを読み取ってください。

●読み取りできませんでした
コードが読み取れない、または読み取り中にエラーが発生しました。再度読み取りを行ってください。

●料金情報の読込ができませんでした
通話料金情報の読み込みに失敗しました。操作し直してください。

●録音件数がいっぱいのため録音できません
音声メモがすでに4件録音されているため、録音できませんでした。

●10～100000YENを設定してください
通話料金上限通知の料金上限が設定範囲外に設定しようとしました。

●80桁を超える番号は発信できません
80桁を超える電話番号を入力したため、電話を発信できませんでした。

●Biz・ホーダイ設定でご利用機種変更を実行してください
FOMA端末の認証に失敗したため、定額接続できませんでした。ご利用機種変更を実行してください。

●CNが設定されていません
CNが入力されていないため、CN検証設定を登録できませんでした。

●DNSアドレスを入力してください
プライマリDNSアドレスとセカンダリDNSアドレスが入力されていないため、ネットワーク設定を登録できませんでした。

●ESSIDの長さが不正です
ESSIDが未設定のため登録できませんでした。32文字以内のESSIDを設定してください。

●FOMAカード（UIM）が異常です
FOMAカードが正しく取り付けられていないか、異常があるため、SMS送信またはSMS問合せができませんでした。FOMAカードを確認してください。→P33

●FOMAカード（UIM）が未挿入です
FOMAカードが挿入されていないため、SMS送信またはSMS問合せができませんでした。FOMAカードを挿入してください。→P33

●FOMAカード（UIM）のSMSがいっぱいです
FOMAカードの保存領域が不足しています。FOMAカード内のSMSを削除してください。
→P113、114

●FOMAカード（UIM）のSMS情報が無効です
SMSを利用できないカードが挿入されているため、SMS問合せができませんでした。FOMAカードを挿入してください。→P33

●FOMAカード（UIM）を挿入してください
FOMAカードが挿入されていません。→P33

●FOMAシングルモード設定中のため通信できません
FOMAシングルモード設定中のため、メンバーのプレゼンス情報を更新できませんでした。

●HTTP／SSLポート番号は1～65535の数値を入力してください
入力した数値が不正のため、HTTPプロキシアドレス設定を登録できませんでした。正しい数値を入力してから、操作し直してください。

●HTTPプロキシアドレスは0.0.0.0-255.255.255.255、HTTP／SSLポート番号は1-65535の範囲、プロキシを使用しないアドレスは半角512文字以内で設定してください
次の内容を確認し、入力し直してください。
・プロキシアドレスが入力されていない
・範囲外のアドレスの入力
・プロキシを使用しないアドレスが制限文字数を越えている
・使用できない文字が含まれている

●IPアドレス自動取得をONに設定してからSIPサーバ自動取得をONにしてください
IPアドレス自動取得をONに設定しないでSIPサーバ自動取得をONにしています。先にIPアドレス自動取得をONに設定してください。

●IPアドレスを入力してください
IPアドレスが入力されていないため、ネットワーク設定を登録できませんでした。

●microSDが挿入されていません
microSDメモリーカードが挿入されていないため、ガードフォルダを作成できませんでした。microSDメモリーカードを挿入してください。

●PACの設定を行ってください
PACファイルを設定していないため、セキュリティ方式設定を登録できませんでした。PACファイルをインポートするか、自動PACプロビジョニングを許可にしてください。

●PACファイルのインポートに失敗しました
エラーが発生したため、PACファイルのインポートに失敗しました。操作し直してください。

●PINロック解除コードがロックされています
PINロック解除コード（ブロック解除コード）がロックされているため、自局番号表示を表示できませんでした。ドコモショップ窓口にお問い合わせください。

●RegisterサーバIPアドレスを入力してください
SIPサーバを手動で設定しているときに、RegisterサーバIPアドレスが入力されていないため、SIPサーバ設定を登録できませんでした。

●SIMカードが見つからないか、無効です。サービスプロバイダが緊急通報をサポートしている場合は、緊急電話をかけることができます。
FOMAカードが挿入されていない、またはFOMAカードを挿入したまま暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN2）／ブロック解除コード（PINロック解除コード）の残り入力回数が0回になった状態です。ブロック解除コード（PINロック解除コード）の残り入力回数が0回になった場合は、ドコモショップ窓口にお問い合わせください。
なお、国内では緊急通報（110番／119番／118番）ができません。

●SIP圏外です
SIP圏外のため、メンバーのプレゼンス情報を更新できませんでした。

●SIP圏外です。発信できません
SIP圏外のため、WLAN電話を発信できませんでした。

●SIPサーバIPアドレスを入力してください
SIPサーバを手動で設定しているときに、SIPサーバIPアドレスが入力されていないため、SIPサーバ設定を登録できませんでした。

●SIPサーバ自動取得をOFFに設定してからIPアドレス自動取得をOFFにしてください
SIPサーバ自動取得をOFFに設定しないでIPアドレス自動取得をOFFにしています。先にSIPサーバ自動取得をOFFに設定してください。

●SIPシーケンスに"その他"が選択されている場合は、プレゼンスサーバIPアドレスに0.0.0.0を指定する必要があります
プレゼンスサーバIPアドレスに0.0.0.0以外が指定され、SIPシーケンスに「その他」が選択されています。プレゼンスサーバIPアドレスに0.0.0.0を指定するか、SIPシーケンスに「その他」以外を選択してから操作し直してください。

●SMSアカウントから電子メール受信者にメッセージを送信することはできません。メッセージを取り消し、電子メールアカウントを選択してからやり直してください。
宛先が認識できない／無効と表示されている画面で、[－]［はい］を押してSMSを送信しようとしました。[－]［OK］を押し、メールアドレスを確認してから、操作し直してください。

●VPN接続先アドレスは半角512文字以内で設定してください

VPN接続先アドレスが制限文字数を超えているか入力されていないため、設定を登録できませんでした。制限文字数内で入力し直してください。

●WEPキーに使用できない文字が入力されています

WEPキーに使用できない文字が含まれているため、WLANのネットワークに接続できませんでした。WEPキーを変更してください。

●WEPキーの入力文字数が範囲外です

WEPキーが規定されている文字数を満たしていないため、WLANのネットワークに接続できませんでした。制限文字数内で入力し直してください。

●Windows Updateがもうすぐスケジュール起動されます

Windows Updateのスケジュール直前であるため、ソフトウェア更新ができませんでした。Windows Updateが終了してから、操作し直してください。

●Windows Update中です

Windows Updateを実行中のため、ソフトウェア更新ができませんでした。Windows Updateが終了してから、操作し直してください。

●WLAN暗証番号が一致しません　再度入力してください

入力したWLAN暗証番号が正しくありませんでした。WLAN暗証番号を入力し直してください。

●WLAN暗証番号が一致しません　両方の入力欄に同じWLAN暗証番号を入力してください

WLAN暗証番号欄とWLAN暗証番号再入力欄に入力した番号が異なるため、WLAN暗証番号を変更できませんでした。同じ番号を入力してください。

●WLAN暗証番号は4文字以上入力してください　また以下のうち少なくとも1種類以上を含むものにしてください（英大文字、英小文字、数字、句読点）

WLAN暗証番号が入力されていない、または4文字以上入力されていないため、WLAN暗証番号を変更できませんでした。メッセージに従って入力し直してください。

●WLAN暗証番号を変更できませんでした

エラーが発生したため、WLAN暗証番号を変更できませんでした。操作し直してください。

●WLANが使用不可能のため変更できません

エラーが発生したため、通信モード設定を変更できませんでした。

●WLAN環境設定を終了してください

WLAN環境設定が起動中のため、WLANの接続更新ができませんでした。WLAN環境設定を終了してから、操作し直してください。

●WLAN圏外です

WLAN圏外のため、メンバーのプレゼンス情報を更新できませんでした。

●WLAN圏外です。発信できません

WLAN圏外のため、WLAN電話を発信できませんでした。

●WLAN使用不可のため接続更新できません

通信モード設定が「FOMAシングルモード」になっている、セルフモード中、Biz・ホーダイでの通信中などWLANが使用できないときにホームスクリーンで⌂を1秒以上押しました。WLANを利用できるように設定してから、操作し直してください。

●WLAN使用不可のため通信できません

WLAN使用不可のため、メンバーのプレゼンス情報を更新できませんでした。

●WLANシングルモードのため更新できません

通信モード設定が「WLANシングルモード」のため、パターンデータの更新ができませんでした。通信モードを変更してから、操作し直してください。

●WLAN通話中でないため、本操作は無効です

WLAN通話中ではないときに、「転送」を設定したワンタッチキーを押しました。

●WLAN電話通話中のため接続更新できません

WLAN電話通話中のため、WLANの接続更新ができませんでした。WLAN電話を終了してから、操作し直してください。

保証とアフターサービス

❖保証について

- FOMA端末をお買い上げいただくと、保証書が付いていますので、必ずお受け取りください。記載内容および『販売店名・お買い上げ日』などの記載事項をお確かめの上、大切に保管してください。必要事項が記載されていない場合は、すぐにお買い上げいただいた販売店へお申し付けください。無料保証期間は、お買い上げ日より1年間です。
- この製品は付属品を含め、改良のため予告なく製品の全部または一部を変更することがありますので、あらかじめご了承ください。
- FOMA端末の故障、修理やその他お取り扱いによって連絡先などに登録された内容が変化、消失する場合があります。万が一に備え、連絡先などの内容はメモなどに控えをお取りくださるようお願いします。また、FOMA端末の修理などを行った場合、ブラウザにてダウンロードした情報は、一部を除き著作権法により修理済みのFOMA端末などに移行を行っておりません。
  ※ パソコンをお持ちの場合は、専用のActiveSyncなど（→P148）とFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）をご利用いただくことにより、連絡先などに登録された内容をパソコンに転送・保管していただくことができます。

❖アフターサービスについて

■ 調子が悪い場合は

動作が不安定な場合、お客様ご自身でデータバックアップを行っていただき、一度、初期化を行っていただくことをおすすめします。
修理を依頼される場合は、この取扱説明書の「故障かな？と思ったら、まずチェック」をご覧になってお調べください（→P210）。それでも調子がよくないときは、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先にご連絡の上、ご相談ください。

■ お問い合わせの結果、修理が必要な場合は

ドコモ指定の故障取扱窓口にご持参いただきます。ただし、故障取扱窓口の営業時間内の受付となります。また、ご来店時には必ず保証書をご持参ください。

■ 保証期間内は

- 保証書の規定に基づき無料で修理を行います。
- 故障修理を実施の際は、必ず保証書をお持ちください。保証期間内であっても保証書の提示がないもの、お客様のお取り扱い不良による故障、損傷などは有料修理となります。
- ドコモの指定以外の機器および消耗品の使用に起因する故障は、保証期間内であっても有料修理となります。
- お買い上げ後の液晶画面・コネクタなどの破損の場合は、有料修理となります。

■ 以下の場合は、修理できないことがあります。

- 水濡れシールが反応している場合、試験の結果、水濡れ、結露、汗などによる腐食が発見された場合、および内部の基板が破損、変形している場合は修理できないことがありますのであらかじめご了承願います。なお、修理を実施できる場合でも保証対象外になりますので有料修理となります。

■ 保証期間が過ぎたときは

- ご要望により有料修理いたします。

■ 部品の保有期間は

- FOMA端末の補修用性能部品（機能を維持するために必要な部品）の最低保有期間は、製造打ち切り後6年間を基本としております。ただし、故障箇所によっては修理部品の不足などにより修理ができない場合もございますので、あらかじめご了承ください。また、保有期間が経過した後も、故障箇所によっては修理可能なことがありますので、取扱説明書裏面・故障お問い合わせ先へお問い合わせください。
  なお、本端末に搭載されているマイクロソフト社から提供されているソフトウェアについては、マイクロソフト社の保証条件に依拠するため、上記と取扱いが異なる場合があります。

■ お願い

- FOMA端末および付属品の改造はおやめください。
  - 火災、けが、故障の原因となります。
  - 改造が施された機器などの故障修理は、改造部分を元の状態に戻すことをご了承いただいた上でお受けいたします。ただし、改造の内容によっては故障修理をお断りする場合があります。
- 以下のような場合は改造とみなされる場合があります。
  - 液晶部やボタン部にシールなどを貼る
  - 接着剤などによりFOMA端末に装飾を施す
  - 外装などをドコモ純正品以外のものに交換するなど
- 改造が原因による故障、損傷の場合は、保証期間内であっても有料修理となります。
- FOMA端末に貼付されている銘版シールは、はがさないでください。銘版シールには、技術基準を満たす証明書の役割があり、銘版シールが故意にはがされたり、貼り替えられた場合など、銘版シールの内容が確認できないときは、技術基準適合の判断ができないため、故障修理をお受けできない場合がありますので、ご注意願います。
- 各種機能の設定や積算通話時間などの情報は、FOMA端末の故障、修理やその他お取り扱いによって、クリア（リセット）される場合があります。お手数をおかけしますが、その場合は再度設定を行ってくださるようお願いいたします。
- 修理返却品は、故障部位に関係なく、無線LAN用MACアドレスおよびBluetooth用デバイスアドレスが変更される場合があります。
- FOMA端末の受話口部やスピーカーなどに磁気を発生する部品を使用しています。キャッシュカードなど、磁気の影響を受けやすいものを近づけますとカードが使えなくなることがありますので、ご注意ください。
- FOMA端末が濡れたり湿気を帯びてしまったりした場合は、すぐに電源を切って電池パックを外し、お早めに故障取扱窓口へご来店ください。ただし、FOMA端末の状態によっては修理できないことがあります。

連絡先およびダウンロード情報などについて

- お客様ご自身でFOMA端末などに登録された情報内容は、別にメモを取るなどして保管してくださるようお願いいたします。情報内容の変化、消失に関し、当社は何らの義務を負わないものとし、一切の責任を負いかねます。
- FOMA端末を機種変更や故障修理をする際に、お客様が作成されたデータまたは外部から取り込まれたデータあるいはダウンロードされたデータなどが変化、消失などする場合があります。これらについて当社は一切の責任を負いません。また、当社の都合によりお客様のFOMA端末を代替品と交換することにより修理に代えさせていただく場合がありますが、その際にはこれらのデータなどは一部を除き交換後の製品に移し替えることはできません。

ソフトウェア更新

ソフトウェアを更新する

インターネット上のダウンロードサイトからFOMA端末の更新ファイルをダウンロードし、ソフトウェアの更新を行います。インターネットを利用したソフトウェア更新には、ActiveSyncなどを使ってパソコン経由でダウンロードしたファイルをFOMA端末に取り込んで行う方法とFOMA端末だけで行う方法があります。

- ソフトウェア更新ファイルのダウンロードサイトについてはドコモのホームページでご確認ください。
- パソコンとの接続については「外部接続」章をご覧ください。→P147
  - ActiveSync→P148
  - パソコンとUSB接続する→P158

✔**お知らせ**

- ソフトウェア更新中は電池パックを外さないでください。更新に失敗することがあります。
- ソフトウェア更新は、FOMA端末に登録された連絡先、カメラ画像、ダウンロードデータなどのデータを残したまま行えますが、お客様のFOMA端末の状態（故障、破損、水濡れなど）によってはデータの保護ができない場合がありますので、あらかじめご了承ください。必要なデータはバックアップを取っていただくことをおすすめします。ただし、ダウンロードデータなどバックアップが取れないデータがありますので、あらかじめご了承ください。
- ソフトウェア更新は、電池をフル充電して、電池残量が十分にある状態で実行してください。
- 次の場合はソフトウェア更新を実行できません。
  - FOMAカードが挿入されていないとき
  - 電池がフル充電されていないとき
  - 電源が切れているとき
  - 圏外が表示されているとき（FOMA端末で更新する場合）
  - 通話中
  - 未読状態のメールがあるとき
  - Windows Updateの実行中、Windows Updateのスケジュール直前である場合
  - 他の機能を実行しているとき
  - 暗証番号（PIN）入力中
  - セルフモード中（FOMA端末で更新する場合）
  - パソコンとつないだパケット通信中
  - 64Kデータ通信中
- ソフトウェア更新（ダウンロード、書き換え）には時間がかかる場合があります。
- ソフトウェア更新中は、電話の発信、着信、各種通信機能およびその他の機能を利用できません。ただし、ダウンロード中は音声電話の着信のみ受けられます。
- ソフトウェア更新のダウンロードは、電波が強く、アンテナアイコンが3本表示されている状態（📶）で、移動せずに実行することをおすすめします。ソフトウェアダウンロード中に電波状態が悪くなったり、ダウンロードが中止された場合は、もう一度電波状態のよい所でソフトウェア更新を行ってください。
- ソフトウェア更新に失敗するなどして一切の操作ができなくなった場合は、大変お手数ですがドコモ指定の故障取扱窓口までお越しいただきますようお願いいたします。

◆ソフトウェア更新の前に必要な確認と準備

お持ちのFOMA端末で、ソフトウェアのバージョンの確認、データ記憶用メモリの空き領域の確認やプログラムを終了します。

- 万が一のトラブルに備え、FOMA端末内のお客様情報やデータをバックアップしておくことをおすすめします。

■ FOMA端末のソフトウェアバージョンを確認する

1 **[−]［スタート］▶［管理］▶［ソフトウェア更新］▶［バージョン表示］**

機種情報とソフトウェアのバージョンが表示されます。

■ FOMA端末のデータ記憶用メモリの空き領域を確認する

→P140

■ FOMA端末のすべてのプログラムを終了する

→P140

◆パソコン経由で更新する

あらかじめお使いのパソコンでダウンロードサイトから更新用のファイルをダウンロードしておきます。

1 **FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続**

- ActiveSyncが起動するのを確認します。
- ActiveSyncの使いかたについては、「パソコンと同期する」をご覧ください。→P148

2 **パソコン上でダウンロードしたファイルをダブルクリック ▶ プログラムが起動したら、［実行］を選択する**

3 **「更新ファイルの転送が完了しました」と表示されたら、「閉じる」を選択する**

更新開始確認画面が表示されます。



更新開始確認画面

4 **[－]［はい］ ▶ 認証操作**

フル充電の確認画面が表示されます。

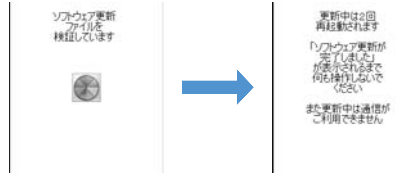
- 端末暗証番号（パスワード）を設定していない場合は、認証操作画面は表示されません。



フル充電確認画面

5 **[－]［OK］**

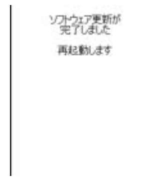
更新ファイルの検証画面が表示され、更新ファイルの検証が成功すると、引き続いて更新継続選択画面が表示されます。



- 検証の結果、更新が必要ない場合は、「更新は必要ありません　このままご利用ください」と表示されます。

6 **[－]［OK］**

更新が開始されます。「検証中」→「確認中」→「更新中」と表示され、最後に更新完了画面が表示されます。



更新完了画面

- 次の場合はそれぞれ警告画面が表示され、ソフトウェアの更新は終了になります。警告内容を確認して再度ソフトウェア更新を行ってください。
  - 電池残量が不足している場合
  - 通信中の場合
  - Windows Update中の場合
  - Windows Updateスケジュール起動が直前の場合

7 [OK]

✔お知らせ

- 更新が終わると、FOMA端末の更新ファイルは自動的に削除されます。

◆FOMA端末で更新する

接続形態や接続環境によってはダウンロードに時間がかかる場合があります。また、ダウンロードにかかる通信料は、ご契約内容によって変わります。通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
また、ソフトウェア更新ファイルのファイルサイズによってはダウンロードできない場合がありますのでご了承ください。

1 [スタート] ▶ [管理] ▶ [ソフトウェア更新] ▶ [更新開始] ▶ [はい]

専用サイトの画面が表示されます。

バージョン表示：**機種情報とソフトウェアのバージョンを表示**

2 **ダウンロードするファイルを選択する**

更新確認画面が表示されます。

- 以降の操作は「パソコン経由で更新する」の操作4以降をご覧ください。→P226

✔お知らせ

- WLAN経由、mopera経由、またはインターネットに接続したパソコンとUSB接続してActiveSyncなどにより同期することで、FOMA端末から更新を行うことができます。

Windows Updateについて

マイクロソフト社が提供する、本FOMA端末のオペレーティングシステムWindows Mobile® 6 Standardのシステムファイルの更新があるかどうかをチェックし、必要な場合は最新の状態に更新することができます。あらかじめ更新方法などを設定します。
Windows Updateはマイクロソフト社が提供するサービスです。詳細についてはマイクロソフト社のホームページをご確認ください。

- Windows Updateで適用可能なアップデート有無の確認および配布アップデートをパケット通信でダウンロードすると課金対象となります。データ量によっては通信料が高額になる場合がありますのでご注意ください。
- Windows Updateを更新中は、電池パックを外さないでください。
- Windows Updateで適用可能なアップデート有無の確認および配布アップデートは、次の状態で実行することをおすすめします。
  - 電波が強くアイコンが3本表示されている状態
  - 電波状態が変わらないように、移動しないで実行できる状態
- Windows Updateを実行する前にFOMA端末内のお客様情報やデータをバックアップしておくことをおすすめします。

1 [スタート] ▶ [設定] ▶ [Windows Update] ▶ [次へ]

更新方法選択画面が表示されます。

2 [手動] ▶ [次へ]

- 「自動」を選択すると、重要な更新を自動的にチェックしてダウンロードします。データ通信プランを使用するかどうかを選択して［次へ］を押してください。

3 [完了]

◆手動でチェックする

チェックを「自動」に設定した場合は、定期的にチェックされますが、設定に関わらず手動で行うこともできます。

1 [-] [スタート] ▶ [設定] ▶ [Windows Update]

2 [-] [チェックする]

以降は画面の指示に従って操作してください。

◆Windows Updateのサブメニューを利用する

Windows Update画面で[-] [メニュー] を押すと、次の機能を利用できます。

詳細の表示	更新情報を表示
スケジュールの変更	Windows Updateを手動または自動のどちらで行うかを設定
接続	ActiveSync／Windows Mobileデバイスセンターで同期を行っているとき、またはWLANでインターネットに接続しているときのみWindows Updateを行うかどうかを設定
プライバシー	Windows Updateのプライバシーに関する声明を表示

セキュリティスキャン

障害を引き起こすデータからFOMA端末を守る

- 初めに、パターンデータの更新を行い、パターンデータを最新にしてください。

サイトからのダウンロードやメールなど外部からFOMA端末に取り込んだファイルを検知して、障害を引き起こす可能性を含むファイルの削除や通知を行います。

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください。「パターンデータ更新を起動してください」と通知画面が表示された場合は、[-] [OK] を押してパターンデータを更新してください。
- 起動中のアプリケーションはスキャンできないため必ず終了してください。終了しない場合は正しくスキャンできません。アプリケーションの終了方法は、それぞれのアプリケーション作成者にお問い合わせください。
- チェックのために使用するパターンデータは、新たな問題が発見された場合に随時バージョンアップされますので、パターンデータを更新してください。なお、自動更新設定が「有効」の場合、パターンデータがバージョンアップされたときに自動的にダウンロードと更新が行われます。→P231
- 各障害に対応したパターンデータがFOMA端末にダウンロードされていない場合、または各障害に対応したパターンデータが存在しない場合、本機能にて障害等の発生を防ぐことができませんのであらかじめご了承ください。
- パターンデータはFOMA端末の機種ごとにデータの内容が異なります。よって当社の都合により端末発売開始後3年を経過した機種向けパターンデータの配信は、停止することがありますのであらかじめご了承ください。
- 通信モードをWLANシングルモードに設定している場合は、セキュリティスキャンをご利用になれません。

◆手動で全ファイルをスキャンする

- 必ずパターンデータを最新の状態にしてからスキャンを行ってください。→P231
- スキャンを実施する前に、すべてのアプリケーションを手動で終了してください。→P140

1 [-] [スタート] ▶ [管理] ▶ [セキュリティスキャン]

セキュリティスキャン画面が表示されます。

2 ［スキャン］▶ − ［OK］



セキュリティスキャン画面



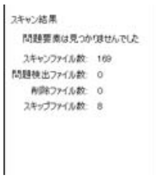
スキャン中画面

◆スキャン結果の表示について

検出された問題要素によって、表示されるメッセージと操作が異なります。

■「問題要素は見つかりませんでした」が表示されたとき

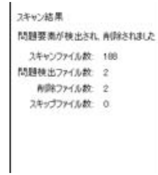
− ［OK］を押して画面を閉じてください。



スキャン結果画面1

■「問題要素が検出され、削除されました」が表示されたとき

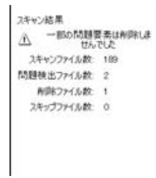
− ［OK］を押して画面を閉じるか、− ［詳細］を押して削除されたファイルの確認ができます。



スキャン結果画面2

■「一部の問題要素は削除しませんでした」が表示されたとき

− ［詳細］を押して削除されなかったファイルを確認します。削除されなかったファイルは障害を引き起こす可能性があるので、手動で削除することをおすすめします。



スキャン結果画面3

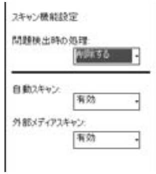
◆スキャン機能を設定する 〈スキャン機能設定〉

問題検出時の動作やスキャン機能の「有効」「無効」を設定します。

1 − ［スタート］▶［管理］▶［セキュリティスキャン］

2 [メニュー] ▶ [スキャン機能設定] ▶ 各項目を設定

問題検出時の処理：問題を検出した場合、データを自動的に削除するかを設定
自動スキャン：ファイル更新時に自動的にスキャンするかを設定
外部メディアスキャン：外部メディアをスキャン対象とするかを設定



スキャン機能設定画面

❖自動的にファイルをスキャンする

自動スキャンが「有効」に設定されていると、変更やコピーが行われたファイルに対して自動的にスキャンを行います。問題要素が検出されると通知画面が表示されます。

- [OK] を押して画面を閉じるか、[詳細] を押して削除されたファイルの確認ができます。



自動スキャン検出通知画面

❖自動的に外部メディアのファイルをスキャンする 〈外部メディアスキャン〉

外部メディアスキャンが「有効」に設定されていると、外部メディアがFOMA端末に挿入された際に外部メディアの全ファイルに対して自動的にスキャンを行います。



外部メディアスキャン中画面

◆自動スキャン結果の表示について 〈自動スキャン結果〉

1 [スタート] ▶ [管理] ▶ [セキュリティスキャン]

2 [メニュー] ▶ [自動スキャン結果]

◆指定した時刻に全ファイルをスキャンする 〈スキャン予約〉

スキャン予約を「有効」に設定していると、指定した時刻に外部メディアを含むFOMA端末内の全ファイルに対してスキャンを行います。

1 [スタート] ▶ [管理] ▶ [セキュリティスキャン]

2 [メニュー] ▶ [スキャン予約]

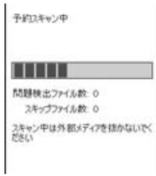
スキャン予約：スキャン予約の「有効（繰り返し）」または「無効」を設定

時間：スキャンを実施する時間を設定

曜日：スキャンを実施する曜日を設定



スキャン予約画面



予約スキャン中画面

◆パターンデータを更新する 〈パターンデータ更新〉

セキュリティスキャン画面表示の他、サブメニューからパターンデータを更新できます。

1 [スタート] ▶ [管理] ▶ [セキュリティスキャン]

2 [メニュー] ▶ [パターンデータ更新] ▶ [はい] ▶ [はい]

- パターンデータ更新が必要ないときは「パターンデータは最新です」と表示されます。そのままお使いください。

◆自動でパターンデータを更新する 〈自動更新設定〉

パターンデータの自動更新を「有効」に設定すると、新たな問題が発見された場合、自動的にFOMA端末内のパターンデータを更新するよう設定できます。

1 [スタート] ▶ [管理] ▶ [セキュリティスキャン]

2 [メニュー] ▶ [自動更新設定] ▶ [有効] ▶ [はい] ▶ [はい]

✔お知らせ

- パターンデータ更新の際、お客様のFOMA端末固有の情報（機種や製造番号など）が、自動的にサーバー（当社が管理するスキャン機能用サーバー）に送信されます。当社は送信された情報を、スキャン機能以外の目的には利用いたしません。
- FOMA端末の日付（年月日）を正しく設定しておいてください。
- 次の場合はパターンデータを更新できません。
  - 圏外にいる
  - セルフモード中
  - FOMAカードが未挿入
  - 時計を設定していない
  - ActiveSync接続中
  - FOMAパケット接続中
  - WLAN電話通話中
  - 通信モード設定が「WLANシングルモード」のとき
- パターンデータの更新に失敗した場合、ホームスクリーンに が表示されますので、パターンデータの更新をやり直してください。

◆パターンデータのバージョンを確認する 〈バージョン表示〉

1 [スタート] ▶ [管理] ▶ [セキュリティスキャン]

2 [メニュー] ▶ [バージョン表示]



バージョン表示画面

主な仕様

■ 本体

品名		FOMA F1100	
サイズ		高さ112mm×幅51mm×厚さ16.9mm（閉じたとき）	
質量		約134g（電池パック装着時）	
連続待受時間※1、6		FOMAシングルモード	静止時：約350時間 移動時：約270時間
		WLANシングルモード※7	約250時間
		デュアルモード	約170時間
連続通話時間※2、6		FOMA通話	約190分
		WLAN通話※7	約140分 （パワーセーブオフ時） 約140分 （パワーセーブオン（LegacyPS）時） 約270分 （パワーセーブオン（U-APSD）時）
充電時間※3		ACアダプタ：約150分 DCアダプタ：約150分	
液晶部	方式	半透過TFT65,536色	
	サイズ	約2.6inch	
	画素数	76,000画素（240×320）	
撮像素子	種類	CMOS	
	サイズ	1/5inch	
	有効画素数	約130万画素	
カメラ部	記録画素数（最大時）	約120万画素	
	ズーム（デジタル）	最大約4倍	
記録部	静止画記録枚数※4	本体メモリの空き容量に依存	
	静止画連続撮影	5枚	
	静止画ファイル形式	JPEG	
	動画ファイル形式	WMV	
音楽再生	連続再生時間	WMA：約960分※5 MP3：約960分※5	

※1 連続待受時間とは、電波を正常に受信できる状態での時間の目安です。なお、電池の充電状態、機能設定状況、気温などの使用環境、利用場所の電波状態（電波が届かないか弱い場合など）などにより、待受時間は約半分程度になる場合があります。静止時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できる静止状態での平均的な利用時間です。移動時の連続待受時間とは、FOMA端末を閉じて、電波を正常に受信できるエリア内で「静止」「移動」と「圏外」を組み合わせた状態での平均的な利用時間です。

※2 連続通話時間とは、電波を正常に送受信できる状態で通話に使用できる時間の目安です。

※3 充電時間は、FOMA端末の電源を切って、電池パックが空の状態から充電したときの目安です。FOMA端末の電源を入れて充電した場合、充電時間は長くなります。

※4 静止画記録枚数の表示は、画像の解像度やファイルサイズに関係なく本体メモリの空き容量に依存しているため、1000枚以上保存できた場合も「999」枚と表示されます。

※5 バックグラウンド再生に対応しています。

※6 WLAN通信時の連続待受時間や連続通話時間は、アクセスポイントの設定や通信状態によって変わることがあります。

※7 WLAN電話は、各機能を提供するサーバに本FOMA端末を登録した場合にのみ利用できます。WLAN電話を企業内で使用される場合は、ネットワーク管理者にお問い合わせください。

■ 電池パック

使用電池	リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.7V
公称容量	870mAh

携帯電話機の比吸収率（SAR）について

この機種FOMA F1100の携帯電話機は、国が定めた電波の人体吸収に関する技術基準に適合しています。この技術基準は、人体頭部のそばで使用する携帯電話機などの無線機器から送出される電波が人間の健康に影響を及ぼさないよう、科学的根拠に基づいて定められたものであり、人体側頭部に吸収される電波の平均エネルギー量を表す比吸収率（SAR：Specific Absorption Rate）について、これが2W/kg※の許容値を超えないこととしています。この許容値は、使用者の年齢や身体の大きさに関係なく十分な安全率を含んでおり、世界保健機関（WHO）と協力関係にある国際非電離放射線防護委員会（ICNIRP）が示した国際的なガイドラインと同じものとなっています。
すべての機種の携帯電話機は、発売開始前に、電波法に基づき国の技術基準に適合していることの確認を受ける必要があります。この携帯電話機FOMA F1100のSARの値は1.190W/kgです。この値は、財団法人テレコムエンジニアリングセンターによって取得されたものであり、国が定めた方法に従い、携帯電話機の送信電力を最大にして測定された最大の値です。個々の製品によってSARに多少の差異が生じることもありますが、いずれも許容値を満足しています。また、携帯電話機は、携帯電話基地局との通信に必要な最低限の送信電力になるよう設計されているため、実際に通話している状態では、通常SARはより小さい値となります。
SARについて、さらに詳しい情報をお知りになりたい方は、次のホームページをご覧ください。

総務省のホームページ
http://www.tele.soumu.go.jp/j/ele/index.htm
社団法人電波産業会のホームページ
http://www.arib-emf.org/index.html
ドコモのホームページ
http://www.nttdocomo.co.jp/product/
富士通のホームページ
http://www.fmworld.net/product/phone/sar/

※ 技術基準については、電波法関連省令（無線設備規則第14条の2）で規定されています。

日本輸出管理規制／米国再輸出管理規制について

本製品及び付属品は、日本輸出管理規制（「外国為替及び外国貿易法」及びその関連法令）の適用を受ける場合があります。また米国再輸出規制（Export Administration Regulations）の適用を受けます。本製品及び付属品を輸出及び再輸出する場合は、お客様の責任及び費用負担において必要となる手続きをお取りください。詳しい手続きについては経済産業省または米国商務省へお問い合わせください。

索引

索引

索引の使いかた

機能名やキーワードを列挙した索引には、「五十音目次」としての機能もあります。なお、「登録」「削除」などの操作については、まず第一階層（**太字**）の機能名やキーワードで検索したのち、第二階層の索引項目から探してください。

〈例〉電子メールを削除したいとき

電子メール..........99
　移動..........111
　イルミネーション..........65
　オプション..........104
　削除..........111
　サブメニュー..........109

タ行

ナ行

ハ行

マ行

ヤ行

ラ行

ワ行

英数字・記号

「ドコモｅサイト」では住所変更、料金プラン変更などの各種お手続き、資料請求を承っております。

パソコンから My DoCoMo（http://www.mydocomo.com/）⇒ 各種手続き（ドコモeサイト）

※パソコンからご利用になる場合、「DoCoMo ID／パスワード」が必要となります。
※「ネットワーク暗証番号」および「DoCoMo ID／パスワード」をお持ちでない方・お忘れの方は、取扱説明書裏面の「総合お問い合わせ先」にご相談ください。
※ご契約内容によりご利用になれない場合があります。
※システムメンテナンスなどにより、ご利用になれない場合があります。

マナーもいっしょに携帯しましょう

こんな場合は必ず電源を切りましょう

■ 使用禁止の場所にいる場合

航空機内、病院内では、必ずFOMA端末の電源を切ってください。医用電気機器を使用している方がいるのは病棟内だけではありません。ロビーや待合室などでも、必ず電源を切ってください。

■ 満員電車の中など、植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器を装着した方が近くにいる可能性がある場合

植込み型心臓ペースメーカおよび植込み型除細動器に悪影響を与えるおそれがあります。

こんな場合は公共モードに設定しましょう

■ 運転中の場合

運転中の携帯電話を手で保持しての使用は罰則の対象となります。
※ やむを得ず電話を受ける場合には、ハンズフリーで「かけ直す」ことを伝え、安全な場所に停車してから発信してください。

■ 劇場・映画館・美術館など公共の場所にいる場合

静かにするべき公共の場所でFOMA端末を使用すると、周囲の方への迷惑になります。

使用する場所や声・着信音の大きさに注意しましょう

■ レストランやホテルのロビーなどの静かな場所でFOMA端末をご使用になる場合は、声の大きさなどに気をつけましょう。

■ 街の中では、通行の妨げにならない場所で使用しましょう。

プライバシーに配慮しましょう

カメラ付き携帯電話を利用して撮影や画像送信を行う際は、プライバシーなどにご配慮ください。

こんな機能が公共のマナーを守ります

かかってきた電話に応答しない設定や、FOMA端末から鳴る音を消す設定など、便利な機能があります。

●公共モード（ドライブモード／電源OFF）
電話をかけてきた相手に運転中もしくは通話を控える必要のあるような所にいるため、電話に出られない旨のガイダンスが流れ、通話が切断されます。→P56

●伝言メモ
電話に出られない場合に、電話をかけてきた相手の用件を録音／録画します。→P58

●着信バイブレータ（バイブ）
電話がかかってきたことを振動でお知らせします。→P65

●マナーモード
キー確認音や着信音などFOMA端末から鳴る音をすべて消します。→P66

この印刷物はリサイクルに配慮して製本されています。不要となった際、回収、リサイクルに出しましょう。

総合お問い合わせ先
〈DoCoMo インフォメーションセンター〉

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **151** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

故障お問い合わせ先

■ドコモの携帯電話からの場合

(局番なしの) **113** (無料)

※一般電話などからはご利用になれません。

■一般電話などからの場合

0120-800-000

※携帯電話、PHSからもご利用になれます。

●ダイヤルの番号をよくご確認の上、お間違いのないようにおかけください。

●なお、詳しくはFOMA端末などに添付の「全国サービスステーション一覧」でご確認ください。

マナーもいっしょに携帯しましょう。

○公共の場所で携帯電話をご利用の際は、周囲の方への心くばりを忘れずに。

販売元　NTT DoCoMo グループ

株式会社NTTドコモ北海道	株式会社NTTドコモ東北	株式会社NTTドコモ
株式会社NTTドコモ東海	株式会社NTTドコモ北陸	株式会社NTTドコモ関西
株式会社NTTドコモ中国	株式会社NTTドコモ四国	株式会社NTTドコモ九州

製造元　富士通株式会社

Li-ion

環境保全のため、不要になった電池は
NTT DoCoMoまたは代理店、リサイクル
協力店などにお持ちください。

PRINTED WITH SOY INK™
Trademark of American Soybean Association
大豆油インキを使用しています。

'08.3（1.1版）
CA92002-5293

FOMA® F1100
パソコン接続マニュアル

■ パソコン接続マニュアルについて

本マニュアルでは、FOMA F1100でデータ通信をする際に必要な事項についての説明をはじめ、CD-ROM内の「FOMA通信設定ファイル」「FOMA PC設定ソフト」のインストール方法などを説明しています。
お使いの環境によっては操作手順や画面が一部異なる場合があります。

'08.11（1.1版）
CA92002-5296

データ通信について

FOMA端末とパソコンを接続して利用できる通信形態は、パケット通信、64Kデータ通信に分類されます。

- パソコンと接続してパケット通信や64Kデータ通信を行ったり、連絡先などのデータを編集したりするには、付属のCD-ROMからソフトのインストールや各種設定を行う必要があります。
- OSをアップグレードして使用されている場合の動作は保証いたしかねます。
- FOMA端末は、FAX通信やRemote Wakeupには対応していません。
- ドコモのPDA、museaやsigmarion Ⅱ、sigmarion Ⅲと接続してデータ通信が行えます。ただし、museaやsigmarion Ⅱをご利用の場合は、これらのアップデートが必要です。アップデートの方法などの詳細は、ドコモのホームページをご覧ください。

データ転送（OBEX™通信／同期）

赤外線通信やBluetooth機能を利用して、画像や音楽、連絡先、メールなどのデータを、他のFOMA端末やパソコンなどとの間で送受信します。また、ActiveSync／Microsoft Mobileデバイスセンターを利用すると、パソコンで利用しているMicrosoft Outlookのデータ（連絡先、予定表、電子メール、仕事、お気に入り）をFOMA端末のデータと同期させたり、ファイルをコピー／移動させたりできます。

■ 赤外線／Bluetooth機能



■ ActiveSync／Microsoft Mobileデバイスセンター



※1 詳しくは、『F1100取扱説明書』の「外部接続」章をご覧ください。
※2 詳しくは、『F1100取扱説明書』の「ご使用前の確認」章をご覧ください。

パケット通信

送受信したデータ量に応じて課金されるため、メールの送受信など、比較的少ないデータ量を高速でやりとりする場合に適しています。ネットワークに接続していても、データの送受信を行っていないときには通信料がかからないため、ネットワークに接続したまま必要なときにデータを送受信するという使いかたができます。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uなど、FOMAのパケット通信に対応したアクセスポイントを利用して、受信最大3.6Mbps、送信最大384kbpsの高速パケット通信ができます。通信環境や混雑状況の影響により通信速度が変化するベストエフォートによる提供です。
画像を含むホームページの閲覧やデータのダウンロードなど、データ量の多い通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

※ FOMAハイスピードエリア外やmoperaなどHIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続するとき、またはドコモのPDA、museaやsigmarionⅡ、sigmarionⅢなどHIGH-SPEEDに対応していない機器をご利用の場合は、送受信ともに最大384kbpsでの接続になります。

※ Bluetooth機能を利用してデータ通信を行う場合、FOMA端末はハイスピード用の通信速度になりますが、Bluetooth機能の通信速度には仕様上の限界があるため、最大速度では通信できない場合があります。

64Kデータ通信

データ量に関係なく、ネットワークに接続している時間の長さに応じて課金されるため、マルチメディアコンテンツのダウンロードなど、比較的データ量の多い送受信を行う場合に適しています。
ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaなど、FOMA 64Kデータ通信に対応したアクセスポイント、またはISDN同期64kbpsのアクセスポイントを利用して、64kbpsの安定した通信速度でデータを送受信できます。
長時間通信を行った場合には通信料が高額になりますのでご注意ください。

ご利用になる前に

動作環境について

データ通信を利用するためのパソコンの動作環境は、次のとおりです。

項　目	必要環境
パソコン本体	• PC-AT互換機 • USBポート（USB仕様1.1／2.0に準拠）
OS（各日本語版）	Windows 2000、Windows XP、Windows Vista
必要メモリ※	Windows 2000 ：64MB以上　　Windows XP ：128MB以上 Windows Vista：512MB
ハードディスク容量※	5MB以上の空き容量

※ FOMA PC設定ソフトの動作環境です。パソコンのシステム構成によっては異なる場合があります。

- Bluetooth機能でのダイヤルアップネットワークを設定する場合は、Bluetooth標準規格Ver.2.0+EDRに準拠し、DUN（Dial-up Networking Profile）対応の機器が必要です。
- 動作環境によってはご使用になれない場合があります。また、上記の動作環境以外でのご使用について、当社では責任を負いかねますのであらかじめご了承ください。
- メニューが動作する推奨環境はMicrosoft Internet Explorer6.0以降（Windows Vistaの場合は、Microsoft Internet Explorer7.0以降）です。CD-ROMをセットしてもメニューが表示されない場合は次の手順で操作してください。
  ①［スタート］→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  Windows Vistaのとき：（スタート）→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「ファイル名を指定して実行」を順にクリック
  ②「名前」に次のように入力して［OK］をクリック
  ＜CD-ROMドライブ名＞：index.html
  ※ CD-ROMドライブ名はお使いのパソコンによって異なります。

CD-ROMをパソコンにセットすると、次のような警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［はい］をクリックしてください。
※ 画面はWindows XPの例です。お使いの環境によって異なる場合があります。



必要な機器について

FOMA端末とパソコン以外に、次の機器が必要です。
- FOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）
- 付属のCD-ROM「FOMA® F1100用CD-ROM」

※ パソコン用のUSBケーブルはコネクタ部の形状が異なるため利用できません。
※ USB HUBを使用すると、正常に動作しない場合があります。
※ 本マニュアルでは、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01を例に説明しています。
※ Bluetooth機能を利用する場合は、FOMA 充電機能付USB接続ケーブル 01／02またはFOMA USB接続ケーブルは必要ありません。

ご利用時の留意事項

インターネットサービスプロバイダの利用料について

パソコンでインターネットを利用する場合、通常ご利用になるインターネットサービスプロバイダ（以降プロバイダ）の利用料が必要です。この利用料は、FOMAサービスの利用料とは別に直接プロバイダにお支払いいただきます。利用料の詳細は、ご利用のプロバイダにお問い合わせください。

● ドコモのインターネット接続サービスmopera Uやmoperaがご利用いただけます。
mopera Uはお申し込みが必要な有料サービスです。使用した月だけ月額使用料がかかるプランもご利用いただけます。FOMA端末でのインターネット接続には、ブロードバンド接続オプションなどに対応したmopera Uのご利用をおすすめします。
moperaはお申し込みが不要で、月額使用料は無料です。今すぐインターネットに接続したい方に便利なサービスです。

接続先（プロバイダなど）について

パケット通信と64Kデータ通信では接続先が異なります。パケット通信を行うときはパケット通信対応の接続先、64Kデータ通信を行うときはFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64K対応の接続先をご利用ください。

ユーザー認証について

接続先によっては、接続時にユーザー認証が必要な場合があります。その場合は、通信ソフトまたはダイヤルアップネットワークでIDとパスワードを入力してください。IDとパスワードはプロバイダまたは社内LANなど接続先のネットワーク管理者から付与されます。詳細はプロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

パケット通信および64Kデータ通信の条件

FOMA端末で通信を行うには、次の条件が必要です。
- FOMAサービスエリア内であること
- パケット通信の場合、アクセスポイントがFOMAのパケット通信に対応していること
- 64Kデータ通信の場合、接続先がFOMA64Kデータ通信、またはISDN同期64Kに対応していること

※ 上記の条件が整っていても、基地局が混雑していたり、電波状況が悪かったりするときは通信できない場合があります。

データ転送（OBEX™通信／同期）の準備の流れ

■ 赤外線／Bluetooth機能で送受信する場合

赤外線通信／Bluetooth機能での送受信の準備をする※

※『F1100取扱説明書』の「外部接続」章をご覧ください。

■ ActiveSync／Microsoft Mobileデバイスセンターで送受信する場合

ActiveSync／Microsoft Mobileデバイスセンターをインストール、ダウンロードする※

- 付属のCD-ROMからインストール

または

- Microsoftのホームページからダウンロードし、インストール

※『F1100取扱説明書』の「外部接続」章をご覧ください。

↓

データ転送／同期

データ通信の準備の流れ

パケット通信および64Kデータ通信を利用する場合の準備について説明します。

■ USBケーブルで接続する場合

FOMA通信設定ファイルをインストール、ダウンロードする→P9
- 付属のCD-ROMからインストール

または
- ドコモのホームページからダウンロードし、インストール

↓

パソコンとFOMA端末を接続する→P7

↓

FOMA通信設定ファイルを確認する→P11

■ Bluetooth機能で接続する場合

パケット接続設定でBluetooth機能での接続先を登録する→P13

↓

FOMA端末とパソコンを接続する→P13

↓

モデムの確認をする→P14

（USBケーブルで接続する場合）

FOMA PC設定ソフトをインストールする→P15

USBでのダイヤルアップネットワークを設定する→P35

※パケット通信でmopera UなどHIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用する場合は、FOMA PC設定ソフトを利用して設定してください。

（Bluetooth機能で接続する場合）

Bluetooth機能でのダイヤルアップネットワークを設定する→P50

（FOMA PC設定ソフトをインストール後）

かんたん設定でパケット通信を設定する
- mopera U／mopera→P17
- その他のプロバイダ→P20

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する
- mopera U／mopera→P24
- その他のプロバイダ→P26

↓

通信を実行する→P28

FOMA通信設定ファイルについて

パソコンに接続してパケット通信または64Kデータ通信を行うには、FOMA通信設定ファイルをインストールする必要があります。

FOMA PC設定ソフトについて

付属のCD-ROMからFOMA PC設定ソフトをパソコンにインストールすると、パケット通信または64Kデータ通信を行うために必要なさまざまな設定を、パソコンから簡単に操作できます。

● FOMA端末とパソコンをBluetooth機能で接続するときは、FOMA PC設定ソフトを利用できません。

インストール／アンインストール前の注意点

● FOMA通信設定ファイルやFOMA PC設定ソフトのインストール／アンインストールを行う場合は、必ずパソコンの管理者権限を持ったユーザーで行ってください。それ以外のユーザーで行うとエラーになる場合があります。Windows Vistaの場合、「ユーザーアカウント制御」画面が表示されたときは、「許可」または「続行」をクリックするか、パスワードを入力して「OK」をクリックしてください。パソコンの管理者権限の設定操作については、各パソコンメーカやマイクロソフト社にお問い合わせください。
● 操作を始める前に他のプログラムが稼動中でないことを確認し、稼動中のプログラムがある場合は終了してください。
● パソコンの操作方法、管理者権限の設定などについては、パソコンの取扱説明書をご覧ください。

■ データ通信の用語集

● **APN（Access Point Name）**
パケット通信で接続するプロバイダなどを識別する文字列。例えば、mopera Uは「mopera.net」がAPNとなります。

● **cid（Context Identifier）**
FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号。FOMA端末では1から10までの10件が使えます。

● **DNS（Domain Name System）**
ドメインネーム（例：nttdocomo.co.jp）を、コンピュータで使うIPアドレスに変換するシステムのことです。

● **HSDPA（High Speed Downlink Packet Access）**
第3世代（3G）携帯電話方式「W-CDMA」のデータ通信を高速化した規格です。

● **QoS（Quality of Service）**
サービスの品質。通信時にユーザーの意図どおりに、回線を利用するための技術。FOMA端末では、接続するときの通信速度などを設定できます。

● **通信設定最適化**
FOMAネットワークでパケット通信を行う際に、TCP/IPの伝送能力を最大限に生かすためのTCPパラメータ。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この通信設定が必要です。

● **管理者権限**
OSのシステムなどすべてにアクセスできる権限のこと。1台のパソコンに最低1人は、パソコンの管理者権限を持つユーザーが設定されています。通常、パソコンの管理者権限がないユーザーは、ドライバやソフトなどのインストール／アンインストールができません。

パソコンとFOMA端末をUSBケーブルで接続する

● パソコンとFOMA端末は、電源が入っている状態で接続してください。
● 初めてパソコンに接続する場合は、あらかじめFOMA通信設定ファイルをインストールしてください。→P9

USBモードを切り替える

FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続してデータ通信を行うには、FOMA端末のUSB動作モードを「通常モード」に切り替えます。

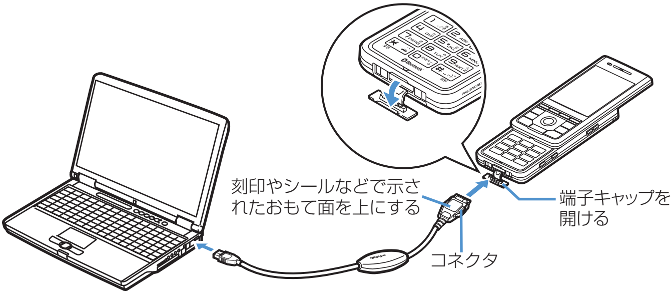
1 [−] [スタート] → [管理] → [USBモード切替] → [通常モード] → [−] [完了]

USBケーブルで接続する

1 USBケーブルのコネクタをFOMA端末の外部接続端子に差し込む

2 USBケーブルのパソコン側をパソコンのUSBポートに差し込む

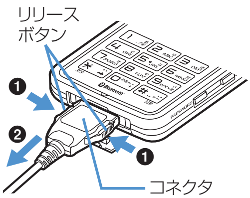
- FOMA通信設定ファイルのインストール前にパソコンに接続した場合は、USBケーブルが差し込まれたことを自動的に認識してドライバが要求され、ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を取り外します。Windows 2000、Windows XPではウィザード画面で[キャンセル]をクリックして終了してください。



- パソコンとFOMA端末が接続されると、FOMA端末のホームスクリーンに が表示されます。ただし、ホームスクリーンの設定が「情報キャンバス標準」または「情報キャンバス詳細」以外の場合、 は表示されません。
- 「卓上ホルダF23（別売）」を使用してパソコンとUSB接続することもできます。

取り外しかた

1 USBケーブルのコネクタのリリースボタンを押し（❶）、FOMA端末から引き抜く（❷）



2 パソコンからUSBケーブルを引き抜く

お知らせ

- FOMA端末からUSBケーブルを抜き差しする際は、コネクタ部分に無理な力がかからないように注意してください。取り外すときは、必ずリリースボタンを押しながら水平に引き抜いてください。無理に引き抜こうとすると故障の原因となります。
- データ通信中にUSBケーブルを外さないでください。データ通信が切断され、誤動作やデータ消失の原因となります。

卓上ホルダでUSB接続する

FOMA端末をセットした卓上ホルダF23（別売）を経由してパソコンとUSB接続します。

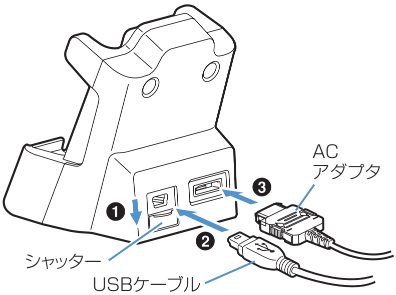
- 市販のUSBケーブルは、USB1.1／USB2.0規格に準拠している必要があります。また、コネクタの形状は、どちらか一方がUSBミニBコネクタのケーブルをご使用ください。
- 卓上ホルダへFOMA端末をセットするときや取り外すときは、FOMA端末を閉じた状態にしてください。
- 必ず卓上ホルダF23の取扱説明書をご覧になり、卓上ホルダF23について確認してください。

お知らせ

- 卓上ホルダとパソコンをFOMA 充電機能付USB接続ケーブル01／02（別売）またはFOMA USB接続ケーブル（別売）で接続した場合、USB接続によるデータ通信はご利用いただけません。

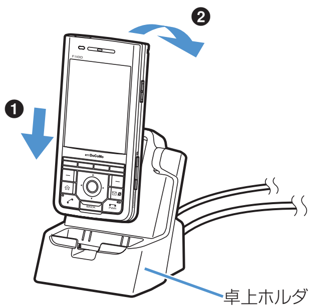
1 **卓上ホルダの背面にあるシャッターを❶の方向にスライドさせ、卓上ホルダに市販のUSBケーブル（ミニBコネクタ）を接続し（❷）、ACアダプタを接続する（❸）**

- ACアダプタの接続方法についての詳しい説明は、『F1100取扱説明書』の「ご使用前の確認」章をご覧ください。
- ACアダプタは、卓上ホルダに接続した後、コンセントに差し込んでください。



2 **FOMA端末を卓上ホルダの充電端子に合わせて❶の方向へ差し込み、❷の方向へ突き当たるまで押し込む**

- 接続中は、ホームスクリーンに が表示されます。ただし、ホームスクリーンの設定が「情報キャンバス標準」または「情報キャンバス詳細」以外の場合、 は表示されません。
- FOMA端末のUSB動作モードを「通常モード」に切り替えていても、付属のCD-ROMに収納されている通信設定ファイルをパソコンにインストールしていない場合は、パソコンの画面に新しいハードウェアの検出ウィザード画面が表示されます。その場合は、FOMA端末を卓上ホルダから取り外し、検出ウィザード画面で［キャンセル］をクリックして終了してください。



お知らせ

- データ通信中にUSBケーブルを抜いたり、卓上ホルダからFOMA端末を外したりしないでください。また、FOMA端末を開いたり、FOMA端末や卓上ホルダに衝撃を与えたりすると、データ通信の切断、誤動作、データ消失などの原因となるため、ご注意ください。
- データ通信中に充電を開始した場合、充電が完了しない場合があります。充電を完了したい場合は、データ通信を終了してから充電することをおすすめします。

FOMA通信設定ファイルをインストールする

FOMA端末をパソコンに接続してデータ通信を行うには、FOMA通信設定ファイル（ドライバ）が必要です。使用するパソコンにFOMA端末を初めて接続する前に、インストールしておきます。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をインストールする

- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P6
- Bluetooth機能で接続する場合は、FOMA通信設定ファイルのインストールは必要ありません。
- 操作4までFOMA端末をパソコンに接続しないでください。

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット



2 ［各種設定ソフト］→「FOMA通信設定ファイル（USBドライバ）」の［インストール］を順にクリックし、表示されるウィンドウから「F1100st.exe」アイコンをダブルクリック



- ［インストール］をクリックすると、セキュリティの警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［実行］をクリックしてください。

3 ［インストール開始］をクリック



4 FOMA端末をパソコンに接続する旨のメッセージが表示されたら、FOMA端末をパソコンに接続



- FOMA端末は電源の入った状態で接続してください。

5 インストール完了画面で［OK］をクリック



- 続いてFOMAバイトカウンタをインストールします。FOMAバイトカウンタとは、携帯電話とパソコンを接続してデータ通信を行った際の、データ通信料金の概算を把握するソフトウェアです。FOMAバイトカウンタが稼動しているときは、終了させてください。
- ［OK］をクリックすると、セキュリティの警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［実行］をクリックしてください。

6 「FOMAバイトカウンタセットアップへようこそ」画面で［次へ］をクリック

7 「注意事項」をお読みの上、［次へ］をクリック

8 「使用許諾契約」画面で内容を確認の上、契約内容に同意する場合は「使用許諾契約の全条項に同意します」をクリックし、［次へ］をクリック

9 「インストール先の選択」画面でインストール先を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合は［変更］をクリックし、任意のインストール先を指定して［OK］をクリックします。

10 「インストール準備の完了」画面で［インストール］をクリック

11 「InstallShield Wizardの完了」画面で［完了］をクリック

12 「FOMAバイトカウンタ」画面で［OK］をクリックし、ご利用に合わせてオプション設定を行う

- オプション設定の方法や、FOMAバイトカウンタの使いかたについては、『FOMAバイトカウンタ操作マニュアル』を参照してください。

お知らせ

- インストールには数分かかる場合があります。
- Windowsを再起動する旨のメッセージが表示された場合は、画面の指示に従い再起動してください。
- データ通信中にインストールを行わないでください。

FOMA通信設定ファイルを確認する

● FOMA端末がパソコンに正しく認識されていない場合、設定および通信はできません。

〈例〉Windows XPで確認するとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［システム］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

操作3に進みます。

2 ［ハードウェア］タブをクリック→［デバイス マネージャ］をクリック



3 各デバイスの種類をダブルクリック→次のデバイス名が登録されていることを確認



- デバイスの種類とデバイス名は次の通りです。
  - USB（Universal Serial Bus）またはユニバーサルシリアルバスコントローラ：FOMA F1100
  - ポート（COMとLPT）：
    FOMA F1100 Command Port（COMx※）
    FOMA F1100 OBEX Port（COMx※）
  - モデム：FOMA F1100

※ xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。

FOMA通信設定ファイル（ドライバ）をアンインストールする

● 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P6
● 操作の前に、パソコンからFOMA端末を取り外してください。

〈例〉Windows XP でアンインストールするとき

1 ［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき
［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき
（スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

2 「プログラムの追加と削除」画面で「FOMA F1100 USB」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows 2000のとき
「アプリケーションの追加と削除」画面で「FOMA F1100 USB」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows Vistaのとき
「プログラムのアンインストールまたは変更」画面で「FOMA F1100 USB」を選択して「アンインストールと変更」をクリック

3 「FOMA F1100 Uninstaller」と表示されていることを確認して［はい］をクリック

ドライバのアンインストールを開始します。



4 ドライバのアンインストール中画面の表示後に［OK］をクリック

お知らせ

• 操作2で「FOMA F1100 USB」が表示されていないときは、再度「FOMA通信設定ファイルをインストールする」の操作を行ったあとに、アンインストールを行ってください。→P9

パソコンとFOMA端末をBluetooth機能で接続する

パケット接続設定でBluetooth機能での接続先を登録する

Bluetooth機能を利用してパケット接続を行うには、moperaなどの接続先を登録しておきます。

〈例〉mopera（mopera.ne.jp）を接続先に登録する場合

1 **[−]［スタート］→［設定］→［接続］→［パケット接続設定］→[−]［メニュー］→［追加］**

アカウント設定画面が表示されます。

2 **各項目を設定→[−]［次へ］**

アカウント名：任意の接続先名を入力（例：「mopera」など）
通信タイプ：「PPP接続」を選択

3 **各項目を設定→[−]［次へ］→[−]［完了］**

アクセスポイント名：「mopera.ne.jp」と入力

- moperaまたはmopera Uを接続先に設定する場合は、ユーザ名、パスワード、ドメインは省略できます。

4 **追加した接続先にカーソルを合わせて[−]［メニュー］→［編集］→ダイヤルアップ接続の電話番号を確認**

- 表示される電話番号「＊99＊＊＊nn#」（nnは数字）はパソコン側に設定する発信先電話番号です。ダイヤルアップの設定を行う際に必要となります。

5 **[−]［キャンセル］→[−]［完了］**

FOMA端末とパソコンを接続する

パソコンとFOMA端末をお互いに機器登録します。

- 機器登録が終了すると、次回の接続時には機器登録は必要ありません。接続方法については、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。

1 **[−]［スタート］→［設定］→［接続］→［Bluetooth］→[−]［メニュー］→［検出可能にする］**

2 **パソコンからBluetooth機器の検索・登録操作を行う**

FOMA端末の画面に、デバイス追加の確認画面が表示されます。

- パソコンからの操作については、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。

3 **[−]［はい］→パスコードを入力→[−]［次へ］**

機器登録が完了し、FOMA端末とパソコンがBluetooth機能で接続されます。

- パケット接続設定の通知画面が表示された場合は、しばらくすると画面が閉じます。設定を行う場合は[−]［はい］、設定を行わない場合は[−]［いいえ］を押します。

4 **[−]［OK］→デバイスの表示名を確認→[−]［次へ］→[−]［完了］**

モデムを確認する

データ通信の設定を行うため、モデムに割り当てられたCOMポートの番号を確認します。

〈例〉Windows XPで確認するとき

1 ［スタート］→［コントロールパネル］→［パフォーマンスとメンテナンス］アイコン→［システム］アイコンを順にクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［システム］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「コントロールパネル」→「システムとメンテナンス」→「デバイスマネージャ」を順にクリック

操作3に進みます。

2 ［ハードウェア］タブをクリック→［デバイスマネージャ］をクリック

3 「モデム」をダブルクリック→モデム名をダブルクリック→「モデム」タブをクリック



- 画面の左上に、FOMA端末のCOMポート番号が表示されます。
- ご利用になる機器によってCOMポート番号が異なります。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

接続を終了する

データ通信を終了するには、Bluetooth通信を切断します。切断方法については、ご利用になる機器の取扱説明書を参照してください。

● FOMA端末から切断する場合は、[-]［スタート］→［設定］→［接続］→［Bluetooth］を順に選択し、[-]［メニュー］を押して［Bluetoothをオフにする］を選択します。

FOMA PC設定ソフトを利用して通信する

FOMA PC設定ソフトを利用すると、簡単な操作で通信の設定が行えます。

- FOMA端末とパソコンをBluetooth機能で接続するときは、FOMA PC設定ソフトを利用できません。Bluetooth機能を利用する場合は、ダイヤルアップネットワークを設定してください。→P50
- PDP（Packet Data Protcol）タイプ＝IP接続には対応していません。必ずPPP接続で設定してください。

FOMA PC設定ソフトについて

かんたん設定

ガイドに従い操作することで、FOMAデータ通信用ダイヤルアップの作成を行い、同時に通信設定最適化などを行います。

通信設定最適化

パケット通信を利用する前に、パソコン内の通信設定を最適化します。通信性能を最大限に活用するには、通信設定最適化が必要になります。

接続先（APN）の設定

パケット通信を行う際に必要な接続先（APN）の設定を行います。接続先には通常の電話番号は使用しません。あらかじめ接続先ごとに、FOMA端末にAPNと呼ばれる接続先名を設定し、その登録番号（cid）を接続先電話番号の入力欄に指定して接続します。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されていますが、その他のプロバイダや社内LANに接続する場合はAPN設定が必要です。

FOMA PC設定ソフトをインストールする

- 旧W-TCP環境設定ソフト、旧FOMAデータ通信設定ソフト、バージョンが4.0.0より前のFOMA PC設定ソフトをインストールされている場合は、あらかじめそれらのソフトをアンインストールしてください。
  FOMA PC設定ソフトのバージョンを確認するには、FOMA PC設定ソフトの起動画面で「メニュー」をクリック→「バージョン情報」をクリックします。
  FOMA PC設定ソフトの起動方法の表示方法→P17「かんたん設定でパケット通信を設定する」の「mopera U／moperaを利用する場合」操作1
- 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P6

〈例〉Windows XPにインストールするとき

1 CD-ROMをパソコンにセット



2 ［各種設定ソフト］→「FOMA PC設定ソフト」の［インストール］を順にクリック



- ［インストール］をクリックすると、セキュリティの警告画面が表示される場合があります。この警告は、Internet Explorerのセキュリティの設定によって表示されますが、使用には問題ありません。［実行］または［実行する］をクリックしてください。

3 「FOMA PC設定ソフト セットアップへようこそ」画面で［次へ］をクリック

4 「使用許諾契約」画面で内容を確認の上、契約内容に同意する場合は［はい］をクリック

- ［いいえ］をクリックすると、インストールを中止します。

■ Windows Vistaのとき

操作6に進みます。

5 「セットアップタイプ」画面で「タスクトレイに常駐する」を選択して［次へ］をクリック

セットアップ後、タスクトレイに「通信設定最適化」が常駐します。→P30

- インストール後に常駐の設定は変更できます。

6 「インストール先の選択」画面でインストール先を確認して［次へ］をクリック

- 変更する場合は［参照］をクリックし、任意のインストール先を指定して［OK］をクリックします。

7 「プログラム フォルダ」のフォルダ名を確認して［次へ］をクリック



・変更する場合はフォルダ名を入力し、［次へ］をクリックします。

8 ［完了］をクリック

FOMA PC設定ソフトが起動します。このまま各種設定に進みます。

お知らせ

・旧W-TCP環境設定ソフト、旧FOMAデータ通信設定ソフト、FOMA PC設定ソフトがインストールされている場合は、インストールを中断する旨のメッセージが表示されます。［OK］をクリックし、プログラムの追加と削除またはアプリケーションの追加と削除から、これらのソフトをアンインストールしてください。
・インストールの途中で［キャンセル］や［いいえ］をクリックした場合は、インストールを中断する確認画面が表示されます。インストールを継続する場合は［いいえ］をクリックしてください。中断する場合は［はい］をクリックし、［完了］をクリックしてください。

かんたん設定でパケット通信を設定する

FOMA PC設定ソフトのかんたん設定では、表示される内容に従って選択や入力を進めていくと、簡単にFOMA用ダイヤルアップを作成できます。

● 操作の前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P7

● Windows Vistaをお使いの場合は、一部画面が異なります。

mopera U／moperaを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

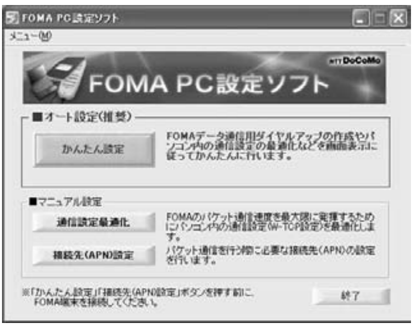
1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック



2 「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択して［次へ］をクリック



- mopera に接続する場合は「パケット通信」を選択します。

■ Windows Vistaのとき

「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック



- 「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

5 「接続名」に任意の接続名を入力→「設定しない（推奨）」または「186を付加する（通知する）」を選択→接続方式を選択→［次へ］をクリック



- 「接続名」の先頭に .（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。¥/:＊?!<>｜”
- 外部データ通信の接続設定では、PDPタイプ=IP接続に対応していません。必ずPPP接続で設定してください。

6 「使用可能ユーザーの選択」を設定して［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

［次へ］をクリック

操作8に進みます。



- 「ユーザID」「パスワード」は空欄でもかまいません。

7 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック



- 既に最適化されている場合、この画面は表示されません。
- 操作２で「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択した場合は、［次へ］をクリックすると個別の最適化設定はできない旨のメッセージが表示されます。すべてのダイヤルアップ設定をHIGH-SPEED用に最適化する場合は「はい」を選択します。64Kデータ通信やFOMA端末以外で通信を行う場合はご注意ください。

8 「設定情報」を確認して［完了］をクリック



9 ［OK］をクリック

設定した内容によっては、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

通信を実行する→P28

その他のプロバイダを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

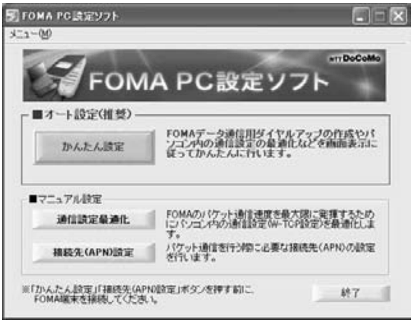
1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック



2 「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択して［次へ］をクリック



- HIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントに接続する場合は「パケット通信」を選択します。

■ Windows Vistaのとき

「パケット通信」を選択して［次へ］をクリック

3 「その他」を選択して［次へ］をクリック



4 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

5 「接続名」に任意の接続名を入力→［接続先（APN）設定］をクリック



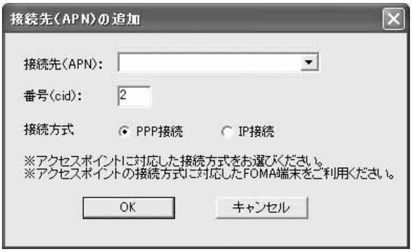
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「接続名」の先頭に .（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<> | ”
- プロバイダなどから IP および DNS 情報の設定が指示されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録してください。

6 ［追加］をクリック

番号（cid）1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。番号（cid）2または4～10に接続先（APN）を設定してください。



7 「接続先（APN)」にプロバイダなどのFOMAパケット網に対応した接続先（APN）を正しく入力→接続方式を選択→［OK］をクリック



- 「接続先（APN)」には半角文字で、英数字、ハイフン（-）、ピリオド（.）のみ使用できます。

8 ［OK］をクリック



9 「接続先（APN）の選択」の接続先名を確認して［次へ］をクリック

「接続先（APN）の選択」には、操作7で設定した「接続先（APN)」と「接続方式」が表示されます。



10 「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

操作12に進みます。



- 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

11 「最適化を行う」が選択されていることを確認して［次へ］をクリック



- 既に最適化されている場合、この画面は表示されません。
- 操作２で「パケット通信（HIGH-SPEED対応端末）」を選択した場合は、［次へ］をクリックすると個別の最適化設定はできない旨のメッセージが表示されます。すべてのダイヤルアップ設定をHIGH-SPEED用に最適化する場合は「はい」を選択します。64Kデータ通信やFOMA端末以外で通信を行う場合はご注意ください。

12 「設定情報」を確認して［完了］をクリック



13 ［OK］をクリック

設定した内容によっては、パソコンを再起動する必要があります。再起動する旨のメッセージが表示された場合は［はい］をクリックしてください。

通信を実行する→P28

かんたん設定で64Kデータ通信を設定する

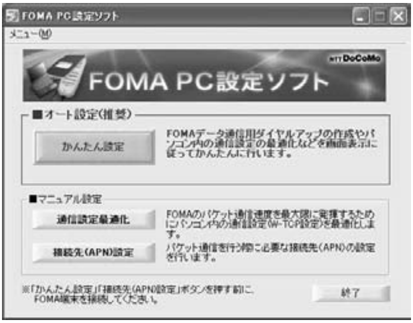
mopera U／moperaを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき
［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき
（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック



2 「64Kデータ通信」を選択して［次へ］をクリック



3 「『mopera U』への接続」または「『mopera』への接続」を選択して［次へ］をクリック



- 「『mopera U』への接続」を選択して［次へ］をクリックすると、ご契約の確認メッセージが表示されます。ご契約がお済みの場合、［はい］をクリックします。

4 「接続名」に任意の接続名を入力→「モデムの選択」が「FOMA F1100」に設定されていることを確認→「設定しない」または「186を付加する（通知する）」を選択→［次へ］をクリック



- 「接続名」の先頭に．（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<>｜"

5 「使用可能ユーザーの選択」を設定して［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

［次へ］をクリック



- 「ユーザID」「パスワード」は空欄でもかまいません。

6 「設定情報」を確認して［完了］をクリック



7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P28

その他のプロバイダを利用する場合

〈例〉Windows XPで設定するとき

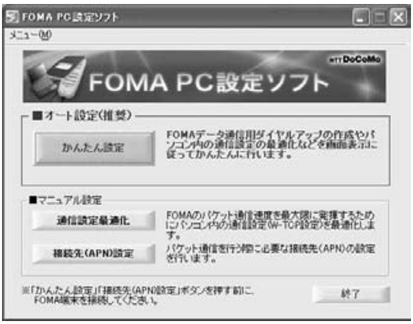
1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［かんたん設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［かんたん設定］を順にクリック



2 「64Kデータ通信」を選択して［次へ］をクリック



3 「その他」を選択して［次へ］をクリック



4 「接続名」に任意の接続名を入力→「モデムの選択」が「FOMA F1100」に設定されていることを確認→「電話番号」に接続先の電話番号を半角で入力→［次へ］をクリック



- 「接続名」の先頭に .（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 「電話番号」はプロバイダなどから提供された情報を基に正しく入力してください。次の文字（半角文字）と半角空白が使用できます。
  0123456789ABCDPTWabcdptw!@$-.()+＊#,&
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録してください。

5 「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック

■ Windows Vistaのとき

「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック



• 「ユーザID」「パスワード」には、プロバイダなどから提供された各種情報を、大文字、小文字などに注意し、正しく入力してください。

6 「設定情報」を確認して［完了］をクリック



7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P28

通信を実行する

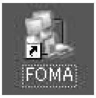
通信の実行や切断について説明します。

〈例〉Windows XPで実行するとき

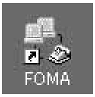
1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P7、13

2 デスクトップの接続アイコンをダブルクリック



Windows XP



Windows 2000



Windows Vista

- 接続アイコンが表示されていない場合は、次のスタートメニューからの接続方法を利用してください。

■ Windows XPのスタートメニューから接続するとき

［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows 2000のスタートメニューから接続するとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→接続アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのスタートメニューから接続するとき

（スタート）→「接続先」を順にクリック→接続先を選択して［接続］をクリック

3 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［ダイヤル］をクリック



- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 設定中に「ユーザー名」の入力や「パスワード」の保存をした場合、入力は不要です。
- 接続完了画面が表示された場合は［OK］をクリックしてください。

お知らせ

- FOMA 端末には、パケット通信を実行すると発信中画面が、64K データ通信を実行すると呼出中画面が表示され、接続すると次の画面が表示されます。



パケット通信のとき



64Kデータ通信のとき

- パソコンに表示される通信速度は、実際の通信速度とは異なる場合があります。
- 通信を実行する場合、アイコン作成時のFOMA端末を接続した場合のみ有効です。

通信を切断する

パソコンのブラウザを終了しただけでは切断されない場合があります。確実に切断するには、次の操作を行ってください。

〈例〉Windows XPで通信を切断するとき

1 **タスクトレイの をクリック→［切断］をクリック**

■ Windows Vistaのとき

タスクトレイの を右クリック→「切断」を選択して切断する接続先をクリック



パケット通信の設定を最適化する<通信設定最適化>

通信設定最適化とは、Windows 2000、Windows XPをお使いの場合に、FOMAネットワークでパケット通信を行う際にTCP/IPの伝送能力を最適化するためのTCPパラメータ設定ツールです。FOMA端末の通信性能を最大限に活用するには、この設定が必要です。

通信設定最適化を利用してパソコンのパケット通信の設定をFOMAネットワーク用に最適化する方法と、最適化を解除する方法について説明します。

〈例〉Windows XPで最適化するとき

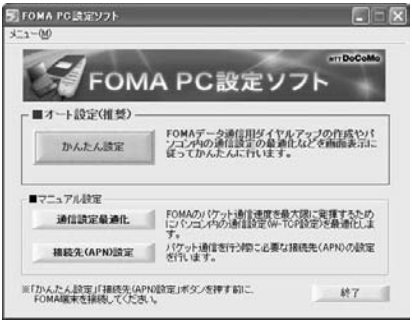
1 **［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［通信設定最適化］をクリック**

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［通信設定最適化］をクリック

■ タスクトレイから通信設定最適化を起動するとき

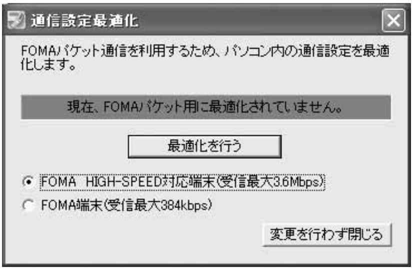
タスクトレイの をクリック



2 次の操作を行う

■ システム設定が最適化されていないとき

①「通信設定最適化」画面で［最適化を行う］をクリック

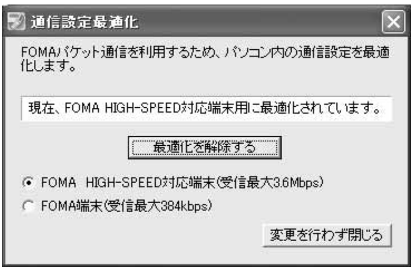


- HIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用する場合は、「FOMA HIGH-SPEED対応端末（受信最大3.6Mbps）」を選択します。［最適化を行う］をクリックすると「HIGH-SPEED対応端末の確認」画面が表示されます。「はい」を選択すると、すべてのダイヤルアップ設定がHIGH-SPEED用に最適化されますので、64Kデータ通信など、複数のダイヤルアップ設定がある場合はご注意ください。
- HIGH-SPEEDに対応していないアクセスポイントを利用する場合は、「FOMA端末（受信最大384kbps）」を選択します。

②［OK］をクリック

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が実行されます。

■ システム設定が最適化されているとき



①「通信設定最適化」画面で「最適化を解除する」をクリック

②「OK」をクリック

システム設定、ダイヤルアップ設定それぞれの最適化が解除されます。

3 画面に従ってパソコンを再起動

設定を有効にするには、パソコンの再起動が必要です。［いいえ］を選択したときは、次回起動後に設定が有効になります。

お知らせ

- Windows XPで「FOMA端末（受信最大384kbps）」を選択した場合は、ダイヤルアップ設定ごとに最適化を選択／解除することができます。

接続先（APN）を設定する

パケット通信を行う場合の接続先（APN）を設定します。

- 操作の前に、必ずパソコンとFOMA端末が正しく接続されていることを確認してください。→P7
- 接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が設定されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを設定します。
- 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。

〈例〉Windows XPで設定するとき

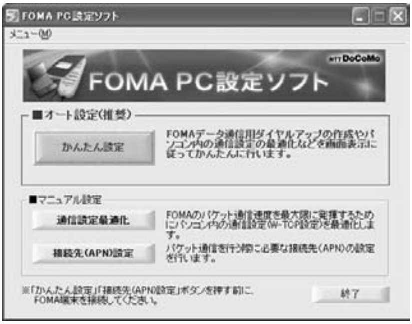
1 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［接続先（APN）設定］をクリック

■ Windows 2000のとき

［スタート］をクリック→「プログラム」→「FOMA PC設定ソフト」を順に選択して「FOMA PC設定ソフト」をクリック→［接続先（APN）設定］をクリック

■ Windows Vistaのとき

（スタート）→「すべてのプログラム」→「FOMA PC設定ソフト」→「FOMA PC設定ソフト」→［接続先（APN）設定］を順にクリック



2 「FOMA端末設定取得」画面で［OK］をクリック

3 接続先（APN）の設定を行う



■ 接続先（APN）を追加するとき

［追加］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を編集・修正するとき

編集・修正する接続先（APN）を選択して［編集］をクリック

■ 登録済みの接続先（APN）を削除するとき

削除する接続先（APN）を選択して［削除］をクリック→［OK］をクリック

- 番号（cid）の1と3に登録されている接続先（APN）は削除できません。削除を実行してFOMA端末に設定を書き込んだ場合でも、実際には削除されず元の設定に戻ります。

■ ファイルへ保存するとき

「ファイル」をクリック→「名前を付けて保存」または「上書き保存」をクリック

- FOMA端末に登録された接続先（APN）設定のバックアップを取ったり、編集中の接続先（APN）設定を保存するときに利用します。

■ ファイルから読み込むとき

「ファイル」をクリック→「開く」をクリック

- パソコンに保存された接続先（APN）設定を再編集したり、FOMA端末に書き込みをしたりするときに利用します。

■ FOMA端末から接続先（APN）情報を読み込むとき

「ファイル」をクリック→「FOMA端末から設定を取得」をクリック

- FOMA端末に手動でアクセスし、登録された接続先（APN）設定を読み込みます。

■ FOMA端末に接続先（APN）情報を書き込むとき

［FOMA端末へ設定を書き込む］をクリック→［はい］をクリック

- 表示されている接続先（APN）設定がFOMA端末に書き込まれます。

■ ダイヤルアップを作成するとき

①追加、編集した接続先（APN）を選択して［ダイヤルアップ作成］をクリック

「FOMA端末設定書き込み」画面が表示されます。

②［はい］をクリック→［OK］をクリック

「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面が表示されます。

③「接続名」に任意の接続名を入力→［ユーザID・パスワードの設定］をクリック

- 「接続名」の先頭に.（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?!<>｜”
- 発信者番号通知の設定については、プロバイダなどから提供された各種情報に従ってください。
- 「186を付加する（通知する）」を選択すると、通信実行時に発信者番号を通知します。
- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、［ユーザID・パスワードの設定］はしなくてもかまいません。その場合は操作⑤に進みます。

④「使用可能ユーザーの選択」を設定→「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→［OK］をクリック

Windows Vistaのとき：「ユーザID」を入力→「パスワード」を入力→「OK」をクリック

- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「パケット通信用ダイヤルアップの作成」画面で［詳細情報の設定］をクリックし、各種情報を登録後、［OK］をクリックしてください。

⑤［OK］をクリック→［OK］をクリック

お知らせ

- 接続先（APN）設定はFOMA端末に登録される情報のため、異なるFOMA端末（故障修理により交換された端末など）を接続する場合は、APNを登録し直してください。
- パソコンに登録されている接続先（APN）を継続利用する場合は、同じAPNの登録番号（cid）をFOMA端末に登録してください。

FOMA PC設定ソフトをアンインストールする

● 操作の前に、必ず「インストール／アンインストール前の注意点」をご覧ください。→P6

アンインストールを実行する前に

タスクトレイに が表示されている場合は、 を右クリックし、「終了」をクリックして、通信設定最適化の常駐を解除してください。

アンインストールする

〈例〉Windows XPでアンインストールするとき

1 **［スタート］→「コントロールパネル」→［プログラムの追加と削除］アイコンを順にクリック**

■ Windows 2000のとき
［スタート］をクリック→「設定」から「コントロールパネル」をクリック→［アプリケーションの追加と削除］アイコンをダブルクリック

■ Windows Vistaのとき
（スタート）→「コントロールパネル」→「プログラムのアンインストール」を順にクリック

2 **「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［削除］をクリック**

■ Windows 2000のとき
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［変更と削除］をクリック

■ Windows Vistaのとき
「NTT DoCoMo FOMA PC設定ソフト」を選択して［アンインストール］をクリック



3 **「FOMA PC設定ソフトセットアップ」と表示されていることを確認して［はい］をクリック**

FOMA PC設定ソフトのアンインストールを開始します。



■ 最適化されている場合に解除するとき
解除するかどうかの確認画面で［はい］をクリック→「再起動の確認」画面で今すぐ再起動するかどうかを設定→［完了］をクリック
• 最適化の解除はパソコンの再起動後に行われます。

4 **［完了］をクリック**

USBでのダイヤルアップネットワークを設定する

FOMA PC設定ソフトを使わずに、ダイヤルアップ接続の設定を行う方法について説明します。

● パケット通信でmopera UなどHIGH-SPEED対応のアクセスポイントを利用する場合は、FOMA PC設定ソフトを利用して設定してください。

設定の流れ

データ通信の準備の流れ→P5

接続先（APN）を設定する※→P35
• 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、設定は不要です。

↓

発信者番号の通知／非通知を設定する→P37
• 必要に応じて設定してください。

↓

ダイヤルアップネットワークの設定をする

ご使用のOS	Windows Vista	Windows XP	Windows 2000
接続先の設定	P39	P42	P45
TCP/IP設定	P40	P44	P48

※ パケット通信の場合に設定します。
設定するには、ATコマンドを入力するための通信ソフトが必要です。
ここではWindows 2000、Windows XPに添付されている「ハイパーターミナル」を使った設定方法を説明します。Windows Vistaは「ハイパーターミナル」に対応していません。Windows Vistaの場合は、Windows Vista対応ソフトを使って設定してください（ご使用になるソフトの設定方法に従ってください）。

パケット通信の接続先（APN）を設定する

接続先（APN）と登録番号（cid）について

パケット通信の接続先（APN）は、FOMA端末の登録番号（cid）1～10に設定できます。お買い上げ時、cidの1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。その他のプロバイダや社内LANに接続する場合は、cid2または4～10にAPNを登録します。

● 接続先（APN）については、プロバイダまたはネットワーク管理者にお問い合わせください。
● 接続先の設定は、パケット通信用の連絡先登録として考えられます。接続先の設定項目をFOMA端末の連絡先と比較すると、次のようになります。

接続先の設定項目	FOMA端末の連絡先の登録項目
登録番号（cid）	登録番号（メモリ番号）
APN	相手の電話番号

● 登録したcidはダイヤルアップ接続設定での接続番号となります。

接続先（APN）を設定する

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P7

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→［OK］をクリック



- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>｜”

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F1100」に設定されていることを確認→［OK］をクリック



- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

6 接続先（APN）を「AT+CGDCONT=＜cid＞,"PPP","＜APN＞"」の形式で入力→↵

＜cid＞　：2または4～10の範囲で任意の番号
＜APN＞：接続先（APN）



- +CGDCONTコマンド→P58「ATコマンドの補足説明」
- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、↵を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック



8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

発信者番号の通知／非通知を設定する

発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

● mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

〈例〉Windows XPで設定するとき

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P7

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」（Windows 2000の場合は「プログラム」）→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ハイパーターミナル」をクリック

3 「名前」に接続先名など任意の名前を入力→［OK］をクリック



- 「名前」に次の記号（半角文字）は使用できません。
  ￥/:＊?<>|"

4 「電話番号」に実在しない電話番号（「0」など）を入力→「接続方法」が「FOMA F1100」に設定されていることを確認→［OK］をクリック

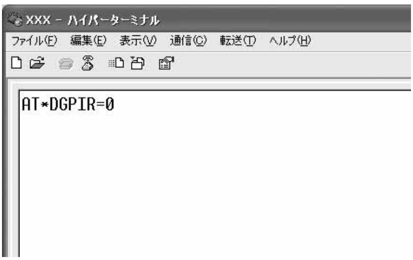


- 市外局番はパソコンの環境により異なります。接続先（APN）の設定とは関係ありませんので、変更不要です。

5 「接続」画面で［キャンセル］をクリック

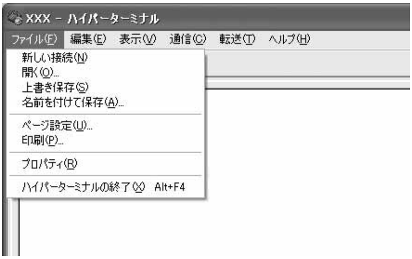
6 発信者番号の通知／非通知を「AT＊DGPIR=<n>」の形式で入力→⏎

<n>：0～2
0　：そのまま接続（お買い上げ時）
1　：184を付けて接続（非通知）
2　：186を付けて接続（通知）



- コマンドを入力しても画面に表示されない場合は、ATE1と入力し、⏎を押します。

7 「OK」と表示されていることを確認して「ファイル」をクリック→「ハイパーターミナルの終了」をクリック



8 切断の確認で「はい」をクリック→保存の確認で「いいえ」をクリック

ダイヤルアップネットワークでの通知／非通知設定について

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。

● ＊DGPIR コマンド、ダイヤルアップネットワークの設定の両方で設定を行った場合の発信者番号の通知／非通知は次のとおりです。

＊DGPIRコマンドによる設定 ／ ダイヤルアップネットワークの設定（<cid>=3の場合）	設定なし	非通知	通知
＊99＊＊＊3#	通知	非通知	通知
184＊99＊＊＊3#	非通知		
186＊99＊＊＊3#	通知		

Windows Vistaでダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P7

2 （スタート）→「接続先」を順にクリック

3 「接続またはネットワークをセットアップします」をクリック



4 「ダイヤルアップ接続をセットアップします」を選択して［次へ］をクリック

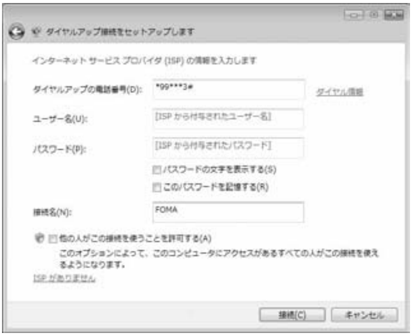


■「どのモデムを使いますか？」画面が表示されたとき

「FOMA F1100」をクリック

5 「ダイヤルアップの電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊<cid>#」）を半角で入力→「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「接続名」を入力して［接続］をクリック

＜cid＞：P36「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号



- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。
- 「接続名」の先頭に．（半角文字）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
￥/:＊?<>|

6 接続中の画面で［スキップ］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定だけを行います。

7 「インターネット接続テストに失敗しました」画面で「接続をセットアップします」をクリック

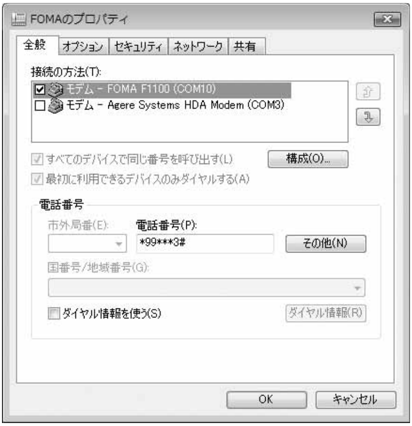
8 ［閉じる］をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 （スタート）→「接続先」を順にクリック

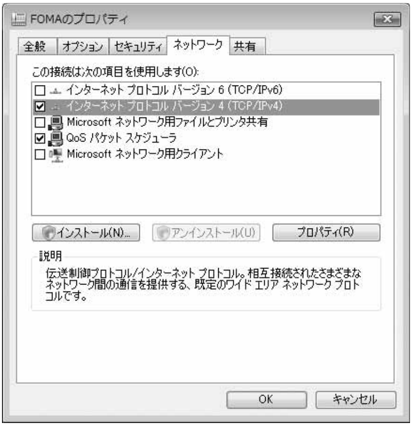
2 作成した接続先を右クリックして「プロパティ」をクリック

3 ［全般］タブの各項目の設定を確認



- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA F1100（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（ ）にします。

4 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定



- 「インターネットプロトコルバージョン6（TCP/IPv6）」を非選択（ ）にします。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコルバージョン4（TCP/IPv4）」を選択し［プロパティ］をクリックして、各種情報を設定してください。
- プロバイダなどから「QoSパケットスケジューラ」および、その他の項目についての指示がある場合は、必要に応じて選択、非選択を設定してください。

5 ［オプション］タブをクリック→［PPP設定］をクリック

6 すべての項目を非選択（ ）に設定→［OK］をクリック



7 ［OK］をクリック

通信を実行する→P28

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P7

2 ［スタート］をクリック→「すべてのプログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワーク接続」をクリック

3 「ネットワークタスク」の「新しい接続を作成する」をクリック



4 「新しい接続ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリック

5 「インターネットに接続する」を選択して［次へ］をクリック



6 「接続を手動でセットアップする」を選択して［次へ］をクリック



7 「ダイヤルアップモデムを使用して接続する」を選択して［次へ］をクリック



8 「モデム－FOMA F1100（COMx)」のみを選択して［次へ］をクリック



- xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます。
- インストールされているモデムが1台の場合、この画面は表示されません。

9 「ISP名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック



- 「ISP名」の先頭に．（半角ピリオド）は使用できません。また、次の記号（半角文字）は使用できません。
￥/:＊?<>｜”

10 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→［次へ］をクリック

＜cid＞：P36「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号



- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

11 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→「パスワードの確認入力」を入力→各項目を画面例のようにすべて選択して［次へ］をクリック



- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」「パスワードの確認入力」は空欄でもかまいません。

12 「新しい接続ウィザードの完了」画面で［完了］をクリック

13 「FOMAへ接続」画面で設定内容を確認して［キャンセル］をクリック

- ここではすぐに接続せずに、設定の確認だけを行います。
- 画面名の「FOMAへ接続」の「FOMA」は操作9で入力したISP名が反映されます。

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック



2 ［全般］タブの各項目の設定を確認



- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続方法」の「モデム－FOMA F1100（COMx）」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（ ）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定



- 「この接続は次の項目を使用します」の「QoS パケットスケジューラ」は設定を変更できませんので、そのままにしてください。
- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、「インターネットプロトコル（TCP/IP）」を選択し［プロパティ］をクリックして、各種情報を設定してください。

4 ［設定］をクリック

5 すべての項目を非選択（□）に設定→［OK］をクリック



6 「FOMAのプロパティ」画面で［OK］をクリック

通信を実行する→P28

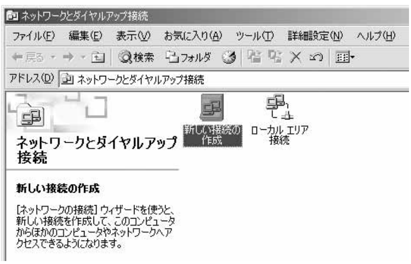
Windows 2000でダイヤルアップネットワークを設定する

接続先を設定する

1 パソコンとFOMA端末を接続

接続方法→P7

2 ［スタート］をクリック→「プログラム」→「アクセサリ」→「通信」を順に選択して「ネットワークとダイヤルアップ接続」をクリック→［新しい接続の作成］アイコンをダブルクリック



■「所在地情報」画面が表示されたとき

①「市外局番／エリアコード」に市外局番を入力→［OK］をクリック

②「電話とモデムのオプション」画面で［OK］をクリック

3 「ネットワークの接続ウィザードの開始」画面で［次へ］をクリック

4 「インターネットにダイヤルアップ接続する」を選択して［次へ］をクリック



5 「インターネット接続を手動で設定するか、またはローカルエリアネットワーク（LAN）を使って接続します」を選択して［次へ］をクリック

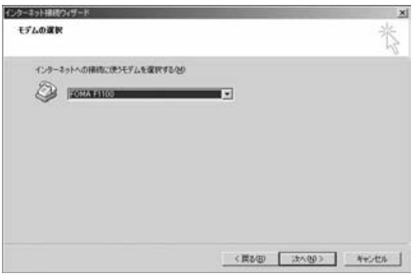


6 「電話回線とモデムを使ってインターネットに接続します」を選択して［次へ］をクリック



7 「インターネットへの接続に使うモデムを選択する」が「FOMA F1100」に設定されていることを確認して［次へ］をクリック

インストールされているモデムが1台の場合、この画面は表示されません。



8 「電話番号」に接続先の電話番号（パケット通信の場合は「＊99＊＊＊＜cid＞#」）を半角で入力→［詳細設定］をクリック

＜cid＞：P36「接続先（APN）を設定する」で登録したcid番号



- mopera Uまたはmoperaへ接続する場合は次のように入力します。

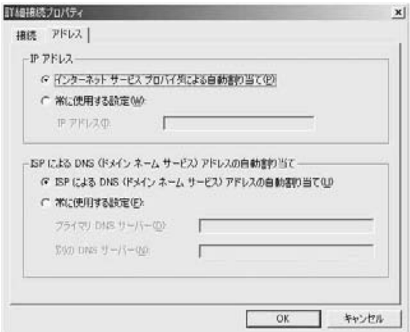
接続先	パケット通信	64Kデータ通信
mopera U	＊99＊＊＊3#	＊8701
mopera	＊99＊＊＊1#	＊9601

- 「市外局番とダイヤル情報を使う」を非選択（☐）にします。

9 ［接続］タブの各項目を画面例のように設定



10 ［アドレス］タブをクリック→各項目を設定



- プロバイダなどからIPおよびDNS情報の設定が指示されている場合は、各種情報を設定してください。
- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合は、設定を変更しなくてもかまいません。

11 ［OK］をクリック

12 ［次へ］をクリック

13 「ユーザー名」を入力→「パスワード」を入力→［次へ］をクリック



- 接続先がmopera Uまたはmoperaの場合、「ユーザー名」「パスワード」は空欄でもかまいません。［次へ］をクリックし、入力されていないことを確認する画面が表示されたら、［はい］をクリックします。

14 「接続名」に任意の接続名を入力→［次へ］をクリック



- 「接続名」の先頭に.(半角文字)は使用できません。

15 「いいえ」を選択して［次へ］をクリック



16 ［完了］をクリック

TCP/IPプロトコルを設定する

1 作成した接続先アイコンを選択して「ファイル」をクリック→「プロパティ」をクリック

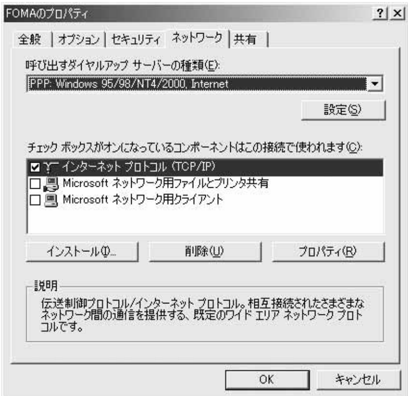


2 ［全般］タブの各項目の設定を確認



- 複数のモデムがインストールされている場合は、「接続の方法」の「モデム－FOMA F1100（COMx)」のみを選択します（xはパソコンの環境により、異なった数字が表示されます）。
- モデムを変更した場合は、「電話番号」の各項目が初期化されますので、もう一度接続先電話番号を入力してください。
- 「ダイヤル情報を使う」を非選択（ ）にします。

3 ［ネットワーク］タブをクリック→各項目を画面例のように設定



4 ［設定］をクリック→すべての項目を非選択（ ）に設定→［OK］をクリック



5 ［OK］をクリック

通信を実行する→P28

Bluetooth機能でのダイヤルアップネットワークを設定する

Bluetooth機能でのダイヤルアップ接続を設定するには、FOMA端末側でBluetooth機器を検出可能にしておく必要があります。パソコン側の設定方法は、ご利用になる機器によって異なります。詳しくは、ご利用になる機器の取扱説明書をご覧ください。

- ダイヤルアップの電話番号「＊99＊＊＊nn#」(nnは数字)は、「パケット接続設定でBluetooth機能での接続先を登録する（→P13)」で確認した電話番号です。
- 接続先によっては、ユーザー名、パスワードの入力が必要になります。
- Bluetooth機能のダイヤルアップ接続を設定する場合、ATコマンドによる設定は不要です。

FOMA端末を検出可能にする

FOMA端末を検出可能に設定しておくと、パソコン側からBluetooth機器として認識されます。

1 **[−]［スタート］→［設定］→［接続］→［Bluetooth］→[−]［メニュー］→［検出可能にする］**

発信者番号の通知／非通知を設定する

ダイヤルアップネットワークの設定でも、接続先の番号に186（通知）／184（非通知）を付けられます。発信者番号はお客様の大切な情報です。通知する際には十分にご注意ください。

- mopera Uまたはmoperaを利用する場合、「非通知」に設定すると接続できません。

ダイヤルアップネットワークの設定	通知非通知の区別
＊99＊＊＊3#	通知または非通知※
184＊99＊＊＊3#	非通知
186＊99＊＊＊3#	通知

※ FOMA端末の設定によって異なります。

ATコマンド

ATコマンドとは、パソコンでFOMA端末の各機能を設定するためのコマンド（命令）です。FOMA端末はATコマンドに準拠し、さらに拡張コマンドの一部や独自のATコマンドをサポートしています。

● ATコマンドは、FOMA端末とパソコンをUSBケーブルで接続した場合のみ利用できます。Bluetooth機能を利用してダイヤルアップ接続を行うには、「Bluetooth機能でのダイヤルアップネットワークを設定する」を参照してください。→P50

ATコマンドについて

ATコマンドの入力形式

ATコマンドは、コマンドの先頭に必ず「AT」を付けて、半角英数字で入力してください。

〈例〉ATDコマンドでmopera Uに接続するとき

ATD＊99＊＊＊3#↵

リターンマーク：Enterキーを押します。コマンドの区切りになります。

パラメータ：コマンドの内容です。

コマンド：コマンド名です。

ATコマンドは、コマンドに続くパラメータを含めて、必ず1行で入力します。1行とは最初の文字から↵を押した直前までの文字のことで、「AT」を含む最大160文字入力できます。

ATコマンドの入力モード

ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、パソコンをターミナルモードにしてください。ターミナルモードとは、パソコンを1台の通信端末のように動作させるモードです。ターミナルモードにすると、キーボードから入力された文字がそのまま通信ポートに送られ、FOMA端末を操作できます。

● オフラインモード
FOMA端末が待受の状態です。通常ATコマンドでFOMA端末を操作する場合は、この状態で操作します。

● オンラインデータモード
FOMA端末が通信中の状態です。この状態のときにATコマンドを入力すると、送られてきた文字をそのまま通信先に送信して、通信先のモデムを誤動作させる場合がありますので、通信中はATコマンドを入力しないでください。

● オンラインコマンドモード
FOMA端末が通信中の状態でも、ATコマンドでFOMA端末を操作できる状態です。その場合、通信先との接続を維持したままATコマンドを実行し、終了すると再び通信を続けられます。

■ **オンラインデータモードとオンラインコマンドモードを切り替えるとき**

FOMA端末をオンラインデータモードからオンラインコマンドモードに切り替えるには、次の方法があります。

- +++コマンドまたはS2レジスタに設定したコードを入力します。
- 「AT&D1」に設定されているときに、RS-232C※のER信号をOFFにします。
  ※ USBインタフェースにより、RS-232Cの信号線がエミュレートされていますので、通信アプリケーションによるRS-232Cの信号線制御が有効になります。

また、オンラインコマンドモードからオンラインデータモードに切り替えるには、「ATO↵」と入力します。

ATコマンド一覧

- FOMA F1100（モデム）で使用できるATコマンドです。
- パソコンや通信ソフトのフォント設定により、「￥」を入力しても「\」と表示される場合があります。
- FOMA端末の電源を切らずに電池パックを取り外した場合、設定値が記録されないことがあります。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
A/ A/ OK	直前に実行したコマンドを再実行します。 直前の応答が「ERROR」の場合は「ERROR」を返します。
AT AT ↵ OK	A/、+++以外のコマンドの先頭に付けて、本一覧のコマンドを使用します。本コマンドのみで使用すると、FOMA端末がATコマンドを使用できる状態のときに「OK」を返します。
ATA RING ATA ↵ CONNECT	パケット着信および64Kデータ通信の着信時に入力すると、着信処理を行います。 パケット着信中には次のコマンドが入力できます。 ATA184：発信者番号通知なし着信動作　　ATA186：発信者番号通知あり着信動作
ATD ATD＊99＊＊＊1# ↵ CONNECT	ATD＊99＊＊＊<cid>#：パケット通信の発信処理を行います。 <cid>または＊＊＊<cid>を省略すると<cid>=1になります。 ATDの後に186または184を挿入し、発信者番号の通知／非通知を指定できます。 ATD［パラメータ］［電話番号］：64Kデータ通信の発信処理を行います。 電話番号に次の文字以外を入力すると発信できません。 0～9、＊、#、A、a、B、b、C、c また、次の文字と空白は入力できますが、ダイヤル時には認識されません。 ,、!、-、@、D、d、P、p、T、t、W、w ATDNまたはATDLでリダイヤル発信ができます。
ATE<n> ※1 ATE1 ↵ OK	パソコンから送信されたコマンドに対して、FOMA端末がエコーを返すかどうかを設定します。 n=0：エコーバックなし　　n=1：エコーバックあり（お買い上げ時） 通常はn=1で使用します。パソコンにエコー機能がある場合、n=0に設定すると文字が二重に表示されなくなります。
ATH ATH ↵ NO CARRIER	通信中に入力すると、回線を切断します。 オンラインコマンドモードで実行してください。→P51
ATI<n> ATI0 ↵ NTT DoCoMo OK	確認コードを表示します。 n=0：「NTT DoCoMo」　　n=1：FOMA端末の機種名を表示 n=2：FOMA端末のバージョンを表示　　n=3：ACMP信号の要素を表示 n=4：FOMA端末で通信可能な機能の詳細を数値で表示
ATO ATO ↵ CONNECT	通信中にオンラインコマンドモードからオンラインデータモードに戻します。
ATQ<n> ※1 ATQ0 ↵ OK	リザルトコードを表示するかどうかを設定します。 n=0：表示（お買い上げ時）　　n=1：表示しない
ATS0=<n> ※1 ATS0=0 ↵ OK	FOMA端末が自動着信するまでの呼出回数を設定します。 n=0：自動着信なし（お買い上げ時）　　n=1～255：指定したリング数で自動着信 ATS0?：現在の設定を表示
ATS2=<n> ATS2=43 ↵ OK	エスケープキャラクタの設定を行います。 n=0～127（お買い上げ時n=43）　　n=127に設定するとエスケープは無効になります。 ATS2?：現在の設定を表示
ATS3=<n> ATS3=13 ↵ OK	コマンド文字列の最後を認識する復帰（CR）キャラクタの設定を行います。エコーバックされたコマンド文字列とリザルトコードの最後に付きます。 n=13（固定値） ATS3?：現在の設定を表示
ATS4=<n> ATS4=10 ↵ OK	改行（LF）キャラクタの設定を行います。英文字でリザルトコードを表示する場合、復帰（CR）キャラクタの後に付きます。 n=10（固定値） ATS4?：現在の設定を表示

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
ATS5=<n> ATS5=8 ↵ OK	バックスペース（BS）キャラクタの設定を行います。コマンド入力中にこのキャラクタを検出すると、入力バッファの最後のキャラクタを削除します。 n=8（固定値） ATS5?：現在の設定を表示
ATS6=<n> ATS6=5 ↵ OK	ダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=：2～10（お買い上げ時n=5） ATS6?：現在の設定を表示
ATS8=<n> ATS8=3 ↵ OK	カンマダイヤルするまでのポーズ時間（秒）を設定できますが、動作しません。 n=0～255（お買い上げ時n=3） ATS8?：現在の設定を表示
ATS10=<n> ※1 ATS10=1 ↵ OK	自動切断の遅延時間（1/10秒）を設定できますが、動作しません。 n=1～255（お買い上げ時n=1） ATS10?：現在の設定を表示
ATS30=<n> ATS30=0 ↵ OK	64Kデータ通信時、データの送受信がない場合に切断するまでの時間（分）を設定します。 n=0～255：（お買い上げ時n=0、n=0は不活動タイマOFF） ATS30?：現在の設定を表示
ATS103=<n> ATS103=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、着サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：＊　　n=1：/（お買い上げ時）　　n=2：￥または\\ ATS103?：現在の設定を表示
ATS104=<n> ATS104=1 ↵ OK	64Kデータ通信で、発サブアドレスを付けて発信する場合の区切りを設定します。 n=0：#　　n=1：%（お買い上げ時）　　n=2：& ATS104?：現在の設定を表示
ATV<n> ※1 ATV1 ↵ OK	リザルトコードの表示方法を設定します。 n=0：数字表示　　n=1：英文字表示（お買い上げ時）
ATX<n> ※1 ATX4 ↵ OK	ビジートーン、ダイヤルトーンの検出を行うかどうかと、接続時の「CONNECT」に速度を表示するかどうかを設定します。 ビジートーン検出：接続先が通話中のとき「BUSY」応答を送出 ダイヤルトーン検出：FOMA端末に接続されているかどうかを判定 n=0：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示なし n=1：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=2：ビジートーン検出なし、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり n=3：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出なし、速度表示あり n=4：ビジートーン検出あり、ダイヤルトーン検出あり、速度表示あり（お買い上げ時） n=0に設定すると、AT&EおよびAT￥Vコマンドが無効になります。
ATZ ※3 ATZ ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定を不揮発メモリの内容にリセットします。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してからリセットします。
AT%V AT%V ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT&C<n> ※1 AT&C1 ↵ OK	DTEへの回路CD（DCD）信号の動作条件を設定します。 n=0：常にON　　n=1：回線接続状態に従い変化（お買い上げ時） n=0に設定する場合は、接続完了時の「CONNECT」を送出する直前にCD信号をONにします。回路が切断され、「NO CARRIER」を送出する直前にCD信号をOFFにします。
AT&D<n> ※1 AT&D2 ↵ OK	オンラインデータモードのときに、DTEから受け取る回路ER（DTR）信号がONからOFFに変わったときの動作を設定します。 n=0：状態を無視（常にONとみなす） n=1：ONからOFFに変わるとオンラインコマンドモードに移行 n=2：ONからOFFに変わると回線を切断しオフラインモードに移行（お買い上げ時）
AT&E<n> ※1 AT&E1 ↵ OK	接続時の速度表示仕様を設定します。 n=0：無線区間通信速度を表示 n=1：パソコンとFOMA端末間の通信速度を表示（お買い上げ時）
AT&F AT&F ↵ OK（オフライン時）	FOMA端末のATコマンド設定をお買い上げ時の状態に戻します。 通信中に実行すると、回線を切断（「NO CARRIER」を表示）してから戻します。

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT&S<n> ※1	DTEへ出力するデータセットレディ（DR）信号の制御を設定します。 n=0：常にON（お買い上げ時）　n=1：接続時にON
AT&S0 ↵ OK	
AT&W	現在の設定をFOMA端末に記録します。
AT&W ↵ OK	
AT＊DANTE	FOMA端末の受信レベルを「＊DANTE：<n>」の形式で表示します。 n=0：圏外　n=1：FOMA端末の受信レベルのアンテナが0または1本 n=2：FOMA端末の受信レベルのアンテナが2本 n=3：FOMA端末の受信レベルのアンテナが3本 AT＊DANTE=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DANTE ↵ ＊DANTE：3 OK	
AT＊DGANSM=<n> ※2	パケット着信呼に対する着信拒否／許可を設定します。 n=0：着信拒否設定OFF、着信許可設定OFF（お買い上げ時） n=1：着信拒否設定ON　n=2：着信許可設定ON AT＊DGANSM? :現在の設定を表示　AT＊DGANSM=?： 設定可能な値のリストを表示
AT＊DGANSM=0 ↵ OK	
AT＊DGAPL=<n>[,<cid>] ※2	パケット着信呼に対して着信を許可する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信許可リストに追加　n=1：着信許可リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。 AT＊DGAPL?： 現在の設定を表示　AT＊DGAPL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGAPL=0,1 ↵ OK	
AT＊DGARL=<n>[,<cid>] ※2	パケット着信呼に対して着信を拒否する接続先（APN）を設定します。APNは+CGDCONTコマンドで定義した<cid>を使用します。 n=0：着信拒否リストに追加　n=1：着信拒否リストから削除 <cid>を+CGDCONTコマンドで定義していない場合でも、リストへ追加または削除します。 <cid>を省略した場合は、すべての<cid>をリストに追加または削除します。 AT＊DGARL?：現在の設定を表示　AT＊DGARL=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGARL=0,1 ↵ OK	
AT＊DGPIR=<n> ※2	パケット通信確立時に、発信者番号を通知するかどうかを設定します。発信時、着信時に有効です。 n=0：APNにそのまま接続（お買い上げ時）　n=1：APNに184を付けて接続 n=2：APNに186を付けて接続 ダイヤルアップネットワークでも通知／非通知を設定した場合→P39 AT＊DGPIR?：現在の設定を表示　AT＊DGPIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT＊DGPIR=0 ↵ OK	
AT＊DRPW	FOMA端末が受信する電波の受信電力指標を「＊DRPW：<n>」の形式で表示します。 AT＊DRPW=?：表示可能な値のリストを表示
AT＊DRPW ↵ ＊DRPW：0 OK	
AT+CAOC	直前通話料金を表示します。
AT+CAOC ↵ +CAOC："000024" OK	
AT+CBC	FOMA端末の電池残量を「+CBC：<bcs>,<bcl>」の形式で表示します。 bcs=0：電池パックから電源の供給あり　bcs=1：電池パックから電源の供給なし bcs=2：電池パックが取り外されている　bcs=3：電源供給エラー bcl=0： 電池残量なしまたは電池パックが取り外されている　bcl=1～100： 電池残量あり AT+CBC=?： 表示可能な値のリストを表示
AT+CBC ↵ +CBC：0,100 OK	
AT+CBST=<n>,1,0 ※1	利用する回線を設定します（ベアラサービスの設定）。 n=116： 64000bps（64Kデータ通信、お買い上げ時） AT+CBST?： 現在の設定を表示　AT+CBST=?： 設定可能な値のリストを表示
AT+CBST=116,1,0 ↵ OK	
AT+CEER	直前の通信の切断理由を表示します。 切断理由一覧→P57
AT+CEER ↵ +CEER：36 OK	
AT+CGDCONT ※2	パケット通信の接続先（APN）を設定します。→P58 AT+CGDCONT?：現在の設定を表示　AT+CGDCONT=?： 設定可能な値のリストを表示
AT+CGDCONT=2,"ppp","abc" ↵ OK	
AT+CGEQMIN ※2	パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。→P58 AT+CGEQMIN?：現在の設定を表示　AT+CGEQMIN=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGEQMIN=2 ↵ OK	

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CGEQREQ ※2 AT+CGEQREQ=3 ↵ OK	パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。→P59 AT+CGEQREQ?：現在の設定を表示　AT+CGEQREQ=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGMR AT+CGMR ↵ 1234567890123456 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+CGREG=<n> ※1 AT+CGREG=0 ↵ OK	ネットワーク登録状態を通知するかどうかを設定します。通知される内容は圏内／圏外です。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CGREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明 AT+CGREG?：「+CGREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CGREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CGSN AT+CGSN ↵ 123456789012345 OK	FOMA端末の製造番号を表示します。
AT+CLIP=<n> ※1 AT+CLIP=0 ↵ OK	64Kデータ通信の着信時に、相手の発信番号をパソコンに表示するかどうかを設定します。 n=0：リザルトを表示しない（お買い上げ時）　n=1：リザルトを表示する AT+CLIP?：「+CLIP：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：発信時に相手に番号を通知しないNW設定 m=1：発信時に相手に番号を通知するNW設定　m=2：不明 AT+CLIP=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CLIR=<n> ※2 AT+CLIR=2 ↵ OK	64Kデータ通信の発信時に、電話番号を相手に通知するかどうかを設定します。 n=0：サービスご契約の設定に従う　n=1：通知しない n=2：通知する（お買い上げ時） AT+CLIR?：「+CLIR：<n>,<m>」の形式で現在の設定と状態を表示 m=0：CLIRは未起動（常時通知）　m=1：CLIRは常時起動（常時非通知） m=2：不明　m=3：CLIRテンポラリーモード（非通知デフォルト） m=4：CLIRテンポラリーモード（通知デフォルト） AT+CLIR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CMEE=<n> ※1 AT+CMEE=0 ↵ OK	FOMA端末のエラーレポートの有無を設定します。 n=0：リザルトコードを使用せずに「ERROR」を表示（お買い上げ時） n=1：リザルトコードを使用し、数字で理由を表示 n=2：リザルトコードを使用し、英文字で理由を表示 n=1またはn=2に設定すると、「+CME ERROR：xxxx」の形式で理由を表示します（xxxxには、数字または英文字が表示されます）。→P57「エラーレポート一覧」 AT+CMEE?：現在の設定を表示　AT+CMEE=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CNUM AT+CNUM ↵ +CNUM：,"09012345678",129 OK	FOMA端末の自局電話番号を「+CNUM：,<number>,<type>」の形式で表示します。 number：自局電話番号 type=129：国際アクセスコード+を含まない type=145：国際アクセスコード+を含む
AT+COPS=<n>,2,<oper> ※2 AT+COPS=0 ↵ OK	接続する通信事業者の検索方法を設定します。 n=0：オート（お買い上げ時）　n=1：マニュアル　n=3：マッピングしない n=1に設定した場合は、<oper>にPLMN Nunberを16進数で設定します。 AT+COPS?：現在の設定を表示　AT+COPS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CPAS AT+CPAS ↵ +CPAS：0 OK	FOMA端末が外部機器にATコマンドを送受信できる状態かどうかを「+CPAS：<n>」の形式で表示します。 n=0：可能　n=1：不可能　n=2：状態不明　n=3：可能かつ着信中 n=4：可能かつ通信中 AT+CPAS=?：表示可能な値のリストを表示
AT+CPIN="<pin>""<newpin>" AT+CPIN="0000" ↵ OK	暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2やブロック解除コードの入力が必要な場合に、これらを入力します。ブロック解除コードの入力が必要な場合は、<newpin>に新しい暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2を入力します。暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2の入力が要求されているときに<newpin>を入力しても、暗証番号（PIN）／暗証番号（PIN）2の変更はできません。 AT+CPIN?：現在の要求されている暗証番号を「+CPIN：<n>」の形式で表示 n=READY：暗証番号入力の要求なし　n=SIM PIN：暗証番号（PIN）の入力待ち n=SIM PIN2：暗証番号（PIN）2の入力待ち n=SIM PUK：暗証番号（PIN）の解除失敗によりブロック解除コード入力待ち n=SIM PUK2：暗証番号（PIN）2の解除失敗によりブロック解除コード入力待ち

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
AT+CR=<n> ※1 AT+CR=0 ↵ OK	接続時に「CONNECT」が表示される前に、通信の種別を表示するかどうかを設定します。 n=0：表示しない（お買い上げ時）　n=1：「+CR：<serv>」の形式で通信の種別を表示 serv=GPRS：パケット通信　serv=SYNC：64Kデータ通信 AT+CR?：現在の設定を表示　AT+CR=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CRC=<n> ※1 AT+CRC=0 ↵ OK	着信時に+CRINGのリザルトコードを使用するかどうかを設定します。 n=0：使用しない（お買い上げ時） n=1：「+CRING：<type>」のリザルトコードを使用する type=GPRS "PPP",,,"<APN>"：パケット通信　type=SYNC：64Kデータ通信 AT+CRC?：現在の設定を表示　AT+CRC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CREG=<n> ※1 AT+CREG=0 ↵ OK	ネットワークの圏内／圏外情報を表示するかどうかを設定します。 n=0：通知なし（お買い上げ時） n=1：圏内から圏外または圏外から圏内へ移動時「+CREG：<stat>」の形式で通知 stat=0：圏外　stat=1：圏内　stat=4：不明 AT+CREG?：「+CREG：<n>,<stat>」の形式で現在の設定と状態を表示 AT+CREG=?：設定可能な値のリストを表示
AT+CUSD=<n>,"<str>" ※1 AT+CUSD=0,"012345678" ↵ OK	ネットワークサービスの追加サービス（USSD登録）の問い合わせや設定を行います。<str>には、ドコモから通知されたサービスコードを入力します。 n=0：中間リザルトを応答しない（お買い上げ時） n=1：中間リザルトを「+CUSD：<m>, "<str>",0」の形式で応答する m=0：情報の要求なし　m=1：情報の要求あり AT+CUSD?：現在の設定を表示　AT+CUSD=?：設定可能な値のリストを表示
AT+FCLASS=<n> ※2 AT+FCLASS=0 ↵ OK	FOMA端末がサポートする通信種別を設定します。 n=0：データのみサポート（お買い上げ時） AT+FCLASS?：現在の設定を表示　AT+FCLASS=?：設定可能な値のリストを表示
AT+GCAP AT+GCAP ↵ +GCAP：+CGSM,+FCLASS,+W OK	FOMA端末でサポートしているATコマンドの範囲を「+GCAP：<n>」の形式で表示します。 n=+CGSM：GSMコマンドをサポート（一部のみサポートの場合を含む） n=+FCLASS：+FCLASSコマンドをサポート　n=+W：+Wコマンドをサポート AT+GCAP=?：表示可能な値のリストを表示
AT+GMI AT+GMI ↵ FUJITSU OK	FOMA端末のメーカ名を表示します。
AT+GMM AT+GMM ↵ FOMA F1100 OK	FOMA端末の製品名を表示します。
AT+GMR AT+GMR ↵ Ver1.00 OK	FOMA端末のバージョンを表示します。
AT+IFC=<n,m> ※1 AT+IFC=2,2 ↵ OK	パソコンとFOMA端末間のローカルフロー制御方式を設定します。 n：DCE by DTE　m：DTE by DCE 0：フロー制御を行わない　1：XON/XOFFフロー制御を行う 2：RS/CS（RTS/CTS）フロー制御を行う（お買い上げ時） AT+IFC?：現在の設定を表示　AT+IFC=?：設定可能な値のリストを表示
AT+WS46=<n> ※1 AT+WS46=22 ↵ OK	発信時に使用する無線ネットワークを設定します。発信に影響は与えません。 n=22：FOMAネットワーク（固定値） AT+WS46?：現在の設定を表示　AT+WS46=?：設定可能な値のリストを表示
AT¥S AT¥S ↵ E1 Q0 V1 X4 &C1 &D2 &S0 ・・・（中略）・・・S104=001 OK	現在設定されている各コマンドとSレジスタの内容を表示します。
AT¥V<n> ※1 AT¥V0 ↵ OK	接続時の応答コード仕様を設定します。 n=0：拡張リザルトコードを使用しない（お買い上げ時） n=1：拡張リザルトコードを使用する

上段：コマンド　下段：実行例	説　明
+++	通信中に入力すると、オンラインデータモードからオンラインコマンドモードに移行します。 エスケープガード区間は1秒の固定値です。
+++(非表示) OK	

※1 &Wコマンドでfoma端末に記録されます。
※2 &FおよびZコマンドによるリセットは行われません。
※3 &Wコマンドを使用する前にZコマンドを実行すると、最後に記録した状態に戻り、それまでの変更内容は消去されます。

切断理由一覧

■ パケット通信

値	理　由
27	APNが存在しないか、または正しくありません。
30	ネットワークによって切断されました。
33	パケット通信の契約がされていません。
36	正常に切断されました。

■ 64Kデータ通信

値	理　由
1	指定した番号は存在しません。
16	正常に切断されました。
17	相手側が通信中のため、通信ができません。
18	発信しましたが、指定時間内に応答がありません。
19	相手側を呼出しましたが応答がありません。
21	相手側が着信を拒否しました。
63	ネットワークのサービスおよびオプションが有効ではありません。
65	提供されていない処理速度を指定しました。
88	端末属性の異なる端末に発信したか、または着信を受けました。

エラーレポート一覧

数字表示	文字表示	理　由
10	SIM not inserted	FOMAカードがセットされていません。
15	SIM wrong	ドコモ以外のSIM（FOMAカードに相当するICカード）が挿入されています。
16	incorrect password	パスワードが間違っています。
100	unknown	不明なエラーです。

■ コマンド名：+CGDCONT=［パラメータ］

- **概要**

  パケット通信の接続先（APN）を設定します。
- **書式**

  +CGDCONT=［＜cid＞［,"PPP"［,"＜APN＞"]]]
- **パラメータ説明**

  ＜cid＞　：1～10

  ＜APN＞：任意

  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
  ＜APN＞は接続先を示す接続ごとの任意の文字列です。
- **実行例**

  「abc」というAPN名を登録する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）

  AT+CGDCONT=2,"PPP","abc" ↵

  OK
- **パラメータを省略した場合の動作**

  AT+CGDCONT=

  すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

  AT+CGDCONT=＜cid＞

  指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

■ コマンド名：+CGEQMIN=［パラメータ］

- **概要**

  パケット通信確立時にネットワーク側から通知されるQoS（サービス品質）を許容するかどうかの判定基準を設定します。
- **書式**

  AT+CGEQMIN=［＜cid＞［,,＜Maximum bitrate UL＞［,＜Maximum bitrate DL＞]]]
- **パラメータ説明**

  ＜cid＞：1～10

  ＜Maximum bitrate UL＞：なし（お買い上げ時）または384

  ＜Maximum bitrate DL＞：なし（お買い上げ時）または3648

  ※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
  ＜Maximum bitrate UL＞および＜Maximum bitrate DL＞では、FOMA端末と基地局間の上りおよび下りの最低通信速度（kbps）を設定します。「なし（お買い上げ時）」に設定した場合は、すべての速度を許容しますが、「384」および「3648」を設定した場合、これらの速度以下の接続は許容されないため、パケット通信が接続されない場合がありますのでご注意ください。
- **実行例**

  (1) 上りと下りですべての速度を許容する場合のコマンド（＜cid＞=2の場合）

  AT+CGEQMIN=2 ↵

  OK

  (2) 上り384kbps、下り3648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=4の場合）

  AT+CGEQMIN=4,,384,3648 ↵

  OK

  (3) 上り384kbps、下りすべての速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=5の場合）

  AT+CGEQMIN=5,,384 ↵

  OK

  (4) 上りすべての速度、下り3648kbpsの速度のみ許容する場合のコマンド（＜cid＞=6の場合）

  AT+CGEQMIN=6,,,3648 ↵

  OK

• **パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQMIN=
すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQMIN=＜cid＞
指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

■ コマンド名：+CGEQREQ=［パラメータ］

• **概要**
パケット通信の発信時にネットワークへ要求するQoS（サービス品質）を設定します。
• **書式**
AT+CGEQREQ=［＜cid＞］
• **パラメータ説明**
上り384kbps、下り3648kbpsの速度で接続を要求するコマンドのみ設定できます。各＜cid＞にはその内容がお買い上げ時に設定されています。
＜cid＞：1～10
※＜cid＞は、FOMA端末内に登録するパケット通信での接続先（APN）を管理する番号です。FOMA端末では「1～10」が登録できます。お買い上げ時、1にはmoperaに接続するためのAPN「mopera.ne.jp」が、3にはmopera Uに接続するためのAPN「mopera.net」が登録されています。
• **実行例**
（＜cid＞=2の場合）
AT+CGEQREQ=2 ↵
OK
• **パラメータを省略した場合の動作**
AT+CGEQREQ=
すべての＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。
AT+CGEQREQ=＜cid＞
指定した＜cid＞をお買い上げ時の状態に戻します。

リザルトコード

● ATVコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合は英文字、n=0の場合は数字でリザルトコードが表示されます。→P53

■ リザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
0	OK	正常に実行しました。
1	CONNECT	相手と接続しました。
2	RING	着信が来ています。
3	NO CARRIER	回線が切断されました。
4	ERROR	コマンドを受け付けられません。
6	NO DIALTONE	ダイヤルトーンの検出ができません。
7	BUSY	話中音の検出中です。
8	NO ANSWER	接続完了タイムアウト。
100	RESTRICTION	ネットワークが規制中です（通信ネットワークが混雑しています。しばらくたってから接続し直してください）。
101	DELAYED	リダイヤル発信規制中です。

■ 拡張リザルトコード

• AT&Eコマンドがn=1（お買い上げ時）に設定されている場合

数字表示	文字表示	意　味
5	CONNECT 1200	FOMA端末－パソコン間を1200bpsで接続
10	CONNECT 2400	FOMA端末－パソコン間を2400bpsで接続
11	CONNECT 4800	FOMA端末－パソコン間を4800bpsで接続
13	CONNECT 7200	FOMA端末－パソコン間を7200bpsで接続
12	CONNECT 9600	FOMA端末－パソコン間を9600bpsで接続

数字表示	文字表示	意　味
15	CONNECT 14400	FOMA端末－パソコン間を14400bpsで接続
16	CONNECT 19200	FOMA端末－パソコン間を19200bpsで接続
17	CONNECT 38400	FOMA端末－パソコン間を38400bpsで接続
18	CONNECT 57600	FOMA端末－パソコン間を57600bpsで接続
19	CONNECT 115200	FOMA端末－パソコン間を115200bpsで接続
20	CONNECT 230400	FOMA端末－パソコン間を230400bpsで接続
21	CONNECT 460800	FOMA端末－パソコン間を460800bpsで接続

※ 従来のRS-232Cで接続するモデムとの互換性を保つため通信速度を表示しますが、FOMA端末－パソコン間はUSBケーブルで接続されているため、実際の接続速度と異なります。

- AT&Eコマンドがn=0に設定されている場合

数字表示	文字表示	意　味
122	CONNECT 64000	FOMA端末－基地局間を64000bpsで接続
125	CONNECT 384000	FOMA端末－基地局間を384000bpsで接続
133	CONNECT 3648000	FOMA端末－基地局間を3648000bpsで接続

■ 通信プロトコルリザルトコード

数字表示	文字表示	意　味
1	PPPoverUD	64Kデータ通信で接続（BC=UDI、+CBST=116,1,0）
5	PACKET	パケット通信で接続

■ リザルトコード表示例

ATX0が設定されているとき

AT￥Vコマンドの設定に関わらず、接続完了の際に「CONNECT」のみの表示となります。

文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
CONNECT

数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
1

ATX1が設定されているとき

- ATX1、AT￥V0（お買い上げ時）が設定されている場合
  接続完了のときに、「CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞」の書式で表示します。
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  CONNECT 460800
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  1 21
- ATX1、AT￥V1が設定されている場合※1
  接続完了のときに、次の書式で表示します。
  「CONNECT＜FOMA端末－パソコン間の速度＞＜通信プロトコル＞＜接続先APN＞/＜上り方向（FOMA端末→無線基地局間）の最高速度＞/＜下り方向（FOMA端末←無線基地局間）の最高速度＞」※2
  文字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  CONNECT 460800 PACKET mopera.net/384/3648
  （mopera.netに、上り最大384kbps、下り最大3648kbpsで接続したことを表します。）
  数字表示例 ：ATD＊99＊＊＊3#
  1 21 5

※1 ATX1、AT￥V1を同時に設定した場合、ダイヤルアップ接続が正しくできないことがあります。AT￥V0だけでのご利用をおすすめします。

※2 AT￥V1が設定されている場合、＜接続先APN＞以降はパケットで接続している場合のみ表示されます。

FOMA® F1100
区点コード一覧

'08.2（1版）
CA92002-5297

区点コード一覧

※ 区点コード入力の操作については、取扱説明書「文字入力」章の「区点コードで入力する」をご覧ください。

※ 区点コード一覧の表示には、実際の表示と見えかたが異なるものがあります。

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
010		(スペース)	、	。	，	．	・	：	；	？
011	！	゛	゜	´	｀	¨	＾	￣	＿	ヽ
012	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	ー	―
013	‐	／	＼	～	∥	｜	…	‥	‘	’
014	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
015	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】
016	＋	－	±	×	÷	＝	≠	＜	＞	≦
017	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥
018	＄	￠	￡	％	＃	＆	＊	＠	§	☆
019	★	○	●	◎	◇					
020		◆	□	■	△	▲	▽	▼	※	〒
021	→	←	↑	↓	〓					
022							∈	∋	⊆	⊇
023	⊂	⊃	∪	∩						
024			∧	∨	￢	⇒	⇔	∀	∃	
026	∠	⊥	⌒	∂	∇	≡	≒	≪	≫	√
027	∽	∝	∵	∫	∬					
028			Å	‰	♯	♭	♪	†	‡	¶
029					◯					
031							０	１	２	３
032	４	５	６	７	８	９				
033				Ａ	Ｂ	Ｃ	Ｄ	Ｅ	Ｆ	Ｇ
034	Ｈ	Ｉ	Ｊ	Ｋ	Ｌ	Ｍ	Ｎ	Ｏ	Ｐ	Ｑ
035	Ｒ	Ｓ	Ｔ	Ｕ	Ｖ	Ｗ	Ｘ	Ｙ	Ｚ	
036						ａ	ｂ	ｃ	ｄ	ｅ
037	ｆ	ｇ	ｈ	ｉ	ｊ	ｋ	ｌ	ｍ	ｎ	ｏ
038	ｐ	ｑ	ｒ	ｓ	ｔ	ｕ	ｖ	ｗ	ｘ	ｙ
039	ｚ									
040		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ
041	お	か	が	き	ぎ	く	ぐ	け	げ	こ
042	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ
043	ぞ	た	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で
044	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は	ば	ぱ
045	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ
046	ぼ	ぽ	ま	み	む	め	も	ゃ	や	ゅ
047	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
048	ゐ	ゑ	を	ん						
050		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ
051	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク	グ	ケ	ゲ	コ
052	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ
053	ゾ	タ	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ
054	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	バ	パ
055	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ
056	ボ	ポ	マ	ミ	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ
057	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
058	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ			
060		Α	Β	Γ	Δ	Ε	Ζ	Η	Θ	Ι
061	Κ	Λ	Μ	Ν	Ξ	Ο	Π	Ρ	Σ	Τ
062	Υ	Φ	Χ	Ψ	Ω					
063				α	β	γ	δ	ε	ζ	η
064	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο	π	ρ
065	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω			
070		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З
071	И	Й	К	Л	М	Н	О	П	Р	С
072	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы
073	Ь	Э	Ю	Я						
074										а
075	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й
076	к	л	м	н	о	п	р	с	т	у
077	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
078	ю	я								
080		─	│	┌	┐	┘	└	├	┬	┤
081	┴	┼	━	┃	┏	┓	┛	┗	┣	┳
082	┫	┻	╋	┠	┯	┨	┷	┿	┝	┰

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
083	┥	┸	╂							
130		①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
131	⑩	⑪	⑫	⑬	⑭	⑮	⑯	⑰	⑱	⑲
132	⑳	Ⅰ	Ⅱ	Ⅲ	Ⅳ	Ⅴ	Ⅵ	Ⅶ	Ⅷ	Ⅸ
133	Ⅹ		㍉	㌔	㌢	㍍	㌘	㌧	㌃	㌶
134	㍑	㍗	㌍	㌦	㌣	㌫	㍊	㌻	㎜	㎝
135	㎞	㎎	㎏	㏄	㎡					
136				㍻	〝	〟	№	㏍	℡	㊤
137	㊥	㊦	㊧	㊨	㈱	㈲	㈹	㍾	㍽	㍼
138	≒	≡	∫	∮	∑	√	⊥	∠	∟	⊿
139	∵	∩	∪							
あ										
160		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢
161	葵	茜	穐	悪	握	渥	旭	葦	芦	鯵
162	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾
163	鮎	或	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇
164	鞍	杏								
い										
164			以	伊	位	依	偉	囲	夷	委
165	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異
166	移	維	緯	胃	萎	衣	謂	違	遺	医
167	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
168	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻
169	引	飲	淫	胤	蔭					
170		院	陰	隠	韻	吋				
う										
170							右	宇	烏	羽
171	迂	雨	卯	鵜	窺	丑	碓	臼	渦	嘘
172	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂
173	云	運	雲							
え										
173				荏	餌	叡	営	嬰	影	映
174	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎	頴	英
175	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越
176	閲	榎	厭	円	園	堰	奄	宴	延	怨
177	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
178	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩			
お										
178								於	汚	甥
179	凹	央	奥	往	応					
180		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬
181	鴎	黄	岡	沖	荻	億	屋	憶	臆	桶
182	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音		
か										
182									下	化
183	仮	何	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁
184	家	寡	科	暇	果	架	歌	河	火	珂
185	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓
186	蝦	課	嘩	貨	迦	過	霞	蚊	俄	峨
187	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
188	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔
189	恢	懐	戒	拐	改					
190		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥
191	蟹	開	階	貝	凱	劾	外	咳	害	崖
192	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬
193	馨	蛙	垣	柿	蛎	鈎	劃	嚇	各	廓
194	拡	撹	格	核	殻	獲	確	穫	覚	角
195	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額
196	顎	掛	笠	樫	橿	梶	鰍	潟	割	喝
197	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
198	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竃	蒲	釜	鎌
199	噛	鴨	栢	茅	萱					
200		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊
201	勘	勧	巻	喚	堪	姦	完	官	寛	干
202	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺
203	款	歓	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看
204	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦	莞	観
205	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館
206	舘	丸	含	岸	巌	玩	癌	眼	岩	翫

区点 1～3桁	区点4桁目 0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
207	贋	雁	頑	顔	願					
き										
207						企	伎	危	喜	器
208	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机
209	旗	既	期	棋	棄					
210		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀
211	紀	徽	規	記	貴	起	軌	輝	飢	騎
212	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺
213	犠	疑	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠
214	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵	黍	却
215	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸
216	宮	弓	急	救	朽	求	汲	泣	灸	球
217	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
218	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁
219	禦	魚	亨	享	京					
220		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡
221	卿	叫	喬	境	峡	強	彊	怯	恐	恭
222	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興
223	蕎	郷	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁
224	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅	勤	均
225	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊
226	芹	菌	衿	襟	謹	近	金	吟	銀	
く										
226										九
227	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
228	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅
229	串	櫛	釧	屑	屈					
230		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂
231	栗	繰	桑	鍬	勲	君	薫	訓	群	軍
232	郡									
け										
232		卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭
233	珪	型	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲
234	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系	経	継
235	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頚
236	鶏	芸	迎	鯨	劇	戟	撃	激	隙	桁
237	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
238	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌
239	建	憲	懸	拳	捲					
240		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県
241	肩	見	謙	賢	軒	遣	鍵	険	顕	験
242	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現
243	絃	舷	言	諺	限					
こ										
243						乎	個	古	呼	固
244	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯	湖	狐
245	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇
246	顧	鼓	五	互	伍	午	呉	吾	娯	後
247	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
248	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功
249	効	勾	厚	口	向					
250		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工
251	巧	巷	幸	広	庚	康	弘	恒	慌	抗
252	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構
253	江	洪	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠
254	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱	腔	膏
255	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱
256	砿	鋼	閤	降	項	香	高	鴻	剛	劫
257	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
258	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑
259	忽	惚	骨	狛	込					
260		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇
261	昏	昆	根	梱	混	痕	紺	艮	魂	
さ										
261										些
262	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂
263	詐	鎖	裟	坐	座	挫	債	催	再	最
264	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽	歳	済
265	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁
266	載	際	剤	在	材	罪	財	冴	坂	阪

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
267	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
268	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜
269	鮭	笹	匙	冊	刷					
270		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐
271	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒	三	傘	参	山
272	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕
273	讃	賛	酸	餐	斬	暫	残			
し										
273								仕	仔	伺
274	使	刺	司	史	嗣	四	士	始	姉	姿
275	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯
276	施	旨	枝	止	死	氏	獅	祉	私	糸
277	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
278	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児
279	字	寺	慈	持	時					
280		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而
281	耳	自	蒔	辞	汐	鹿	式	識	鴫	竺
282	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉
283	湿	漆	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝
284	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦	斜	煮
285	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺
286	尺	杓	灼	爵	酌	釈	錫	若	寂	弱
287	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
288	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹
289	綬	需	囚	収	周					
290		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋
291	終	繍	習	臭	舟	蒐	衆	襲	讐	蹴
292	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十
293	従	戎	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔
294	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟	出	術
295	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循
296	旬	楯	殉	淳	準	潤	盾	純	巡	遵
297	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
298	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐
299	恕	鋤	除	傷	償					
300		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨
301	妾	娼	宵	将	小	少	尚	庄	床	廠
302	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶
303	松	梢	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦
304	照	症	省	硝	礁	祥	称	章	笑	粧
305	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔
306	詳	象	賞	醤	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上
307	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
308	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲
309	醸	錠	嘱	埴	飾					
310		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食
311	蝕	辱	尻	伸	信	侵	唇	娠	寝	審
312	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申
313	疹	真	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診
314	身	辛	進	針	震	人	仁	刃	塵	壬
315	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭		
す										
315									笥	諏
316	須	酢	図	厨	逗	吹	垂	帥	推	水
317	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
318	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉
319	椙	菅	頗	雀	裾					
320		澄	摺	寸						
せ										
320					世	瀬	畝	是	凄	制
321	勢	姓	征	性	成	政	整	星	晴	棲
322	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製
323	西	誠	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税
324	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析	石	積
325	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙
326	接	摂	折	設	窃	節	説	雪	絶	舌
327	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
328	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎
329	煽	旋	穿	箭	線					
330		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賎	践
331	選	遷	銭	銑	閃	鮮	前	善	漸	然
332	全	禅	繕	膳	糎					
そ										
332						噌	塑	岨	措	曾
333	曽	楚	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素
334	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創	双	叢
335	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
336	捜	掃	挿	掻	操	早	曹	巣	槍	槽
337	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
338	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗
339	霜	騒	像	増	憎					
340		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息
341	捉	束	測	足	速	俗	属	賊	族	続
342	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜
た										
343	他	多	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打
344	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆	対	耐
345	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎
346	腿	苔	袋	貸	退	逮	隊	黛	鯛	代
347	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
348	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁
349	諾	茸	凧	蛸	只					
350		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿
351	棚	谷	狸	鱈	樽	誰	丹	単	嘆	坦
352	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪
353	綻	耽	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断
354	暖	檀	段	男	談					
ち										
354						値	知	地	弛	恥
355	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築
356	畜	竹	筑	蓄	逐	秩	窒	茶	嫡	着
357	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
358	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯
359	丁	兆	凋	喋	寵					
360		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑
361	暢	朝	潮	牒	町	眺	聴	脹	腸	蝶
362	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗
363	直	朕	沈	珍	賃	鎮	陳			
つ										
363								津	墜	椎
364	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴	槻	佃
365	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壷
366	嬬	紬	爪	吊	釣	鶴				
て										
366							亭	低	停	偵
367	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
368	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締
369	艇	訂	諦	蹄	逓					
370		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴
371	的	笛	適	鏑	溺	哲	徹	撤	轍	迭
372	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼
373	転	顛	点	伝	殿	澱	田	電		
と										
373									兎	吐
374	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡	登	菟
375	賭	途	都	鍍	砥	砺	努	度	土	奴
376	怒	倒	党	冬	凍	刀	唐	塔	塘	套
377	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
378	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等
379	答	筒	糖	統	到					
380		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透
381	鐙	陶	頭	騰	闘	働	動	同	堂	導
382	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠
383	鴇	匿	得	徳	涜	特	督	禿	篤	毒
384	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届	鳶	苫
385	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁
386	頓	呑	曇	鈍						
な										
386					奈	那	内	乍	凪	薙
387	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
388	軟	難	汝							
に										
388				二	尼	弐	迩	匂	賑	肉
389	虹	廿	日	乳	入					
390		如	尿	韮	任	妊	忍	認		
ぬ										
390									濡	
ね										
390										禰
391	祢	寧	葱	猫	熱	年	念	捻	撚	燃
392	粘									
の										
392		乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能
393	脳	膿	農	覗	蚤					

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
は										
393						巴	把	播	覇	杷
394	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬	俳	廃
395	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配
396	倍	培	媒	梅	楳	煤	狽	買	売	賠
397	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剥	博	拍
398	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠
399	爆	縛	莫	駁	麦					
400		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌
401	畑	畠	八	鉢	溌	発	醗	髪	伐	罰
402	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判
403	半	反	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版
404	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範	釆	煩
405	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	
ひ										
405										匪
406	卑	否	妃	庇	彼	悲	扉	批	披	斐
407	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
408	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微
409	枇	毘	琵	眉	美					
410		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱
411	肘	弼	必	畢	筆	逼	桧	姫	媛	紐
412	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表
413	評	豹	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜
414	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧	賓	頻
415	敏	瓶								
ふ										
415			不	付	埠	夫	婦	富	冨	布
416	府	怖	扶	敷	斧	普	浮	父	符	腐
417	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
418	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗
419	伏	副	復	幅	服					
420		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏
421	物	鮒	分	吻	噴	墳	憤	扮	焚	奮
422	粉	糞	紛	雰	文	聞				
へ										
422							丙	併	兵	塀
423	幣	平	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁
424	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆	偏	変
425	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁
426	鞭									
ほ										
426		保	舗	鋪	圃	捕	歩	甫	補	輔
427	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
428	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖
429	抱	捧	放	方	朋					
430		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬
431	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒	飽	鳳	鵬	乏
432	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴
433	望	某	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿
434	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨	撲	朴
435	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔
436	本	翻	凡	盆						
ま										
436					摩	磨	魔	麻	埋	妹
437	昧	枚	毎	哩	槙	幕	膜	枕	鮪	柾
438	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	侭
439	繭	麿	万	慢	満					
440		漫	蔓							
み										
440				味	未	魅	巳	箕	岬	密
441	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙	粍	民	眠	
む										
441										務
442	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	
め										
442										冥
443	名	命	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅
444	免	棉	綿	緬	面	麺				
も										
444							摸	模	茂	妄
445	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙
446	目	杢	勿	餅	尤	戻	籾	貰	問	悶
447	紋	門	匁							
や										
447				也	冶	夜	爺	耶	野	弥
448	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
449	鑓									
	ゆ									
449		愉	愈	油	癒					
450		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽
451	悠	憂	揖	有	柚	湧	涌	猶	猷	由
452	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	
	よ									
452										予
453	余	与	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸
454	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶	熔	用
455	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遥	陽
456	養	慾	抑	欲	沃	浴	翌	翼	淀	
	ら									
456										羅
457	螺	裸	来	莱	頼	雷	洛	絡	落	酪
458	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧		
	り									
458									利	吏
459	履	李	梨	理	璃					
460		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立
461	葎	掠	略	劉	流	溜	琉	留	硫	粒
462	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚
463	両	凌	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜
464	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力	緑	倫
465	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟
	る									
466	瑠	塁	涙	累	類					
	れ									
466						令	伶	例	冷	励
467	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
468	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐
469	漣	煉	簾	練	聯					
470		蓮	連	錬						
	ろ									
470					呂	魯	櫓	炉	賂	路
471	露	労	婁	廊	弄	朗	楼	榔	浪	漏
472	牢	狼	篭	老	聾	蝋	郎	六	麓	禄
473	肋	録	論							
	わ									
473				倭	和	話	歪	賄	脇	惑
474	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨	椀	湾
475	碗	腕								
480		弌	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂
481	乖	乘	亂	亅	豫	亊	舒	弍	于	亞
482	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆
483	仂	仗	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛
484	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻	佩	佰
485	侑	佯	來	侖	儘	俔	俟	俎	俘	俛
486	俑	俚	俐	俤	俥	倚	倨	倔	倪	倥
487	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
488	偃	假	會	偕	偐	偈	做	偖	偬	偸
489	傀	傚	傅	傴	傲					
490		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣
491	僮	價	僵	儉	儁	儂	儖	儕	儔	儚
492	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔
493	兢	竸	兩	兪	兮	冀	冂	囘	册	冉
494	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢	冩	冪
495	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛
496	几	處	凩	凭	凰	凵	凾	刄	刋	刔
497	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
498	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劔
499	劒	剱	劈	劑	辨					
500		辧	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞
501	勣	勦	飭	勠	勳	勵	勸	勹	匆	匈
502	甸	匍	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳
503	匸	區	卆	卅	丗	卉	卍	凖	卞	卩
504	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦	厥	厮
505	厰	厶	參	簒	雙	叟	曼	燮	叮	叨
506	叭	叺	吁	吽	呀	听	吭	吼	吮	吶
507	吩	吝	呎	咏	呵	咎	呟	呱	呷	呰
508	咒	呻	咀	呶	咄	咐	咆	哇	咢	咸
509	咥	咬	哄	哈	咨					
510		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏
511	唔	哽	哮	哭	哺	哢	唹	啀	啣	啌
512	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	啝	喙	喀

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
513	咯	喊	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃
514	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜	嗤	嗔
515	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營
516	嘴	嘶	嘲	嘸	噫	噤	嘯	噬	噪	嚆
517	嚀	嚊	嚠	嚔	嚏	嚥	嚮	嚶	嚴	囂
518	嚼	囁	囃	囀	囈	囎	囑	囓	囗	囮
519	囹	圀	囿	圄	圉					
520		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圦
521	圷	圸	坎	圻	址	坏	坩	埀	垈	坡
522	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垰	埃	埆
523	埔	埒	埓	堊	埖	埣	堋	堙	堝	塲
524	堡	塢	塋	塰	毀	塒	堽	塹	墅	墹
525	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑
526	壗	壙	壘	壥	壜	壤	壟	壯	壺	壹
527	壻	壼	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
528	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘
529	奢	奠	奧	奬	奩					
530		奸	妁	妝	佞	侫	妣	妲	姆	姨
531	姜	妍	姙	姚	娥	娟	娑	娜	娉	娚
532	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	媾
533	嫋	嫂	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻
534	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾	孃	孅
535	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵
536	學	斈	孺	宀	它	宦	宸	寃	寇	寉
537	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
538	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸
539	尹	屁	屆	屎	屓					
540		屐	屏	孱	屬	屮	乢	屶	屹	岌
541	岑	岔	妛	岫	岻	岶	岼	岷	峅	岾
542	峇	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕
543	崗	嵜	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘
544	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇	嶄	嶂
545	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶐	嶷	嶼	巉	巍
546	巓	巒	巖	巛	巫	已	巵	帋	帚	帙
547	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
548	幟	幢	幤	幇	幵	并	幺	麼	广	庠
549	廁	廂	廈	廐	廏					
550		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩
551	廬	廱	廳	廰	廴	廸	廾	弃	弉	彝
552	彜	弋	弑	弖	弩	弭	弸	彁	彈	彌
553	彎	弯	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷
554	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從	徙	徘
555	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝
556	悳	忿	怡	恠	怙	怐	怩	怎	怱	怛
557	怕	怫	怦	怏	怺	恚	恁	恪	恷	恟
558	恊	恆	恍	恣	恃	恤	恂	恬	恫	恙
559	悁	悍	惧	悃	悚					
560		悄	悛	悖	悗	悒	悧	悋	惡	悸
561	惠	惓	悴	忰	悽	惆	悵	惘	慍	愕
562	愆	惶	惷	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱
563	愍	愎	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愬
564	愴	愽	慂	慄	慳	慷	慘	慙	慚	慫
565	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慓	慵	憙	憖
566	憇	憬	憔	憚	憊	憑	憫	憮	懌	懊
567	應	懷	懈	懃	懆	憺	懋	罹	懍	懦
568	懣	懶	懺	懴	懿	懽	懼	懾	戀	戈
569	戉	戍	戌	戔	戛					
570		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎
571	扞	扣	扛	扠	扨	扼	抂	抉	找	抒
572	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	拏	拿
573	拆	擔	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉
574	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵	捐	挾
575	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏
576	掉	掟	掵	捫	捩	掾	揩	揀	揆	揣
577	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
578	攝	搗	搨	搏	摧	摯	摶	摎	攪	撕
579	撓	撥	撩	撈	撼					
580		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	擱	擧
581	舉	擠	擡	抬	擣	擯	攬	擶	擴	擲
582	擺	攀	擽	攘	攜	攅	攤	攣	攫	攴
583	攵	攷	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘
584	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛	斟	斫
585	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无
586	旡	旱	杲	昊	昃	旻	杳	昵	昶	昴
587	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
588	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝
589	曁	暹	曉	暾	暼					

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
590		曄	暸	曖	曚	曠	昿	曦	曩	曰
591	曵	曷	朏	朖	朞	朦	朧	霸	朮	朿
592	朶	杁	朸	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤
593	枉	杰	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅
594	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤	柞	柝
595	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩
596	桀	桍	栲	桎	梳	栫	桙	档	桷	桿
597	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	梹	桴
598	梵	梠	梺	椏	梍	桾	椁	棊	椈	棘
599	椢	椦	棡	椌	棍					
600		棔	棧	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥
601	棹	棠	棯	椨	椪	椚	椣	椡	棆	楹
602	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽
603	楙	椰	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐
604	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	槝	榻	槃
605	榧	樮	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂
606	樛	槿	權	槹	槲	槧	樅	榱	樞	槭
607	樔	槫	樊	樒	櫁	樣	樓	橄	樌	橲
608	樶	橸	橇	橢	橙	橦	橈	樸	樢	檐
609	檍	檠	檄	檢	檣					
610		檗	蘗	檻	櫃	櫂	檸	檳	檬	櫞
611	櫑	櫟	檪	櫚	櫪	櫻	欅	蘖	櫺	欒
612	欖	鬱	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歇	歃
613	歉	歐	歙	歔	歛	歟	歡	歸	歹	歿
614	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤	殪	殫
615	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毟
616	毬	毫	毳	毯	麾	氈	氓	气	氛	氤
617	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
618	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗
619	泅	泝	沮	沱	沾					
620		沺	泛	泯	泙	泪	洟	衍	洶	洫
621	洽	洸	洙	洵	洳	洒	洌	浣	涓	浤
622	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊
623	涵	淇	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒
624	淅	淺	淙	淤	淕	淪	淮	渭	湮	渮
625	渙	湲	湟	渾	渣	湫	渫	湶	湍	渟
626	湃	渺	湎	渤	滿	渝	游	溂	溪	溘
627	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
628	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滸	滾	漿
629	滲	漱	滯	漲	滌					
630		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯
631	潛	濳	潭	澂	潼	潘	澎	澑	濂	潦
632	澳	澣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬
633	濔	濘	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁
634	瀏	濾	瀛	瀚	潴	瀝	瀘	瀟	瀰	瀾
635	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烱	炬	炸	炳
636	炮	烟	烋	烝	烙	焉	烽	焜	焙	煥
637	煕	熈	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
638	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎
639	燠	燬	燧	燵	燼					
640		燹	燿	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰
641	爲	爻	爼	爿	牀	牆	牋	牘	牴	牾
642	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃
643	狆	狄	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏
644	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩	猥	猾
645	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獸	獵	獻
646	獺	珈	玳	珎	玻	珀	珥	珮	珞	璢
647	琅	瑯	琥	珸	琲	琺	瑕	琿	瑟	瑙
648	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞
649	璧	瓊	瓏	瓔	珱					
650		瓠	瓣	瓧	瓩	瓮	瓲	瓰	瓱	瓸
651	瓷	甄	甃	甅	甌	甎	甍	甕	甓	甞
652	甦	甬	甼	畄	畍	畊	畉	畛	畆	畚
653	畩	畤	畧	畫	畭	畸	當	疆	疇	畴
654	疊	疉	疂	疔	疚	疝	疥	疣	痂	疳
655	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙
656	痣	痞	痾	痿	痼	瘁	痰	痺	痲	痳
657	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
658	瘰	瘻	癇	癈	癆	癜	癘	癡	癢	癨
659	癩	癪	癧	癬	癰					
660		癲	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎
661	皖	皓	皙	皚	皰	皴	皸	皹	皺	盂
662	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻
663	眈	眇	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷
664	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿	睾	睹
665	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼
666	瞽	瞻	矇	矍	矗	矚	矜	矣	矮	矼

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
667	砌	砒	礦	砠	礪	硅	碎	硴	碆	硼
668	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔
669	碾	碼	磅	磊	磬					
670		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礬
671	礫	祀	祠	祗	祟	祚	祕	祓	祺	祿
672	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉
673	秕	秧	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠
674	稟	禀	稱	稻	稾	稷	穃	穗	穉	穡
675	穢	穩	龝	穰	穹	穽	窈	窗	窕	窘
676	窖	窩	竈	窰	窶	竅	竄	窿	邃	竇
677	竊	竍	竏	竕	竓	站	竚	竝	竡	竢
678	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙
679	笞	笵	笨	笶	筐					
680		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筥	筴
681	筧	筰	筱	筬	筮	箝	箘	箟	箍	箜
682	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篋	篁	篌	篏
683	箴	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	籠	簀
684	簇	簓	篳	篷	簗	簍	篶	簣	簧	簪
685	簟	簷	簫	簽	籌	籃	籔	籏	籀	籐
686	籘	籟	籤	籖	籥	籬	籵	粃	粐	粤
687	粭	粢	粫	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
688	粽	糀	糅	糂	糘	糒	糜	糢	鬻	糯
689	糲	糴	糶	糺	紆					
690		紂	紜	紕	紊	絅	絋	紮	紲	紿
691	紵	絆	絳	絖	絎	絲	絨	絮	絏	絣
692	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵
693	緇	綽	綫	總	綢	綯	緜	綸	綟	綰
694	緘	緝	緤	緞	緻	緲	緡	縅	縊	縣
695	縡	縒	縱	縟	縉	縋	縢	繆	繦	縻
696	縵	縹	繃	縷	縲	縺	繧	繝	繖	繞
697	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	緕	繽
698	辮	繿	纈	纉	續	纒	纐	纓	纔	纖
699	纎	纛	纜	缸	缺					
700		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘
701	罟	罠	罨	罩	罧	罸	羂	羆	羃	羈
702	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹
703	羮	羶	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡
704	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋	耒	耘
705	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘
706	聚	聟	聢	聨	聳	聲	聰	聶	聹	聽
707	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
708	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱
709	脛	脩	脣	脯	腋					
710		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥
711	腦	腴	膃	膈	膊	膀	膂	膠	膕	膤
712	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膽	臀
713	臂	膺	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟
714	臠	臧	臺	臻	臾	舁	舂	舅	與	舊
715	舍	舐	舖	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘
716	艝	艚	艟	艤	艢	艨	艪	艫	舮	艱
717	艷	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
718	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	苻	苹
719	苞	茆	苜	茉	苙					
720		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅
721	茯	茫	茗	茘	莅	莚	莪	莟	莢	莖
722	茣	莎	莇	莊	荼	莵	荳	荵	莠	莉
723	莨	菴	萓	菫	菎	菽	萃	菘	萋	菁
724	菷	萇	菠	菲	萍	萢	萠	莽	萸	蔆
725	菻	葭	萪	萼	蕚	蒄	葷	葫	蒭	葮
726	蒂	葩	葆	萬	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹
727	蒿	蒟	蓙	蓍	蒻	蓚	蓐	蓁	蓆	蓖
728	蒡	蔡	蓿	蓴	蔗	蔘	蔬	蔟	蔕	蔔
729	蓼	蕀	蕣	蕘	蕈					
730		蕁	蘂	蕋	蕕	薀	薤	薈	薑	薊
731	薨	蕭	薔	薛	藪	薇	薜	蕷	蕾	薐
732	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹
733	蘊	蘓	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	蘿
734	虍	乕	虔	號	虧	虱	蚓	蚣	蚩	蚪
735	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠣	蚫
736	蛔	蛞	蛩	蛬	蛟	蛛	蛯	蜒	蜆	蜈
737	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
738	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎
739	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙					
740		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋
741	螽	蟀	蟐	雖	螫	蟄	螳	蟇	蟆	螻
742	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒
743	蠑	蠖	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
744	衄	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁	衾	袞
745	衵	衽	袵	衲	袂	袗	袒	袮	袙	袢
746	袍	袤	袰	袿	袱	裃	裄	裔	裘	裙
747	裝	裹	褂	裼	裴	裨	裲	褄	褌	褊
748	褓	襃	褞	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶
749	褸	襌	襝	襠	襞					
750		襦	襤	襭	襪	襯	襴	襷	襾	覃
751	覈	覊	覓	覘	覡	覩	覦	覬	覯	覲
752	覺	覽	覿	觀	觚	觜	觝	觧	觴	觸
753	訃	訖	訐	訌	訛	訝	訥	訶	詁	詛
754	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅	誂	誄
755	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂
756	諚	諫	諳	諧	諤	諱	謔	諠	諢	諷
757	諞	諛	謌	謇	謚	諡	謖	謐	謗	謠
758	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎
759	證	譖	譛	譚	譫					
760		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒
761	讓	讖	讙	讚	谺	豁	谿	豈	豌	豎
762	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貊
763	貍	貎	貔	豼	貘	戝	貭	貪	貽	貲
764	貳	貮	貶	賈	賁	賤	賣	賚	賽	賺
765	賻	贄	贅	贊	贇	贏	贍	贐	齎	贓
766	賍	贔	贖	赧	赭	赱	赳	趁	趙	跂
767	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
768	跟	跣	跼	踈	踉	跿	踝	踞	踐	踟
769	蹂	踵	踰	踴	蹊					
770		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪
771	蹣	蹕	蹶	蹲	蹼	躁	躇	躅	躄	躋
772	躊	躓	躑	躔	躙	躪	躡	躬	躰	軆
773	躱	躾	軅	軈	軋	軛	軣	軼	軻	軫
774	軾	輊	輅	輕	輒	輙	輓	輜	輟	輛
775	輌	輦	輳	輻	輹	轅	轂	輾	轌	轉
776	轆	轎	轗	轜	轢	轣	轤	辜	辟	辣
777	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	邇	迴
778	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋
779	逧	逶	逵	逹	迸					
780		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘
781	遞	遨	遯	遶	隨	遲	邂	遽	邁	邀
782	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈
783	郛	鄂	鄒	鄙	鄲	鄰	酊	酖	酘	酣
784	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢	醫	醯
785	醪	醵	醴	醺	釀	釁	釉	釋	釐	釖
786	釟	釡	釛	釼	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬
787	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	銕	鈿
788	鉋	鉐	銜	銖	銓	銛	鉚	鋏	銹	銷
789	鋩	錏	鋺	鍄	錮					
790		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠
791	鍼	鍮	鍖	鎰	鎬	鎭	鎔	鎹	鏖	鏗
792	鏨	鏥	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐔
793	鐓	鐃	鐇	鐐	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鑁
794	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑪	鈩	鑰	鑵
795	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	閂	閇	閊
796	閔	閖	閘	閙	閠	閨	閧	閭	閼	閻
797	閹	閾	闊	濶	闃	闍	闌	闕	闔	闖
798	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌
799	陏	陋	陷	陜	陞					
800		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗
801	險	隧	隱	隲	隰	隴	隶	隸	隹	雎
802	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆
803	霈	霓	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰
804	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉	靜	靠
805	靤	靦	靨	勒	靫	靱	靹	鞅	靼	鞁
806	靺	鞆	鞋	鞏	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳
807	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
808	韶	韵	頏	頌	頸	頤	頡	頷	頽	顆
809	顏	顋	顫	顯	顰					
810		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃
811	飆	飩	飫	餃	餉	餒	餔	餘	餡	餝
812	餞	餤	餠	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅
813	饐	饋	饑	饒	饌	饕	馗	馘	馥	馭
814	馮	馼	駟	駛	駝	駘	駑	駭	駮	駱
815	駲	駻	駸	騁	騏	騅	駢	騙	騫	騷
816	驅	驂	驀	驃	騾	驕	驍	驛	驗	驟
817	驢	驥	驤	驩	驫	驪	骭	骰	骼	髀
818	髏	髑	髓	體	髞	髟	髢	髣	髦	髯
819	髫	髮	髴	髱	髷					
820		髻	鬆	鬘	鬚	鬟	鬢	鬣	鬥	鬧

区点 1~3桁	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9
821	鬨	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	魄	魃	魏	魍
822	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟
823	鮠	鮨	鮴	鯀	鯊	鮹	鯆	鯏	鯑	鯒
824	鯣	鯢	鯤	鯔	鯡	鰺	鯲	鯱	鯰	鰕
825	鰔	鰉	鰓	鰌	鰆	鰈	鰒	鰊	鰄	鰮
826	鰛	鰥	鰤	鰡	鰰	鱇	鰲	鱆	鰾	鱚
827	鱠	鱧	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
828	鴃	鴆	鴪	鴦	鶯	鴣	鴟	鵄	鴕	鴒
829	鵁	鴿	鴾	鵆	鵈					
830		鵝	鵞	鵤	鵑	鵐	鵙	鵲	鶉	鶇
831	鶫	鵯	鵺	鶚	鶤	鶩	鶲	鷄	鷁	鶻
832	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷓	鷸	鷦	鷭
833	鷯	鷽	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈
834	麋	麌	麒	麕	麑	麝	麥	麩	麸	麪
835	麭	靡	黌	黎	黏	黐	黔	黜	點	黝
836	黠	黥	黨	黯	黴	黶	黷	黹	黻	黼
837	黽	鼇	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒
838	齔	齣	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷
839	齲	齶	龕	龜	龠					
840		堯	槇	遙	瑤	凜	熙			